カラーレーザビームプリンタ

COLOR LASER SHOT
LBP-2050

ユーザーズガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット **0570-01-9000**

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。LASER SHOTの該当番号は 42 *[1]です。

全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、(043) 211-9627 をご利用ください。

上記窓口の受付時間*[2] は以下のとおりです。
月曜～金曜(祝日を除く):9:00～12:00、13:00～18:00、19:00～21:00
土、日、祝日(1/1～1/3は休み):10:00～12:00、13:00～17:00

*[1] 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*[2] 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

PUB. R-IJ-924AA XX2001SZXX PRINTED IN JAPAN

取扱説明書の構成について

キヤノン COLOR LASER SHOT LBP-2050をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタには、次のような取扱説明書が用意されています。目的に応じて取扱説明書をお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、取扱説明書はお読みいただいた後も、大切に保管しておいてください。

本体添付の取扱説明書

プリンタを設置したい
プリンタの操作方法を知りたい
困ったときには
→ **ユーザーズガイド**（本書）

プリンタドライバをインストールしたい
印刷したい
添付ソフトウェアの使いかたを知りたい
→ **LIPSソフトウェアガイド**

より詳しく知りたい
→ **LIPS機能ガイド**

操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。プリンタが持つ機能に関するリファレンス的な取扱説明書です。

その他の取扱説明書

＊別売の取扱説明書やオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル（別売）

LIPS対応のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用の取扱説明書です。

オプション品の取扱説明書

各オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

●本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ユーザーズガイドの使いかた

第1章 設置前の準備 必ずお読みください

本プリンタを設置する前に必要な準備や、設置時の注意事項を説明しています。

1

第2章 設置のしかた 必ずお読みください

本プリンタをパッケージから取り出し、使えるようにするまでの手順を説明しています。

2

第3章 プリンタの使いかた 必ずお読みください

本プリンタを使用する際の日常操作や、プリンタ機能の設定方法について説明しています。

3

第4章 給紙・排紙のしかた 必ずお読みください

使用できる用紙や給紙のしかた、給紙/排紙の選択操作について説明しています。

4

第5章 日常のメンテナンス 必要に応じてお読みください

トナーカートリッジの交換など日常のメンテナンスについて説明しています。

5

第6章 困ったときには 必要に応じてお読みください

紙づまりが起こったときなどトラブルが起こったときの対処方法について説明しています。

6

付　録 必要に応じてお読みください

オプション品の紹介や取り付けかた、仕様、用語集、索引をまとめています。

付録

目次

第 3 章　プリンタの使いかた

第 4 章　給紙・排紙のしかた

第 5 章　日常のメンテナンス

第 6 章　困ったときには

付録

COLOR LASER SHOT LBP-2050の特長

高品位 A4 フルカラープリント

データ処理解像度を600dpi／多値処理とすることで、高画質フルカラープリンティングをA4サイズで実現しました。
また、データ量が白黒に比べて格段に大きいフルカラーに対応して、メモリ効率化技術MaxiMemを大幅に向上させました。フルカラー高画質を標準メモリで実現します。

高速プリント

「スーパー・レーザショット・チップ」や高性能RISCプロセッサなどの強力なハードによりコントローラ処理時間の高速化を実現。A4モノクロ毎分16枚、A4フルカラー毎分4枚の高速プリントを実現しました。
さらにキヤノン独自のTypeWing機能により、TrueTypeフォントの高速出力とパソコンの開放時間の短縮を可能にしました。

多彩なペーパーハンドリングとペーパーマテリアルの充実

標準の給紙カセットと給紙トレイに加え、オプションのペーパーフィーダユニットと両面ユニットを装着可能。最大850枚の自動給紙や、3ウェイ給紙＋2ウェイ排紙＋両面プリントの多彩なペーパーハンドリングが可能です。
また、印字機構に中間転写方式の採用により、普通紙、OHPフィルムをはじめ、厚紙、ラベル紙、封筒、光沢フィルム、ハガキなどの特殊用紙へ対応していますので、オフィスのあらゆるカラープリントニーズに応えられます。

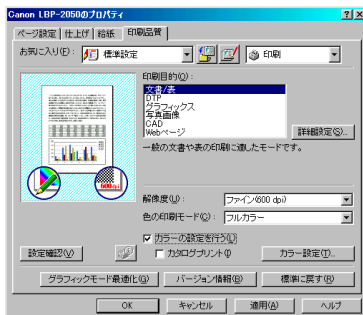
イージーメンテナンス

C、M、Y、Kの4色のトナーカートリッジとドラムカートリッジの5種類のカートリッジにより、トナーやドラムが手を汚すことなく簡単に交換できます。シリコンオイルも不要になり、さらに取り扱いが簡単になりました。
また、電源投入直後や温度、湿度などの環境の変化に応じて最適なトナー濃度を自動的に制御する「Color Stabilizer」機能（キャリブレーション）により常に安定した画質を実現するなど、手軽にフルカラー高画質を楽しめます。

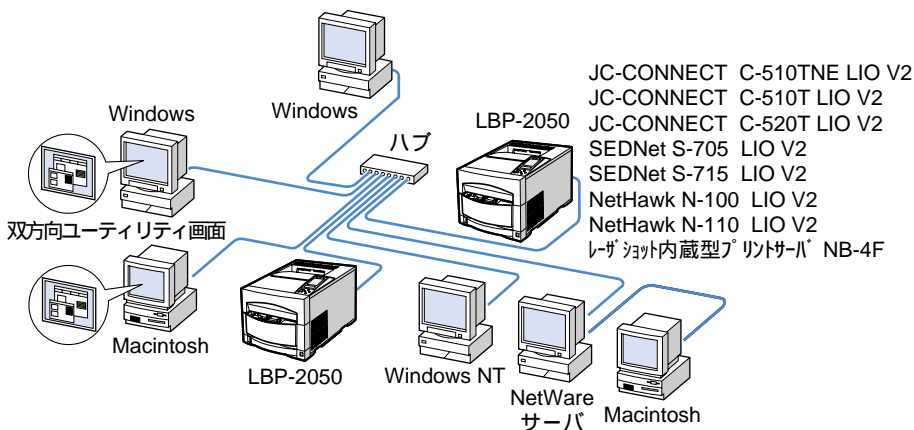
ユーザフレンドリー

プリンタをより使いやすくするソフトウェアを用意しました。
印刷したい設定をメニューで簡単に選択できる「お気に入り」機能や、複数ページ印刷機能、製本作業を容易にした「仕上げ」等、機能満載のLIPS IVドライバを同梱しています。また、パソコン上でローカルおよびネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot」と、プリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをパソコン画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの「NetSpot Job Monitor」を同梱しています。

簡単操作のカラーコントロール

サムネイルを使ったユーザーインタフェースにより直観的でわかりやすい色調整を実現。しかも9種類の色調整画像サンプルを1枚の用紙に出力するカタログプリント機能により好みの色を簡単・確実に確認できます。
また、カラーページを自動的に判別するオートカラー機能により、白黒モードとカラーモードをいちいち切り替える必要がなくなりました。もちろん期待通りの色再現を実現する、キヤノン独自のカラーマネジメントシステム「ColorGear」も搭載。ドキュメントを構成する文字、写真、絵の各要素毎に最適な色補正を行うカラーマッチングを簡単操作で実現しています。

ネットワーク対応

オプションの内蔵型プリントサーバを取り付ければ、Ethernetのネットワークプリンタとして使用できます。IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBIOS/NetBEUIのマルチプロトコル対応により、Windows、Macintosh、UNIX、NetWareなど幅広い使用環境に対応します。
また、ネットワークとプリンタの管理やプリンタの設定操作を簡単に行える専用ネットワーク管理ソフト「NetSpot」がプリンタに標準添付されています。

メモ

● 本プリンタに付属されているソフトウェアの対応OS、インストールのしかたや詳細については、付属の「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の読みかた

■マークについて

本書では、安全にお使いいただくために絶対にしないでいただきたいことや注意していただきたいこと、参考にしていただきたいことに、次のようなマークを付けています。これらのマークの説明は必ずお読みください。

警告

● 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

● 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

● 操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

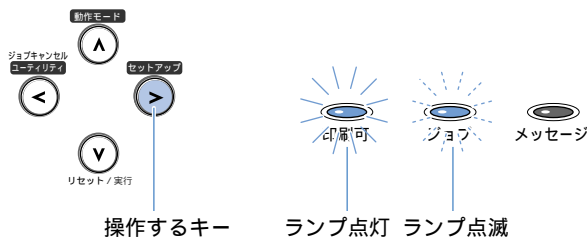
● 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

■キーの表記について

本書の説明文中で、操作パネルのキーを表すときは、キーの名称を(　　　)の枠で囲んでいます。

例）(オンライン)：操作パネルの「オンライン」キーを表しています。

■ イラスト内のキーやランプ表示について

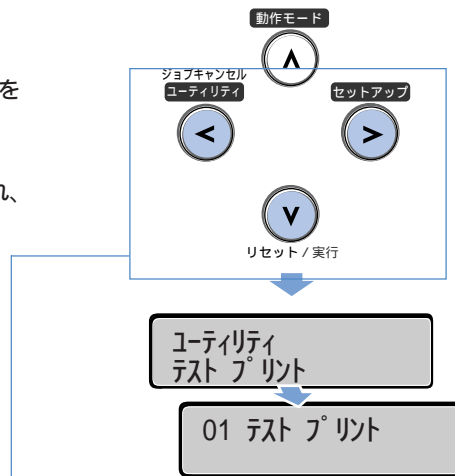
本書の説明文中に使用している操作パネルのイラストで、ランプの状態は次のように表しています。

■ 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。
Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版を Windows 95 と表記しています。
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を Windows 98 と表記しています。
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を Windows Me と表記しています。
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版を Windows NT と表記しています。
Microsoft® Windows® operating system を Windows と表記しています。
COLOR LASER SHOT LBP-2050 を LBP-2050、キヤノンレーザショット内蔵型プリントサーバ NB-4F をプリントサーバ NB-4F、と表記しています。

■ 操作手順について

本書の説明で、手順通りに操作していただきたいところには番号を表示しています。
必ず番号順に操作をしてください。
手順番号に続いて、具体的な操作方法や操作の結果を説明しています。

■ ディスプレイの表示について

操作の説明で、ディスプレイの表示と連動するところには、ディスプレイの画面例を表示しています。

■ プリンタドライバの画面について

操作の説明で、プリンタドライバの設定は、Windows 95/98/Me 用プリンタドライバ Version8.4x を例に記載しています。

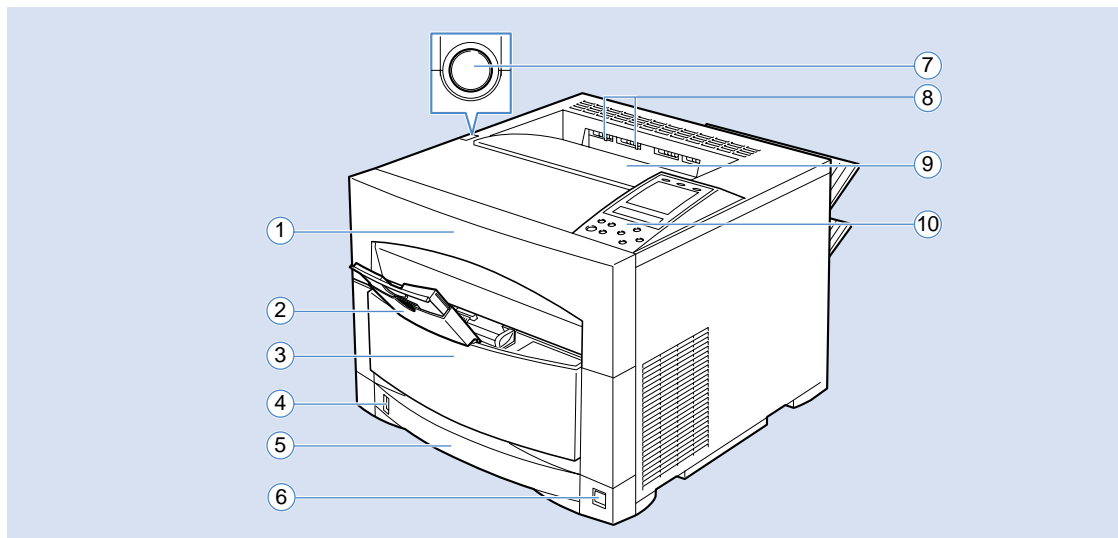
アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

プリンタ本体

■本体前面

①ドラムカートリッジカバー

内部にドラムカートリッジがセットされています。ドラムカートリッジを交換するときはここを引き出して作業します。**(→ P.160)**

②給紙トレイ(開いた状態)

カセットにセットできないサイズの用紙や OHP フィルム、封筒などをセットします。**(→ P.112)**

③中間転写体(ITB)ユニットカバー

内部に中間転写体(Intermediate Transfer Belt)ユニットがセットされています。中間転写体ユニットの交換や紙づまりを除去するときは、ここを引き出して作業します。**(→ P.169, 196)**

④用紙残量表示

給紙カセットにセットされている用紙の量が表示されます。

⑤カセット 1

A5 からリーガルまでの普通紙を最大 250 枚までセットできます。**(→ P.56)**

⑥電源スイッチ

プリンタの電源をオン/オフします。**(→ P.76)**

⑦オープンボタン

トナーカートリッジカバーのロックを解除します。ボタンを押すと、トナーカートリッジカバーが開きます。**(→ P.46, 150)**

⑧用紙積載センサー

排紙トレイの満載を検知します。**(→ P.104)**

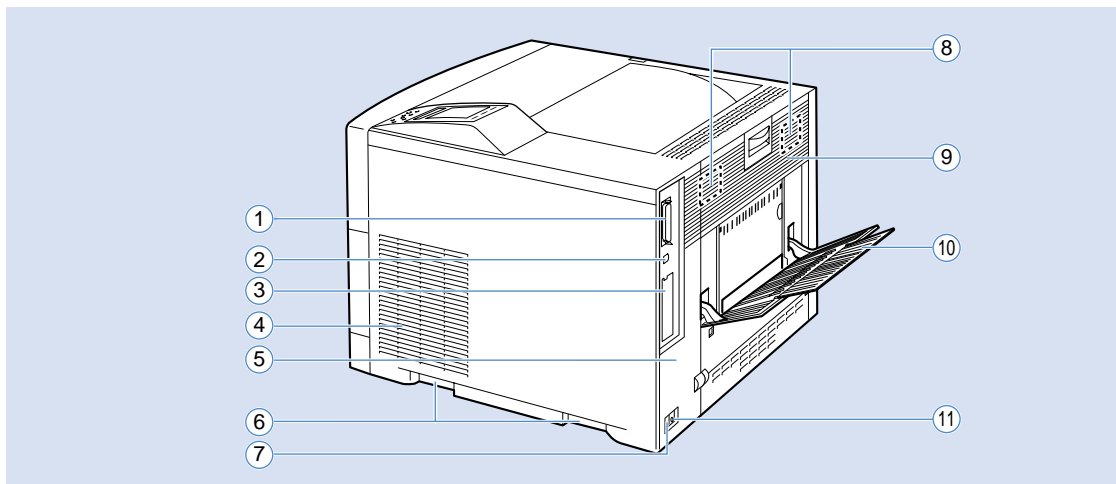
⑨トナーカートリッジカバー / 排紙トレイ

内部にトナーカートリッジがセットされています。トナーカートリッジの交換はここを開けて作業します。また、プリント面を下向き(フェースダウン)で排紙するときは、この上にプリントされた用紙が排紙されます。**(→ P.46, 102, 150)**

⑩操作パネル

プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。**(→ P.19)**

● 操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。

■ 本体背面

①パラレルコネクタ
セントロニクス準拠の双方向通信対応パラレルインタフェースです。パソコンのプリンタポートとこのコネクタをプリンタケーブルで接続します。**(→ P.60, 63, 65)**

②USB コネクタ
パソコンがUSBインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。
(→ P.62, 64)

③拡張ボードスロット
オプションの内蔵型プリントサーバなどをここへ取り付けます。**(→ P.274)**

④吸気口
プリンタ内部を冷却するための吸気口です。ここをふさがないように設置してください。

⑤定格銘板ラベル
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値（10.4A）は、最大消費電流です。**(→ P.34)**

⑥運搬用取っ手
プリンタを運ぶときにここを持ちます。
(→ P.35)

⑦電源コード差し込み口
電源を取るときに、付属の電源コードをここに接続します。**(→ P.42)**

⑧排気口
プリンタ内部を冷却するための排気口です。ここをふさがないように設置してください。排気口の内側にはエアフィルタが付いています。**(→ P.179)**

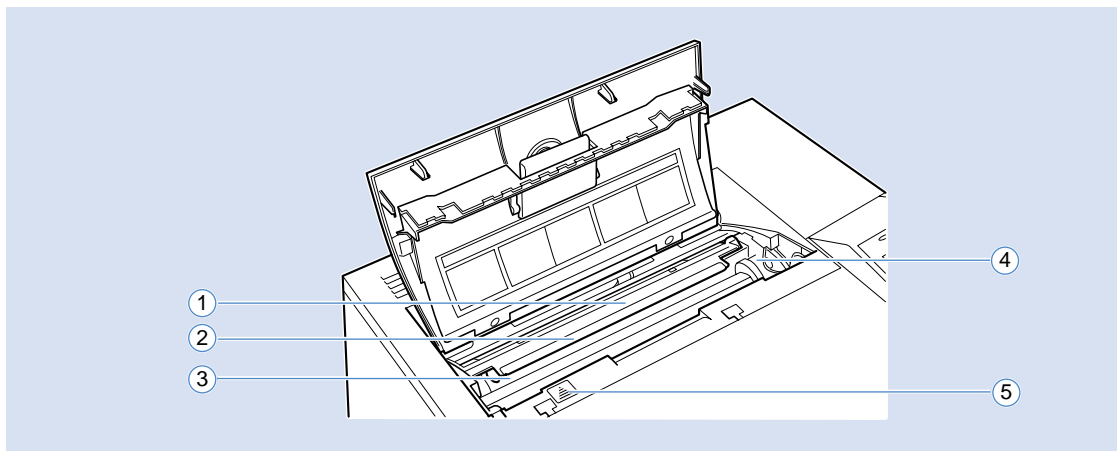
⑨後部カバー
紙づまりを除去するときはここを開いて作業します。**(→ P.206)**

⑩サブ排紙トレイ
プリント面を上向き（フェースアップ）で排紙するときはこのトレイを開きます。**(→ P.102)**

⑪アース線端子
アースを接続するときに、付属のアース線をここに接続します。**(→ P.42)**

注意

- **本体の排気口や吸気口を壁や物でふさがないように注意してください。本体の排気口や吸気口がふさがれると、本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。**

■ トナーカートリッジカバー内部

①トナーカートリッジ差し込み部カバー

トナーカートリッジを交換するときは、このカバーを開きます。**(→ P.48, 151)**

②カラーマーク

トナーカートリッジホルダの色が表示されています。この色に合ったトナーカートリッジをセットします。**(→ P.47)**

③トナーカートリッジ差し込み部

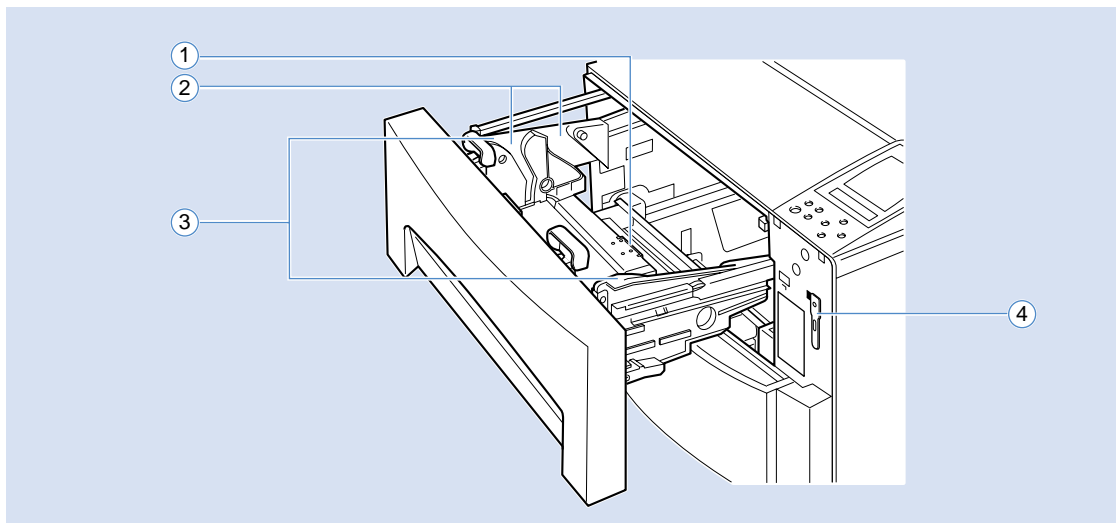
ここにトナーカートリッジをセットします。**(→ P.49)**

④トナーカートリッジホルダ

4色のトナーカートリッジを切り替える装置です。トナーカートリッジカバーを開閉すると、回転して次の色へ切り替わります。

⑤位置マーク

このマークとトナーカートリッジのマークを合わせてセットします。**(→ P.49)**

■ドラムカートリッジカバー内部

①濃度センサー

トナーの濃度を検出する重要な部品です。
(→ P.161)

②ドラムカートリッジガイド

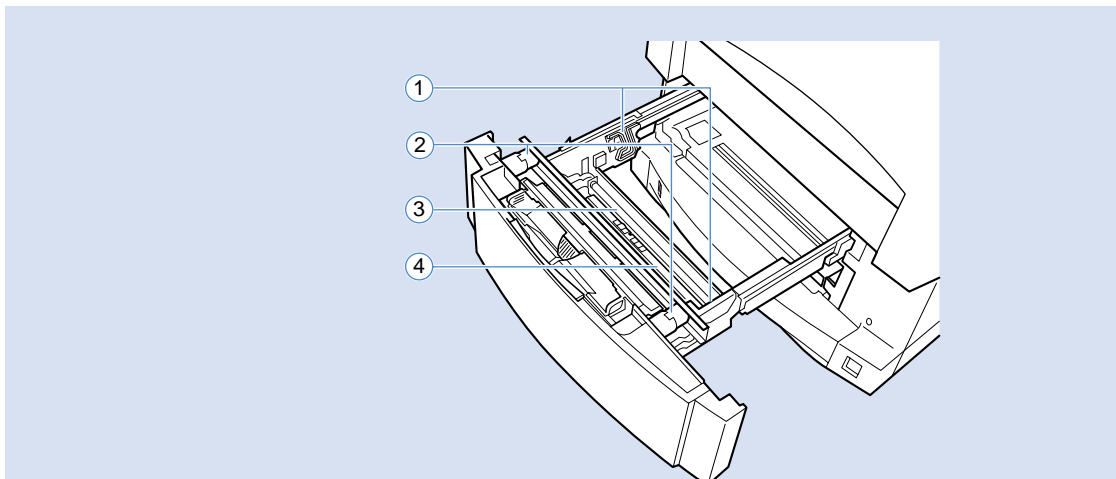
ドラムカートリッジをセットするときは、両端の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。
(→ P.163)

③ドラムカートリッジホルダ

ここにドラムカートリッジをセットします。

④濃度センサー清掃ブラシ

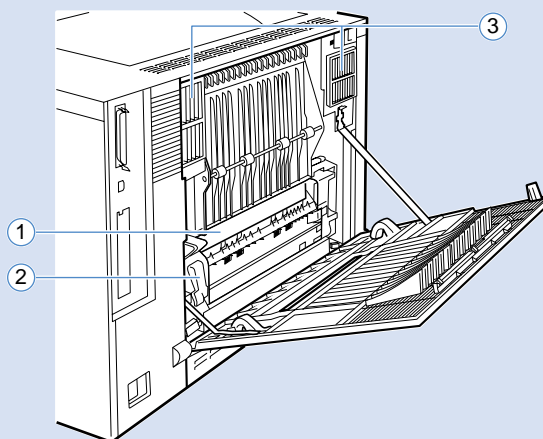
濃度センサーを清掃するためのブラシです。
(→ P.161)

■中間転写体ユニットカバー内部

①中間転写体ユニットガイド
このガイドに中間転写体ユニットを合わせてセットします。**(→ P.175)**

②中間転写体ユニット用ストッパ
中間転写体ユニットの位置を固定する部品です。

③搬送ローラ
用紙を送るための重要な部品です。**(→ P.171)**

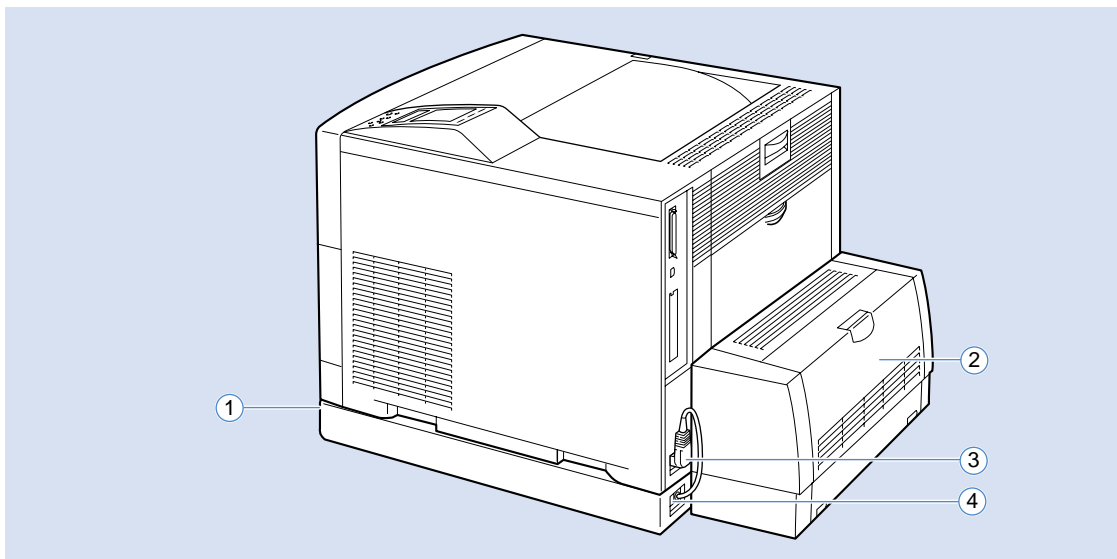
④搬送ガイド
用紙を送るための重要な部品です。**(→ P.171)**

■ 後部カバー内部

①定着器
トナーを用紙に定着させる装置です。

②排紙ガイドレバー
定着器の紙づまりを取り除くときは、このレバーを開いて取り除きます。**(→ P.208)**

③エアフィルタ
排気時トナーが飛び散るのを防ぐフィルタです。**(→ P.179)**

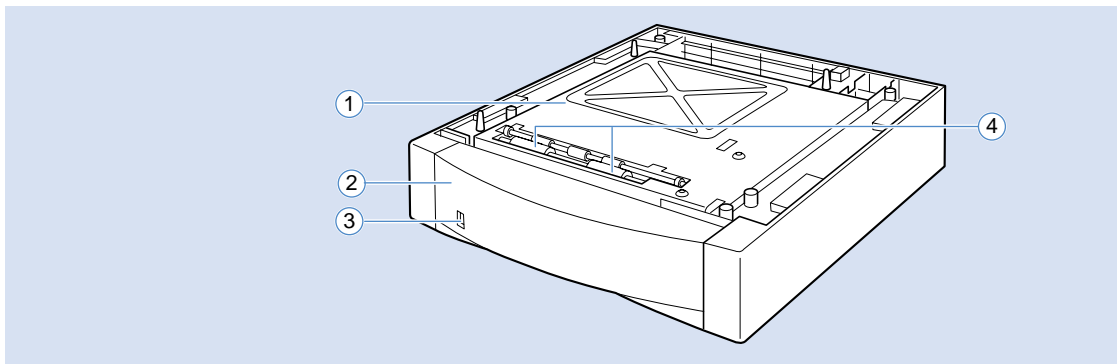
● **プリンタを使用した直後は、定着器が非常に高温になっています。本書で指示されている部分以外は、手を触れないでください。万一触れると、やけどなどの恐れがあります。**

両面ユニット

①紙づまり処理トレイ
紙づまりを除去するときはここを引き抜いて作業します。**（→ P.201）**

②両面ユニット上カバー
紙づまりを除去するときはここを開いて作業します。**（→ P.204）**

③両面ユニットルートケーブル
両面ユニット装着時は、プリンタ本体の電源コードを外し、このケーブルをプリンタ本体の電源コード差し込み口へ接続します。**（→ P.287）**

④両面ユニット電源コード差し込み口
取り外したプリンタ本体の電源コードをここへ接続します。**（→ P.287）**

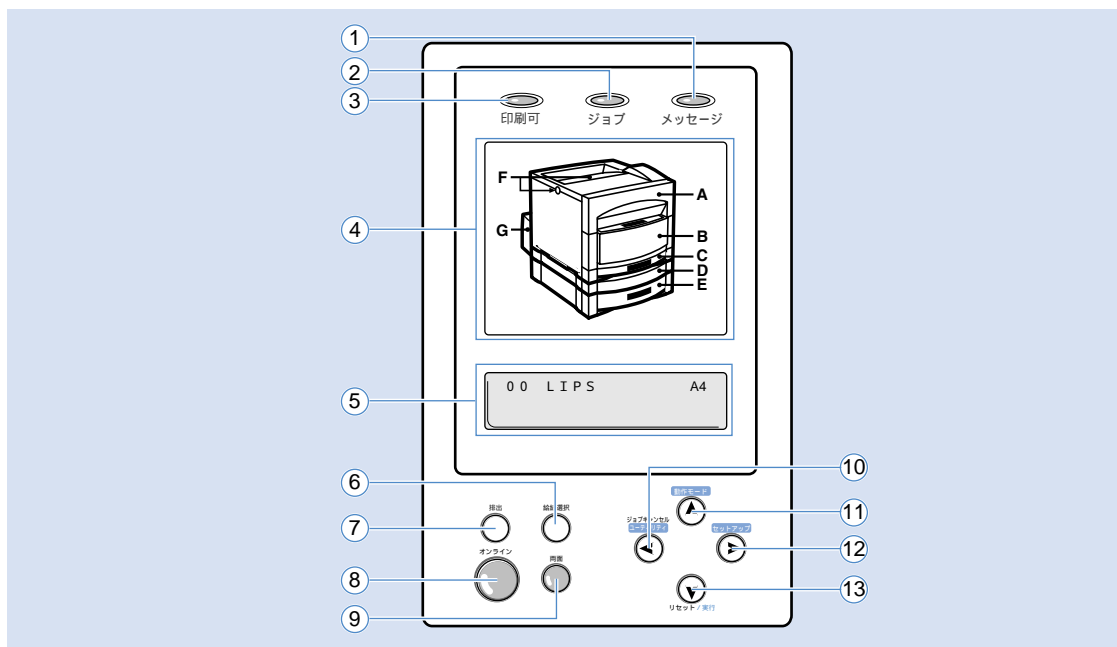
ペーパーフィーダユニット

①500 枚ペーパーフィーダ

②カセット 2（500 枚給紙カセット）
A5 からリーガルサイズまでの普通紙を最大 500 枚までセットできます。**（→ P.106）**

③用紙残量表示
給紙カセットにセットされている用紙の量が表示されます。

④給紙ローラ
用紙を搬送するための重要な部品です。

操作パネル

本体上面の操作パネルには、3つの表示ランプと給紙元表示ランプ、ディスプレイ、8つの操作キーがあります。これらの表示ランプ、操作キー、ディスプレイは、それぞれ次のような働きをします。

①メッセージランプ（オレンジ色）

点灯：　プリンタに何かトラブルが起こってプリントできない状態。
消灯：　プリンタが正常な状態。

● オフラインでスリープモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。

②ジョブランプ（緑色）

点灯：　プリントデータ受信中または、プリンタのメモリにプリントデータが残っている状態。
点滅：　プリントデータを処理している状態。
消灯：　プリンタのメモリにプリントデータが何もない状態。

③印刷可ランプ（緑色）

点灯：　プリント可能な状態。
点滅：　自己診断中または、ウォーミングアップ中。
消灯：　プリントできない状態。

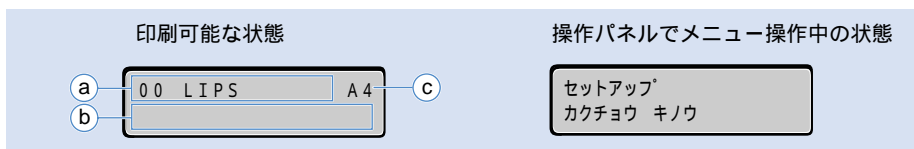
● オンラインでスリープモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。

④表示パネル／給紙元表示ランプ（緑色）

各カバーの位置を示す記号（A～G）が表示されています。紙づまりが起こったときは、ディスプレイに表示された記号の示すカバーを点検し、つまった用紙を取り除きます。
記号は、次のカバーを示しています（A：ドラムカートリッジカバー、B：中間転写体ユニットカバー、C：カセット1、D：紙づまり処理トレイ、E：ペーパーフィーダユニット、F：トナーカートリッジカバー、G：両面ユニット上カバー）。

また、表示パネル内には、給紙元表示ランプ（上：給紙トレイ、中：カセット1、下：カセット2）があり、次の状態を示します。
点灯：　現在選択されている給紙元のランプが点灯します。
点滅：　現在選択されている給紙元の用紙がない、またはカセットが装着されていない状態。
消灯：　現在選択されていない状態。

⑤ディスプレイ

プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

ⓐ プリンタの状態や動作モードを表示します。
ⓑ 警告メッセージや処理メッセージを表示します。
ⓒ 現在選択されている給紙元の用紙サイズを表示します。次の用紙は略号で表示されます。
（レター：LT、リーガル：LG、エグゼクティブ：EX、フリー：FR、ハガキ：HG、洋形4号封筒：Y4、ユーザペーパー：80～99）

⑥（給紙選択）キー

オフライン時：　給紙選択メニューを表示します。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。
給紙選択ﾒﾆｭｰ時：給紙元、トレイ用紙サイズ、トレイ用紙タイプの設定が順に切り替わります。
給紙元の設定値：自動→カセット1→カセット2（オプション取付時）→給紙トレイの順で切り替わります。
トレイ用紙サイズの設定値：
A4→LT→LG→EX→フリー→ユーザペーパー→ハガキ→封筒Y4→A5→B5の順で切り替わります。**（→ P.122）**
トレイ用紙タイプの設定値：
普通紙→厚紙→OHP→光沢フィルム→フリーの順で切り替わります。
選択されている設定値は、給紙元表示ランプおよびディスプレイで確認できます。
（リセット／実行）（∨）キーまたは（オンライン）キーを押すと、設定値が変更されます。**（→ P.125）**

メモ

● 給紙元の選択は、（給紙選択）キーを押すことでも切り替え可能です。（オンライン）キーを押すと、給紙元が変更されます。

⑦ 排出 キー

オフライン時：　プリンタのメモリに残っているプリントデータを強制的にプリントし、ジョブを終了させせます。メモリのデータを強制的にプリントしているときは、「05 ハイシチュウ」とディスプレイに表示されます。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。

何らかの原因でプリントデータが途中で途切れたり、プリントが中断したりしたような場合、ジョブランプが点灯したままプリンタが停止してしまうことがあります。このようなときに 排出 キーでメモリに残っているデータを強制的にプリントします。メモリにデータが残っていない場合は、実行中のジョブを終了します（ジョブランプ消灯）。**（→ P.212）**

⑧ オンライン キー

パソコンとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。他のキーを操作するときには、このキーを押して、オフラインにします。また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除してプリントを続行させる機能も持っています。
キー内部にオンラインランプがあり、点灯により次の状態を表示します。
点灯：オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）。
点滅：オンラインからオフラインへ切り替え途中の状態。自己診断中。ウォーミングアップ中。
消灯：オフライン状態（パソコンからのプリントデータを受信せず、操作パネルのキー操作を受け付ける状態）。

● エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。
● プリンタがスリープモードに移行しているときは、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみ点灯します。**（→ P.77）**

⑨ 両面 キー／両面ランプ

オフライン時：　両面プリントと片面プリントを切り替えます。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：メニュー操作中は動作しません。
キー内部に両面ランプがあり、点灯により次の状態を表示します。
点灯：　両面プリントに設定されている状態。
消灯：　片面プリントに設定されている状態。

● オプションの両面ユニットが装着されていない場合は、両面 キーを押しても両面ランプは点灯しません。

⑩ ユーティリティ／ジョブキャンセル （<）キー

オフライン時：　ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。**（→ P.214）**
ジョブランプ消灯時はユーティリティメニューを表示します。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：メニューの左側の項目を表示します。設定値を減らします。

⑪ （動作モード）（∧）キー

オフライン時：　動作モードメニューを表示します。3 秒以上押し続けると優先エミュレーションメニューを表示します。（→ LIPS 機能ガイド）

オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

⑫ （セットアップ）（>）キー

オフライン時：　セットアップメニューを表示します。

オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：メニューの右側の項目を表示します。設定値を増やします。

⑬ （リセット／実行）（∨）キー

オフライン時　：１秒以上押し続けると、ソフトリセットを行います。**（→ P.216）**
５秒以上押し続けると、ハードリセットを行います。**（→ P.218）**

オンライン時　：オンラインの状態では動作しません。

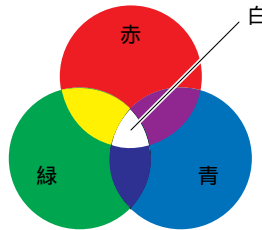
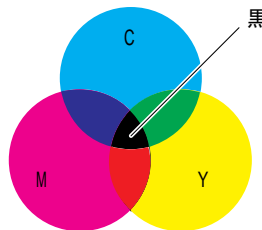
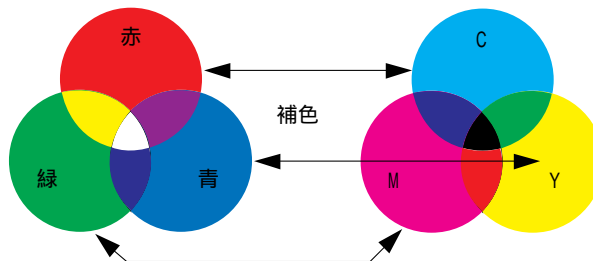
メニュー操作時：次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニューでは、設定値を確定します。

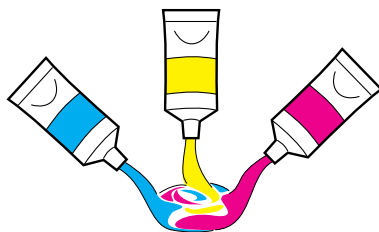
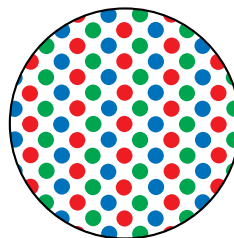
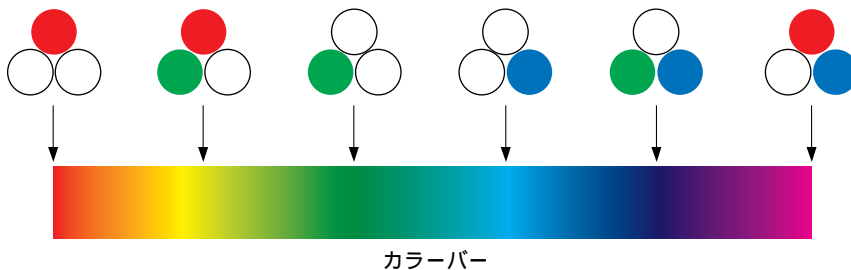
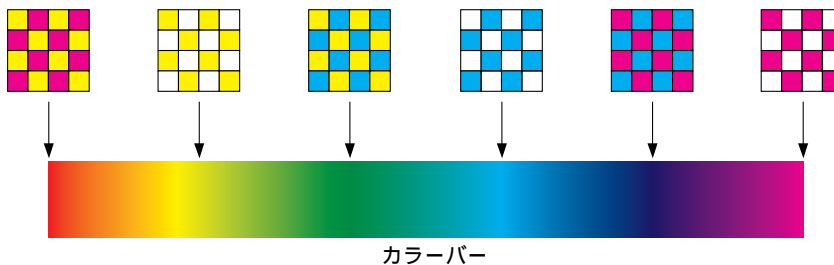
お願い

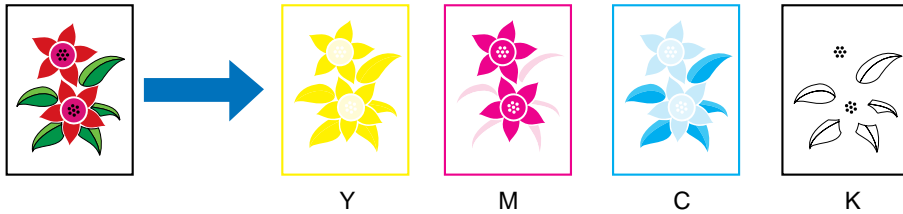
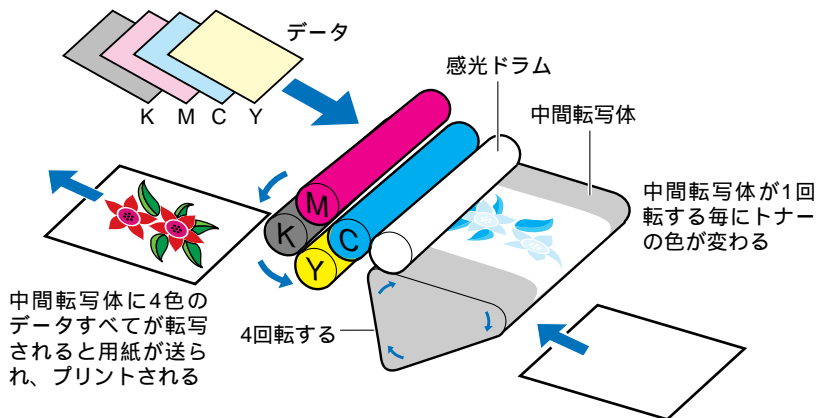
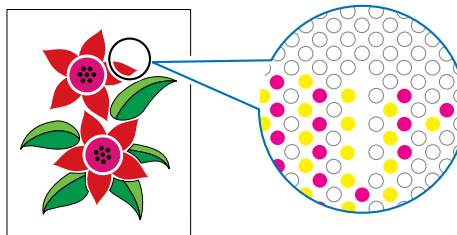
● パソコン側でプリントをキャンセルしたときは、操作パネルでソフトリセットの操作を行い、プリンタのメモリに残っている不要なデータを消去してください。

カラープリントのしくみ

光の 3 原色と色の 3 原色

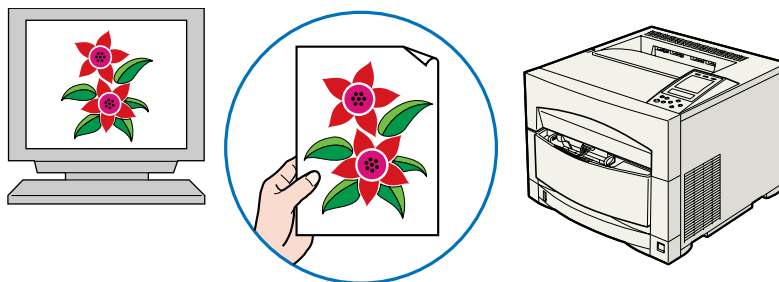
パソコンのディスプレイなどで見える色は、赤、緑、青の光の3原色で表現されます。光の3原色は、赤と緑と青の3色をすべて混合すると白になります（加法混色）。

カラープリンタは、光の3原色ではなく、絵の具などと同じ色の3原色で色を表現します。色の3原色は、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）で、3色をすべて混合すると黒になります（減法混色）。

そして、光の3原色と色の3原色は、互いに補色の関係になっています。
光の赤は色のシアンと、緑はマゼンタと、青はイエローと補色関係です。

色を表現する方法

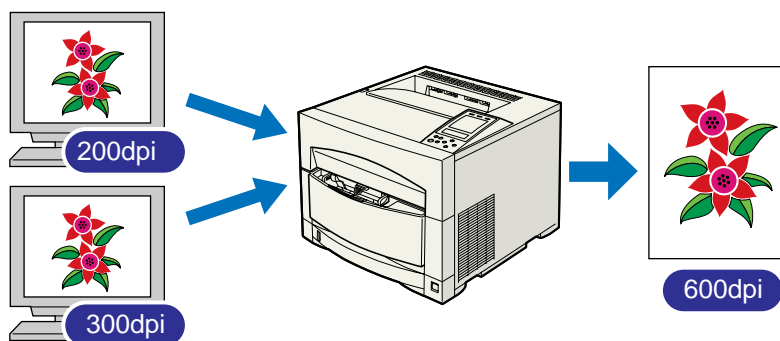
絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせます。ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように混ぜ合わせることができませんので、色の点の集まりで色を表現します。

ディスプレイの場合、R（赤）、G（緑）、B（青）の3つの点の光の強弱でいろいろな色を表現します。

プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点を使い、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）にK（ブラック）を加えた色の組み合わせでいろいろな色を表現します。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。

カラープリントのしくみ

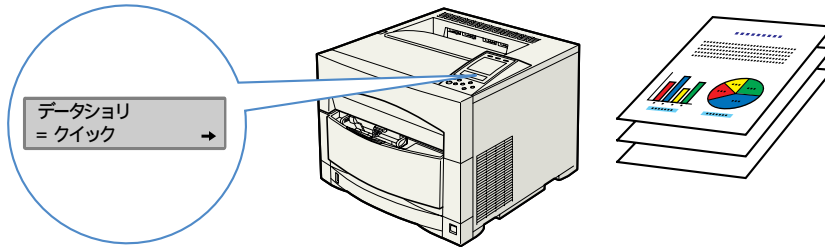
カラープリンタは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、Kの4色に分解されます。

そして、これらのデータを1色ずつトナーを変えながら感光ドラムにトナーが現像され、中間転写体に転写されます。

4色すべてのデータが転写されると、用紙にプリントされて定着器を通り、排紙されます。

より美しく快適にカラープリントするために

カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、プリントに長時間かかったりしたのではプリンタの能力も半減です。ちょっとした調整や気遣いで、プリンタの能力を100%活用しましょう。

■ ディスプレイの色補正をする

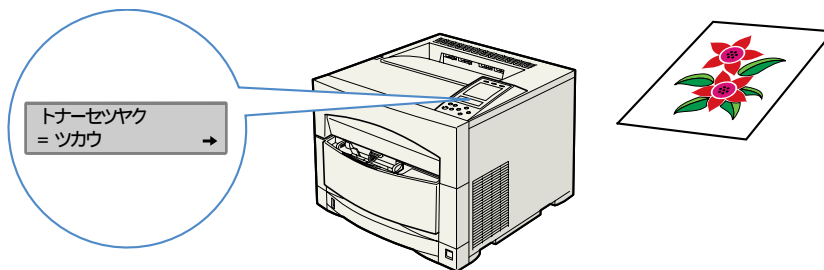
ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイに見えている色を基準にカラープリントをしても、ディスプレイの表示色が狂っていると、プリントの色とは違ってきます。アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、ディスプレイの表示色とプリントの色が同じになるように補正します。

■ 解像度を合わせる

プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。データの解像度が高すぎると、データの容量も大きくなるばかりでなく、プリント処理にも時間がかかります。逆に、データの解像度が低すぎると十分な画質が得られません。
画像処理のアプリケーションソフトなどで、プリントするデータの寸法や解像度を調べ、プリントするサイズで300または200dpiになるように解像度を設定しておきます。

■ プリントの内容に応じてプリントモードを選択する

文章や簡単な図形が中心の報告書やプレゼン資料、カラーを使っていないモノクロのデータなど高画質を必要としない文書は、階調処理を「標準階調」またはデータ処理解像度を「クイックモード」でプリントします。これらのモードに切り替えることにより、高速にプリントできます。
カラー写真や複雑なイラストなどをきれいにプリントするときは、ファインモードで高画質プリントします。データに応じてモードを使い分けることで、効率的にプリントできます。

メモ

● クイックモード、およびファインモードの設定方法については、LIPS機能ガイド 第３章「4　印字調整グループの設定項目」をご覧ください。

■ 文字やレイアウトの確認は省トナーモードを利用する

原稿の内容やレイアウトのチェックをするとき、プリントの文字や配置だけわかればよい場合は、「省トナーモード」でプリントします。「省トナーモード」でプリントすることで、トナーの消費を大幅に節約できます。

メモ

● 省トナーモードの設定方法については、LIPS 機能ガイド　第３章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。

第 1 章

設置前の準備

設置場所を決める

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、十分なスペースが確保でき、風通しがよく平坦で水平な、プリンタ重量に耐えられる十分な強度のある場所を選んで設置してください。

- **本プリンタを設置する前に付属の「⚠安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。**
- **本プリンタおよびオプションの重量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）に設置することは避けてください。**

設置場所の環境について

■設置場所の温度／湿度条件

温度、湿度が以下の範囲内の場所でご使用ください。

- **周囲温度：10 〜 30℃**
- **周囲湿度：20 〜 80%RH（結露のないこと）**
- **本プリンタのある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低い所から高い所へ移動した場合、プリンタ内部に水滴が生じる（結露現象）ことがあります。このような場合、本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、１時間以上放置してからご使用ください。**
- **プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起り、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。また、「5F-nnサービスコール」というメッセージ（→ P.239）が表示され、プリント処理が停止してしまうことがあります。**

- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

■電源環境

本プリンタの最大消費電力は、930W*以下（AC100V ± 10%,50/60Hz ± 2Hz）です。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因となることがあります。電源を取るときは、次のような点にご注意ください。

- **必ず 15A 以上の電源コンセントから、プリンタの電源をお取りください。**
- **一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。**
- **パソコン本体の補助電源コンセントから電源を取らないでください。**
- **複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じ電源コンセントから電源を取らないでください。**

お使いの電源について不明な場合は、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

*注：フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

警告

- **感電防止のため、必ずアース線を専用のアースに接続してください。なお、アース線は絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などには接続しないでください。感電の原因になります。**

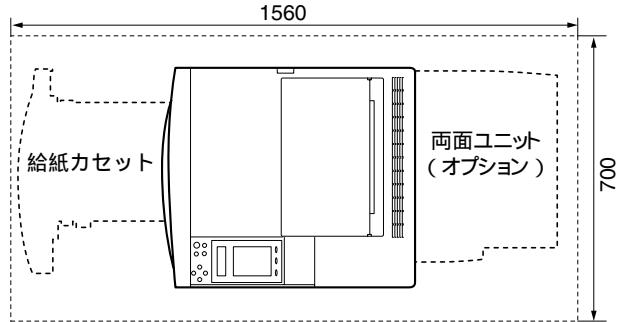
■設置環境

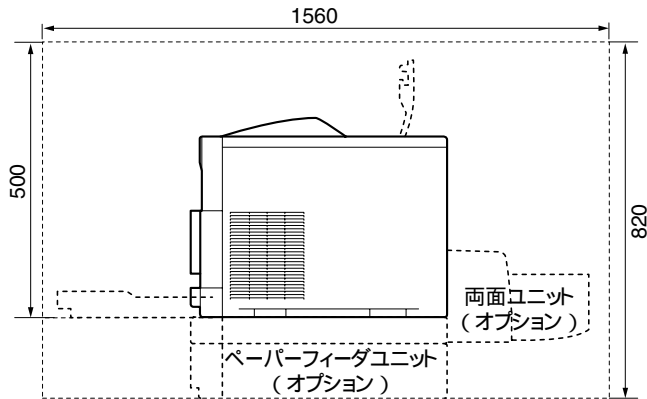
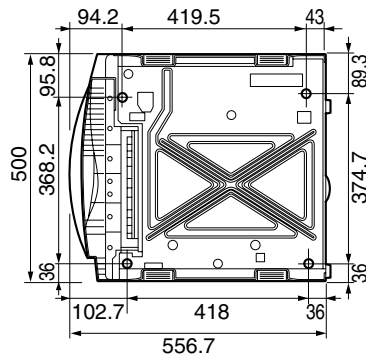
本プリンタは次のような場所に設置しないでください。思わぬ火災や故障の原因となることがあります。

- **直射日光が当たる場所や高温な場所**
- **急激な温度変化や湿度変化がある場所**
- **風通しの悪い場所**
- **火気や水気のある場所**
- **振動がある場所**
- **ほこりが多い場所**
- **磁気や電磁波を発生する機器の近く**
- **実験室など、化学反応を起こすような場所**
- **空気が塩分や、毒性のガスを含んでいるような場所**

設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んでください。各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。（単位はmm）

■周囲に必要な寸法

●上から見た図

●横から見た図

■足の位置

●ゴム足の高さは5.5mm、先端の直径は18mmです。

パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかどうか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください。

プリンタ本体（給紙カセットが取り付けられています。）

エンジンキット

トナーカートリッジ×４（C,M,Y,K）

電源コード

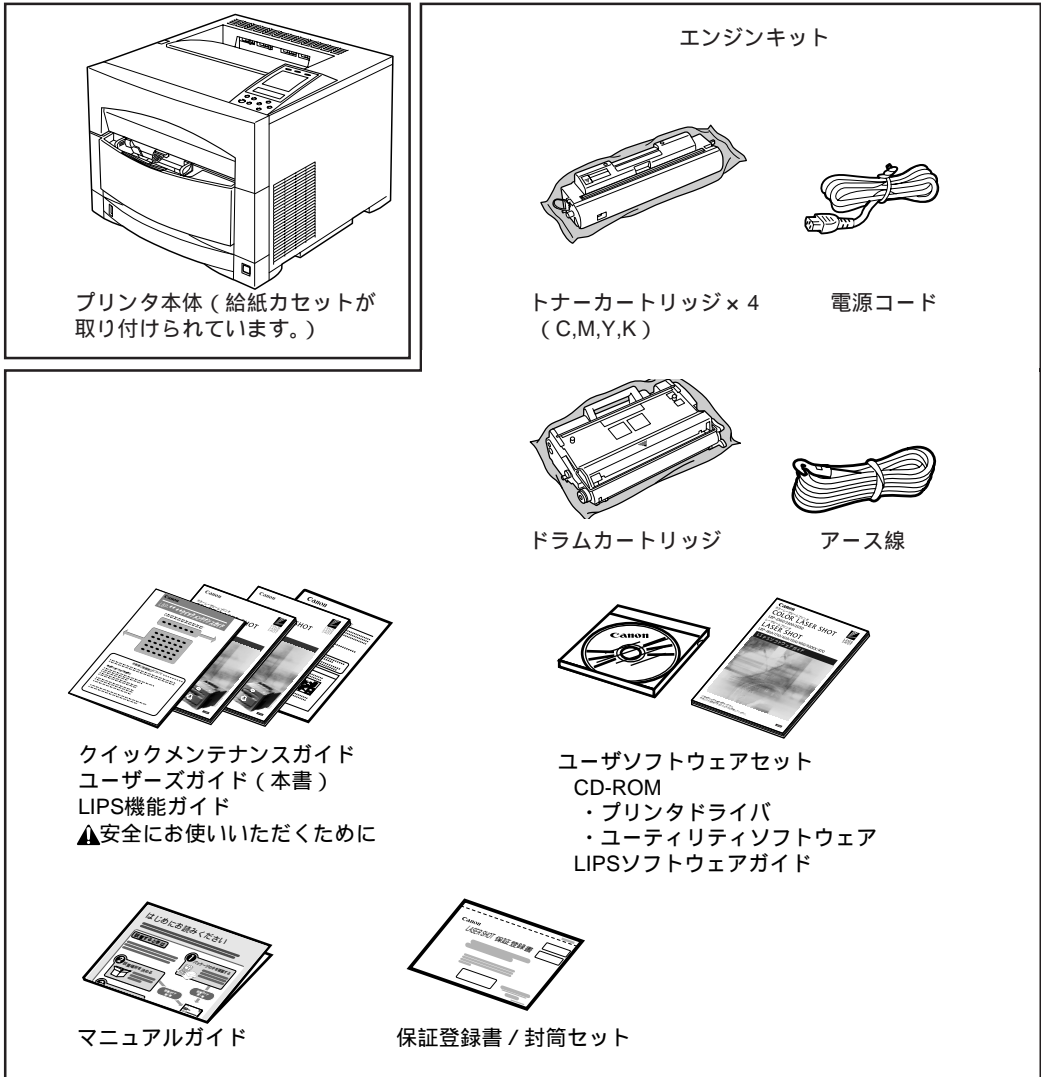
ドラムカートリッジ

アース線

クイックメンテナンスガイド
ユーザーズガイド（本書）
LIPS機能ガイド
⚠安全にお使いいただくために

ユーザソフトウェアセット
■CD-ROM
・プリンタドライバ
・ユーティリティソフトウェア
■LIPSソフトウェアガイド

マニュアルガイド

保証登録書／封筒セット

メモ

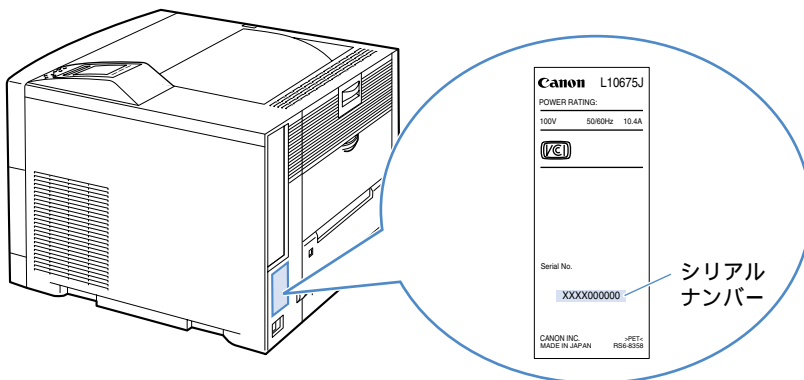
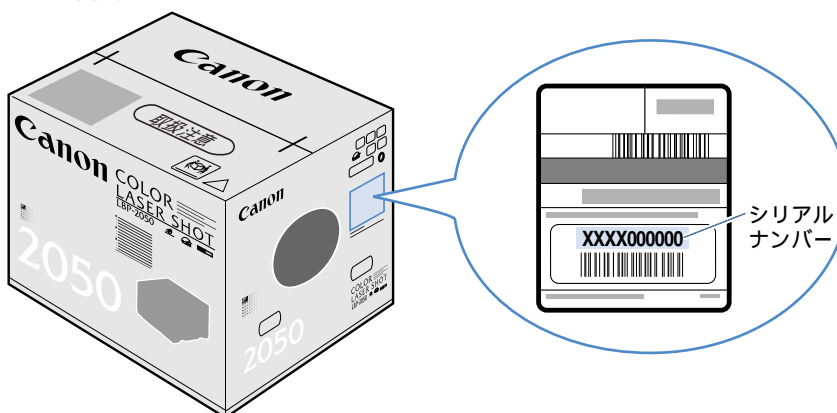
- 本プリンタのパッケージは、プリンタ本体と消耗品などが入っているエンジンキットの２つで構成されています。
- インタフェースケーブルは、同梱されていません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守やサービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

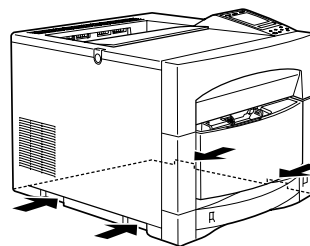
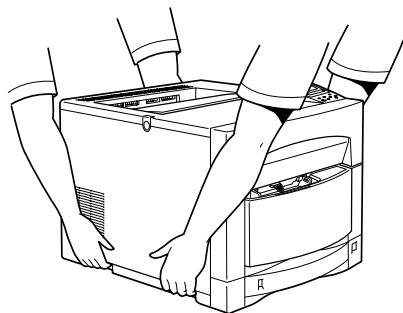
お願い

● シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

●本体背面

●パッケージ側面

正しい持ち運びかた

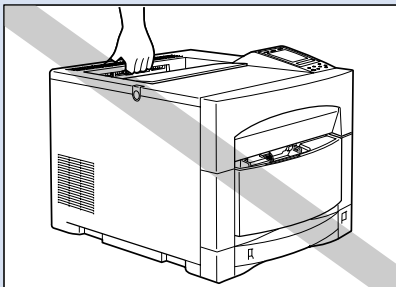
本プリンタを初めて使用するときは、梱包材の取り外しやトナーカートリッジのセット、用紙のセットなどの作業が必要です。本プリンタを正しく持ち、作業しやすい場所へ移動してから作業を行ってください。梱包材を取り外す時は、第2章「梱包材を取り外す」(→ **P.38**)を参照してください。

1

図のように本体左右の運搬用取っ手に手を掛け、2人で持ち運びます。

運搬用取っ手の位置

注意

● 本プリンタは、本体のみで約 48kg（全カートリッジ装着状態では約 53kg）あります。必ず2人以上で、腰などを痛めないよう十分に注意して持ち運んでください。（トナーカートリッジ（K）は約0.92kg、トナーカートリッジ（Y、M、C）は約0.77kg、ドラムカートリッジは約 1.4kg、オプションの両面ユニットは約 13kg、ペーパーフィーダユニットは約 10kg です。）
● 絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。指示以外の部分を持つと、落下してけがの原因になることがあります。

お願い

● 給紙トレイやサブ排紙トレイを閉じてから持ち運んでください。開いたまま運ぶと破損の原因となります。
● 装備しているオプションは、すべて取り外して持ち運んでください。

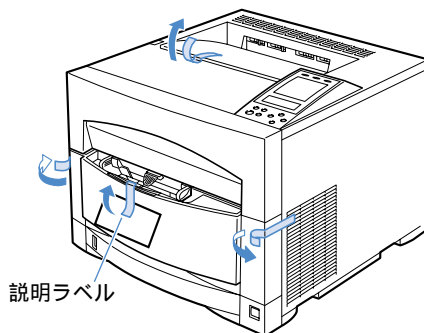
第 2 章

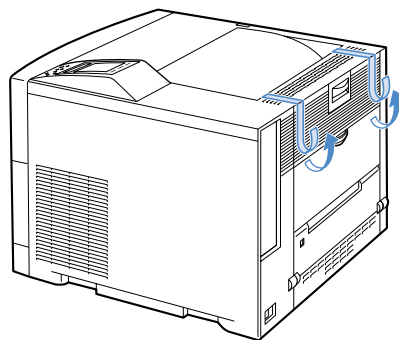
設置のしかた

梱包材を取り外す

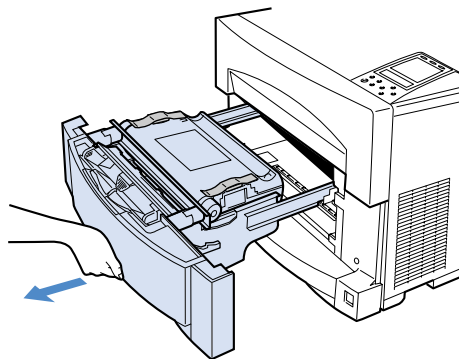
本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るためにテープや梱包材が取り付けられています。設置場所へ運んだら、これらの梱包材を取り外してください。

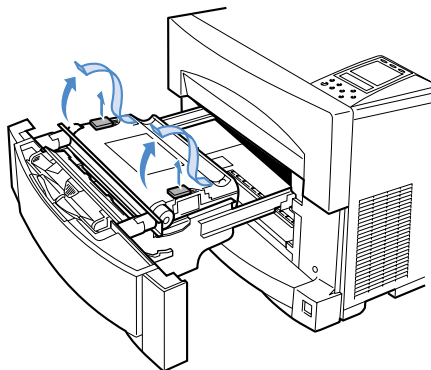
1

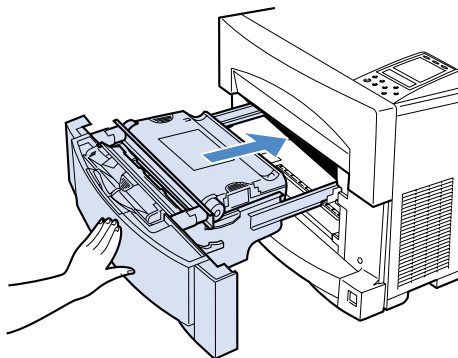
トナーカートリッジカバーや中間転写体ユニットカバー、給紙トレイを止めているテープ、説明ラベルを取り外します。

2

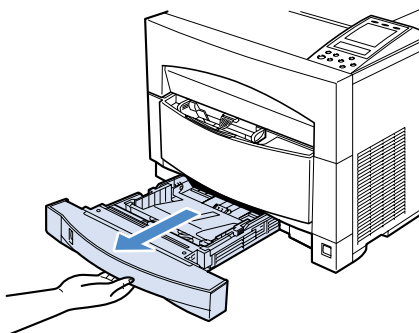
後部カバーを止めているテープを取り外します。

3

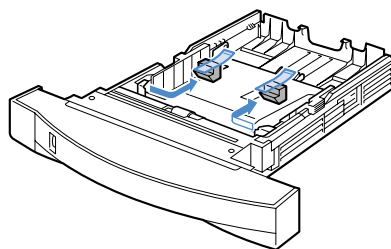
中間転写体ユニットカバーの取っ手に手をかけ、内側のロック解除レバーを引いて引き出します。

中間転写体ユニットカバーは、いっぱいまで引き出してください。

4

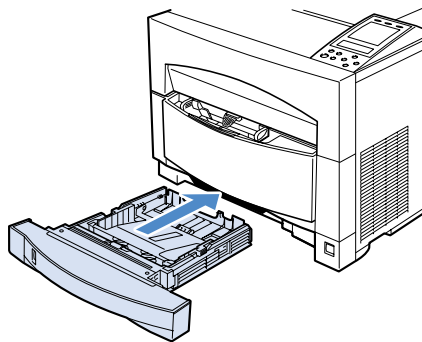
中間転写体ユニットを止めているテープと梱包材を取り外します。

5

中間転写体ユニットカバーを閉じます。

6

給紙カセットの取っ手に手をかけて途中まで引き出し、両手に持ち変えて引き抜きます。

7

給紙カセット内部のテープや梱包材を取り外します。

8

給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、ゆっくりと差し込みます。

お願い

- **本体内部に梱包材が残っていると、プリント動作時に印字不良やプリンタ損傷の原因となりますので、必ず残さずに取り外してください。**
- **取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。無くさないように保管しておいてください。**

電源コードを接続する

電源コードとアース線を接続します。接続する際には付属の「⚠安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

警告

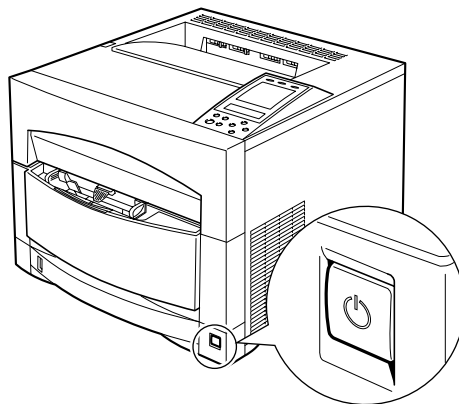
● **次のことを必ず守って取り扱ってください。指定された条件以外で使用すると、火災や感電の原因となります。**
- **本プリンタの電源電圧や周波数の許容範囲は、AC100V ± 10%（50/60Hz ± 2Hz）です。最大消費電力は、930W* 以下（* 注：フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値）です。**
- **必ず 15A 以上の電源コンセントから、プリンタの電源をお取りください。**
- **一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。**
- **感電防止のため、必ずアース線を専用のアースに接続してください。なお、アース線は絶対にガス管や水道管、電話線のアース線、避雷針などには接続しないでください。感電の原因になります。**

お願い

● **アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続を行ってください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。**

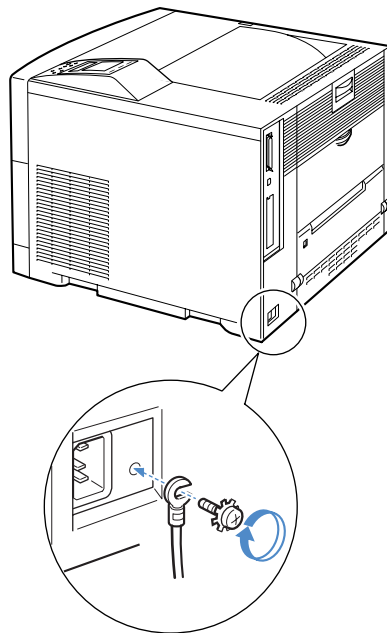
1

プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

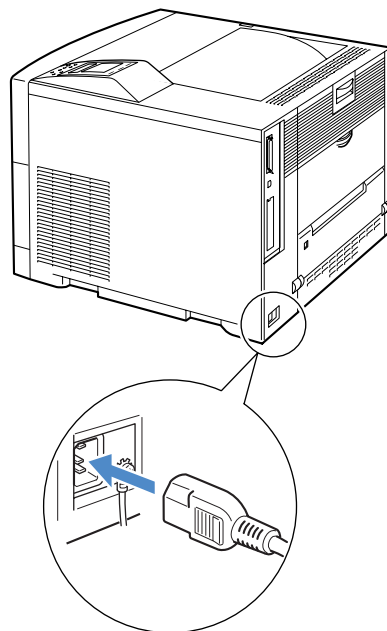
電源スイッチは飛び出した状態になっています。

2 第2章 設置のしかた

2

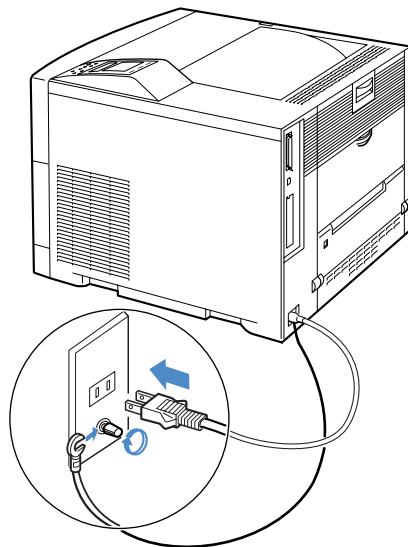
アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

お願い

- アース線が、電源コード差し込み口にかからないようにアース線の向きに注意してください。

3

電源コード差し込み口に､付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

4

電源コードを電源コンセントに、アース線を専用のアース線端子に接続します。

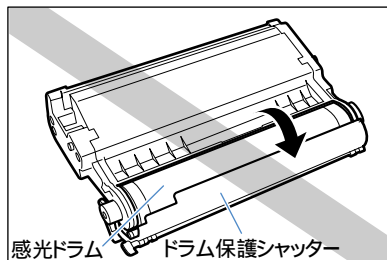
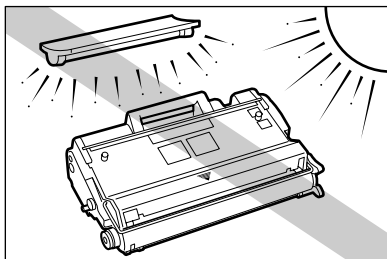
注意

● 必ず、アース線を接続してください。アース線が接続されていないと、万一漏電した場合、感電の原因となることがあります。

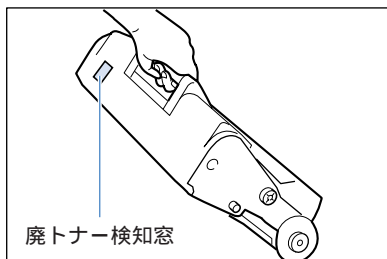
カートリッジをセットする

本プリンタは、工場出荷状態ではトナーカートリッジやドラムカートリッジは取り付けられていません。本プリンタを初めて使用される場合、必ずエンジンキットに同梱されているK（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）の4色のトナーカートリッジ、およびドラムカートリッジを取り付けてください。
トナーカートリッジやドラムカートリッジは精密な機構の部品で構成されています。また、ドラムカートリッジは光に対して非常に敏感です。必ず取り扱いの注意を守ってください。

お願い

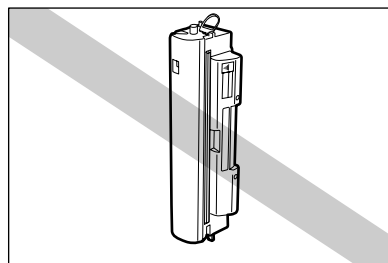
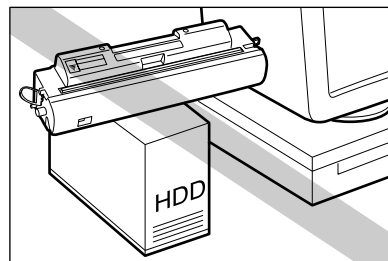
ドラムカートリッジを取り扱う際には、次の点に注意してください。

- **新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。**
- **メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかにカートリッジが入っていた保護袋などに入れ、取り扱いには十分注意してください。**
- **ドラムカートリッジを立てたり、裏返したりしないでください。必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。**
- **ドラムカートリッジ内部の感光面を手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたりしないでください。**
- **絶対にドラム保護シャッターを開けないでください。感光ドラムの品質劣化の原因となります。**

- **ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光（1500ルクス以上）に当てないでください。**

- **ドラムカートリッジの廃トナー検知窓は、絶対に触らないでください。万一触ってしまった場合は、乾いた柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。**

注意

- 万一、手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなる恐れがあります。

お願い

トナーカートリッジを取り扱う際には、次の点に注意してください。

- 必ず本プリンタに付属、または専用のトナーカートリッジを使用してください。
- 新品のトナーカートリッジは､実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、パッケージに使われていた保護袋に入れて保管してください。
- トナーカートリッジを立てたり、裏返したりしないでください。必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。

- K（ブラック）トナーカートリッジは磁気製品です。データを破損する恐れがありますので､ディスプレイやパソコン本体､フロッピーディスク、ディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。

トナーカートリッジの取り付け

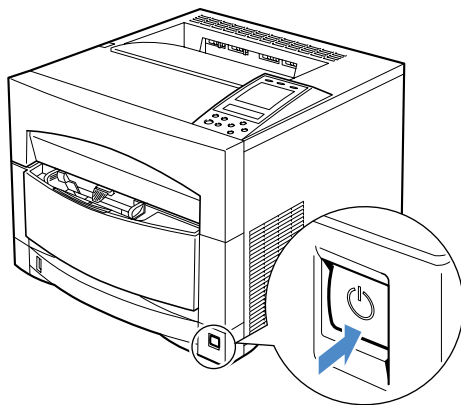
本プリンタに同梱されているC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のカラートナーカートリッジは、次の手順で取り付けます。
各トナーカートリッジは、それぞれ同じ手順で取り付けてください。

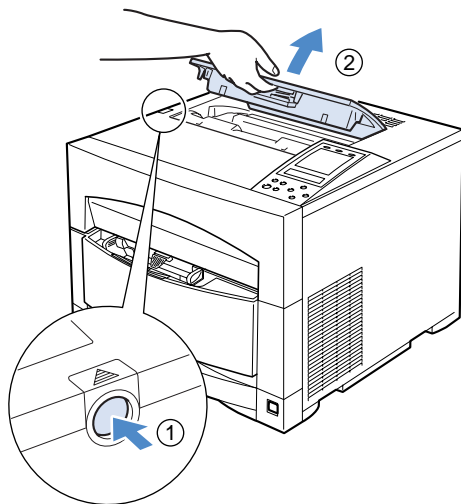
お願い

● トナーカートリッジの交換は、必ず電源がオンの状態で行ってください。電源がオフのときに、トナーカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジホルダが動いてトナーカートリッジを取り出したり、セットしたりできなくなります。

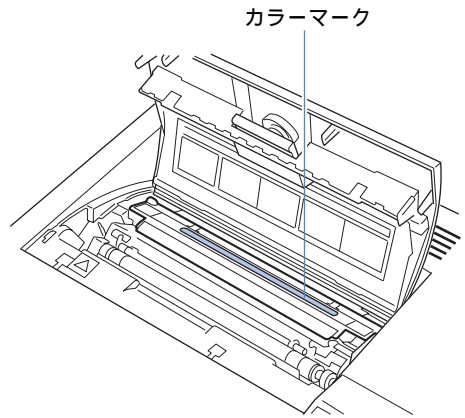
1

電源スイッチをオンにします。

ディスプレイ上段に「E2 ドラム ユニットチェック」のメッセージが表示されますが、そのまま手順***2***へ進んでください。

2

オープンボタンを押して①、トナーカートリッジカバーを開きます②。

3

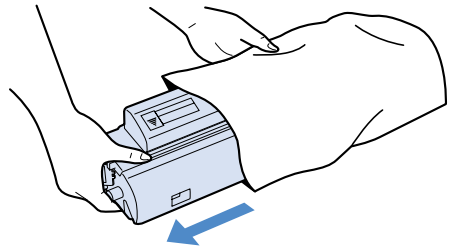
トナーカートリッジ差し込み部カバーのカラーマークの色を確認します。

他の色に替えるときは、いったんトナーカートリッジカバーを閉じます。「X トナー イドウチュウ」のメッセージが表示された後に「トナー トリダシイチ X」が表示され、カバーを開くと次の色に替ります。セットする色になるまでこの操作を繰り返します。

お願い

- **トナーカートリッジホルダの回転中は、トナーカートリッジカバーを絶対に開かないでください。途中で開いてしまった場合は、エラーメッセージが表示されます。いったん電源をオフにしてトナーカートリッジカバーを閉じてから、電源をオンにして操作をやりなおしてください。**
- **必ずトナーカートリッジの色とトナーカートリッジ差し込み部カバーのカラーマークの色を合わせて取り付けてください。違う色のトナーカートリッジをセットすることはできません。**

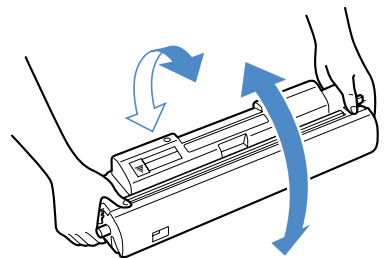
4

トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

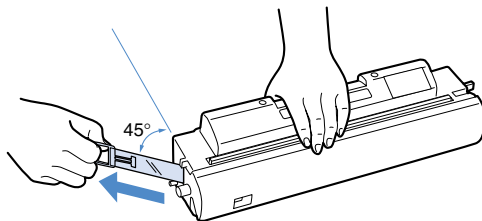
お願い

- **トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。**

5

トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って内部のトナーを均一にならします。

お願い

- **トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。**

6

トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらシーリングテープを引き抜きます。

シーリングテープは、タブに指を掛け、真横から斜め手前45°方向に引き抜きます。

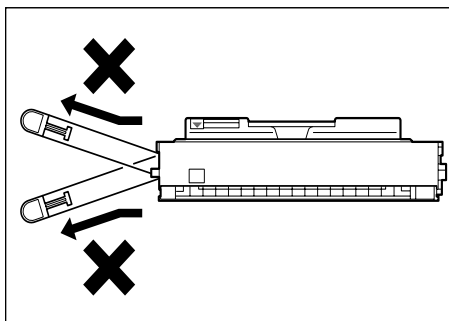
注意

● 万一、手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなる恐れがあります。

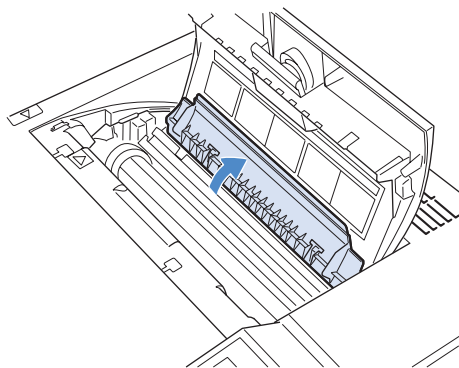
お願い

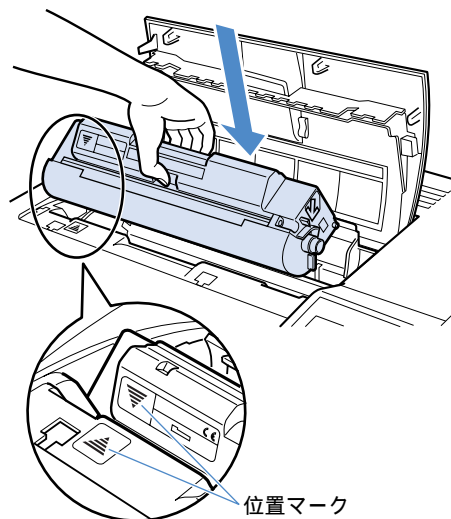
● 上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

● シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。

● シーリングテープを抜き取ったトナーカートリッジは絶対に振らないでください。

● シーリングテープ引き抜くときは、カートリッジシャッターを手で押さえつけないように十分注意して作業を行ってください。

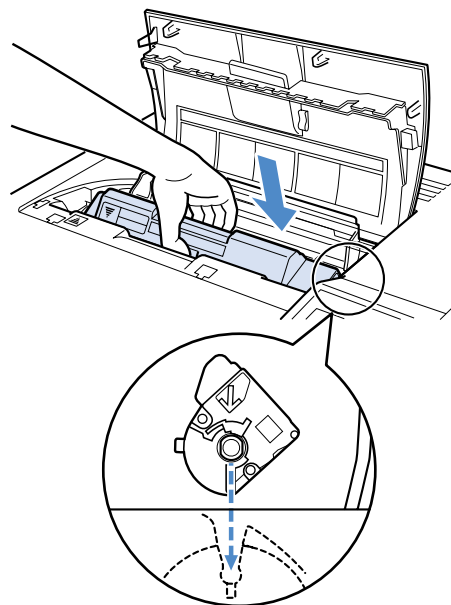
7

トナーカートリッジ差し込み部カバーを開きます。

8

トナーカートリッジ上部の位置マークとトナーカートリッジカバー内の位置マークを合わせます。

9

トナーカートリッジをトナーカートリッジ差し込み部のガイドに合わせて垂直にゆっくりと差し込みます。

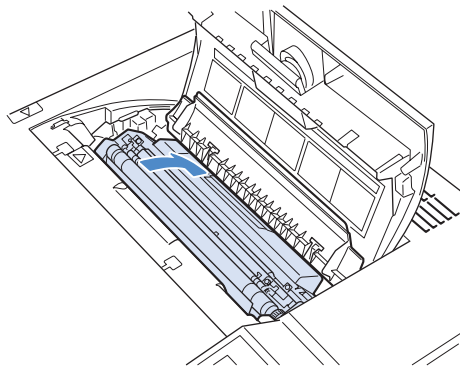
トナーカートリッジは奥に突き当たるまで、しっかりと押し込んでください。

お願い

●無理に強い力を加えないでください。故障の原因となる場合があります。

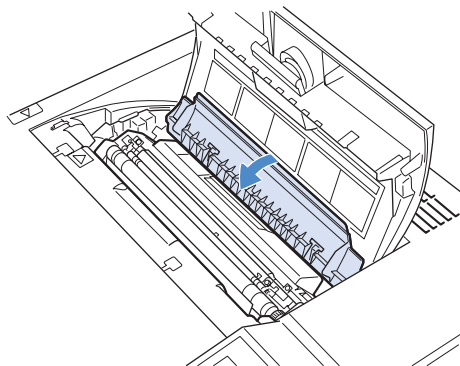
10

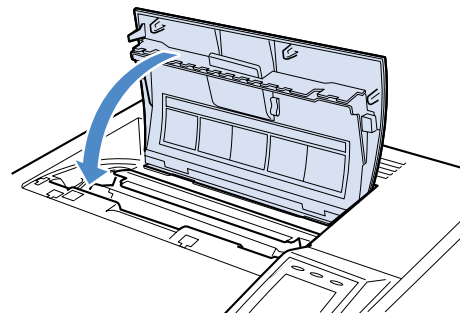
トナーカートリッジを後側へ突き当たるまで押してロックします。

トナーカートリッジは、突き当たるまで後側へ倒すように押してください。トナーカートリッジがロックしていないと、トナーカートリッジ差し込み部カバーが閉じなかったり、エラーメッセージが表示されます。

メモ

● トナーカートリッジを後側へ押してロックすると、トナーカートリッジ内部に、Kトナーカートリッジは白色、CMY トナーカートリッジは黄色の粉が付いていますが、これはトナーカートリッジを使用する時まで内部を保護するためのもので、品質上問題はありません。

11

トナーカートリッジ差し込み部カバーを閉じます。

12

トナーカートリッジカバーを閉じます。

トナーカートリッジカバーを閉じると、トナーカートリッジホルダが回転して次の色に替わります。

お願い

●トナーカートリッジホルダの回転中は、トナーカートリッジカバーを開けないでください。トナーカートリッジホルダが回転しているときは、ディスプレイの下段に「X トナー　イドウチュウ」のメッセージが表示されます。完了すると、「トナー　トリダシイチ　X」が表示されます。

13

2から12の手順を繰り返し、4色のトナーカートリッジをセットします。

4色のトナーカートリッジをすべてセットすると、ディスプレイの下段に「トナー　トリダシイチ　X」のメッセージが表示されますが、引き続きドラムカートリッジの取り付けを行ってください。

ドラムカートリッジの取り付け

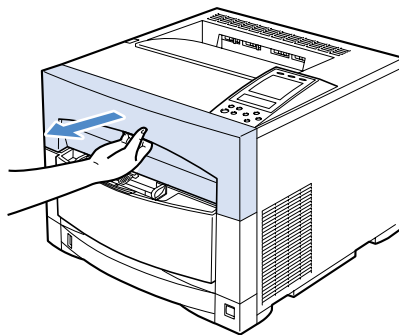
本プリンタは、工場出荷状態ではドラムカートリッジは取り付けられていません。本プリンタを初めて使用される場合、エンジンキットに同梱のドラムカートリッジを取り付けてください。

お願い

● ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。

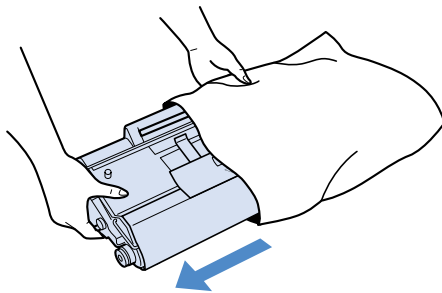
1

ドラムカートリッジカバーの取っ手に手をかけ、内側のロック解除レバーを引いて引き出します。

ドラムカートリッジカバーは、いっぱいまで引き出してください。

メモ

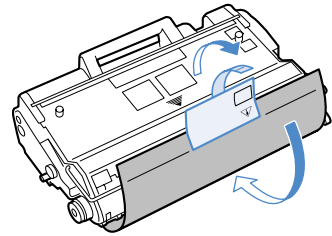
● 電源がオンの状態でドラムカートリッジカバーを開いた場合は、ディスプレイの上段に「12 カバーガ アイテイマス」、下段に「ドラムカートリッジカバーA」と「コウブカバー」が交互に表示されます。

2

ドラムカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

● ドラムカートリッジの廃トナー検知窓は、絶対に触らないでください。万一触ってしまった場合は、乾いた柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。
● ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要となります。

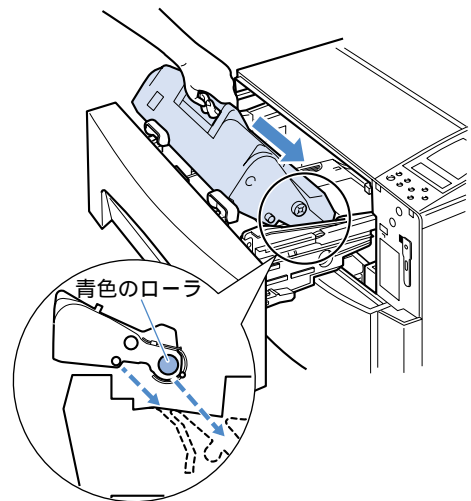
3

テープをゆっくりと引き上げてはがし、黒い保護シートごと取り除きます。

お願い

- **ドラムカートリッジの感光面には、絶対に触れないように注意してください。触れると印字品質が低下する原因になります。**
- **ドラムカートリッジは、黒い保護シートを取り除いた状態で放置せず、できるだけ早く本体にセットしてください。**

4

ドラムカートリッジの取っ手を持ち、青色のローラをドラムカートリッジガイドに合わせて斜め前方にゆっくりと差し込みます。

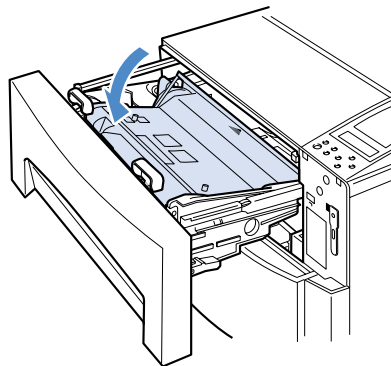
ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで、しっかりと押し込んでください。

5

ドラムカートリッジを下に降ろしながら、奥まで押し込みます。

ドラムカートリッジの上面が水平になるまで押し込んでください。完全にセットされていないと、ドラムカートリッジカバーが閉じません。

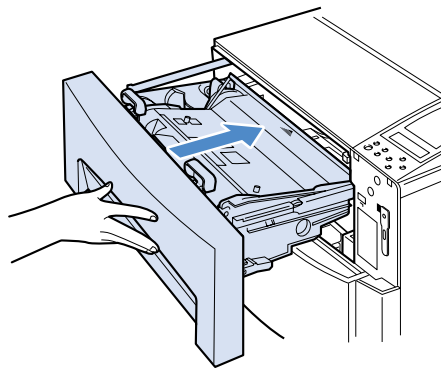
注意

● ドラムカートリッジとドラムカートリッジカバーの間に手を挟まないように注意してください。

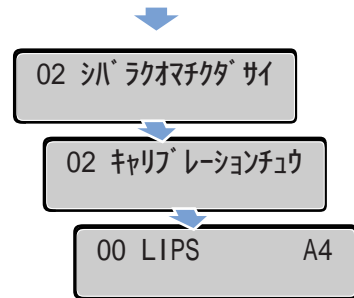
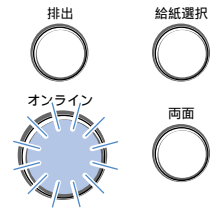
お願い

● ドラム保護シャッターに過度の力をかけないように注意してください。感光ドラムがダメージを受ける恐れがあります。

6

ドラムカートリッジカバーを閉じます。

ドラムカートリッジカバーを閉じるときは、カバーの下の方を押してカバー下側がロックされるまでしっかりと押し込んでください。

7

カバーを閉じた後、（オンライン）キーを押します。

ディスプレイ上段に「02　シバラクオマチクダサイ」と表示され、しばらくすると、プリントできる状態になります。

用紙をセットする

本プリンタのカセット1には、A5、B5、A4、レター、リーガル、エグゼクティブサイズの用紙を約250枚（普通紙64g/m²）までセットできます。カセット1に用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

お願い

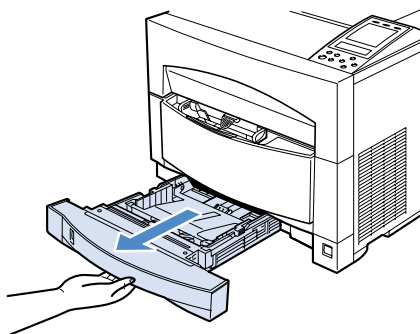
紙づまりの原因となることがありますので、次の注意を守ってください。

- **普通紙（64～105g/m²）以外の用紙をセットしないでください。**
- **しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。**
- **使用できる用紙についての詳細は、第4章「用紙について」（→P.92）をご覧ください。**
- **給紙カセットの給紙ローラのゴム部分には手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。**

2
第2章 設置のしかた

1

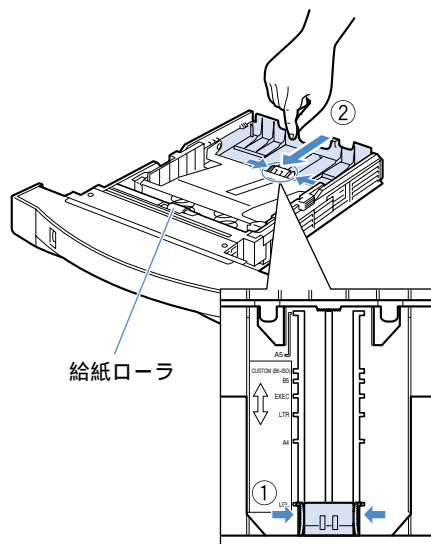
給紙カセットの取っ手に手をかけて途中まで引き出し、両手に持ち変えて引き抜きます。

注意

- **給紙カセットは、途中まで引き出したら給紙カセットを両手に持ち変えて引き抜いてください。給紙カセットを落とすと、けがやプリンタ破損の恐れがあります。**
- **給紙カセットを引き抜く際に、金属部分を持たないようにしてください。けがの恐れがあります。**

2

青色のロック解除レバーをつまみながら①、後側用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせて移動します②。

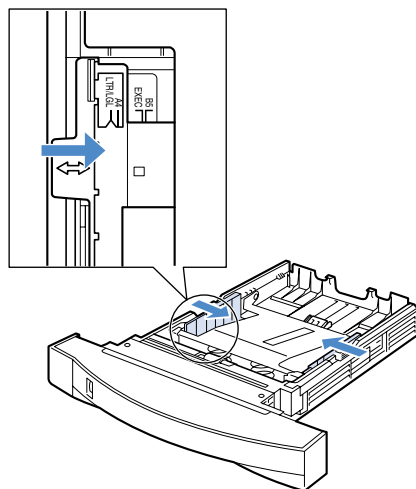
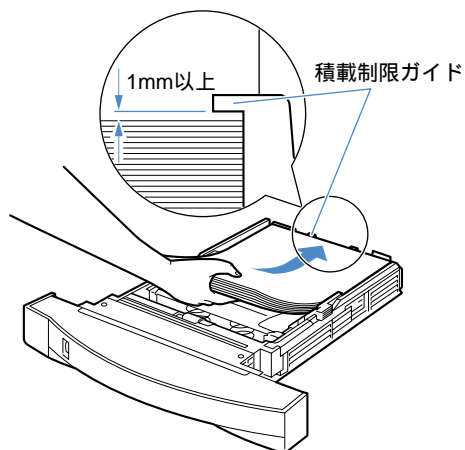
用紙ガイドは、用紙サイズの溝へ噛み合う位置にセットしてください。

お願い

●給紙カセットの給紙ローラのゴム部分には手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。

メモ

●“ CUSTOM（B5ISO）”は、本プリンタでは使用できません。“ CUSTOM （B5ISO）”を設定すると、「9D　ヨウシサイズ　フセイ」のエラーメッセージが表示されます。

3

左右の用紙ガイドを両手で持ち、セットする用紙のサイズに合わせて移動します。

4

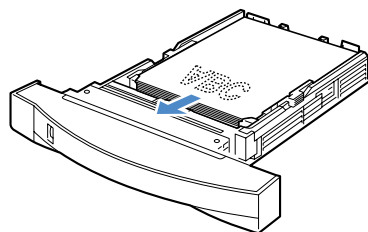
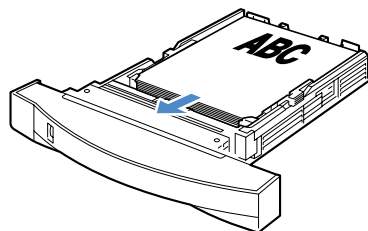
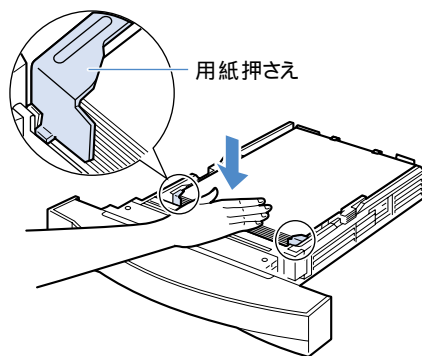
用紙を後側用紙ガイドに突き当ててセットします。

お願い

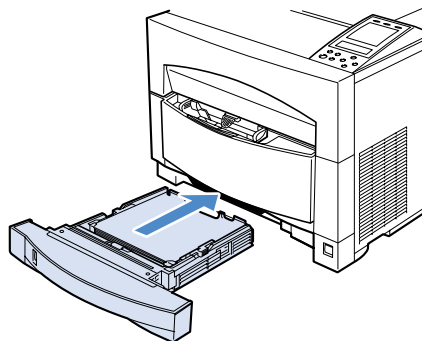
- 用紙はさばかないでセットしてください。重送の原因になります。
- 用紙をセットできるのは、用紙ガイドの積載制限ガイドより、約1mm以上低いところ（積載制限ガイドと用紙に十分隙間が空いている高さ）までです。無理に積載制限ガイドの下へ押し込んでセットしないでください。給紙不良や紙づまりの原因になります。

メモ

- レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次のように正しい向きに用紙をセットしてください。
  - 片面プリントの場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、上端が手前になるようにセットします。
  - オプションの両面ユニットを使って両面プリントする場合は、裏面からプリントされますので用紙をセットする向きが片面プリントのときと逆になります。用紙の表面を上に向け、上端が奥側になるようにセットします。

5

用紙の手前側を下へ押さえて、用紙の左右端を用紙押さえの下へ押し込みます。

6

給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、ゆっくりと差し込みます。

パソコンと接続する

本プリンタは、双方向通信対応のパラレルコネクタと、USBコネクタを標準装備しています。また、オプションのプリントサーバを拡張ボードスロットに装着することにより、ネットワークにも接続することができます。お使いのネットワークに合わせて、プリントサーバとケーブルをご用意ください。

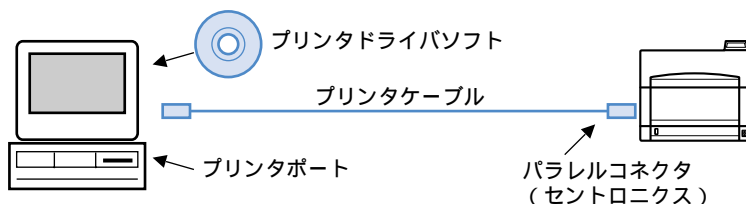
お願い

● 本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。

DOS/Windows パソコンとの接続

本プリンタをDOS/Windowsパソコンに直接接続するときは、プリンタポート（パラレルインタフェース）またはUSBポートに接続します。

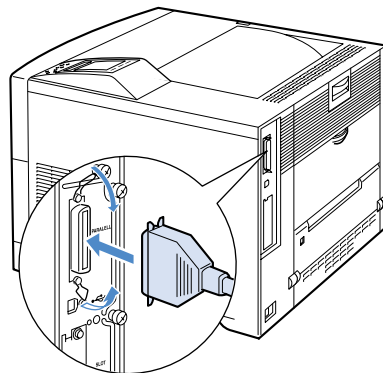
■プリンタポートに接続する場合

PC-9800シリーズやIBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）、その他のDOS/Windowsパソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとパソコンのプリンタポートを接続します。

注意

● プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
①本プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**（→ P.78）**
②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1

プリンタケーブルのセントロ36ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

■ USB ポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したパソコンの場合は、USB ケーブルで本プリンタの USB コネクタとパソコンの USB ポートを接続します。

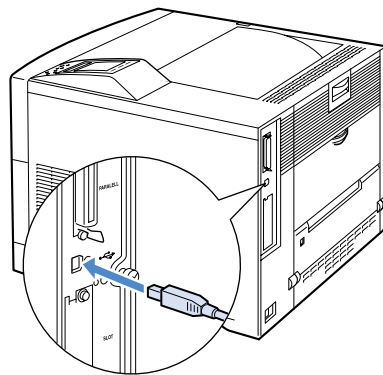
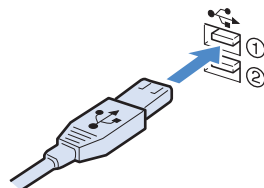
警告

- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

- 次のようなときは、USBケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後の OS（Windows）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
- USB ケーブルは 2m 以下のものをお使いください。

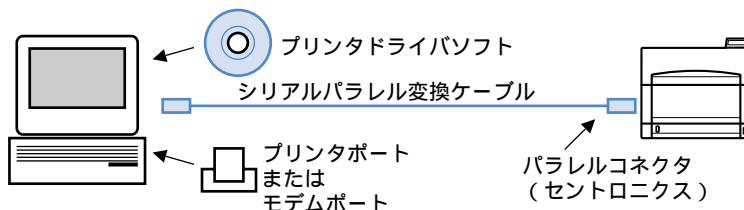
1

USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタ背面の USB コネクタへ接続します。

2

USB ケーブルの A タイプ（平たい）側をパソコンの USB ポートへ接続します。

Macintoshパソコンとの接続

本プリンタをMacintoshパソコンに直接接続するときは、次の2つの方法があります。

■シリアルポートに接続する場合

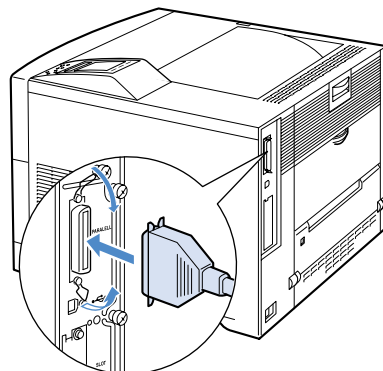
シリアルポートを装備したMacintoshパソコンは、シリアルパラレル変換ケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとMacintoshパソコンのシリアルポートを接続します。接続用のオプションとして、「NetHawk SP-LS III」(プリンタドライバ+シリアルパラレル変換ケーブルセット)が用意されています。

注意

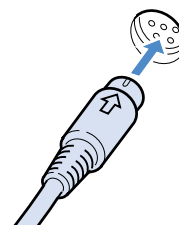
- プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
  ①本プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。(→ P.78)
  ②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

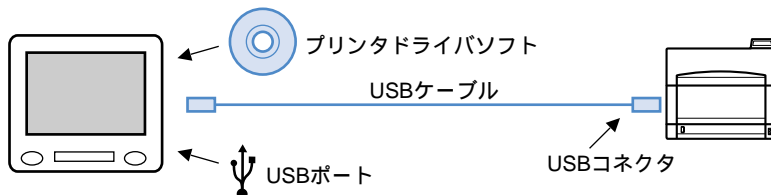
メモ

- 「NetHawk SP-LS III」については、新潟キヤノテック(株)へお問い合わせください。(TEL.025-244-6445)

1

シリアルパラレル変換ケーブルのセントロ36ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

シリアルパラレル変換ケーブルの反対側をMacintoshパソコンのプリンタポート(シリアルポート)へ接続します。

■ USBポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したMacintoshパソコンの場合は、USBケーブルで本プリンタのUSBコネクタとMacintoshのUSBポートを接続します。

警告

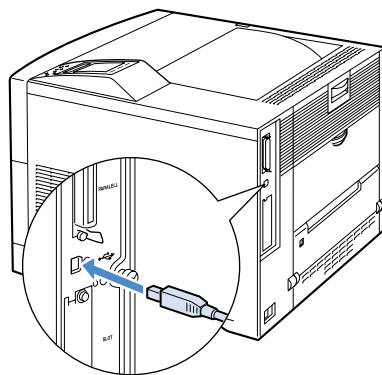
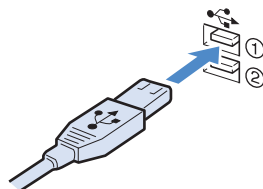
- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- USBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

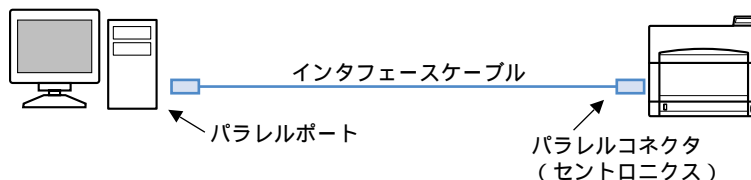
お願い

- 次のようなときは、USBケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後のOS（Mac OS）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず5秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
- USBケーブルは2m以下のものをお使いください。

1

USBケーブルのBタイプ（四角い）側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。

2

USBケーブルのAタイプ（平たい）側をMacintoshパソコンのUSBポートへ接続します。

その他のパソコンとの接続

本プリンタにオプションのバージョンアップROM（VR-L4）を取り付けると、ESC/P準拠プリンタとしてIBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）やAXパソコンからプリントすることが可能になります。
ご使用のパソコンのプリンタポートがパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）のときは、そのパソコンのコネクタに合ったインタフェースケーブルで本プリンタと接続します。

注意

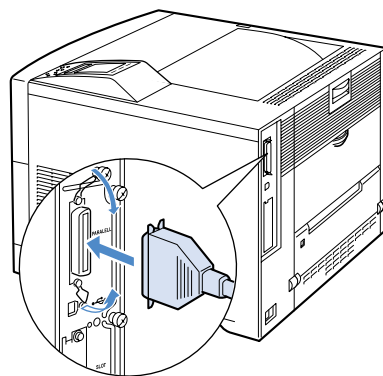
- プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
  ①本プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（→ P.78）
  ②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

お願い

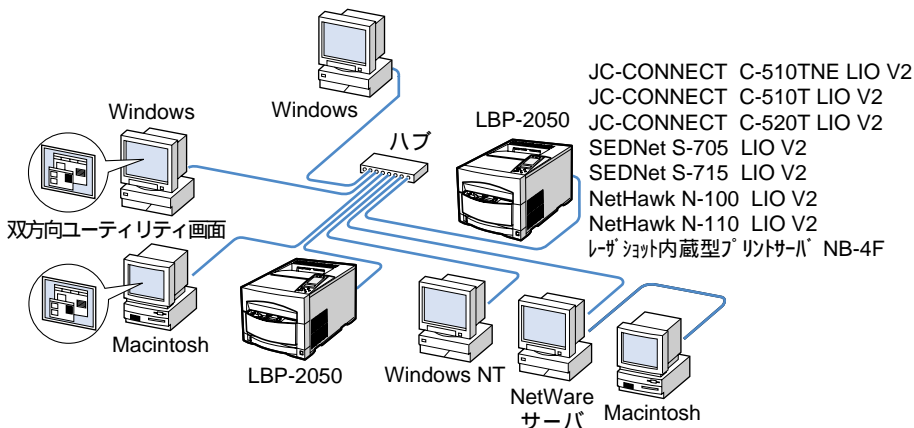
- 使用できるインタフェースケーブルについては、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- バージョンアップROMの取り付けについては、付録 「オプションの取り付け」（→ P.263）をご覧ください。

1

プリンタケーブルのセントロ36ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

ネットワークとの接続

本プリンタにオプションのプリントサーバを取り付けると、ネットワークへ直接接続して、ネットワークプリンタとしてWindowsやMacintosh、UNIXなどのパソコンからプリンタを共有することができます。IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBIOS/NetBEUIのプロトコルに対応しているプリントサーバがあります。

本プリンタ用のプリントサーバとして、次のオプション品が用意されています。

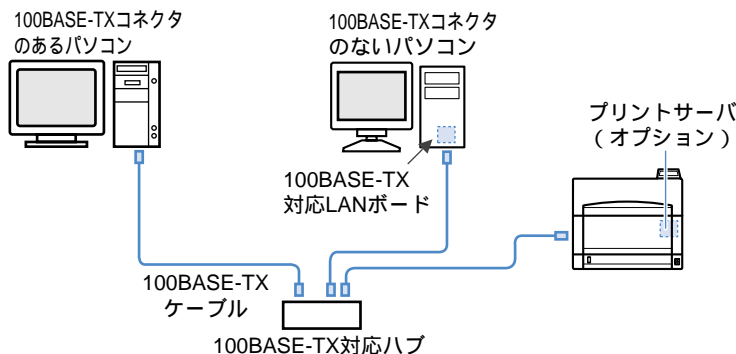
製品名称	対応プロトコル	ｲﾝﾀﾌｪｰｽ	メーカ名
JC-CONNECT C-540TNE LIO V2	IPX/SPX,TCP/IP,EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
JC-CONNECT C-540T LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
SEDNet S-705 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
SEDNet S-715 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T/100BASE-TX	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
NetHawk N-100 LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
NetHawk N-110 LIO V2	IPX/SPX,TCP/IP,EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
内蔵型ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ NB-4F	IPX/SPX, TCP/IP, NetBEUI, AppleTalk	10BASE-T/100BASE-TX	キヤノン(株)

これら製品の詳細や購入については、プリンタをお買い上げの販売店へお問い合わせください。

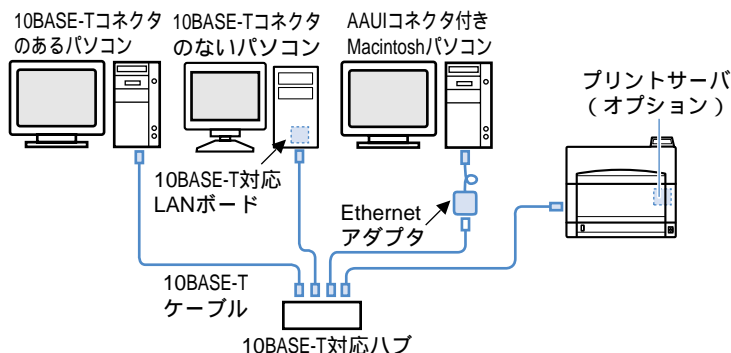
メモ

- **本プリンタにプリントサーバを装着してネットワークに接続した場合、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やプリントサーバまたはリモートプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSやプリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。**

■ 100BASE-TX で接続する場合

本プリンタのプリントサーバとハブのポートを100BASE-TX対応LANケーブル（カテゴリ5用ツイストペアケーブル）で接続します。100BASE-TXのネットワークに対応していないパソコンの場合は、100BASE-TX対応のネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

● ハブやLANケーブル、パソコン用ネットワークボードなど、LANに接続している機器は、すべて100BASE-TXに対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。

■ 10BASE-T で接続する場合

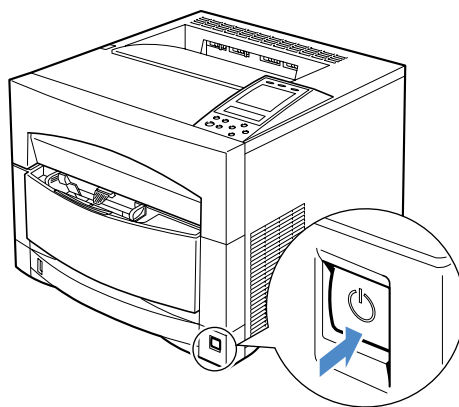
本プリンタのプリントサーバとハブのポートを10BASE-T対応LANケーブル（カテゴリ3～5用ツイストペアケーブル）で接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

動作を確認する

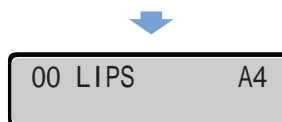
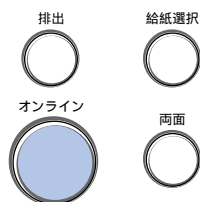
本プリンタには、プリンタの状態や印字品質などを確認するためのテストプリント機能があります。プリンタの準備や接続が終わったらテストプリントを行い、正しく動作することを確認してください。テストプリントはA4サイズの用紙に行いますので、いずれかの給紙元にA4サイズの用紙をセットしてください。

■操作のしかた

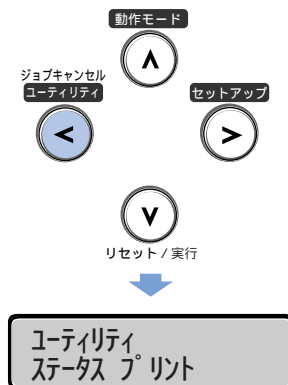
1

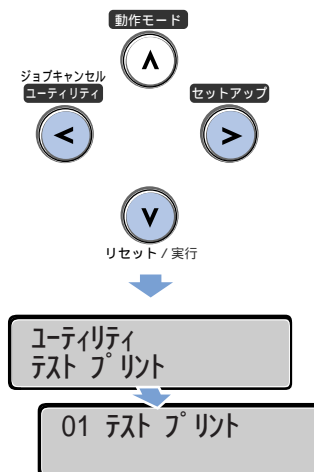
電源スイッチを押し込んで、電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

2

オンライン キーを押して、オンラインランプを消灯します。

3

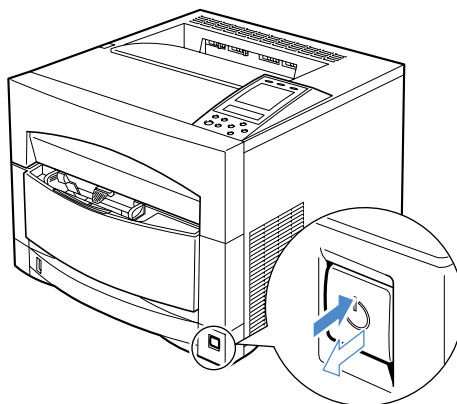
ユーティリティ キーを押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

<、> キーを押して「テスト　プリント」を選択し、V キーを押します。

ディスプレイに「01 テスト プリント」と表示され、テストプリントを開始します。

5

テストプリントが終わったら、電源スイッチを押して電源をオフにします。

「パワー　オフチュウ」のメッセージが点滅し、しばらく（約10分）してから電源がオフになります。

第2章　設置のしかた

■テストプリントのプリント内容

プリンタが正常に動作していると、次のようなパターンが表示されます。

ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows の場合

本プリンタに付属のCD-ROMからプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

● プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

● LIPS IV プリンタドライバ

Windowsアプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

● NetSpot Job Monitor

プリンタの状態をパソコンの画面に表示して確認できるユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

● 「NetSpot Job Monitor」は、双方向パラレルインタフェースに対応しています。「NetSpot Job Monitor」で双方向通信を行う場合は、双方向対応のインタフェースケーブルが必要です。

● NetSpot

パソコンからプリンタの機能を設定したり、ネットワーク環境でのプリンタの管理を行うためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

● USB クラスドライバ

本プリンタをUSB接続で使用するために必要なソフトウェアです。お使いのOSに合ったものをインストールしてください。

DOSの場合

DOSのアプリケーションで本プリンタを使用する場合、オプションのバージョンアップROMが必要です。オプションのバージョンアップROMを取り付けると、IBM PC/AT互換機（DOS/V）パソコンのESC/Pエミュレーションモードが使用可能になります。プリントするときは、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で、本プリンタまたは互換性のあるプリンタを選択してプリントします。
プリントデータを受信するとデータの種類を判別し、自動的にデータに応じた動作モードでプリントします。また、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなど、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定したりすることもできます。

メモ

- **プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **オプションのバージョンアップROMについては、付録「オプションについて」（→P. 261）をご覧ください。**

Macintoshの場合

本プリンタに付属のCD-ROMからプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ

- **プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。**
- **Macintoshパソコンでプリントする場合のオプション品については、「Macintoshパソコンとの接続」（→P.63）をご覧ください。**

● LIPS IV プリンタドライバ

アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。EtherTalk接続用プリンタドライバとUSB接続用プリンタドライバの2種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

●プリントモニタ

プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。プリンタドライバと一緒にインストールされます。

● NetSpot

パソコンからプリンタの機能を設定したり、ネットワーク環境でのプリンタの管理を行うためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、お使いのプリントサーバに対応したネットワーク管理ソフトをインストールします。インストールのしかたや詳細については、プリントサーバやネットワーク管理ソフトの取扱説明書をご覧ください。

メモ

- **本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワーク OS（NetWare, UNIX など）の設定やプリントサーバの設定などが必要です。これらの設定についてはネットワーク OS やプリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **本プリンタをネットワークに接続した場合、Config Printを行ってプリントサーバの MAC アドレスなどを確認し、ネットワーク OS（NetWare, UNIX など）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。**
- **ネットワークに接続して使う場合のオプション品については、P.66をご覧ください。**
- **DNS ホスト名や DNS ドメイン名、IPP プリンタの URI などの名称には、なるべく半角英数字を使用してください。全角文字（2 バイト文字）を使用すると、それらの名称が Config Print に“ □ ”でプリントされる場合がありますが、動作には問題はありません。また、オプションのバージョンアップ ROM を取り付けている場合は、正しくプリントされます。**

第 3 章

プリンタの使いかた

電源のオン、オフ

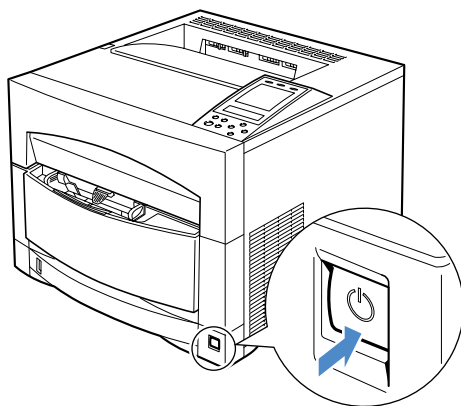
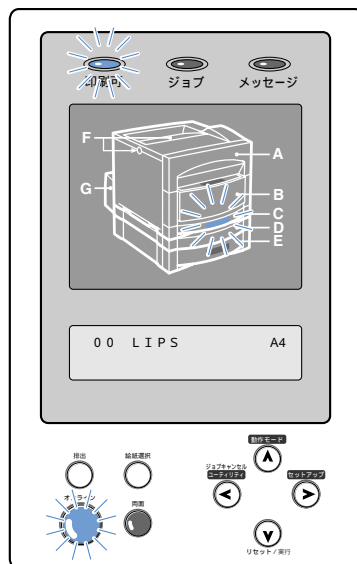
本プリンタを使用するには、電源スイッチを押し込み、オンにします。プリンタ本体やオプションの状態チェック、およびキャリブレーションを実行した後、プリント可能な状態になります。
また、本プリンタをオフにするときは、プリンタの状態を確認してから手順に従って電源スイッチをオフにします。電源をオフにすると、メモリ内のプリントデータはすべて消去されます。必要なプリントデータを誤って消したり、ネットワークに接続している場合は他のパソコンからのプリントデータを消さないよう、必ずジョブランプが消灯していることを確認してからオフにしてください。

電源をオンにする

本プリンタは次の手順で、電源をオンにします。

1

本体の電源スイッチを押し込みます。

電源スイッチが押し込まれた状態になります。
操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、本体やオプションの状態を自己診断します。

自己診断の結果異常がなければ、キャリブレーションを実行します。キャリブレーションが終了すると、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00 LIPS」と表示されてプリント可能な状態になります。

ディスプレイには、次の情報が表示されます。

印刷可能で処理中の印刷データがない状態　**00 LIPS**　**A4**　現在選択されている給紙元の用紙サイズ

- **正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは第6章「メッセージが表示されたときは」（→ P.229）をご覧ください。**

消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタは、何も操作せず、パソコンからもデータが送られてこない状態が一定の時間続くと、消費電力を節約するスリープモードに移行します。

操作パネルのキーを操作したり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではデータを受信した場合にもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。

- **スリープモードに移行する時間は、工場出荷時の状態で「30分」に設定されています。この設定は、メニュー機能で「15分」、「30分」、「60分」、「180分」に設定できます。詳細については、LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。**
- **オフライン状態のときは、スリープモードに移行しないように設定することができます。詳細については、LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。**

- **次の場合は設定時間が経過してもスリープモードには移行しません。**
  - **「nn-nn　サービスコール」（nnは2桁の英数字）が表示されている状態**
  - **ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中**

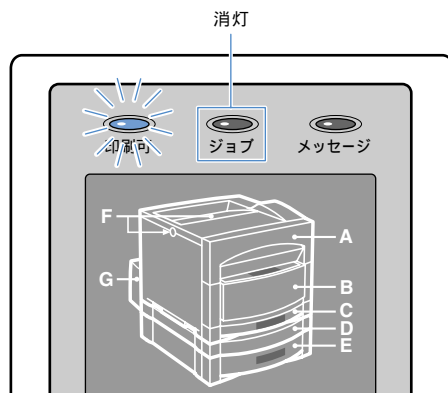
電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

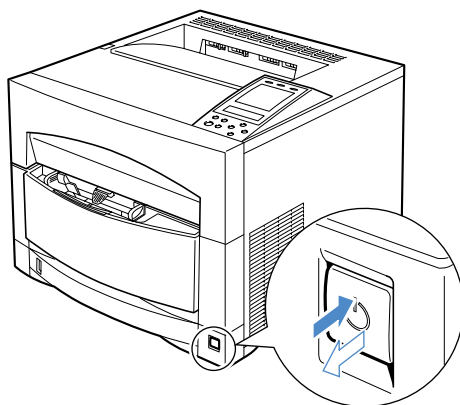
お願い

- **ネットワークに接続している場合は、他のパソコンからプリントしていないか確認してから、電源をオフにしてください。**
- **ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータは消去されます。必要なプリントデータは、出力し終わるまで待つか、オフラインの状態で（排出）キーを押し、出力してから電源をオフにしてください。（→ P.212）**
- **プリント中に電源をオフにしないでください。**
- **プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中には、電源をオフにしないでください。**
- **ディスプレイにNVRAM初期化中やNVRAM書き込み中のメッセージが表示されている場合は、メッセージの表示が消えたことを確認してから、電源をオフにしてください。**

1

ジョブランプが消灯していることを確認します。

2

本体の電源スイッチを押し込みます。

電源スイッチが飛び出した状態になります。
「パワーオフ　チュウ」のメッセージが点滅し、しばらく（約10分）してから電源がオフになります。

お願い

- **電源スイッチをオフにしても、本体背面の冷却用ファンは、内部が十分に冷却されるまで回転し続けます。もし、電源コードを抜き取るような場合は、冷却用ファンが完全に停止するまで（約10分）お待ちください。**

オンラインとオフライン

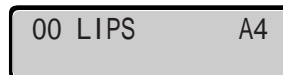
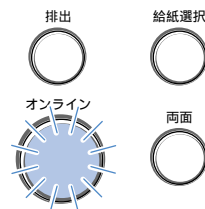
プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データが受け取れない状態を「オフライン」といいます。操作パネルでメニューを操作するときは、プリンタをオフラインにしてから行います。

オンラインにする

パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。
オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。

オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

お願い

- **プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。**
- **プリント中は、絶対に本体やオプション装置のカバーやカセットを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。**

メモ

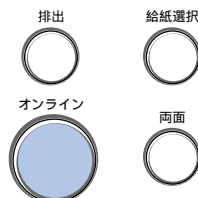
- **プリンタがスリープモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯しますのでご注意ください。（スリープモード→P.77）**
- **本プリンタは、常に安定したトナー濃度のカラープリントができるように、本体各部の状態をチェックして運転を制御しています。このため、多量のデータを連続してプリントすると、プリンタを安定した状態に保つために、ある一定枚数毎に「シバラクオマチクダサイ」または、「キャリブレーションチュウ」とメッセージを表示し、一時的にプリントを中断します。プリンタが安定した状態に戻ると、自動的にプリントを再開します。**

オフラインにする

プリンタの操作パネルからメニューの操作や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などをするときは、プリンタはオフラインの状態になっていることが必要です。操作パネルのキーを使うときは、プリンタがオフラインになっていることを確認してください。オフラインになっていないときは、次の手順でオフラインにします。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

お願い

- プリンタをオフラインにしたままパソコンからプリントすると、「プリンタの準備ができていません。」などのメッセージが表示され、プリントできません。
- 本プリンタは、オフラインにしたまま５分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。

プリンタの機能について

本プリンタは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷、とじ幅の設定、印字位置の補正など、いろいろな機能を持っています。これらの機能は、プリンタドライバ、NetSpot、プリンタの操作パネルのいずれからでも設定できます。

プリンタの主な機能

機　　能	機能の概要	ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	NetSpot	操作ﾊﾟﾈﾙ
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○	○
トレイ用紙サイズ	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。	×	○	○
両面プリント	用紙の両面に自動プリントします。	○	○	○
ページフォーマット	エミュレーションモードでプリントするときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	○	○
カラーモード	モノクロまたはカラーに固定してプリントするか、自動でプリントするかを設定します。	○	○	○
データ処理解像度 *1	ファインモード（600dpi）、クイックモード（300dpi）のモードを設定します。	○	○	○
拡大／縮小 *2（LIPS モード時のみ）	データを拡大または縮小してプリントします。	○	○	○
複数ページ印刷 *3（LIPS モード時のみ）	拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを複数ページ並べて１枚の用紙にプリントします。	○ 4ページ可能	○	○
オーバレイプリント *4（LIPS モード時のみ）	LIPS のコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。	○	フォーム作成登録は LIPS コマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。	
とじ方向	とじ代を作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○	○
とじ幅	とじ方向で設定された辺のとじ代の幅を設定します。	○	○	○
トナー濃度	各トナーの印字濃度を調節します。	×	○	○
トナー節約	トナーの消費量を節約するモードを設定します。	○	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○	○
スリープモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○	○

- ○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。
- *1、*2、*3、*4 の機能は、プリンタドライバと NetSpot、操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますのでご注意ください。詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」や「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやNetSpot、プリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

- プリンタドライバ、NetSpotのインストール方法や操作のしかたについては、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS機能ガイド」をご覧ください。

■プリンタドライバ

本プリンタに付属のLIPS IVプリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

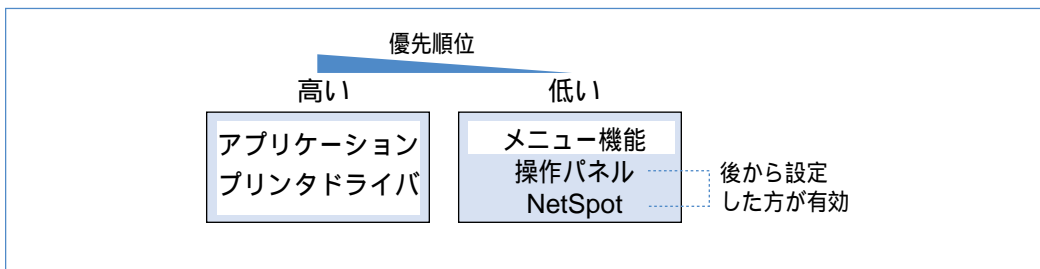
■ユーティリティソフト「NetSpot」

本プリンタに付属のユーティリティソフト「NetSpot」をパソコンにインストールし、NetSpotのプリンタ設定画面で設定します。

■プリンタの操作パネル

プリンタをオフラインにし、操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目やユーティリティソフト「NetSpot」に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。

カラーモードについて

本プリンタは、印字モードを「カラー」、「モノクロ」、「ジドウ」に設定できます。
「カラー」モードでは、受信した印字データをカラー処理してプリントします。「モノクロ」モードでは、受信した印字データをモノクロ処理してプリントします。「ジドウ」モードでは、受信した印字データがカラーのときはカラー処理、モノクロのときはモノクロ処理に自動的に切り換えてプリントします。モノクロの印字データを「カラー」の設定でプリントすると、カラーの印字データと同じ処理時間がかかります。

カラーモードの設定

■ Windows からプリントする場合

カラーモードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は［フルカラー］が選択されています。カラーモードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［色の印刷モード］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

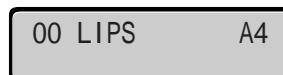
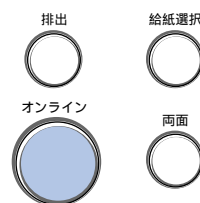
■ Macintosh からプリントする場合

カラーモードを指定するときは、プリンタドライバの［一般設定］ページの［カラー］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

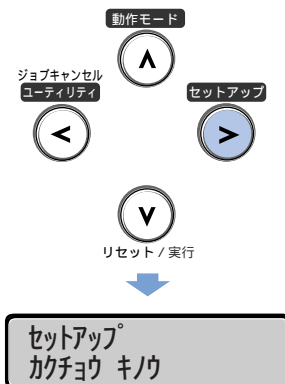
■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルでカラーモードを選択します。初期値は「ジドウ」に設定されています。

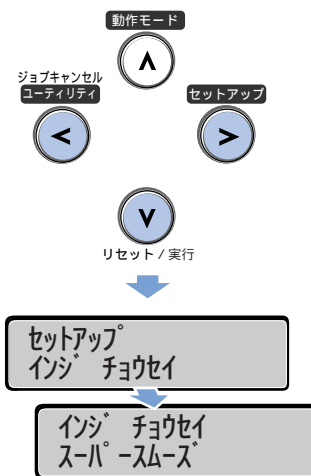
1

（オンライン）キーを押し、オンラインランプを消灯します。

2

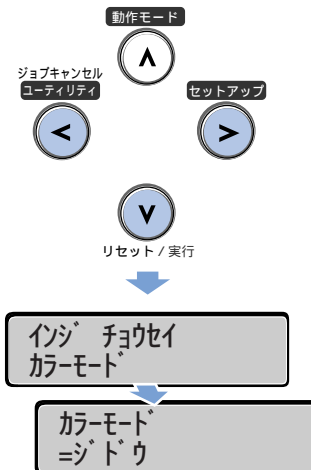
セットアップキーを押します。

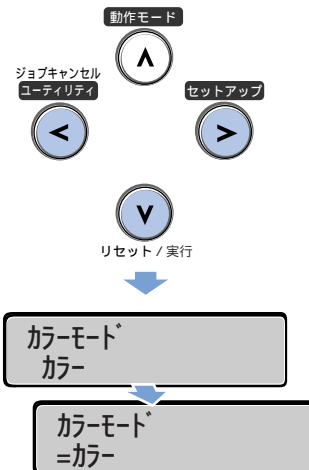
ディスプレイにセットアップメニューの項目が表示されます。

3

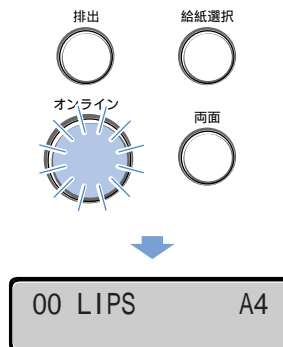
＜、＞キーで「インジ　チョウセイ」を選択し、∨キーを押します。

ディスプレイに印字調整の設定項目が表示されます。

4

＜、＞キーで「カラーモード」を選択し、∨キーを押します。

ディスプレイに現在のカラーモードの設定値が表示されます。

5

＜、＞キーで「カラー」、「モノクロ」、「ジドウ」のいずれかを選択し、∨キーを押します。

オンラインキーを押します。

設定が有効になり、オンライン状態に戻ります。

動作モードについて

本プリンタは、キヤノン独自のLIPSモードを内蔵しています。また、オプションのバージョンアップ ROM （VR-L4）を取り付けると、IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）の ESC/P エミュレーションモードも使用することが可能になります。プリントデータを受信すると、プリントデータを判別し、自動的にデータに応じた動作モードに切り替えてプリントします。このため、通常は工場出荷時の設定のままで各種パソコンに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときや、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなどは、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定したりすることができます。

● **バージョンアップ ROM については、付録「オプションについて」（→ P.261）をご覧ください。**

動作モードの種類

本プリンタは、LIPS モードと ESC/P エミュレーションモードを使用できます。

● **LIPS モード**

LIPSは、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPS に対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）はこのモードでプリントします。Windows や Macintosh では、本プリンタに付属の LIPS IV プリンタドライバを組み込むと、自動的に LIPS モードでプリントされます。

● **ESC/P エミュレーションモード**

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、AX パソコンで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのパソコンで LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときは、このモードでプリントします。エプソンが提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

自動切り替えがうまくできないとき

本プリンタに、オプションのバージョンアップROM（VR-L4）を取り付けて動作モード設定を「自動選択」（工場出荷時の状態）で使用中、ESC/P データがLIPSでプリントされるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、プリンタを次のように設定してみてください。
次の設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、プリントデータに合った動作モードに固定してプリントしてください。

●優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する

優先エミュレーションの設定は「ESC/P」になっています。この設定をプリントするデータに合わせて「LIPS」や「なし」に変更します。

●自動切り替えの設定で不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「使う」になっています。この設定を、不要な動作モードを「使わない」に設定します。

● 優先エミュレーション、動作モードの自動切り替えの設定、動作モードの固定はNetSpot、操作パネルのどちらからでもできます。NetSpotからの設定方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」、操作パネルからの設定方法については、LIPS 機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。

専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）

使用しているパソコンの専用プリンタと同じ動作で使いたいときは、自動切り替えを解除し、動作モードを LIPS、ESC/P エミュレーションモードのいずれかに固定することができます。

● IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）や AX パソコン

→ ESC/P エミュレーションモードに固定

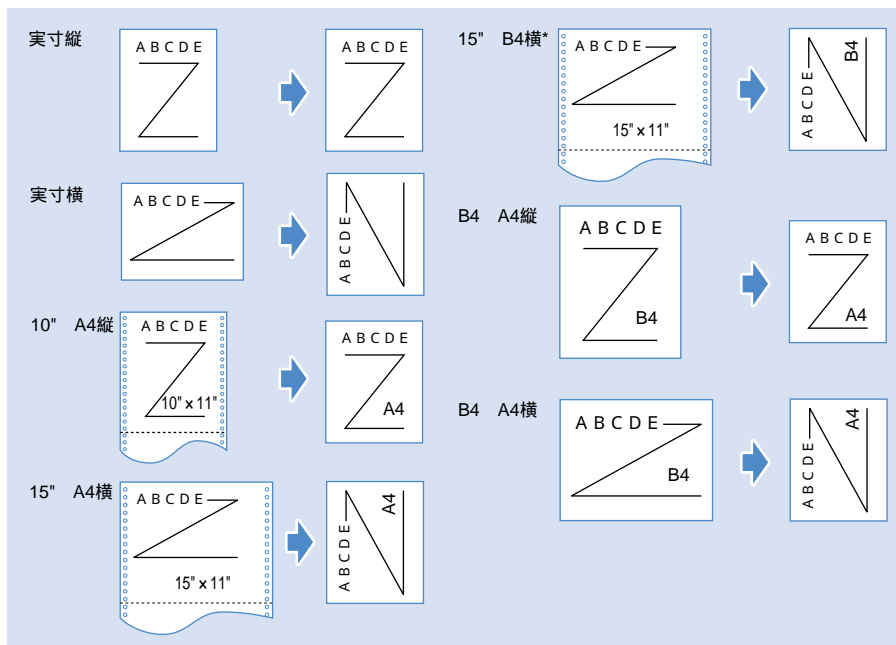
● ESC/Pエミュレーションモードでプリントする場合、ページフォーマットの設定が必要です。ページフォーマットについては次ページをご覧ください。
● 動作モードの設定はNetSpot、操作パネルのどちらからでもできます。NetSpotからの設定方法については「LIPS ソフトウェアガイド」、操作パネルからの設定方法については、LIPS 機能ガイド　第6章「1　動作モードメニューの設定項目」をご覧ください。

エミュレーションモードで使うとき

本プリンタをESC/Pエミュレーションモードで使用する場合、いままで使用していた用紙やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、本プリンタのページフォーマットを設定する必要があります。

■ ESC/P のページフォーマット設定

いままでESC/P準拠プリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の6種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では「実寸縦」に設定されています。

実寸縦： 用紙を縦に使ってプリントします
実寸横： 用紙を横に使ってプリントします
10" → A4 縦： 10" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → A4 横： 15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → B4 横 *： 15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを B4 に縮小してプリントします
B4 → A4 縦： B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします
B4 → A4 横： B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を横に使ってプリントします

* 本プリンタではB4サイズの用紙をプリントすることができないので、本項目を選ばないでください。

メモ

- 用紙サイズは、「10" → A4 縦」「15" → A4 横」「B4 → A4 縦」「B4 → A4 横」では A4 が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。ただし、設定されている給紙元の用紙がA4サイズより小さいときは、画像の一部がカットされて正しい印字結果にならない場合があります。
- 10" × 11" の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。

プリントを中止する

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、「ジョブキャンセル」を行います。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

お願い

- **ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに（ジョブキャンセル）キーを押すと、（ユーティリティ）キーとして動作します。**
- **すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。**
- **本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。**

メモ

- **ジョブキャンセルを行ったときに、「03 ジョブ キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。**

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

メモ

- **上記のディスプレイ表示は、LIPSモードのジョブを処理している場合を例にしています。ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイ上段に動作モード、下段にユーザ名やプリンタの状態などの情報が表示されます。**

2

（ジョブキャンセル）キーを押します。

「03 ジョブ キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。

データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00 ジョブ スキップ」の表示に変わります。

「00 LIPS」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

お願い

- **「00 ジョブ スキップ」が表示されているときは、（リセット）キーを押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。**
- **「03 ジョブ キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00 ジョブ スキップ」が表示されるまでお待ちください。**

第 4 章

給紙・排紙のしかた

用紙について

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。◎は片面プリントとオプションの両面ユニットを使った両面プリントが可能、○は片面プリントのみ可能、△は制限付きで可能、×は不可です。

■用紙サイズ

用紙の種類	給紙元		
	給紙トレイ	カセット1	カセット2（オプション）
普通紙(64～105g/m²) A5	○	○	○
B5	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ	◎	◎	◎
リーガル	◎	◎	◎
ユーザペーパー 幅: 76.2～216mm 長さ: 127～356mm	○	×	×
厚紙(106～135g/m²) A5	○	×	×
B5	○	×	×
A4	○	×	×
レター	○	×	×
エグゼクティブ	○	×	×
リーガル	○	×	×
ユーザペーパー 幅: 76.2～216mm 長さ: 127～356mm	○	×	×
光沢フィルム　A4	○	×	×
OHPフィルム　A4	○	×	×
ラベル用紙　　A4	○	×	×
官製ハガキ	○	×	×
封筒　洋形4号	○	×	×

■給紙元の積載枚数

用紙の種類	給紙元		
	給紙トレイ	カセット1	カセット2（オプション）
普通紙（64g/m²の場合）	約100枚	約250枚	約500枚
厚紙（128g/m²の場合）	約50枚	×	×
光沢フィルム	約50枚	×	×
OHPフィルム	約50枚	×	×
ラベル用紙	約50枚	×	×
官製ハガキ	約50枚	×	×
封筒　洋形4号	約20枚	×	×

■排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先	
	排紙トレイ	サブ排紙トレイ
普通紙（64g/m²の場合）	約250枚	約50枚
厚紙（128g/m²の場合）	△*	約30枚
光沢フィルム	△*	1枚
OHPフィルム	△*	1枚
ラベル用紙	×	約30枚
官製ハガキ	×	約30枚
封筒　洋形4号	△*	約5枚

＊排紙先として使用できますが、用紙がカールしたり、しわの原因になるので、サブ排紙トレイに排紙することをおすすめします。

お願い

- 縦176mm以下の用紙は、フェースダウン排紙できません。必ずサブ排紙トレイへ排紙してください。
- 封筒の場合は、給紙メニューの「トレイヨウシサイズ」を「Y4」に設定すると、自動的に封筒の印字モードでプリントされます。（→ P.122）操作パネルからの「ヨウシタイプ」の設定は不要です。
- ハガキの場合は、給紙メニューの「トレイヨウシサイズ」を「HG」に設定すると、自動的にハガキの印字モードでプリントされます。（→P.122）操作パネルからの「ヨウシタイプ」の設定は不要です。
- 両面にプリントする場合は、必ずオプションの両面ユニットを使用してください。給紙トレイおよび給紙カセットから手動で両面プリントを行うことはできません。
- エグゼクティブ用紙をペーパーフィーダユニットにセットする場合は、積載制限ガイドとの余裕を十分に残してください。（→ P.108）

●普通紙

本プリンタでは、A5、B5、A4、レター、リーガル、エグゼクティブサイズを含む、幅76.2～216mm、長さ127～356mm、重さ64～105g/m² の普通紙を使用できます。
定形サイズの普通紙は、給紙カセットやペーパーフィーダユニットで給紙できます。また、普通紙は、オプションの両面ユニットを取り付けることにより、自動両面プリントが可能になります。その他のサイズは給紙トレイで給紙します。

●厚紙

本プリンタでは、A5、B5、A4、レター、リーガル、エグゼクティブサイズを含む、幅76.2～216mm、長さ127～356mm、重さ106～135g/m² の厚紙を使用できます。厚紙は給紙トレイで給紙します。

●光沢フィルム

本プリンタでは、専用の「キヤノン カラーレーザー 光沢フィルム GF-2 A4（A4サイズ）」を使用してください。

● 光沢フィルムGF-2 A4は、LBP-2040/2050専用です。他のカラーレーザープリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。

● OHPフィルム

本プリンタでは、専用の「キヤノン カラーレーザー OHP用紙 TR-3 A4（A4サイズ）」を使用してください。

● OHP用紙TR-3 A4は、LBP-2160/2040/2050/2200/2260/2260PS/2300/2360専用です。他のカラーレーザープリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。

● キヤノンLASER SHOT LBP-2030用OHP用紙（キヤノン　カラーLBP OHP用紙T-H1 A4）やCLC用OHP、モノクロプリンタ用OHP（キヤノン国内LBP用トランスペアレンシー）など、指定以外のOHPフィルムは、本プリンタでは使用できません。万一使用すると、プリンタ内部の定着器の故障や画質低下の恐れがあります。

●ラベル用紙

本プリンタでは、A4 サイズのラベル用紙を使用できます。

- ● 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれかけていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙

●封筒

本プリンタでは、洋形 4 号の封筒を使用できます。

- ● 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- ● セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- ● 裏面にはプリントしないでください。

●ハガキ

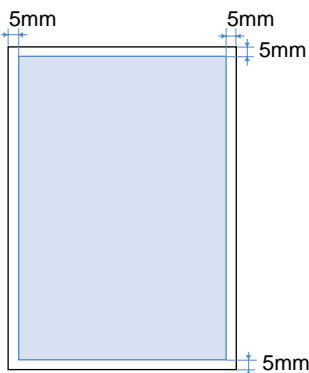
本プリンタでは、官製ハガキのみを使用できます。往復ハガキや私製ハガキは使用できません。

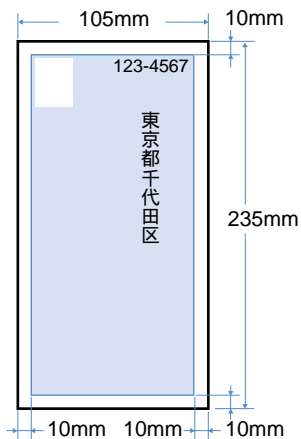
- ● インクジェット用の官製ハガキを使用することはできません。

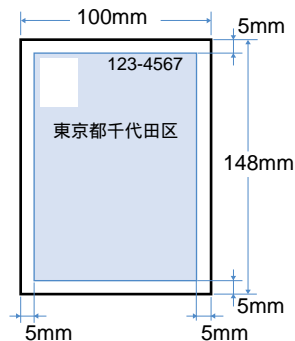
プリントできる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。

●普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / 光沢フィルム / ラベル用紙

普通紙/厚紙/OHPフィルム/光沢フィルム/ラベル用紙は、用紙の周囲5mmより内側の範囲にプリントできます。

●封筒

封筒は、封筒の周囲10mmより内側の範囲にプリントできます。お使いのアプリケーションによっては、プリント時に位置を調整してお使いください。

●ハガキ

ハガキは、官製ハガキの周囲5mmより内側の範囲にプリントできます。

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

● 紙づまりを起こしやすい用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 不規則な形の用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- 破れている用紙
- 表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- カールした用紙や折り目のある用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
- 複写機や他のレーザープリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
- バリのある用紙
- しわのある用紙
- 角折れのある用紙

● 高温によって変質する用紙
- 定着器の熱（約 180℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
- 感熱用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 糊などがついた用紙

● プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
- カーボン紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 複写機や他のレーザープリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）

● トナーが定着しにくい用紙
- ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに注意してください。

- **用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。**
- **用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。**
- **平らな場所に保管してください。**
- **床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。**
- **用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。**
- **用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。**
- **直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。**
- **保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。**

カラープリントの保管について

本プリンタでプリントしたカラープリントの取り扱いや保管するときは、次の点にご注意ください。

- **クリアホルダなどPVC素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。**
- **糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。**
- **カラープリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。**
- **平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。**
- **高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。**
- **長期間（2年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）**

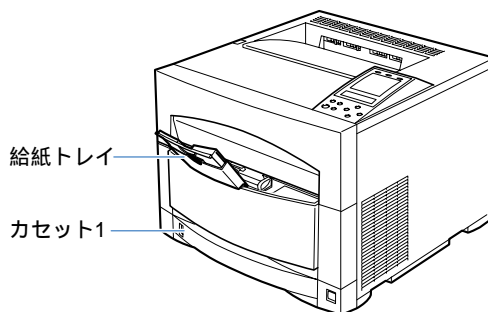
給紙元を選択する

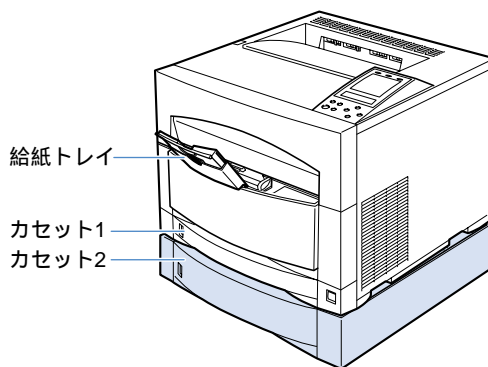
本プリンタには、標準状態で給紙カセットと給紙トレイの給紙元があります。また、オプションのペーパーフィーダユニットを装着することにより、最大3つの給紙元を使用することが可能です。

給紙元の種類

本プリンタには、次の給紙元があります。

●標準状態

給紙元：　給紙トレイ
カセット 1
給紙枚数：　最大 350 枚（64g/m²）

●ペーパーフィーダユニット PF-8 3 装着状態

給紙元：　給紙トレイ
カセット 1
カセット 2
給紙枚数：　最大 850 枚（64g/m²）

メモ

● ペーパーフィーダユニットは 1 台のみ取り付けることができます。**（→ P.279）**

給紙元の選択

■ Windows や Macintosh からプリントする場合

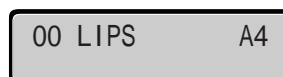
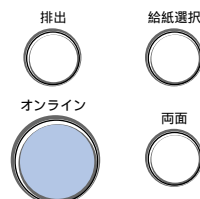
給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。
給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

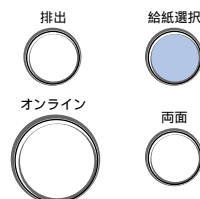
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで給紙元を選択します。本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されています。

1

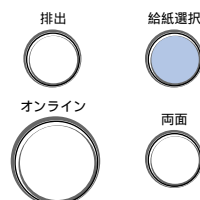
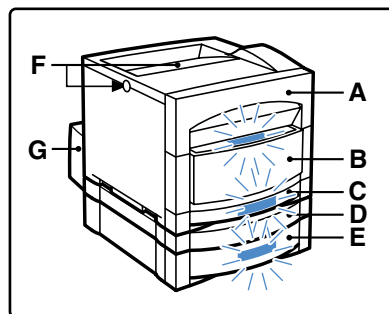
オンライン キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

2

給紙選択 キーを押します。

ディスプレイに「キュウシ センタク」と表示されます。

3

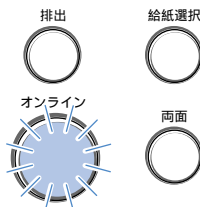
（給紙選択）キーを再び押して、給紙元を選択します。

（給紙選択）キーを押すたびに、使用可能な給紙元がジドウ→カセット１→カセット２（ペーパーフィーダユニット取付時）→トレイの順で変わります。

メモ

- オプションのペーパーフィーダユニットが装着されていないときは、カセット２の給紙元表示ランプは点灯しません。
- 自動給紙選択時の給紙元表示ランプは､｢トレイ優先｣の設定が｢シナイ｣のときはカセット１が点灯し「スル」のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は自動給紙で選択された給紙元が点灯します。
- 自動給紙選択時に､2つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は､給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。

4

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

給紙元が設定され、プリントできる状態になります。ディスプレイ右上に選択した給紙元の用紙サイズが表示されます。

メモ

- 給紙元の選択は、（<）、（>）キーでも可能です。
- 給紙元の変更は、（V）キーでも可能です。
- 給紙元は、（<）、（>）、（Λ）キー、（給紙選択）キー以外のキーを押すと、選択中の給紙元に変更されます。

4

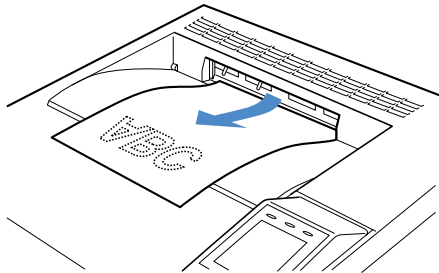
第4章　給紙・排紙のしかた

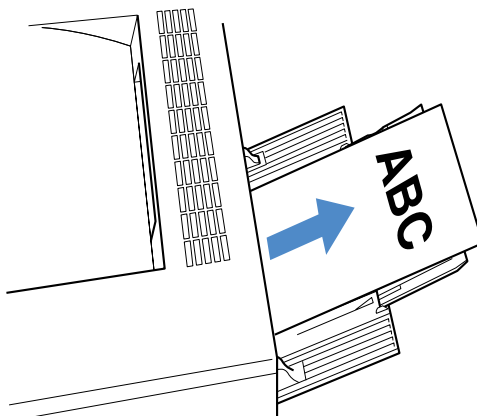
排紙先を選択する

本プリンタは､プリンタ上面の排紙トレイとプリンタ背面のサブ排紙トレイの排紙先があり､目的に応じて使いわけることができます。

排紙先の種類

■排紙トレイ

プリンタ上面の排紙トレイに、印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。
排紙トレイには、普通紙（64g/m²）で約250枚まで積載することができます。

■サブ排紙トレイ

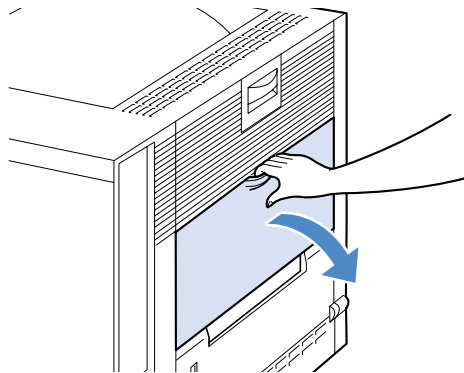
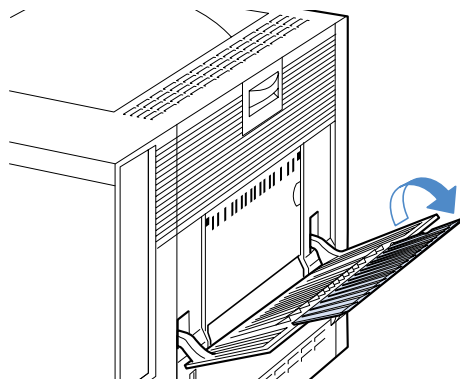
プリンタ背面のサブ排紙トレイに､印字した面が上向き（フェースアップ）で排紙されます。用紙はページ順とは逆に積み重なります。
フェースアップ排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすいOHPフィルムや光沢フィルム、ラベル用紙、封筒、ハガキなどに印字するときに使います。
サブ排紙トレイには、普通紙（64g/m²）で約50枚まで積載することができます。

排紙先の選択

排紙先は、サブ排紙トレイの開閉によって切り替わります。排紙先を選択するときは、次の手順で行います。

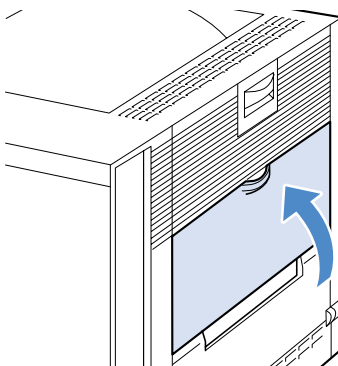
■フェースアップ排紙に切り替える

1

サブ排紙トレイを開きます。

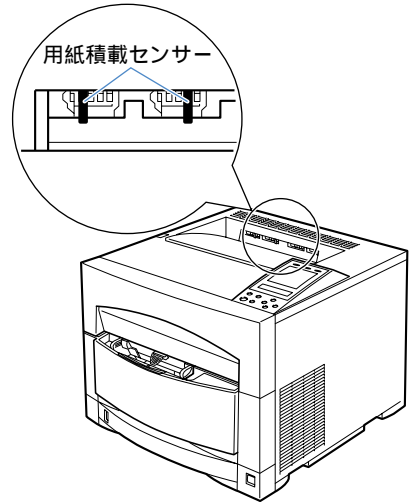
2

補助トレイを開きます。

■フェースダウン排紙に切り替える

1

補助トレイを閉じ、サブ排紙トレイを閉じます。

お願い

● プリント中は、サブ排紙トレイの開閉を絶対に行わないでください。紙づまりの原因となります。

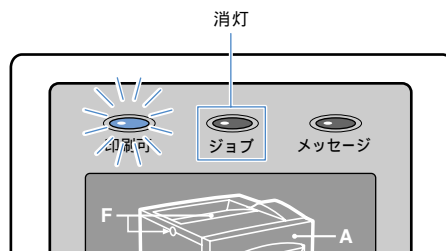
メモ

● 排紙トレイには、普通紙（64g/m²）で約250枚まで積載することができます。排紙トレイには用紙積載センサーがあり、満載になると「1F ハイシトレイ フル」のメッセージが表示されてプリントが停止されます。排紙トレイが満載になったときは、排紙トレイから用紙を取り除いてください。プリントが再開されます。

用紙をセットする

本プリンタの給紙元には、給紙カセット、給紙トレイ、ペーパーフィーダがあります。給紙カセットやペーパーフィーダには、A4やB5などの定形サイズの普通紙をあらかじめセットしておくことができます。給紙トレイには、定形サイズと定形以外の用紙をセットでき、使用する用紙をその都度セットします。
給紙カセットや給紙トレイなどの用紙がなくなると、ディスプレイに「11　A4ヨウシガ　アリマセン」や「17　カセット1　ヨウシ　ナシ」などのメッセージが表示され、給紙元の用紙がなくなったことを表示します。このメッセージが表示されたら、給紙元に用紙をセットしてください。

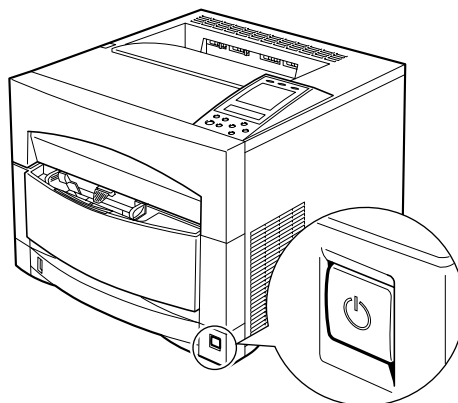
用紙をセットするときの注意

用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。

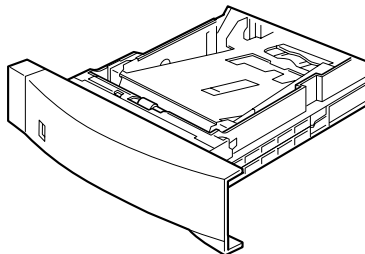
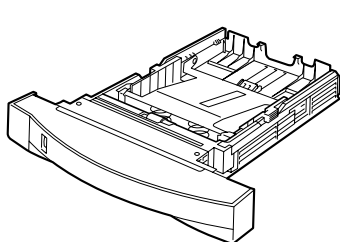
●ジョブランプが消灯しているとき

●「ヨウシナシ」のメッセージが表示されているとき

11 XXXﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

●本プリンタの電源がオフのとき

お願い

● プリント中は、絶対に本体のカバーやカセットを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

給紙カセットからプリントする

カセット1やカセット2には、A5、B5、A4、レター、リーガル、エグゼクティブの普通紙をセットできます。また、標準装備のカセット1には約250枚（64g/m²）、オプションのペーパーフィーダユニットのカセット2には約500枚（64g/m²）まで（エクゼクティブサイズの用紙は約250枚まで）セットできます。

カセット1（250枚給紙カセット：標準）

カセット2（500枚給紙カセット：オプション）

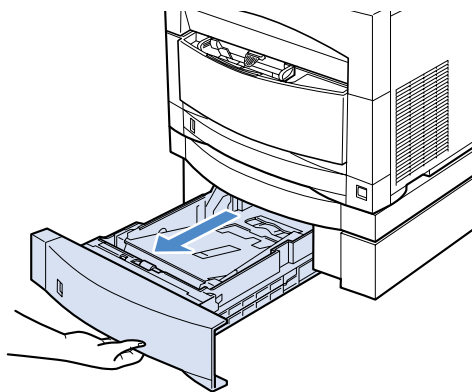
■カセット1（250枚給紙カセット：標準）

カセット1に用紙をセットする手順については、第2章「用紙をセットする」（→ **P.56**）をご覧ください。

■カセット2（500枚給紙カセット：オプション）

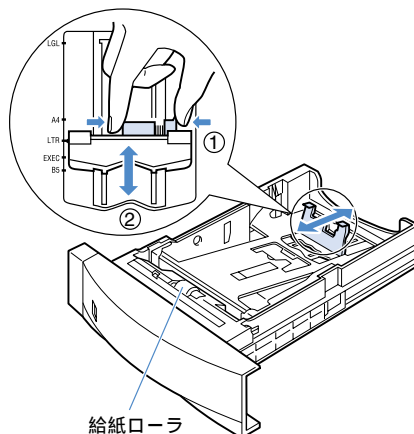
カセット2に用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

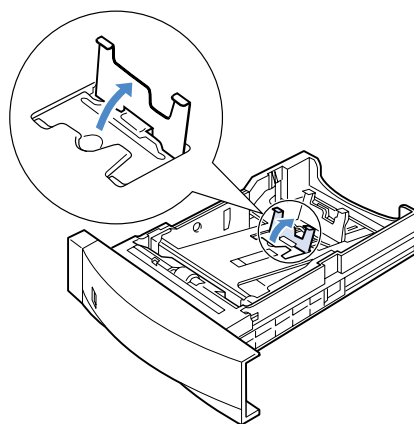
1

ジョブランプが点滅していないことを確認し、給紙カセットの取っ手に手をかけて途中まで引き出し、両手に持ち変えて引き抜きます。

注意

- **給紙カセットは途中まで引き出したら、給紙カセットを両手に持ち変えて引き抜いてください。給紙カセットを落とすと、けがやプリンタ破損の恐れがあります。**
- **給紙カセットを引き抜く際に、金属部分を持たないようにしてください。けがの恐れがあります。**

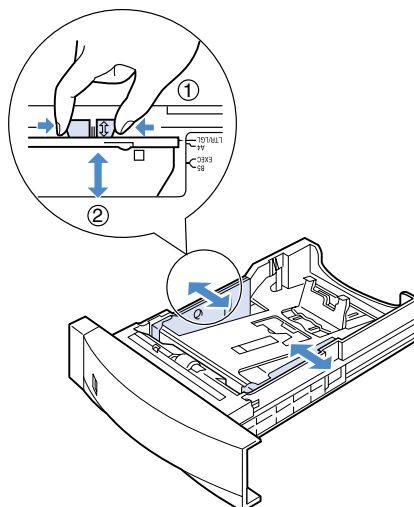
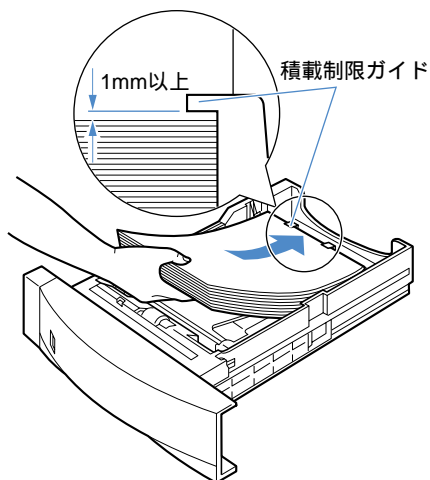
2

ロック解除レバーをつまみながら①、後側用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせて移動します②。

A5サイズの場合は、A5専用の後側用紙ガイドを起こします。

お願い

● 給紙カセットの給紙ローラのゴム部分には手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。

3

ロック解除レバーをつまみながら①、左側用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせて移動します②。

側面の用紙ガイドは、左右が連動します。

4

用紙を後側用紙ガイドに突き当ててセットします。

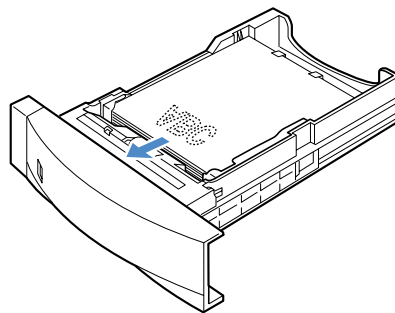
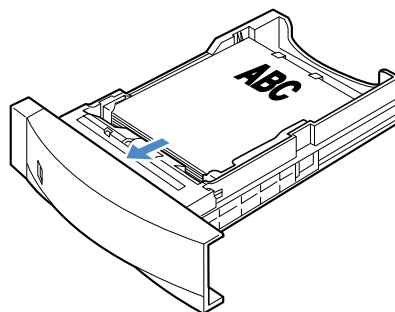
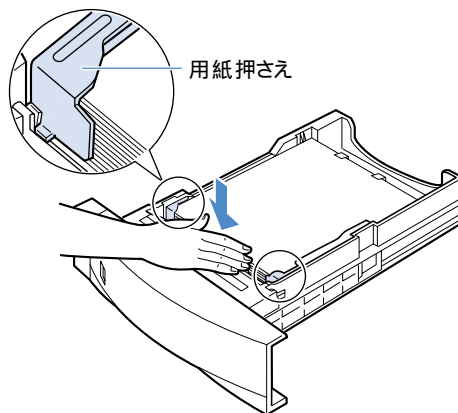
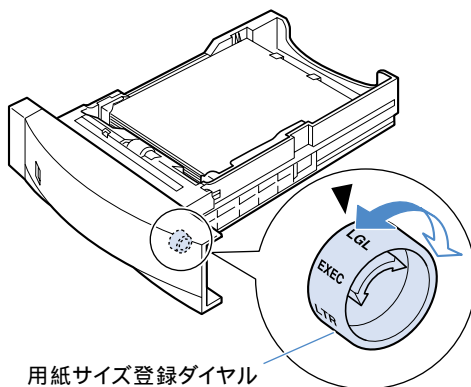
お願い

- 用紙はさばかないでセットしてください。重送の原因になります。
- 用紙をセットできるのは、用紙ガイドの積載制限ガイドより、約1mm以上低いところ（積載制限ガイドと用紙に十分隙間が空いている高さ）までです。無理に積載制限ガイドの下へ押し込んでセットしないでください。給紙不良や紙づまりの原因となります。
- エグゼクティブサイズの用紙については、積載制限ガイドより十分余裕をもたせてください。（約250枚が目安です。）給紙不良の原因となります。

メモ

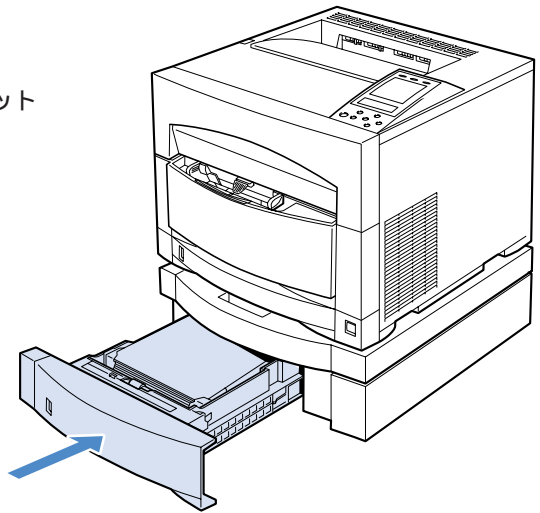
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次のように正しい向きに用紙をセットしてください。
  - 片面プリントの場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、上端が手前になるようにセットします。

  - オプションの両面ユニットを使って両面プリントする場合は、裏面からプリントされますので用紙をセットする向きが片面プリントのときと逆になります。用紙の表面を上に向け、上端が奥側になるようにセットします。

5

用紙の手前側を下へ押さえて、用紙の左右端を用紙押さえの下へ押し込みます。

用紙サイズ登録ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせます。

お願い

- **必ずセットした用紙と用紙サイズ登録ダイヤルを合わせてください。違っていると、正しく給紙されません。**
- **A5 サイズの用紙をセットした場合は、“ CUSTOM ” にセットしてください。**

7

給紙カセットをペーパーフィーダユニットにセットします。

お願い

- 用紙が給紙されない場合は、用紙ガイドを少し後ろへずらして、用紙を強く押し過ぎないようにしてください。
- 用紙が重送される場合は、用紙ガイドを少し手前へずらして、用紙ガイドと用紙の間に隙間を空けないようにしてください。

給紙トレイからプリントする

給紙トレイには、横幅が76.2～216mm、長さが127～356mmの範囲の用紙をセットできます。OHPフィルム、光沢フィルム、ラベル用紙、封筒、ハガキなど、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。給紙トレイからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

● プリンタドライバが使用できないOSからプリントする場合は、あらかじめ給紙元を「トレイ」に設定してください。（→ P.100）

●給紙トレイに用紙をセットする（→ P.112）

●排紙先を選択する（→ P.120）

●用紙のサイズとタイプを設定する（→ P.122, 125）

セットアップメニューの「キュウシ」グループ

「トレイヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ

「トレイヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ

DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSからプリントするときは、次の設定を行います。

セットアップメニューの「キュウシ」グループ

「デフォルトヨウシタイプ」＝通常使用する用紙のタイプ

「トレイヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ

両方の用紙タイプの設定を必ず一致させてください。

●プリンタドライバを設定する（→ P.128）

プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh版プリンタドライバの操作については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

［ページ設定］ページ

［出力用紙サイズ］＝セットした用紙のサイズ

［給紙］ページ

［給紙部］＝［手差し（トレイ）］

［用紙タイプ］＝セットした用紙のタイプ

● 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

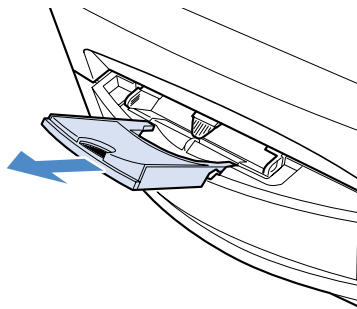
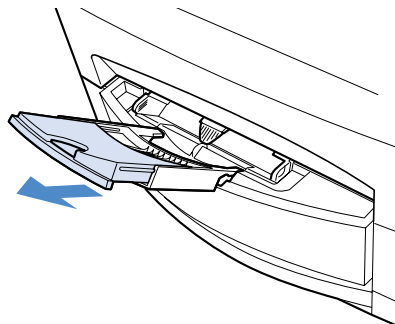
● 用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

● OHPフィルムや光沢フィルムにプリントする場合は、「OHPフィルム/光沢フィルムにプリントする」（→ P.130）をご覧ください。

給紙トレイに用紙をセットする

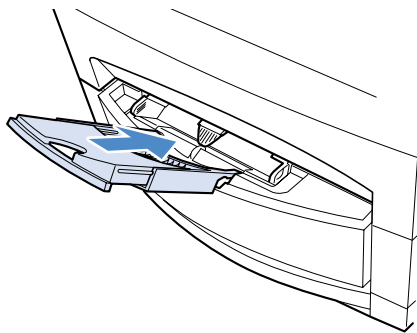
■用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする

給紙トレイに普通紙や厚紙、ラベル用紙などをセットするときは、次の手順で行います。

給紙トレイの取っ手を持ち、給紙トレイを引き出します。

長いサイズの用紙をセットするときは、給紙トレイの取っ手を持ち、補助トレイを引き出します。

お願い

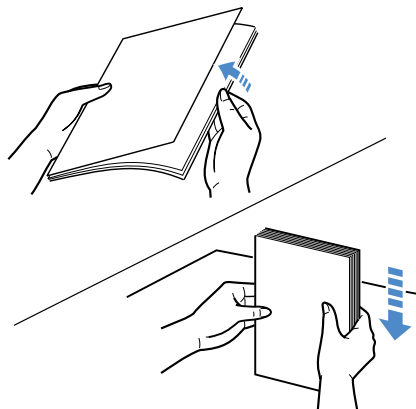
● 給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

給紙トレイを閉じるときは

給紙トレイを閉じるときは、開くときと逆の手順です。給紙トレイを使わないときは、閉じておいてください。

お願い

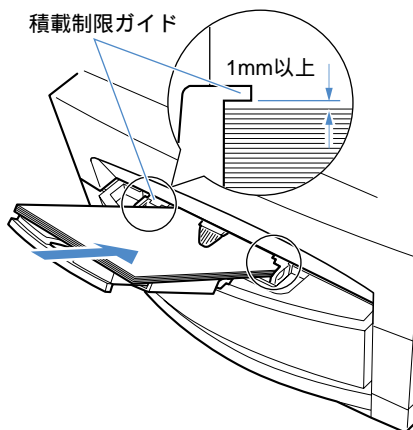
● 補助トレイは奥まで確実に収納してください。引き出したまま給紙トレイを閉じると、トレイ破損の原因になります。

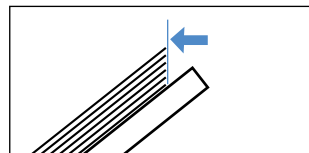
2

用紙の束をよくさばき、平らな場所で揃えます。

お願い

- 普通紙はさばかないでください。重送の原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 異なるサイズや異なるタイプの用紙を同時にセットしないでください。

3

用紙のプリント面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

お願い

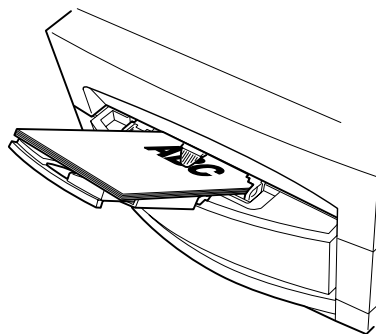
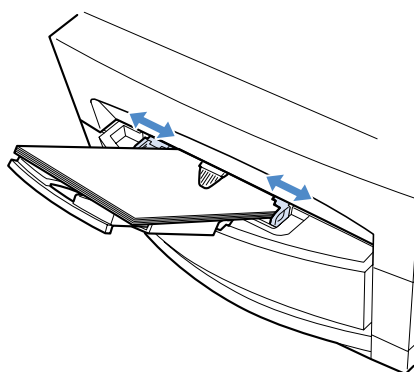
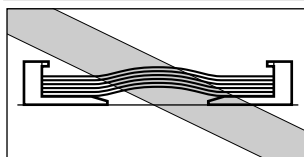
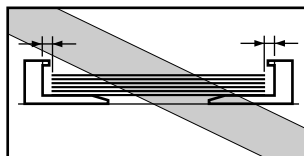
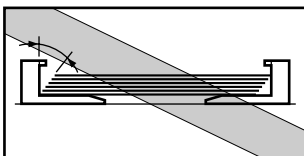
- 給紙トレイには、普通紙（64g/m²）の場合約100枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- セットした用紙は、後端がプリンタの設置面に対して垂直になるようにきれいに揃えてください。用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。

- すでに給紙トレイに用紙がセットされている場合は、一度用紙を全部取り出して、揃えてからセットしなおしてください。

メモ

● レターヘッドやロゴ付きの用紙をプリントする場合は、用紙の表面（プリント面）を上に、奥側が用紙の上端になるようにセットします。

4

用紙ガイドを両手で持って図のようにスライドさせ、用紙の左右にぴったりと合わせます。

お願い

● 用紙ガイドと用紙の間に隙間が空いたり、強く押しすぎて用紙がゆがんだりしないようにしてください。

● プリント中は、給紙トレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因となります。

次に排紙先を選択してください。（→ P.120）

■封筒を給紙トレイにセットする

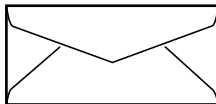
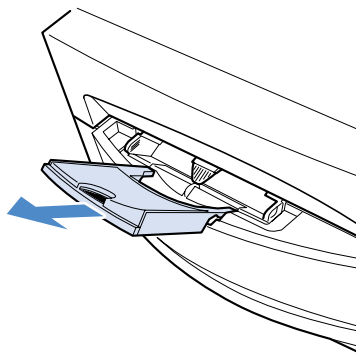
給紙トレイには、洋形4号の封筒をセットできます。封筒を給紙トレイにセットするときは、次の手順で行います。

お願い

●セットできる封筒は、次のような構造のものに限ります。

洋形4号

（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）

1

給紙トレイの取っ手を持ち、給紙トレイを引き出します。

お願い

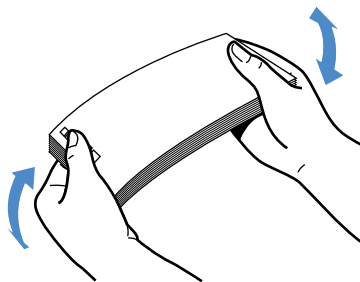
●給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

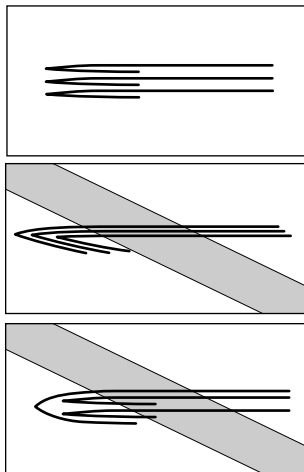
2

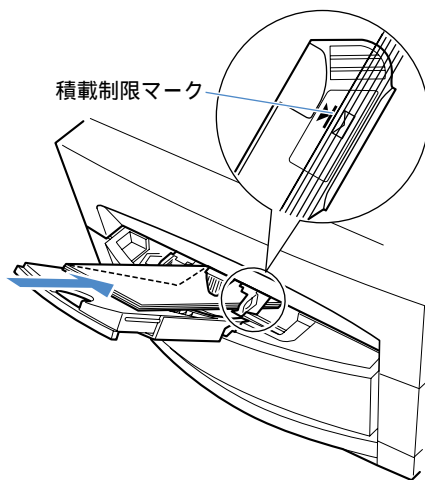
封筒の束を平らなところへ置き、縁の折り目をきちんとつけて、平らにします。

用紙は、平らな場所で揃えてください。

3

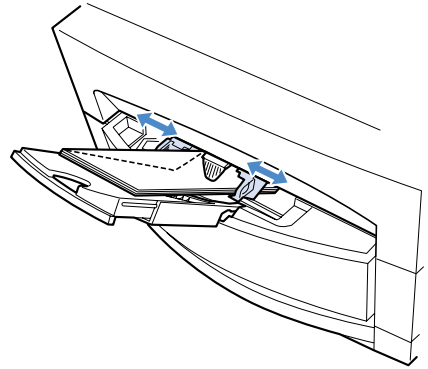
封筒の両端を持って、封筒をさばきます。

お願い

- 封筒のふたは、一枚ずつ折って重ねてからセットしてください。ふたが複数枚重なったままセットすると、紙づまりの原因となります。

4

封筒の宛名を書く面を上向き､封筒のふたを左側に向けて、先端が給紙トレイの奥に突き当たるまでゆっくりと差し込みます。

お願い

- 給紙トレイには､封筒を約20枚までセットできます。封筒束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- 封筒を使う場合は、ふたが左側になるようにセットしてください。

5

用紙ガイドを両手で持って図のようにスライドさせ、封筒の左右にぴったりと合わせます。

お願い

- 用紙ガイドと封筒の間に隙間が空いたり、強く押しすぎて封筒がゆがんだりしないようにしてください。
- プリント中は、給紙トレイの封筒に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

メモ

- 封筒が給紙されない場合は、封筒の先端を少し反らせてセットしなおしてください。

次に排紙先を選択してください。（→ P.120）

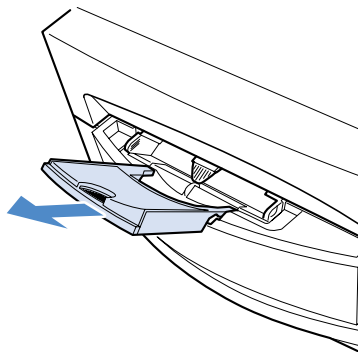
■ハガキを給紙トレイにセットする

給紙トレイには、100 × 148mm の官製ハガキを縦送り方向に約 50 枚までセットできます。ハガキを給紙トレイにセットするときは、次の手順で行います。

お願い

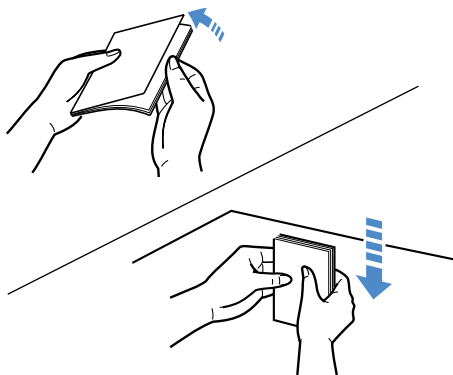
- 官製ハガキ以外のハガキへのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- インクジェット用の官製ハガキを使用することはできません。

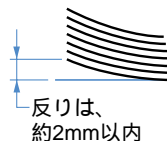
1

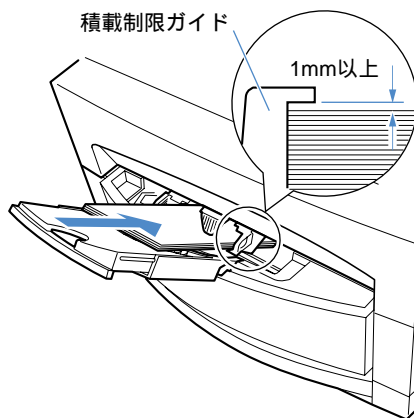
給紙トレイの取っ手を持ち、給紙トレイを引き出して開きます。

お願い

- 給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

2

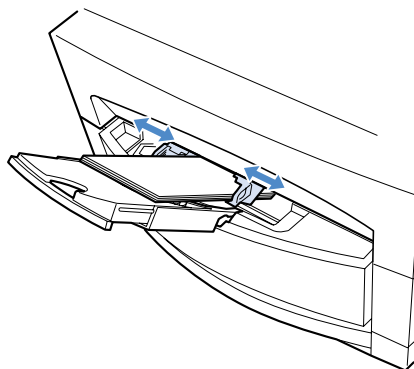
ハガキをよくさばき、平らな場所で揃えます。

お願い

- 反りがあるときは、上向きに約 2mm 以内になるように反りを修正して、よくさばいてからセットしてください。

3

プリントする面を上向き、ハガキの上端を奥側にして、給紙トレイの奥に突き当たるまでゆっくりと差し込みます。

お願い

- 給紙トレイには、ハガキを約50枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。

4

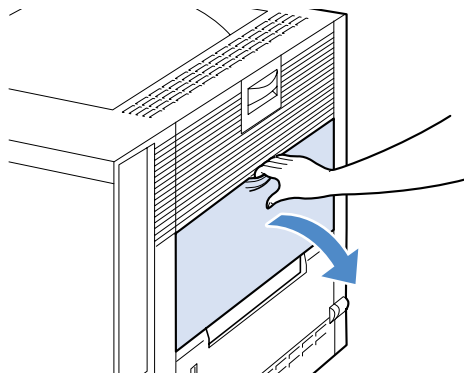
用紙ガイドを両手で持って図のようにスライドさせ、ハガキの左右にぴったりと合わせます。

お願い

- 用紙ガイドとハガキの間に隙間が空いたり、強く押しすぎてハガキがゆがんだりしないようにしてください。
- プリント中は、給紙トレイのハガキに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

次に排紙先を選択してください。（→ P.120）

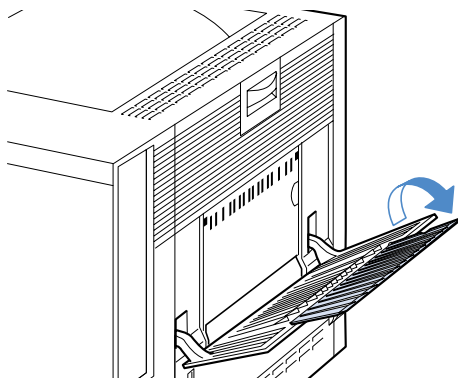
排紙先を選択する

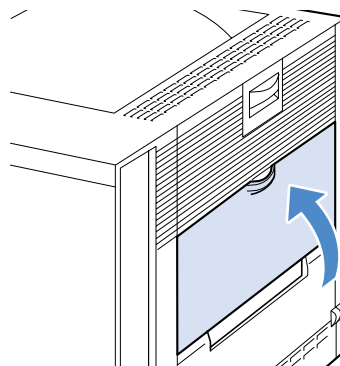
厚紙、OHPフィルム、光沢フィルム、ラベル用紙、ハガキ、封筒、定形外の用紙などにプリントする場合は、排紙先をサブ排紙トレイに切り替えます。普通紙にプリントする場合は、目的に合わせて排紙先を選択することができます。

■フェースアップ排紙に切り替える

1

サブ排紙トレイを開きます。

2

補助トレイを開きます。

■フェースダウン排紙に切り替える

補助トレイを閉じ、サブ排紙トレイを閉じます。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。（→ P.122）

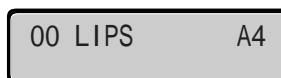
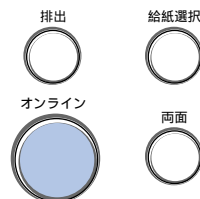
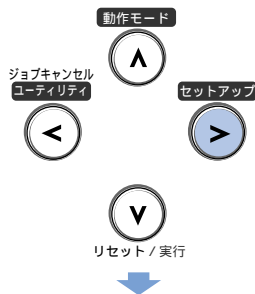
給紙トレイの用紙サイズを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから給紙トレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒、ハガキは、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「ユーザペーパー」に設定します。給紙トレイの用紙サイズ設定は、工場出荷状態で「A4」に設定されています。
給紙トレイの用紙サイズを設定するときは、次の手順で行います。

お願い

- **用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。**
- **定形外の用紙をセットしたときは、トレイ用紙サイズを「ユーザペーパー」に設定してプリントしてください。**
- **トレイ用紙サイズを「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙サイズとのチェックを行いません。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。**

メモ

- **次の用紙は、略号で表示されます。**
  レター：LT、リーガル：LG、エグゼクティブ：EX、洋形4号封筒：Y4、ハガキ：HG、フリー：FR、ユーザペーパー：80～99
- **多様な用紙サイズを給紙トレイからプリントするとき、確実に用紙のチェックが可能な場合は「フリー」が便利です。**

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

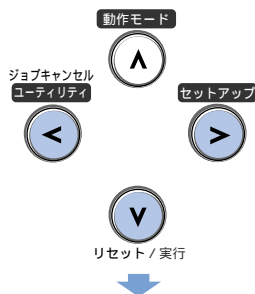
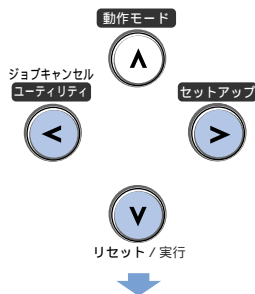
操作パネルで設定できる状態になります。

2

セットアップキーを押します。

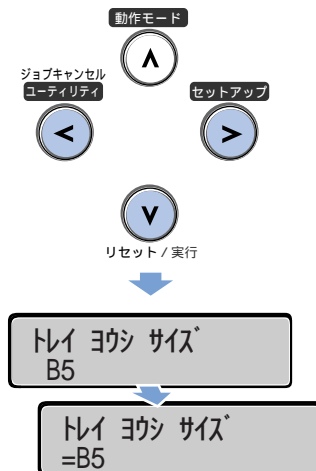
3

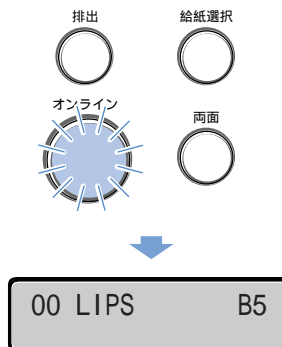
＜、＞キーで「キュウシ」を選択し、∨キーを押します。

4

＜、＞キーで「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、∨キーを押します。

5

<、>キーで用紙のサイズを選択し、∨キーを押します。

用紙サイズの左に「＝」が表示され、給紙トレイの用紙サイズが設定されます。

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

次に給紙トレイの用紙タイプを設定してください。（→ P.125）

給紙トレイの用紙タイプを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、用紙の種類に合わせて操作パネルから「トレイ　ヨウシ　タイプ」を設定します。用紙タイプに合わせて、最適な印刷モードでプリントされます。工場出荷状態では「フツウシ」に設定されています。

用紙の種類	セットアップメニュー「トレイ ヨウシ タイプ」設定値
普通紙（64～105g/m²）	フツウシ
厚紙（106～135g/m²）	アツガミ
光沢フィルム	コウタクフィルム
OHPフィルム	OHP
ラベル用紙	アツガミ

お願い

- **用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。**
- **封筒の場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「フウトウ　Y4」に設定すると、自動的に封筒の印字モードでプリントされます（→P.122）。操作パネルからの「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。**
- **ハガキの場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「ハガキ」に設定すると、自動的にハガキの印字モードでプリントされます（→P.122）。操作パネルからの「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。**
- **実際に給紙トレイにセットする用紙のタイプと「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。**
- **「トレイ　ヨウシ　タイプ」を「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプとのチェックを行いません。必ず、プリンタドライバで設定した用紙タイプと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。**

操作パネルで給紙トレイの用紙タイプを設定するときは、次の手順で行います。

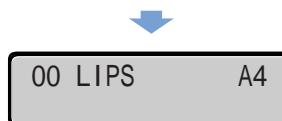
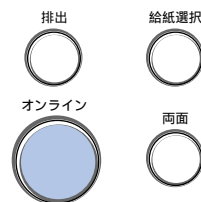
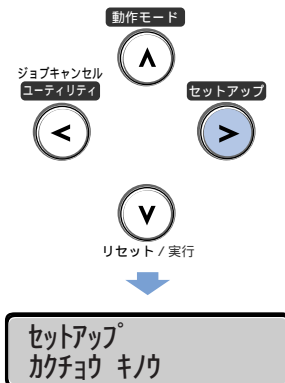
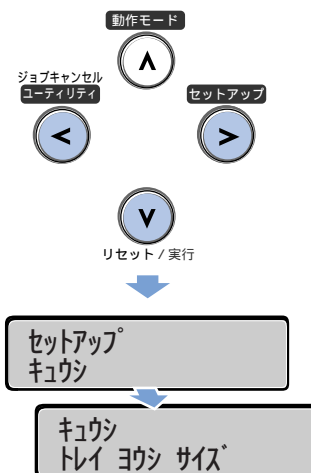
1

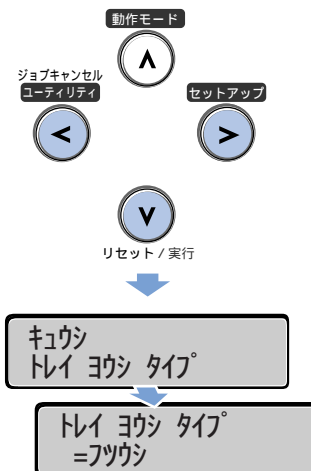
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

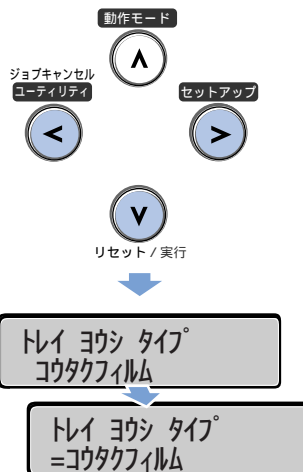
2

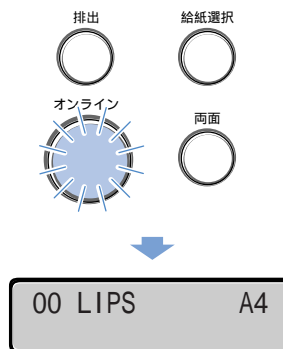
セットアップキーを押します。

3

<、>キーで「キュウシ」を選択し、∨キーを押します。

4

<、>キーで「トレイ　ヨウシ　タイプ」を選択し、∨キーを押します。

5

<、>キーで用紙のタイプを選択し、∨キーを押します。

用紙タイプの左に「＝」が表示され、給紙トレイの用紙タイプが設定されます。

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

WindowsやMacintoshのプリンタドライバからプリントする場合は、プリンタドライバを設定してください。**（→ P.128）**

プリンタドライバを設定する

給紙トレイの用紙にプリントするときは、プリンタドライバの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］にセットした用紙サイズ、［給紙］ページの［給紙部］に［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］に用紙の種類に合わせて下記の設定値を選択します。

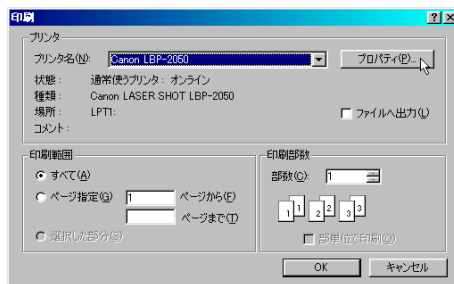
用紙の種類	セットアップメニュー「用紙タイプ」設定値
普通紙（64〜105g/m²）	普通紙
厚紙（106〜135g/m²）	厚紙
光沢フィルム	光沢フィルム
OHPフィルム	OHPフィルム
ラベル用紙	厚紙

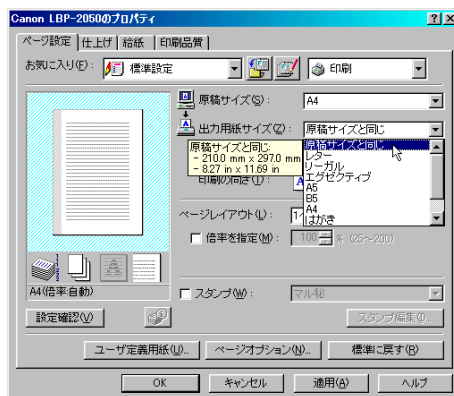
プリンタドライバの設定は、Windows 95/98/Me 用プリンタドライバ Version8.4x を例に記載しています。

1

アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

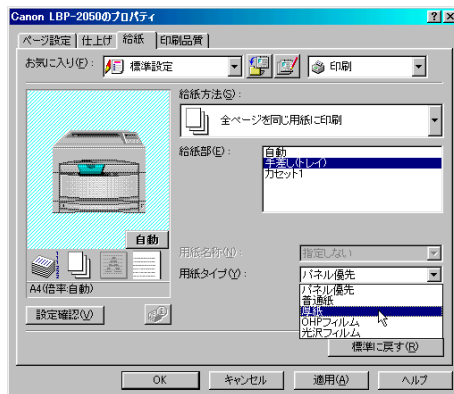
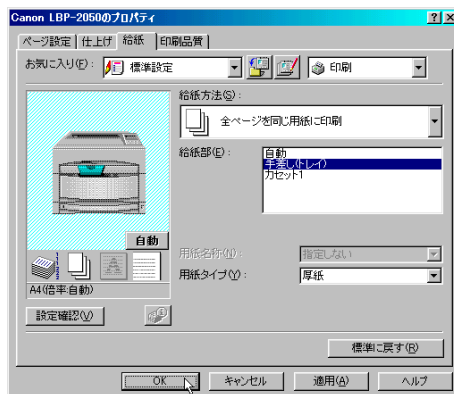
2

［ページ設定］ページをクリックし、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

3

［給紙］ページをクリックし、［用紙タイプ］で用紙のタイプ、［給紙部］で［手差し（トレイ）］を選択します。

［用紙タイプ］には、厚紙とラベル用紙の場合は［厚紙］、OHPフィルムの場合は［OHPフィルム］、光沢フィルムの場合は［光沢フィルム］を選択してください。

4

［OK］ボタンをクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

5

［OK］ボタンをクリックし、印刷を実行します。

お願い

- **セットアップメニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」とプリンタドライバの［出力用紙サイズ］の設定が異なっていると、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。**

OHPフィルム／光沢フィルムにプリントする

OHP フィルムや光沢フィルムにプリントするときは、次の操作や設定をすべて行ってください。

●給紙トレイに用紙をセットする（→ P.131）

本プリンタ専用の「キヤノン カラーレーザー OHP 用紙 TR-3 A4（A4 サイズ）」または「キヤノン カラーレーザー 光沢フィルム GF-2 A4（A4 サイズ）」を給紙トレイにセットします。

●排紙先を選択する（→ P.133）

●用紙のサイズとタイプを設定する（→ P.134）

セットアップメニューの「キュウシ」グループ

「トレイヨウシサイズ」＝ 「A4」
「トレイヨウシタイプ」＝ 「OHP」（OHP フィルムの場合）
「コウタクフィルム」（光沢フィルムの場合）

●プリンタドライバを設定する（→ P.138）

プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows 版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh 版プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

［ページ設定］ページ
［出力用紙サイズ］＝「A4」

［給紙］ページ
［給紙部］＝［手差し（トレイ）］
［用紙タイプ］＝ ［OHP フィルム］（OHP フィルムの場合）
［光沢フィルム］（光沢フィルムの場合）

●「トレイ用紙サイズ」と「トレイ用紙タイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］キーを押すと、「トレイ用紙サイズ」の設定と「トレイ用紙タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを継続することができます。

● OHP 用紙 TR-3 A4 は、LBP-2160/2040/2050/2200/2260/2260PS/2300/2360 専用です。他のカラーレーザープリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。

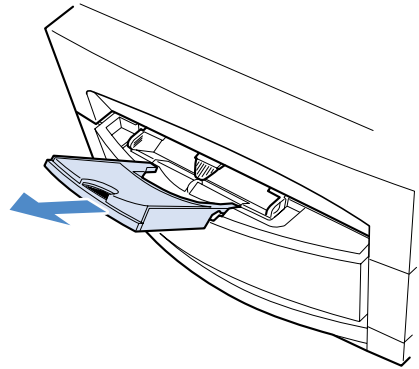
● 光沢フィルム GF-2 A4 は、LBP-2040/2050 専用です。他のカラーレーザープリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。

● OHP 投影時にカールが気になる場合は、アプリケーションで上下の余白を十分にとるように編集するか、または投影時に OHP フィルムを「OHP フィルムホルダ」にはさんでご使用になることをおすすめします。

給紙トレイに用紙をセットする

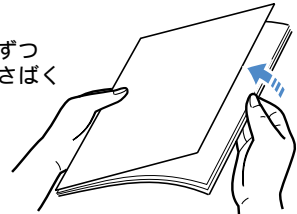
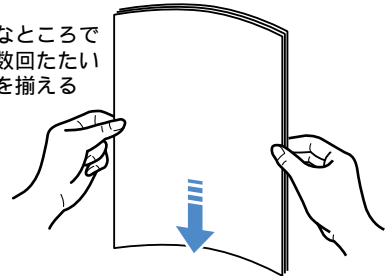
OHP フィルムや光沢フィルムは、給紙トレイを開き、次の手順でセットします。

1

給紙トレイの取っ手を持ち、給紙トレイを引き出して開きます。

お願い

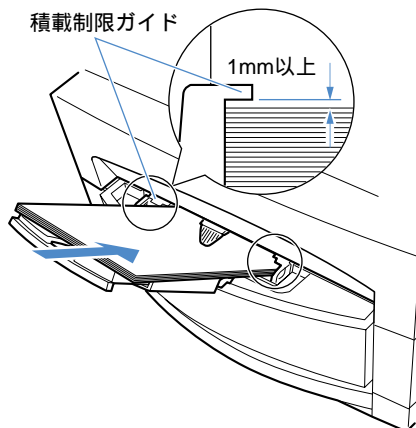
● 給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

2

用紙を少量ずつさばき、平らな場所で端を揃えます。

お願い

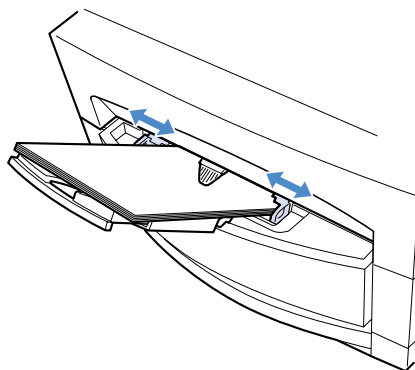
● OHP フィルムや光沢フィルムをさばいたり揃えるときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。
● OHP フィルムや光沢フィルムは、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、フィルムが重なって送られ、紙づまりの原因となります。
● OHP フィルムや光沢フィルムに手あかや指紋、ホコリ、油分が付着しないようにしてください。プリント不良の原因となります。

3

用紙が奥に当たって止まるまでゆっくりと給紙トレイに差し込みます。

お願い

● 積載制限ガイドを超えないようにセットしてください。また、積載制限ガイドを超えなくても、セットできる OHP フィルム、光沢フィルムは 50 枚までです。

4

用紙ガイドを両手で持って図のようにスライドさせ、用紙の左右にぴったりと合わせます。

お願い

● 用紙ガイドとOHPフィルムや光沢フィルムの間に隙間が空いたり、強く押しすぎてOHP フィルムや光沢フィルムがゆがんだりしないようにしてください。
● プリント中は、給紙トレイのOHPフィルムや光沢フィルムに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。
● 未開封の OHP フィルムや光沢フィルムは、温度範囲：0 ～ 40℃、湿度範囲：35 ～ 90%で保管してください。
● 使いかけのOHPフィルムや光沢フィルムは放置せず、必ず元のパッケージに入れて保管してください。

次に排紙先を選択してください。（→ P.133）

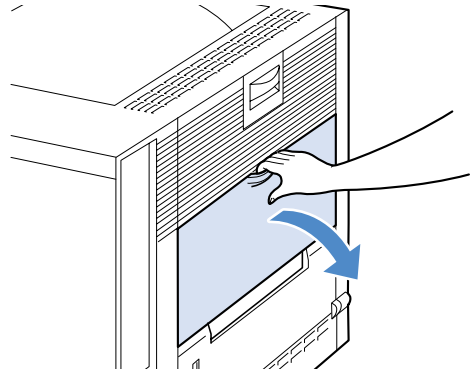
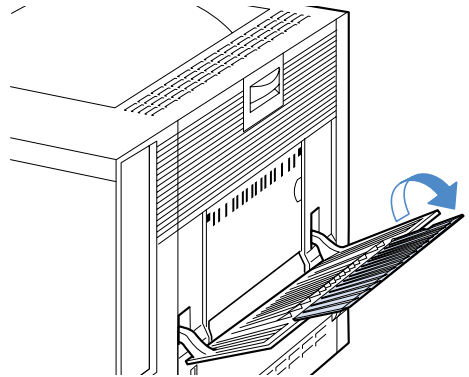
排紙先を選択する

OHP フィルムや光沢フィルムにプリントする場合は、排紙先をサブ排紙トレイに切り替えます。

■フェースアップ排紙に切り替える

1

サブ排紙トレイを開きます。

2

補助トレイを開きます。

次に用紙のサイズとタイプを設定してください。（→ P.134）

用紙のサイズとタイプを設定する

操作パネルで「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」を次のように設定します。

用紙の種類	「トレイ ヨウシ サイズ」	「トレイ ヨウシ タイプ」
OHPフィルム	A4	OHP
光沢フィルム	A4	コウタクフィルム

お願い

- 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 実際に給紙トレイにセットする用紙のタイプと「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。

4

第4章　給紙・排紙のしかた

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

2

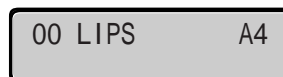
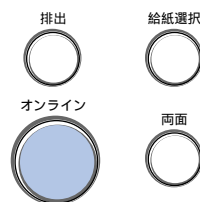
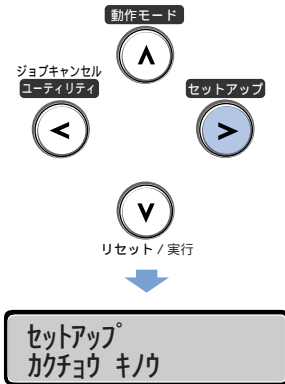
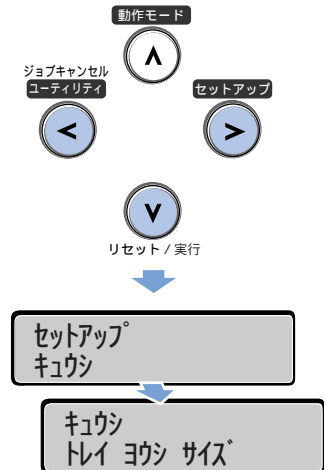
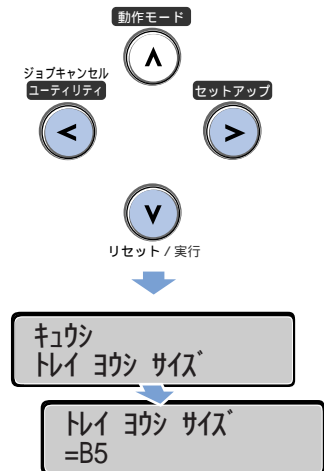
セットアップキーを押します。

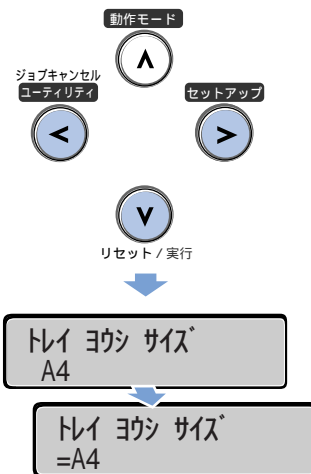
3

＜、＞キーで「キュウシ」を選択し、∨キーを押します。

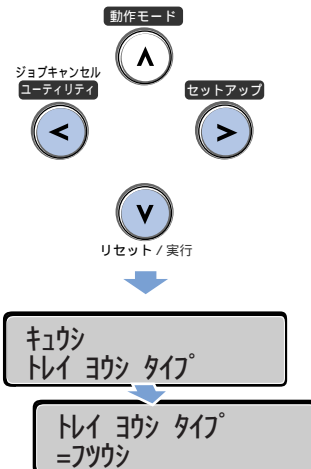
4

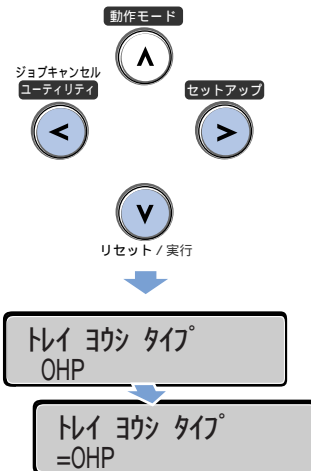
＜、＞キーで「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、∨キーを押します。

5

<、>キーで用紙のサイズを選択し、V キーを押します。

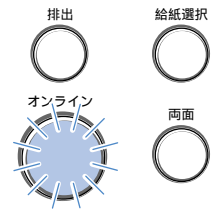
用紙タイプの左に「＝」が表示され、トレイの用紙タイプが設定されます。

6

<、>キーで「トレイ　ヨウシ　タイプ」を選択し、V キーを押します。

7

<、>キーで用紙のタイプを選択し、V キーを押します。

用紙タイプの左に「＝」が表示され、トレイの用紙タイプが設定されます。
OHP フィルムの場合は［OHP］、光沢フィルムの場合は［コウタクフィルム］を選択してください。

8

オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

WindowsやMacintoshのプリンタドライバからプリントする場合は、プリンタドライバを設定してください。（→ P.138）

プリンタドライバを設定する

プリンタドライバの［ページ設定］ページで［出力用紙サイズ］、［給紙］ページで［給紙部］、［用紙タイプ］を次のように設定して印刷を実行します。

用紙の種類	ページ設定ページ	給紙ページ	
	出力用紙サイズ	給紙部	用紙タイプ
OHPフィルム	A4	手差し（トレイ）	OHPフィルム
光沢フィルム	A4	手差し（トレイ）	光沢フィルム

お願い

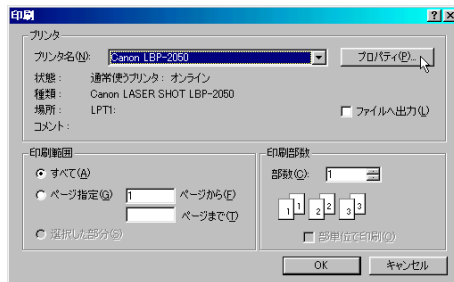
- **光量の少ないオーバーヘッドプロジェクタ（反射型OHP等）の場合、プリンタドライバで「お気に入り」の「明るさ強調」を選択してから、上記各項目の設定を行ってください。**

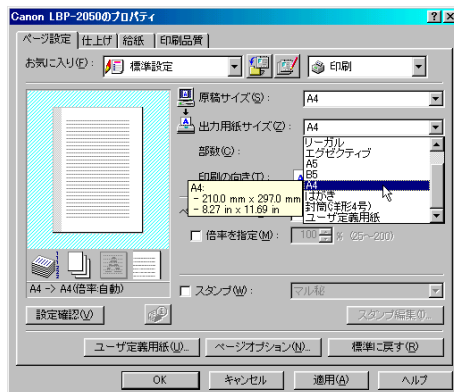
プリンタドライバの設定は、Windows 95/98/Me 用プリンタドライバ Version8.4x を例に記載しています。

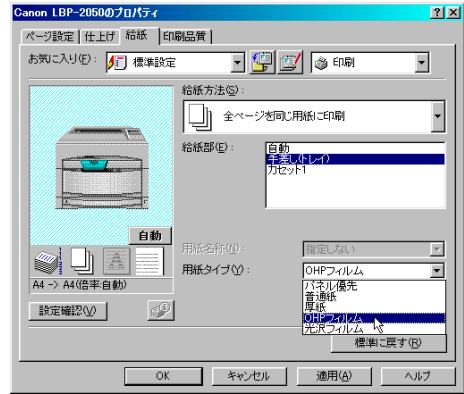
1

アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2

［ページ設定］ページをクリックし、［出力用紙サイズ］で［A4］を選択します。

3

[給紙] ページをクリックし、[用紙タイプ] で用紙のタイプ、[給紙部] で [手差し（トレイ)] を選択します。

[用紙タイプ」には、OHP フィルムの場合は［OHP フィルム］、光沢フィルムの場合は［光沢フィルム］を選択してください。

お願い

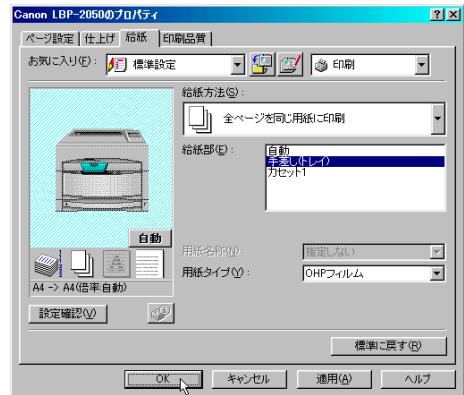
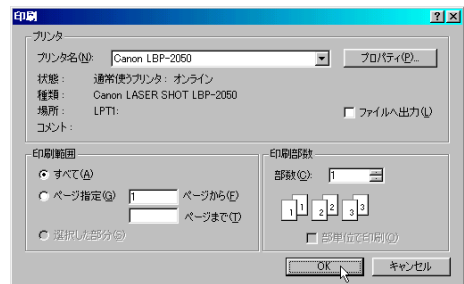
● **用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。**

4

[OK] ボタンをクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

5

[OK] ボタンをクリックし、印刷を実行します。

お願い

● **OHP フィルムや光沢フィルムは、フェースアップ排紙でプリントしてください。フィルムの折れやつまりを防ぐために、排紙された用紙を 1 枚毎に取り除いてください。**

両面にプリントする

オプションの両面ユニットを取り付けると、定形サイズの普通紙に両面プリントすることができます。使用できる用紙は、B5、A4、レター、リーガル、エグゼクティブサイズの用紙です。給紙カセットと給紙トレイのどちらからでも給紙できます。

お願い

- **A5 サイズや不定形サイズ用紙、OHP フィルム、光沢フィルム、ラベル用紙、封筒、ハガキには、両面プリントできません。**
- **手動による両面プリントはできません。印字品質低下や紙づまりの原因になります。両面にプリントするときは、必ずオプションの両面ユニットをお使いください。**

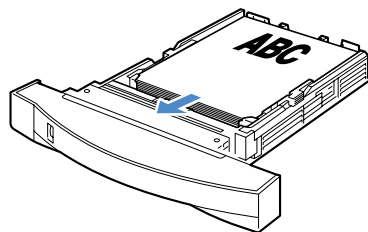
両面にプリントするときの用紙のセットのしかた

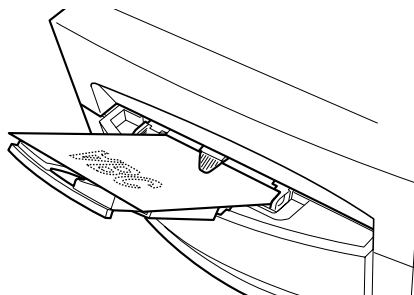
オプションの両面ユニットを使って両面プリントする場合は、裏面からプリントされますので、用紙をセットする向きが片面プリントのときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙にプリントするときは次のように用紙をセットします。

お願い

- **下図は、オプションの両面ユニットを使って自動両面プリントする場合のセット方法です。本プリンタでは、手動で両面プリントすることはできません。**

■給紙カセットから給紙する場合

用紙の表面を上向きにし、用紙の上端を奥側に向けてセットします。

■給紙トレイから給紙する場合

用紙の表面を下向きにし、用紙の上端を手前側に向けてセットします。

両面プリントと片面プリントを切り替える

■ Windows からプリントする場合

両面プリントをするときは、プリンタドライバの［仕上げ］ページで［印刷方法］を［両面印刷］に設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ Macintosh からプリントする場合

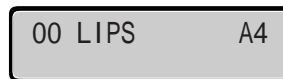
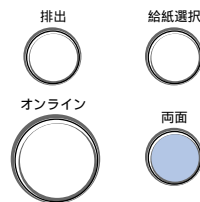
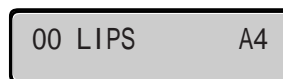
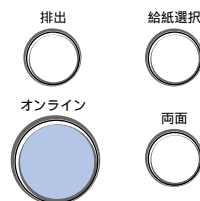
両面プリントをするときは、プリンタドライバの［両面印刷］ページで［両面印刷を行う］に設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルの（両面）キーで設定します。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

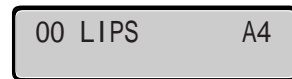
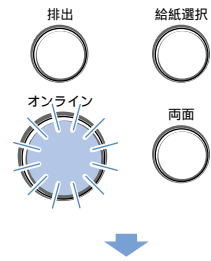
操作パネルで設定できる状態になります。

2

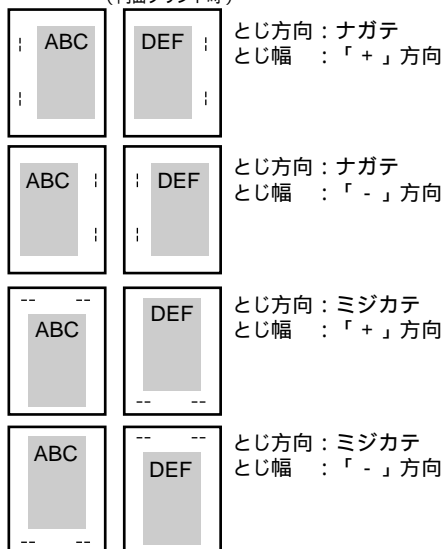
（両面）キーを押して、両面ランプを点灯します。

両面ランプが点灯しているときは、両面プリントが可能になります。ランプが消えているときは、片面プリントになります。

3

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

とじ代を付けてプリントする

用紙の端にとじ代用の余白を付けてプリントすることができます。とじ代を付けるときは、付ける位置（長手方向または短手方向）ととじ幅（最大30mm）を指定します。

● とじ代を設定した結果、用紙の印字可能領域を超えた部分はカットされます。

● プリンタドライバの場合、（＋）、（－）方向の設定はとじ位置の選択で行います。
● 両面プリントの場合、表裏のとじ位置を自動的に合わせます。
● 縦補正、横補正の設定はとじ幅の設定に関係なく有効です。このため、両面プリントで縦補正、横補正が設定されている場合、表裏のとじ代がずれることがあります。

とじ代を設定する

■ Windows からプリントする場合

とじ代は、プリンタドライバの［仕上げ］ページで［とじ方向］と［とじ代指定］を設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ Macintosh からプリントする場合

とじ代は、プリンタドライバの［とじ代］ページで設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

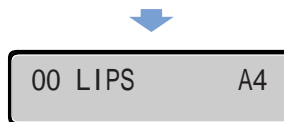
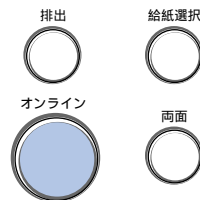
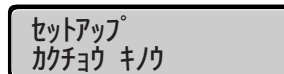
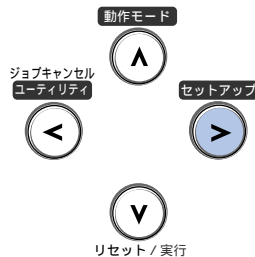
■ DOS や UNIX からプリントする場合

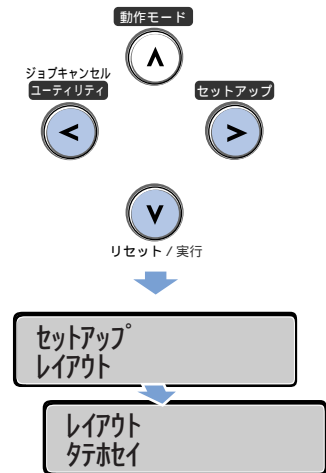
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルでとじ代を設定します。

1

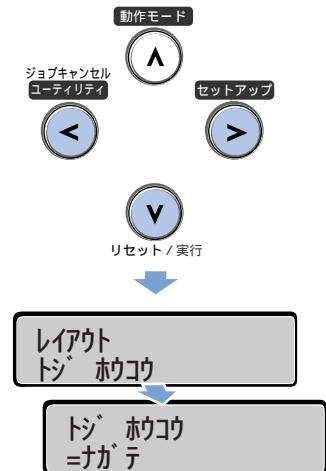
(オンライン)キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

2

(セットアップ)キーを押します。

3

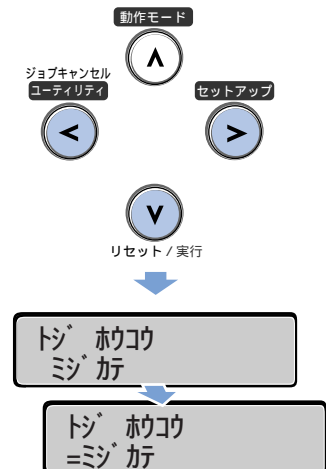
<、>キーで「レイアウト」を選択し、∨キーを押します。

4

<、>キーで「トジホウコウ」を選択し、∨キーを押します。

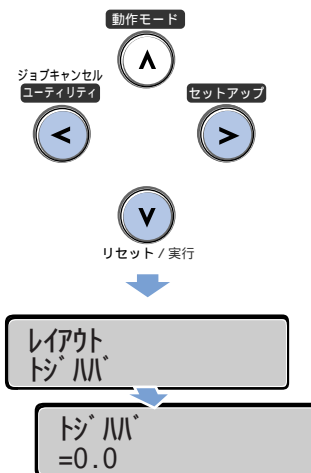
とじ方向の設定値が表示されます。

5

<、>キーで目的のとじ方向を選択し、∨キーを押します。

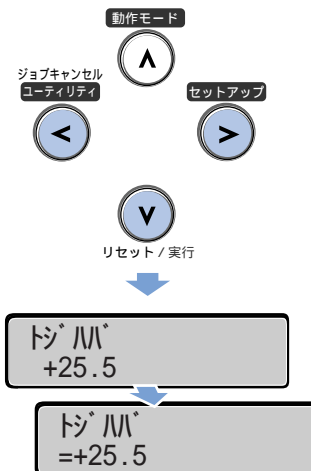
選択したとじ方向が設定されます。

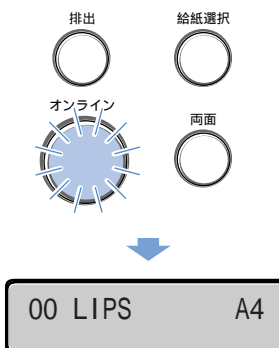
6

<、>キーで「トジハバ」を選択し、Vキーを押します。

設定されているとじ幅が表示されます。

7

<、>キーで目的の数値を選択し、Vキーを押します。

数値は、<または>キーを押すたびに0.5mm単位で変化します。
選択した数値がとじ幅に設定されます。

8

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

第5章

日常のメンテナンス

トナーカートリッジを交換する

「トナー　チェック / コウカン」が表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにチェックを促すメッセージが表示されます。プリントは継続できますが、プリントが終わったあとトナーカートリッジの交換が必要です。そのまま使い続けると、交換を促すメッセージが表示されてプリントが停止しますので、新しいトナーカートリッジと交換してください。

メモ

- **セットアップメニューの「警告処理」設定を「継続」にしているときは、「16　X　トナー　コウカン」は表示されません。メニュー機能の設定については、LIPS 機能ガイド　第 3 章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。**
- **メッセージに表示される色記号は、Y= イエロー、M= マゼンタ、C= シアン、K= ブラックの色を表しています。**

■「16　X　トナー　チェック」（X は Y または M、C、K）

「16　X　トナー　チェック」は、表示された色のトナーが少なくなり、トナーカートリッジの交換時期が近いことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイに表示されたときは、すぐにはプリンタは停止せず、プリントを続行できます。ただし、トナーが少なくなってきているので、表示された色の新品トナーカートリッジをご用意ください。また、大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。

■「16　X　トナー　コウカン」（X は Y または M、C、K）

「16　X　トナー　コウカン」は、表示された色のトナーが少なくなり、トナーカートリッジの交換時期が近いことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイに表示されたときは、プリンタが停止しますが、（オンライン）キーを押すとプリントを続行できます。ただし、トナーが少なくなってきているので、表示された色の新品トナーカートリッジをご用意ください。また、大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。

■「1G　X　トナー　コウカン」（X は Y または M、C、K）

「1G　X　トナー　コウカン」は、表示された色のトナーカートリッジが寿命となり、トナーカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイに表示されたときは、プリンタが停止してプリントを続行することはできません。このメッセージが表示されたときは、直ちに表示された色のトナーカートリッジを交換してください。

トナーカートリッジの寿命について

本プリンタ用のトナーカートリッジの寿命は、次のようになっています。プリント可能ページ数は一般的なプリント（印字比率：約5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。各色のトナー消費量はプリントする画像によって異なりますので、色によっては寿命が短くなります。

・カラートナーカートリッジ EP-83：A4/ レター原稿で約 6,000 ページ
・K（ブラック）トナーカートリッジ EP-83：A4/ レター原稿で約 9,000 ページ

● **印字がかすれたり、印字むらが出るときは、「16 X トナー　チェック」や「16 X トナー　コウカン」メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。**

トナーカートリッジの交換

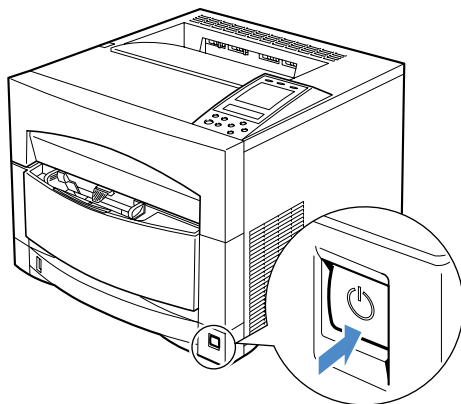
ディスプレイに「16 C トナー チェック」や「16 Y トナー コウカン」、「1G Y トナー コウカン」などのメッセージが表示されたり、プリントのC（シアン）やM（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）がかすれてきたときは、次のような手順でトナーがなくなった色のトナーカートリッジを交換してください。

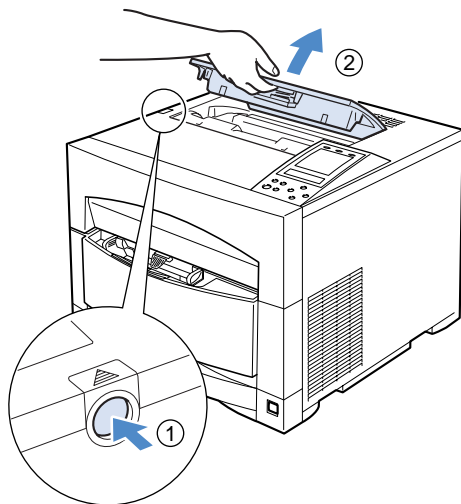
お願い

- **トナーカートリッジの交換は、必ず電源がオンの状態で行ってください。電源がオフのときに、トナーカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジホルダが動いてトナーカートリッジを取り出したり、セットしたりできなくなります。**

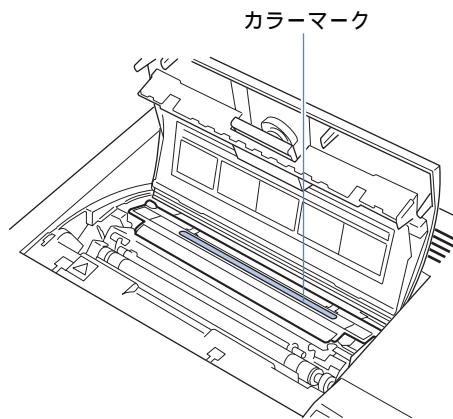
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナーカートリッジは、それぞれに同じ手順で交換してください。

1

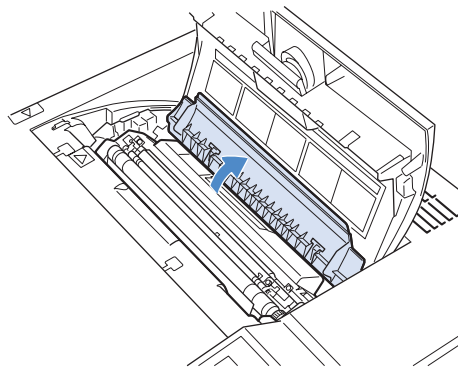
電源スイッチがオンになっていることを確認してください。

2

オープンボタンを押して①、トナーカートリッジカバーを開きます②。

3

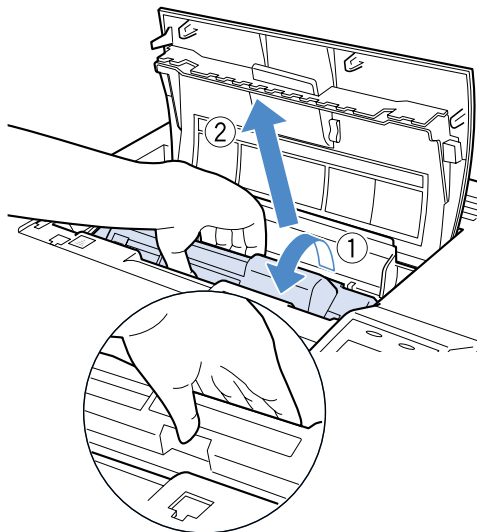
トナーカートリッジ差し込み部カバーのカラーマークの色を確認します。

他の色に替えるときは、いったんトナーカートリッジカバーを閉じます。「X トナー イドウチュウ」のメッセージが表示された後に「トナー トリダシイチ X」が表示され、カバーを開くと次の色に替ります。交換する色になるまでこの操作を繰り返します。

- **トナーカートリッジホルダの回転中は、トナーカートリッジカバーを絶対に開かないでください。途中で開いてしまった場合は、エラーメッセージが表示されます。いったん電源をオフにしてトナーカートリッジカバーを閉じてから、電源をオンにして操作をやりなおしてください。**
- **必ずトナーカートリッジの色とトナーカートリッジ差し込み部カバーのカラーマークの色を合わせて取り付けてください。違う色のトナーカートリッジをセットすることはできません。**

4

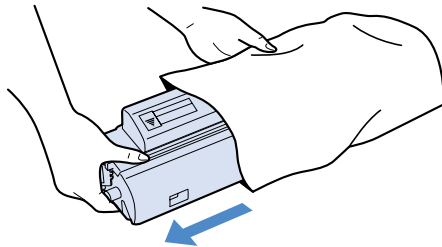
トナーカートリッジ差し込み部カバーを開きます。

5

使用済みトナーカートリッジの取っ手を持って手前に起こしてから①、上に引き抜きます②。

 警告

● 使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

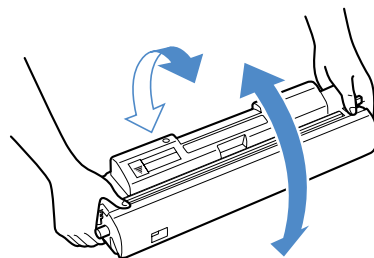
6

新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

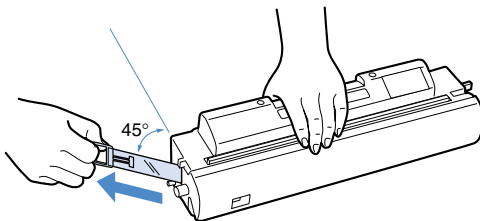
お願い

● トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

7

トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5 ～ 6 回振って、内部のトナーを均一にならします。

お願い

●トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

8

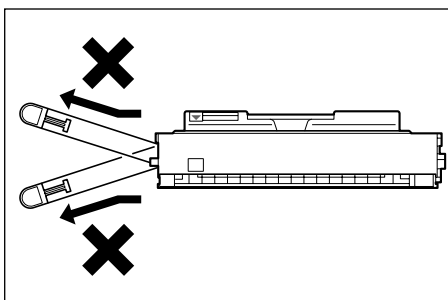
トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらシーリングテープを引き抜きます。

シーリングテープは、タブに指を掛け、真横から斜め手前45°方向に引き抜きます。

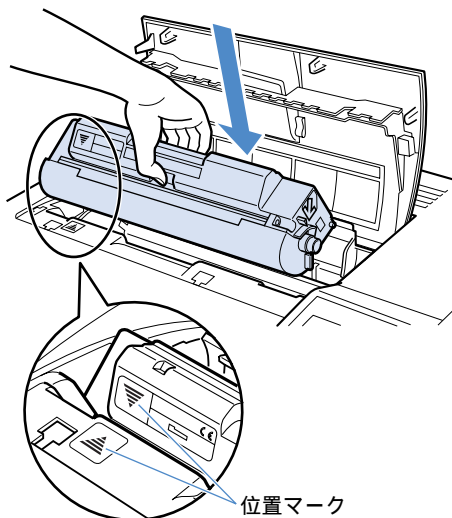
注意

- **万一、手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなる恐れがあります。**

お願い

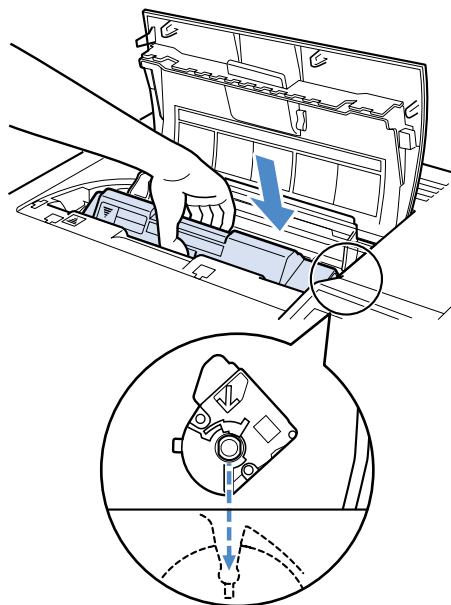
- **上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。**

- **シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。**
- **シーリングテープを引き抜いたトナーカートリッジは絶対に振らないでください。**
- **シーリングテープを引き抜くときは、カートリッジシャッターを手で押さえつけないように十分に注意して作業を行ってください。**

9

トナーカートリッジ上部の位置マークとトナーカートリッジカバー内の位置マークを合わせます。

10

トナーカートリッジをトナーカートリッジ差し込み部のガイドに合わせて垂直にゆっくりと差し込みます。

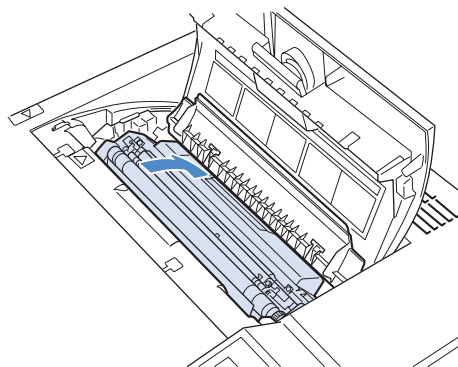
トナーカートリッジは奥に突き当たるまで、しっかりと押し込んでください。

お願い

●無理に強い力を加えないでください。故障の原因となる場合があります。

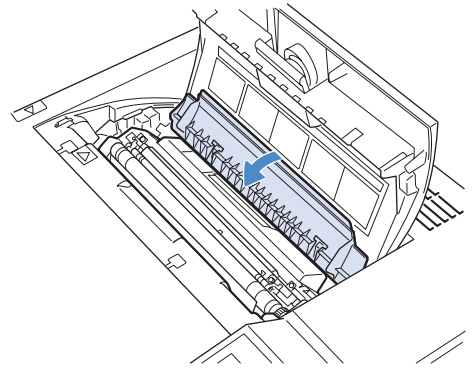
11

トナーカートリッジを後側へ突き当たるまで押してロックします。

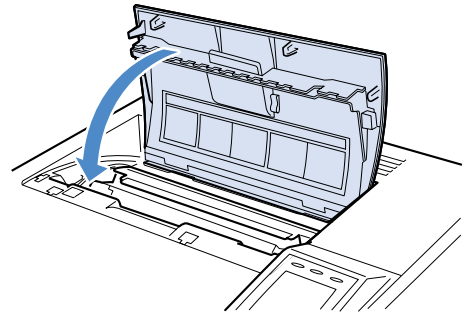
トナーカートリッジは、突き当たるまで後側へ倒すように押してください。トナーカートリッジがロックしていないと、トナーカートリッジ差し込み部カバーが閉じなかったり、エラーメッセージが表示されます。

メモ

● トナーカートリッジを後側へ押してロックすると、トナーカートリッジ内部に、Kトナーカートリッジは白色、CMY トナーカートリッジは黄色の粉が付いていますが、これはトナーカートリッジを使用する時まで内部を保護するためのもので、品質上問題はありません。

12

トナーカートリッジ差し込み部カバーを閉じます。

13

トナーカートリッジカバーを閉じます。

トナーカートリッジカバーを閉じると、トナーカートリッジホルダが回転して次の色に替わります。

他の色のトナーカートリッジも交換するときは、手順 ***2*** ～ ***13*** を繰り返してください。

お願い

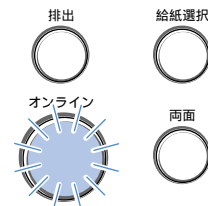
●トナーカートリッジホルダの回転中は、トナーカートリッジカバーを開けないでください。トナーカートリッジホルダが回転しているときは、ディスプレイの下段に「X トナー　イドウチュウ」のメッセージが表示されます。完了すると、「トナー　トリダシイチ　X」が表示されます。

メモ

● トナーカートリッジを交換した後は、カートリッジの検知が完了するまで数秒間エラーメッセージが残ることがあります。

14

プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンラインランプが消灯しているときは、（オンライン）キーを押してオンラインランプを点灯します。

トナーカートリッジの取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因となることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。

警告

● 使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

注意

● 万一手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着して、とれなくなる恐れがあります。

お願い

● 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。
● メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、パッケージに使われていた保護袋に入れて保管してください。
● トナーカートリッジを交換するときは、必ず同じ色のトナーカートリッジに交換してください。
● 内部のスリーブを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、カートリッジシャッターを開けたりしないでください。
● トナーカートリッジを立てたり、裏返したりしないでください。必ず矢印の付いている面を上にして取り扱ってください。
● 絶対に分解や改造などをしないでください。
● K（ブラック）トナーカートリッジは、磁気製品です。データを破損する恐れがありますので、ディスプレイやパソコン本体、フロッピーディスク、ディスクドライブなど、磁気を嫌う製品に近付けないでください。
● トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに１時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
● 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
● 交換用のトナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをおすすめします。

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。
このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“ 環境保全と資源の有効活用 ”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

お願い

- **新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。**
- **メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、パッケージに使われていた保護袋に入れて保管してください。**
- **立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。**
- **直射日光の当たる場所は避けてください。**
- **高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。**
  保管温度範囲：0 ～ 35℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%（相対湿度・結露しないこと）
- **アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。**
- **K（ブラック）トナーカートリッジは、磁気製品です。データを破損する恐れがありますので、ディスプレイやパソコン本体、フロッピーディスク、ディスクドライブなど、磁気を嫌う製品に近付けないでください。**
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**

結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露は、トナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

ドラムカートリッジを交換する

「ドラム コウカン ヨコク / コウカン」が表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイに「E0 ドラム コウカン ヨコク」や「EF ドラム コウカン」、「98 ドラム コウカン」のメッセージが表示されます。そのまま使い続けると、プリント面に黒い縦すじが現れ始め、印字品質が低下してきます。これらのメッセージが表示されたときは、次の指示にしたがってドラムカートリッジを交換してください。

お願い

- **ドラムカートリッジの交換時は、濃度センサーの清掃も忘れずに行ってください。(→P.161)**
- **一度使用したドラムカートリッジは、絶対に他のプリンタ(本プリンタと同じ機種)にセットしないでください。警告表示不良の原因になります。**

メモ

- **ドラムカートリッジの寿命が近づいた場合に、「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」が表示されるか、「98　ドラム　コウカン」が表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。「警告表示」設定を「シナイ」にしているときは、「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」は表示されません。本プリンタ工場出荷時には、「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」が表示されるように設定されています。メニュー機能の設定については、LIPS 機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。**

ドラムカートリッジの寿命について
本プリンタ用のドラムカートリッジの寿命は、次のようになっています。

A4/ レターを片面プリントした場合のプリント可能ページ数
- **フルカラープリントの場合　　　約 7,000 ページ（28,000 イメージ）**

上記のプリント可能枚数は、A4/ レターサイズの普通紙（64g/m² ～ 105g/m²）を片面プリントした場合の値で、他の設定や条件によってはプリント可能枚数は少なくなります。ドラムの寿命は用紙サイズ、用紙タイプ、片面プリントか両面プリントかなど、プリントする際の設定や条件によって異なります。

■「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」のメッセージが表示されたとき

「E0 ドラム コウカン ヨコク」は、ドラムカートリッジの寿命が近いことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイの上段に表示されると、プリンタが停止します。このメッセージが表示されたら、(オンライン)キーを押してプリントを継続できます。ディスプレイの下段に表示されると、すぐにはプリンタは停止せず、プリントを続行できます。
このメッセージが表示されたら、新品のドラムカートリッジをご用意ください。印字品質が低下している場合は、プリント終了後にドラムカートリッジを交換してください。

■「EF　ドラム　コウカン」のメッセージが表示されたとき

「EF ドラム コウカン」は、ドラムカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイの上段に表示されると、プリンタが停止します。このメッセージが表示されたら、(オンライン)キーを押してプリントを継続し、プリント終了後直ちにドラムカートリッジを交換してください。
ディスプレイの下段に表示されると、すぐにはプリンタは停止せず、プリントを続行できます。プリント終了後にドラムカートリッジを交換してください。

■「98　ドラム　コウカン」が表示されたとき

「98 ドラム コウカン」は、ドラムカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されると、プリンタが停止します。このメッセージが表示されたら、直ちにドラムカートリッジを交換してください。

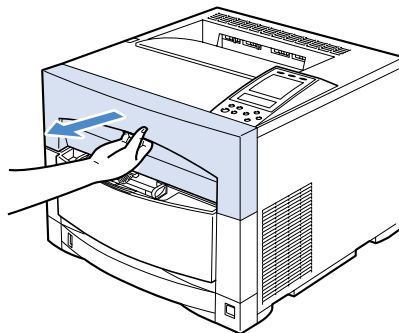
ドラムカートリッジの交換

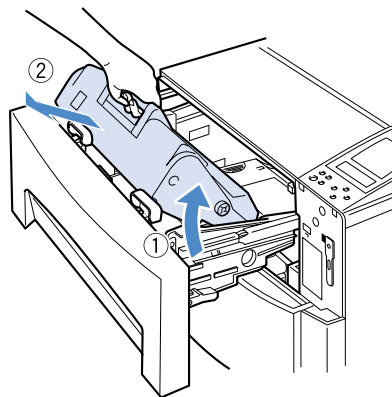
「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」や「EF　ドラム　コウカン」、「98　ドラム　コウカン」のメッセージが表示されたら、次のような手順で新しいドラムカートリッジに交換してください。

- **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。**
- **プリント品質を維持するために、ドラムカートリッジの交換と同時に、濃度センサーの清掃を行ってください。**

1

ドラムカートリッジカバーの取っ手に手をかけ、内側のロック解除レバーを引いて引き出します。

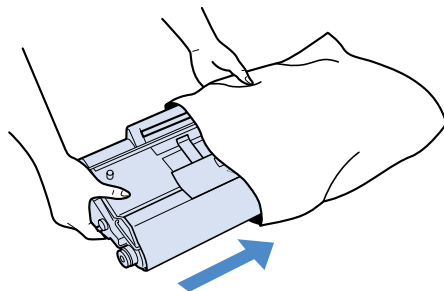
ドラムカートリッジカバーは、いっぱいまで引き出してください。

2

ドラムカートリッジの取っ手を持ち、ドラムカートリッジを上に引き上げてから①、斜め上方へ抜き取ります②。

注意

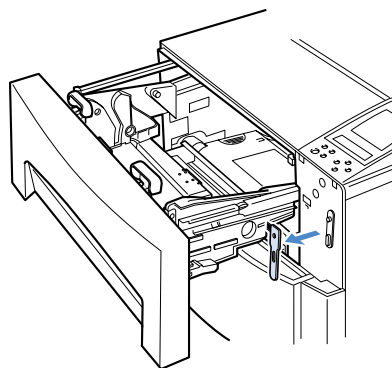
- **使用済みのドラムカートリッジの感光面はトナーで汚れていますので、取り外す場合はトナーが床にこぼれたり、手や衣服を汚さないように注意してください。**

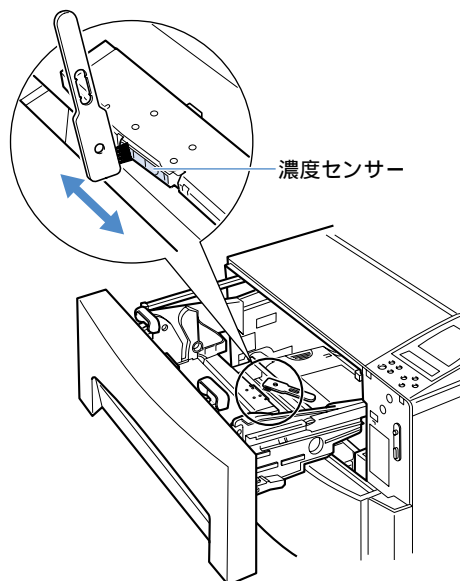
3

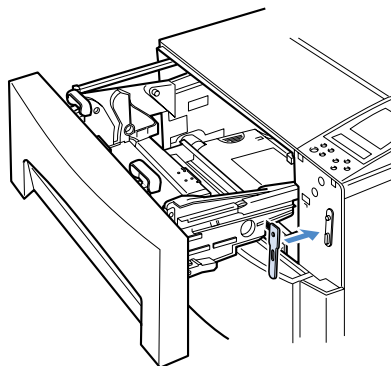
抜き取ったドラムカートリッジを保護袋に入れて処分します。

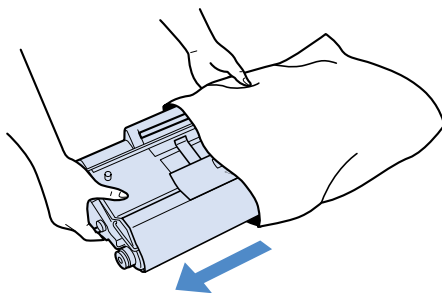
警告

● 使用済みのドラムカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残った廃トナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

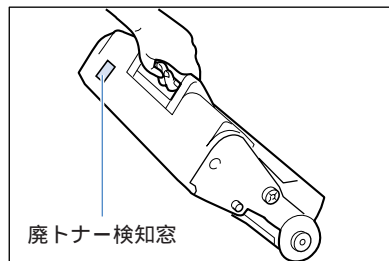
4

濃度センサー清掃ブラシを取り外します。

5

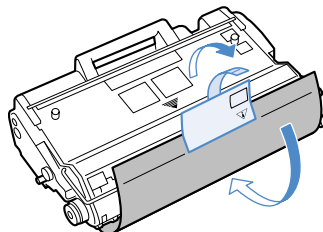
濃度センサーのレンズ部分を濃度センサー清掃ブラシで清掃します。

6

濃度センサー清掃ブラシを元に戻します。

7

新しいドラムカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

- ドラムカートリッジの廃トナー検知窓は、絶対に触らないでください。万一触ってしまった場合は、乾いた柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。

- ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要となります。

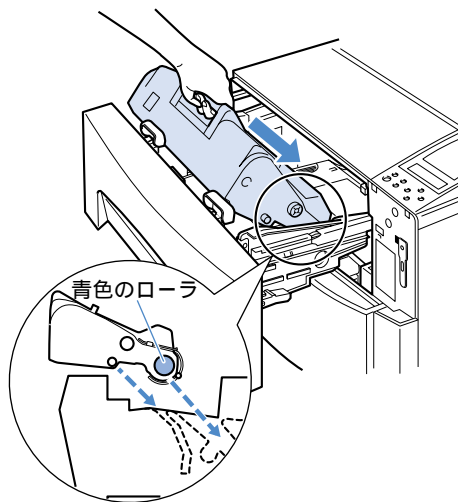
8

テープをゆっくりと引き上げてはがし、黒い保護シートごと取り除きます。

お願い

- ドラムカートリッジの感光面には、絶対に触れないように注意してください。触れると印字品質が低下する原因になります。
- ドラムカートリッジは、黒い保護シートを取り除いた状態で放置せず、できるだけ早く本体にセットしてください。

9

ドラムカートリッジの取っ手を持ち、青色のローラをドラムカートリッジガイドに合わせて斜め前方にゆっくりと差し込みます。

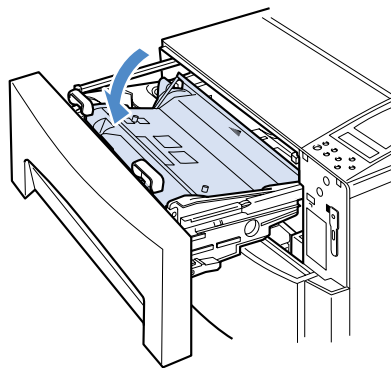
ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで、しっかりと押し込んでください。

10

ドラムカートリッジを下に降ろしながら、奥まで押し込みます。

ドラムカートリッジの上面が水平になるまで押し込んでください。完全にセットされていないと、ドラムカートリッジカバーが閉じません。

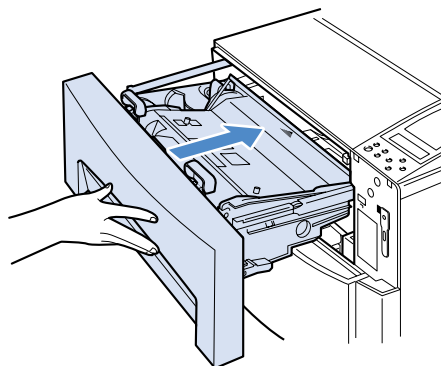
注意

- **ドラムカートリッジとドラムカートリッジカバーの間に手を挟まないように注意してください。**

お願い

- **ドラム保護シャッターに過度の力をかけないように注意してください。感光ドラムがダメージを受ける恐れがあります。**

11

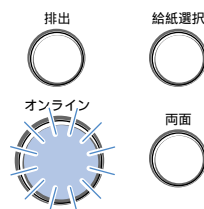
ドラムカートリッジカバーを閉じます。

ドラムカートリッジカバーを閉じるときは、カバーの下の方を押して、カバー下側がロックされるまでしっかりと押し込んでください。

メモ

● **ドラムカートリッジを交換した後、カートリッジの検知が完了するまで数秒間エラーメッセージが残ることがあります。**

12

プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンラインランプが消灯しているときは、(オンライン)キーを押してオンラインランプを点灯します。

ドラムカートリッジの取り扱いのご注意

ドラムカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因となることがあります。ドラムカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。

警告

- 使用済みのドラムカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残った廃トナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

注意

- 万一手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着して、とれなくなる恐れがあります。

お願い

- 新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。
- メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかにカートリッジが入っていた保護袋などに入れ、取り扱いには十分注意してください。
- ドラムカートリッジは絶対に直射日光や強い光（1500ルクス以上）に当てないでください。
- ドラムカートリッジは、絶対にドラム保護シャッターを開けないでください。感光ドラムの品質劣化の原因となります。
- ドラムカートリッジ内部の感光面を手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたりしないでください。
- ドラムカートリッジの廃トナー検知窓は、絶対に触らないでください。万一触ってしまった場合は、乾いた柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。
- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- ドラムカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のドラムカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに１時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用のドラムカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをおすすめします。

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。
このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

ドラムカートリッジの保管について

交換用にお求めになったドラムカートリッジや、修理や移動時に取り出したドラムカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

お願い

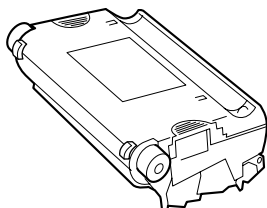
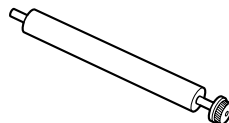
- **新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。**
- **メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかにカートリッジが入っていた保護袋などに入れ、取り扱いには十分注意してください。**
- **立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。**
- **直射日光の当たる場所は避けてください。**
- **高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。**
  保管温度範囲：0 ～ 35℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%（相対湿度・結露しないこと）
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**

結露とは
保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってドラムカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露は、ドラムカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

中間転写体ユニットを交換する

「ITB コウカン ヨコク / コウカン」が表示されたときは

中間転写体ユニットが寿命に近づくと、ディスプレイに「99 ITB コウカン ヨコク」や「99 ITB コウカン」のメッセージが表示されます。そのまま使い続けると、印字品質が低下してきます。これらのメッセージが表示されたときは、次の指示にしたがって中間転写体ユニットと転写ローラを交換してください。
中間転写体ユニットと転写ローラは定期交換部品ですが、お客様での交換が可能です。

●中間転写体ユニット
（転写ユニット交換キット UM-83 同梱品）

●転写ローラ
（転写ユニット交換キット UM-83 同梱品）

● 一度使用した中間転写体ユニットは、絶対に他のプリンタ（本プリンタと同じ機種）にセットしないでください。警告表示不良の原因になります。

● 中間転写体ユニットの寿命が近づいた場合に、「ITB　コウカン　ヨコク」が表示されるか、「ITB　コウカン」が表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。「警告表示」設定を「シナイ」にしているときは、「99　ITB　コウカン　ヨコク」は表示されません。本プリンタ工場出荷時には、「ITB　コウカン　ヨコク」が表示されるように設定されています。メニュー機能の設定については、LIPS 機能ガイド　第 3 章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。

中間転写体ユニットの寿命について
本プリンタ用の中間転写体ユニットの寿命は、次のようになっています。

A4/ レターを片面プリントした場合のプリント可能ページ数
・フルカラープリントの場合　　　約 25,000 ページ（100,000 イメージ）

■「99　ITB　コウカン　ヨコク」のメッセージが表示されたとき

「99　ITB　コウカン　ヨコク」は、中間転写体ユニットの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージの場合、すぐにはプリンタは停止せず、プリントを続行できます。このメッセージが表示されたら、プリント終了後に中間転写体ユニットを交換してください。

■「99　ITB　コウカン」が表示されたとき

「99　ITB　コウカン」は、中間転写体ユニットの交換が必要、または正しくセットされていないことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されると、プリンタが停止します。
このメッセージが表示されたら、中間転写体を取り出してセットしなおします。2〜3回繰り返してもメッセージが表示されるときは、中間転写体ユニットを交換してください。

中間転写体ユニットの交換

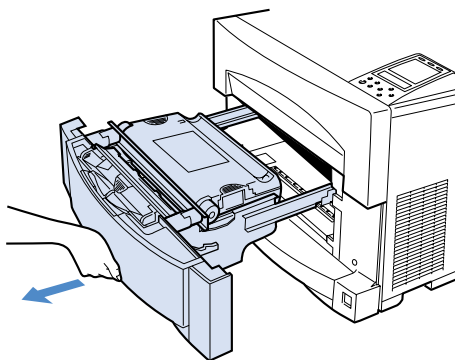
「99 ITB コウカン ヨコク」または「99 ITB コウカン」のメッセージが表示されたら、次のような手順で新しい中間転写体ユニットに交換してください。

お願い

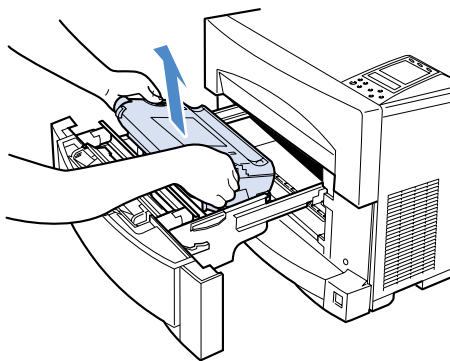
- **中間転写体は非常に重要な部品です。直射日光や強い光などを当てたり、表面を触ったり、傷つけたりすると、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまでパッケージから取り出さないでください。**
- **プリント品質を維持するために、中間転写体ユニットの交換と同時に、搬送ローラ、搬送ガイド、給紙ローラの清掃および、転写ローラ、エアフィルタの交換を行ってください。**
- **メンテナンスや紙づまり処理など必要なとき以外は、中間転写体ユニットカバーを開けないでください。**

1

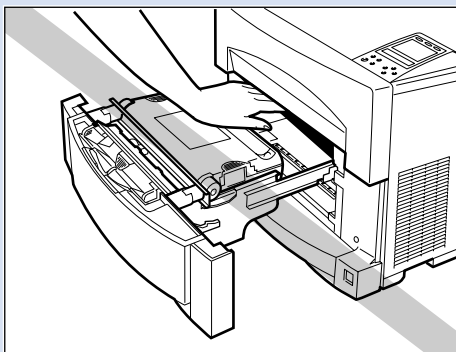
中間転写体ユニットカバーの取っ手に手をかけ、内側のロック解除レバーを引いて引き出します。

中間転写体ユニットカバーは、いっぱいまで引き出してください。

2

中間転写体ユニット左右の緑色の取っ手を両手で持ち、上に引き上げて取り外します。

警告

● 使用済みの中間転写体ユニットは、絶対に火の中へ投じないでください。中間転写体ユニット内に残った廃トナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

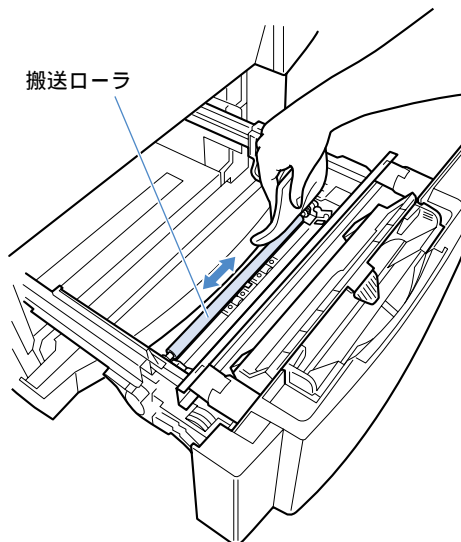
注意

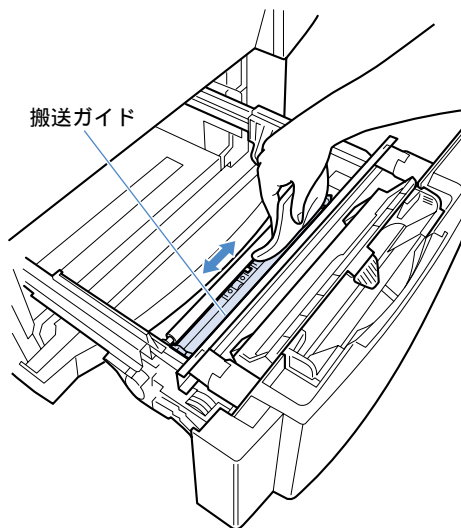
● プリンタを使用した直後は、奥にある定着器付近が非常に高温になっていますので、中間転写体ユニットカバー内部の奥に手を入れないでください。
● 中間転写体ユニットカバー内部の指定された以外の部分には触れないように注意してください。万一触れるとやけどをする恐れがあります。

● 使用済みの中間転写体ユニットのベルト面はトナーで汚れていますので、取り外す場合はトナーが床にこぼれたり、手や衣服を汚さないように注意してください。

お願い

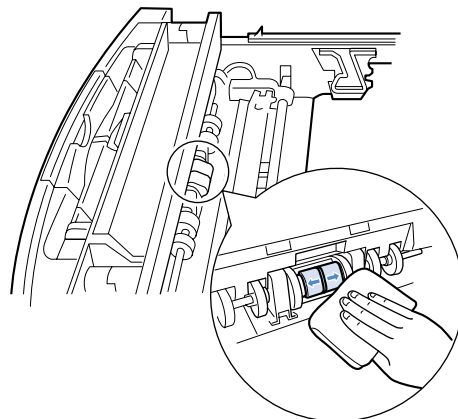
● 取り外した中間転写体ユニットは、必ず平らなテーブルなどの上に置くようにしてください。

3

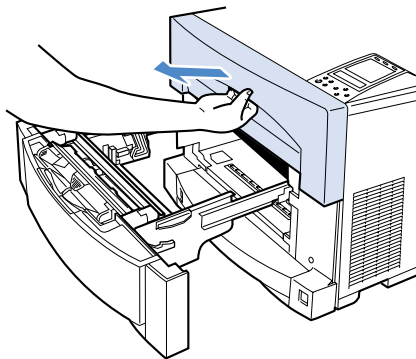
搬送ローラを乾いた柔らかい布で清掃します。

4

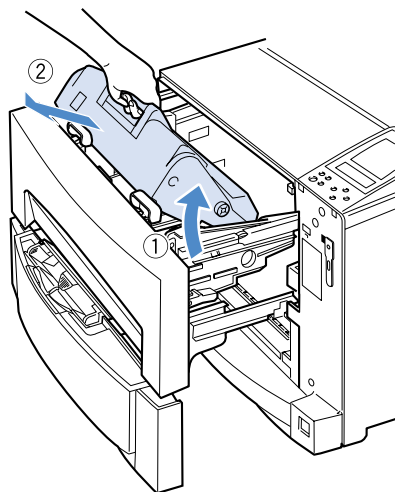
搬送ガイドを乾いた柔らかい布で清掃します。

5

給紙ローラを乾いた柔らかい布で清掃します。

図の矢印の方向に拭き、紙粉を取ります。

6

ドラムカートリッジカバーの取っ手に手をかけ、内側のロック解除レバーを引いて引き出します。

ドラムカートリッジカバーは、いっぱいまで引き出してください。

7

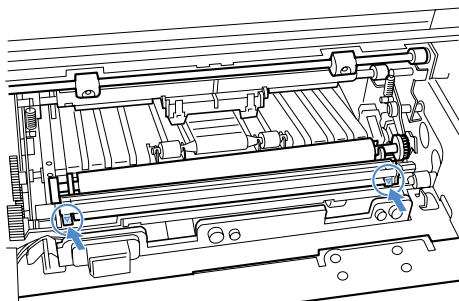
ドラムカートリッジの取っ手を持ち、ドラムカートリッジを上に引き上げてから①、斜め上方へ抜き取ります②。

注意

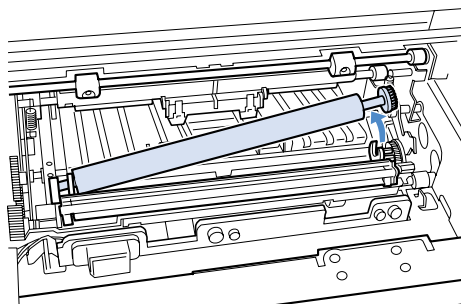
お願い

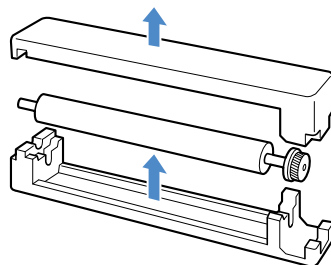
- 使用済みのドラムカートリッジの感光面はトナーで汚れていますので、取り外す場合はトナーが床にこぼれたり、手や衣服を汚さないように注意してください。
- ドラムカートリッジは光に非常に敏感ですので、取り外したドラムカートリッジは、必ず保護袋の中に入れてください。

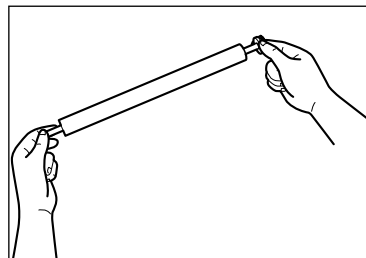
8

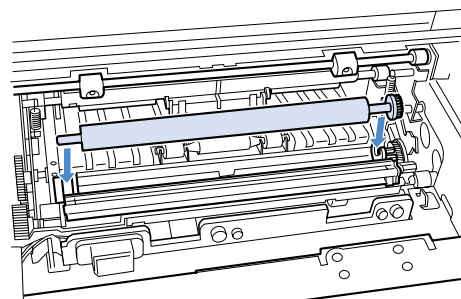
ドラムカートリッジカバーの上から手を入れて、搬送ガイド両端のロック解除レバーを押します。

転写ローラは、中間転写体ユニット内部の奥側にあります。転写ローラのロックが外れると、転写ローラが少し浮き上がります。

9

転写ローラの青色のギヤのある側を先に持ち上げて、転写ローラを取り外します。

10

新しい転写ローラをパッケージから取り出します。

お願い

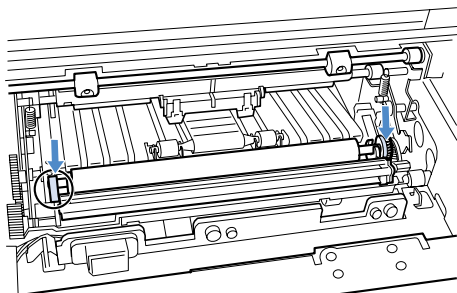
- 転写ローラは、必ず図のように端を持ってください。
- 転写ローラのゴム部分には、絶対に触らないでください。印字品質低下の原因になります。

11

新しい転写ローラをホルダの上に置きます。

お願い

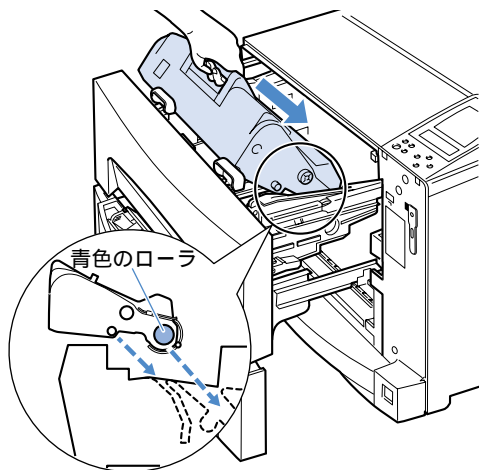
- 図のように、必ず青色のギヤを右側にして置いてください。ギヤを左側にしてセットすると、プリンタ故障の原因になります。

12

図の位置を両側同時に押して、転写ローラをホルダに押し込みます。

転写ローラが奥まで入ると、ロック解除レバーが元の位置に戻ります。

13

ドラムカートリッジの取っ手を持ち、青色のローラをドラムカートリッジガイドに合わせて斜め前方にゆっくりと差し込みます。

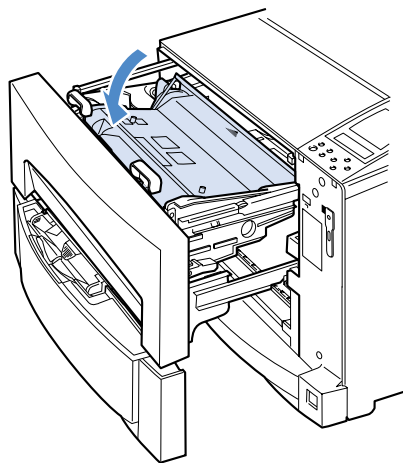
ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで、しっかりと押し込んでください。

14

ドラムカートリッジを下に降ろしながら、奥まで押し込みます。

ドラムカートリッジの上面が水平になるまで押し込んでください。完全にセットされていないと、ドラムカートリッジカバーが閉じません。

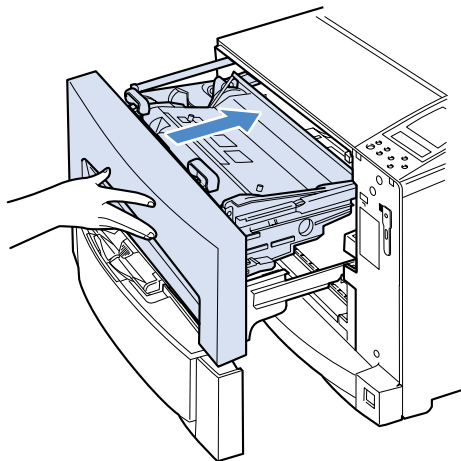
注意

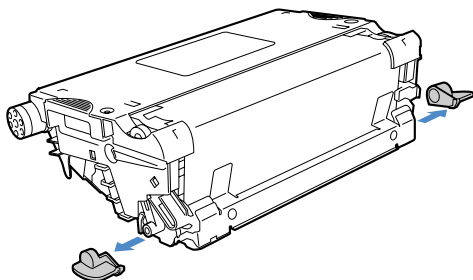
- **ドラムカートリッジとドラムカートリッジカバーの間に手を挟まないように注意してください。**

お願い

- **ドラム保護シャッターに過度の力をかけないように注意してください。感光ドラムがダメージを受ける恐れがあります。**

15

ドラムカートリッジカバーを閉じます。

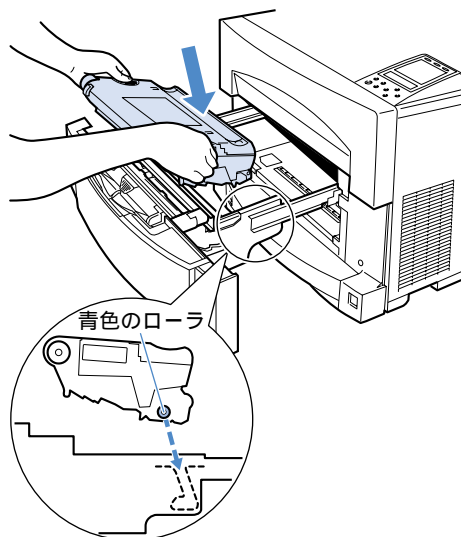
ドラムカートリッジカバーを閉じるときは、カバーの下の方を押して、カバー下側がロックされるまでしっかりと押し込んでください。

16

新しい中間転写体ユニットをパッケージから取り出し、左右の梱包材を取り除きます。

お願い

- **中間転写体ユニットのベルト面には、絶対に手で触らないでください。**
- **中間転写体ユニットの梱包材を取り除いたら、長時間放置せず、すみやかにプリンタ内部へ装着してください。**

17

中間転写体ユニット左右の緑色の取っ手を両手で持ち、青色のローラを中間転写体ユニットガイドに合わせてゆっくりと差し込みます。

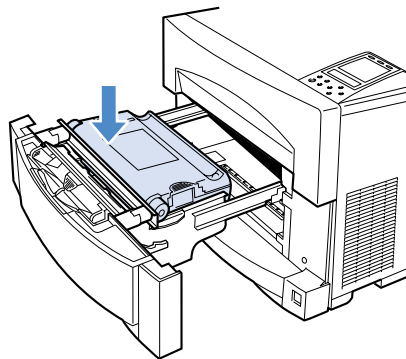
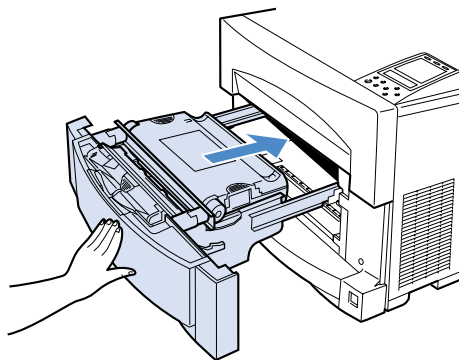
中間転写体ユニットは、奥に突き当たるまでしっかりと押し込んでください。

18

中間転写体ユニットを下に降ろしながら、奥まで押し込みます。

中間転写体ユニットの上面が水平になるまで押し込んでください。完全にセットされていないと、中間転写体ユニットカバーが閉じません。

19

中間転写体ユニットカバーを閉じます。

引き続き、エアフィルタの交換を行ってください。（→ P.179）

中間転写体ユニットの取り扱いのご注意

中間転写体ユニットは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因となることがあります。中間転写体ユニットの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。

警告

● **使用済みの中間転写体ユニットは、絶対に火の中へ投じないでください。中間転写体ユニット内に残った廃トナーに着火し、やけどや火災の原因になります。**

注意

● **万一手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着して、とれなくなる恐れがあります。**

● **新品の中間転写体ユニットは、実際に使用するまで、パッケージから取り出さないでください。**
● **ベルト面を手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触らないでください。**
● **絶対に分解や改造などをしないでください。**
● **中間転写体ユニットを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品の中間転写体ユニットを暖かい場所で取り付けるときなど、梱包状態のまま十分に放置し、周囲の温度に慣らしてから開封してください。**

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済み中間転写体ユニットの回収を推進しています。
この中間転写体ユニット回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなった中間転写体ユニットをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

中間転写体ユニットの保管について

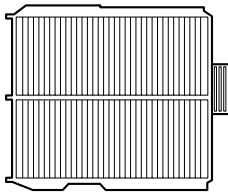
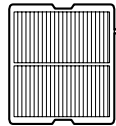
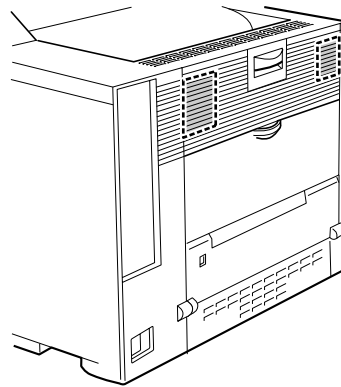
交換用にお求めになった中間転写体ユニットや、修理や移動時に取り出した中間転写体ユニットは、次のような点に注意して保管してください。

お願い

- **新品の中間転写体ユニットは、実際に使用するときまでパッケージから取り出さないでください。**
- **立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。**
- **直射日光の当たる場所は避けてください。**
- **高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。**
  保管温度範囲：0 ～ 35℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%（相対湿度・結露しないこと）
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**
- **エアゾールなどの腐蝕性のガスがある場所や、空気に塩分が多く含まれる場所では保管しないでください。**

エアフィルタを交換する

本プリンタ背面の排気口には、エアフィルタが付いており、プリンタ内部の残留トナーなどが外に吹き出されるのを防いでいます。エアフィルタにトナーなどが付着して目づまりすると、内部を十分に冷却できなくなり、故障やトラブルの原因になります。
エアフィルタは定期交換部品ですが、お客様での交換が可能です。中間転写体ユニットの交換と同時にエアフィルタも必ず交換してください。

●エアフィルタ
（転写ユニット交換キット UM-83 同梱品）

●エアフィルタ（大）　●エアフィルタ（小）
●手拭き用クロス

●エアフィルタ取り付け位置

エアフィルタは、次の手順で交換します。

1

電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約10分待ちます。

電源をオフにするときは、本プリンタのディスプレイやランプを見て、プリント中でないことを確認してください。

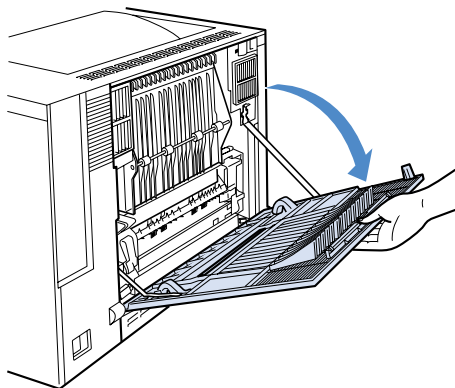
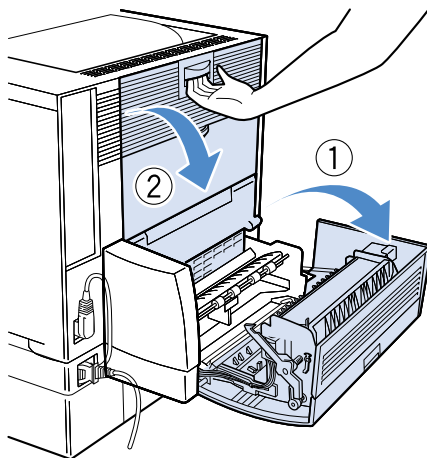
注意

● カバーは、必ずファンが停止していることを確認してから開いてください。ファンが停止する前にカバーを開くと、エアフィルタに付着しているトナーが飛び散って、床や周囲、衣服を汚す恐れがあります。

メモ

● 電源のオフについては、第3章 「電源のオン、オフ」（→ P.78）をご覧ください。

2

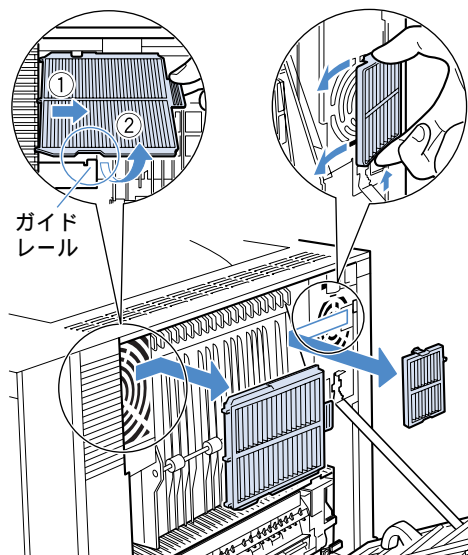
本体背面の後部カバーを開きます。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニット上カバーを開いてから①、プリンタ本体の後部カバーを開きます②。

3

新しい大小2つのエアフィルタをビニール袋から取り出します。

ビニール袋は、古いエアフィルタを入れるために使うので、丁寧に取り出してください。

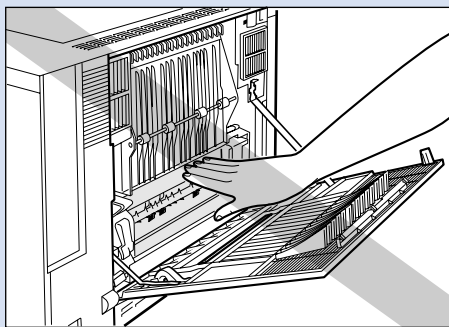
4

大小 2 つのエアフィルタを外します。

取り外したエアフィルタは、すぐに新しいエアフィルタが入っていたビニール袋に入れて、廃却してください。

警告

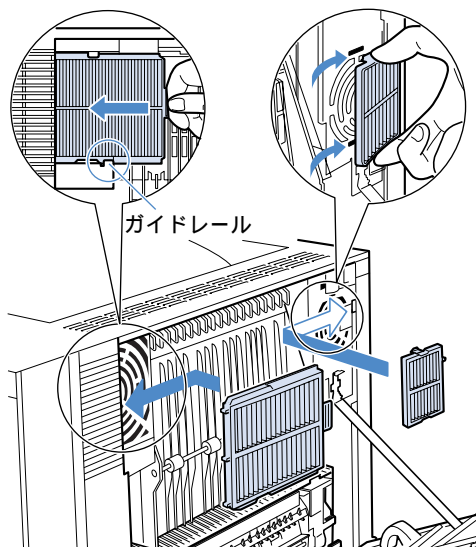
- 使用済みのエアフィルタは、絶対に火の中へ投じないでください。エアフィルタに付着しているトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

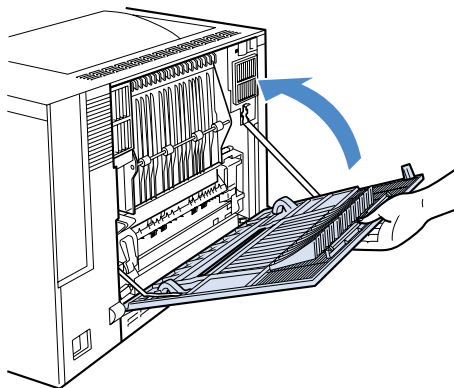
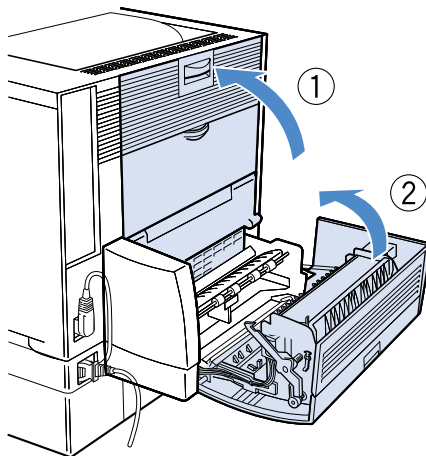
注意

- 定着器付近には、手を触れないでください。プリンタを使用した直後は、定着器付近が非常に高温になっており、万一触れると、やけどの恐れがあります。

- エアフィルタは、必ずファンが停止していることを確認してから外してください。ファンが停止する前にエアフィルタを外すと、エアフィルタに付着しているトナーが飛び散って、床や周囲、衣服を汚す恐れがあります。
- エアフィルタに付着したトナーが落下して、じゅうたんや床、衣服などを汚さないように注意してください。

5

新しいエアフィルタを取り付けます。

エアフィルタは、図のような向きに正しく取り付けてください。表裏や左右を間違えないよう、注意してください。

6

後部カバーを閉じます。

両面ユニットを装着している場合は、プリンタ本体の後部カバーを閉じてから①、両面ユニットの上カバーを閉じます②。

プリンタを清掃する

本プリンタを長期間使用している間に、本体にホコリや汚れが付着したときは、次の要領で清掃してください。

警告

- **清掃する前に、必ず電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因になります。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。**

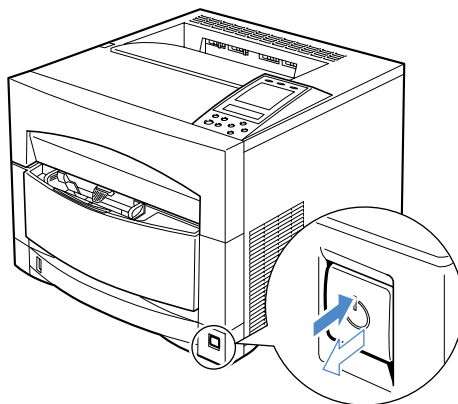
お願い

- **本体のプラスチックが変質したりひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。**
- **中性洗剤は、必ず水で薄めてご使用ください。**
- **本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。**

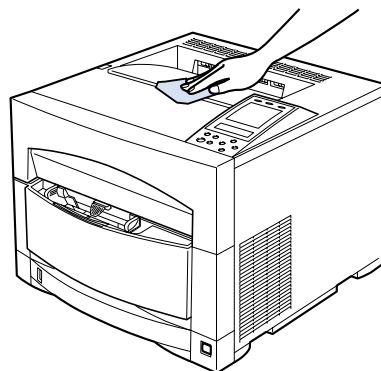
清掃の手順

1

電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから抜きます。

電源をオフにするときは、本プリンタのディスプレイやランプを見て、プリント中でないことを確認してください。

2

水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞ってから拭きます。

付着した汚れは、少量の水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。中性洗剤を使用したときは、必ず後から水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ってください。

3

汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

4

完全に乾いたら、電源プラグを電源コンセントに接続します。

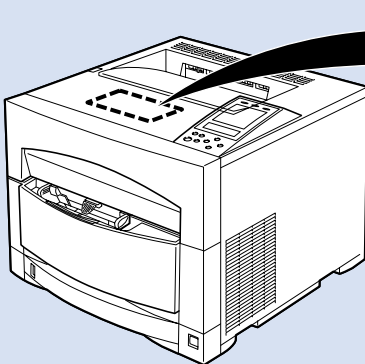
プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下のお願いをよくお読みいただき、十分に注意して取り扱ってください。

レーザー光について

レーザー光は人体に有害となる恐れがあります。そのため本プリンタではレーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。
安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

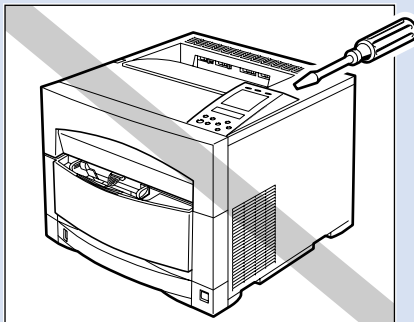
注意

- **本書で指示された以外のカバーは絶対に開けないでください。**
- **レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。**

- **万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に傷害が起こる原因となることがあります。レーザー光は目に見えませんので、注意が必要です。**

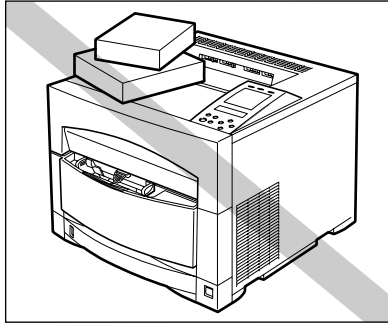
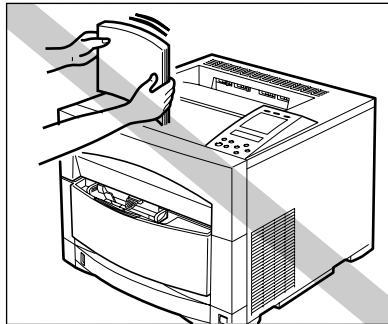
プリンタ取り扱いのご注意

つねに最良の状態でプリントできるように、次の注意を守ってください。

警告

● 分解や改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因になります。

● 次のような場合は、本プリンタの電源プラグを抜いて、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。
- 電源プラグやコードが傷ついている場合
- 本体内部に液体が入った場合
- 本体が雨や水にさらされた場合
- 操作手順にしたがって操作しても、正常に作動しなかった場合
- 本体を落としたり、本体が損傷を受けてしまった場合
- 本体の性能に明らかな変化が認められ、手入れや修理が必要とされる場合
- 発煙したり、変な臭いや音が生じた場合

お願い

- 本体やトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

- プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。

- プリント中は、絶対に本体の各カバーやオプションのカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 給紙トレイや本体の各カバー、オプションのカバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないときは、以下の環境で保管してください。

お願い

- 温度が 0 ～ 35℃の範囲内の場所
- 湿度が 35 ～ 85%（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

第 6 章

困ったときには

トラブル解決マップ

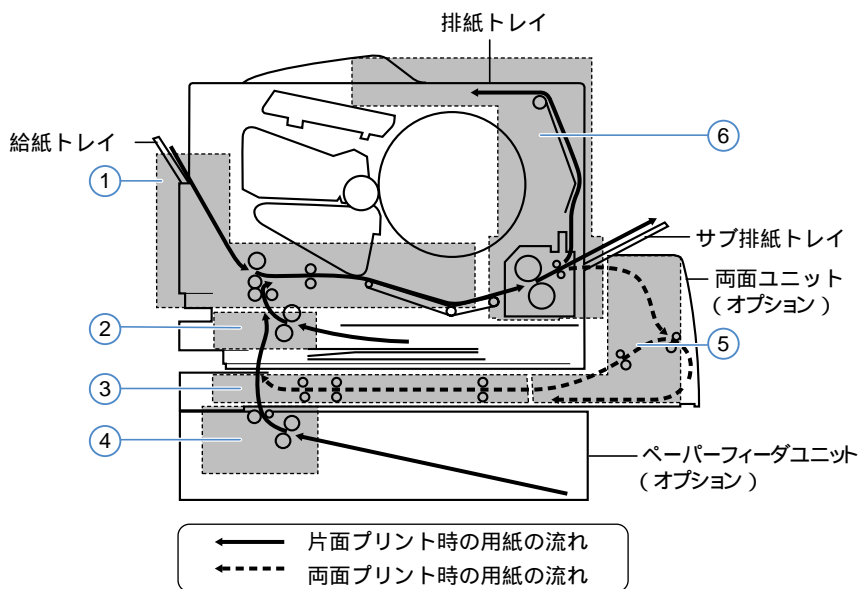
プリントできないときや困ったときは、このマップで参照先を探してください。

NetSpot Job Monitor またはプリントモニタにメッセージが表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→LIPSソフトウェアガイド
はい
はい
オンラインになっていない
→第3章「オンラインとオフライン」（P.79）
“プリンタの準備ができていません”が表示されている
プリンタの電源が入っていない
→第3章「電源のオン、オフ」（P.76）
いいえ
ケーブルが正しく接続されていない
→第2章「パソコンと接続する」（P.60）
“ヨウシガアリマセン”が表示されている
→第2章「用紙をセットする」（P.56）
→第4章「給紙トレイからプリントする」（P.111）
はい
エラーメッセージが表示されている
“ヨウシガツマリマシタ”が表示されている
→第6章「紙づまりが起こったときは」（P.192）
“トナーコウカン”が表示されている
→第5章「トナーカートリッジを交換する」（P.148）
いいえ
その他のエラーメッセージが表示されている
→第6章「メッセージが表示されたときは」（P.229）
プリンタのジョブランプが点灯したままになっている
はい
前のジョブデータが残って次のプリントができない
→第6章「プリントを中止したいときは」（P.212）
いいえ
プリンタデータを処理中です しばらくお待ちください

紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）

プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイ上段に「13 ヨウシガ ツマリマシタ」、下段に「ITB ユニットカバー B」や「カセット 1C」など、紙づまりの位置を表すメッセージが表示されます。
紙づまりを起こした場所によって対処の方法が異なりますので、ディスプレイのメッセージを参考に下図の各部を点検し、つまっている用紙を取り除いてください。

紙づまりの位置を確認する

本プリンタは、用紙が図のようなルートを通ってプリントされます。

	ディスプレイメッセージ	紙づまり位置
①	「ITB ユニットカバー B」	中間転写体ユニット部（→ P.196）
②	「カセット 1 C」	給紙カセット部（→ P.200）
③	「カミヅマリ ショリ トレイ D」	紙づまり処理トレイ部（→ P.201）
④	「カセット 2 E」	ペーパーフィーダユニット部（→ P.203）
⑤	「リョウメン ユニット G」	両面ユニット部（→ P.204）
⑥	「コウブ カバー」	後部カバー部（→ P.206）

お願い

- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- 手順通りに用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。
- いずれのカバーも開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、いずれかのカバーを一度開閉してください。

紙づまりの除去手順について

紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、プリントを再開します。手順通りに用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。
つまった用紙を取り除いた後、オンラインになるとプリントが再開されます。

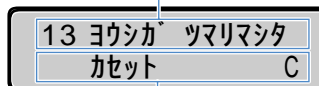
お願い

●つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源はオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。

1

ディスプレイのメッセージで、紙づまりの位置を確認します。

紙づまりが起こると表示されます。

13 ヨウシガ゛ ツマリマシタ
カセット C

紙づまりが起こった場所の名称と記号が表示されます。この記号は表示パネル上の記号と対応しています。
複数あるときは、すべての場所が順番に表示されます。

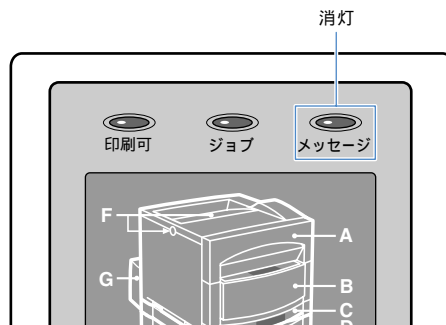
2

メッセージに表示された給紙カセットやカバーを開き、用紙を取り除きます。

つまった場所ごとに、196ページ以降の指示に従ってつまった用紙を取り除いてください。

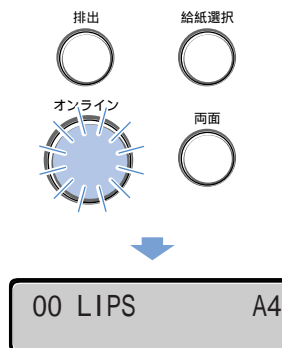
3

給紙カセットやカバーを元に戻し、ディスプレイのメッセージを確認します。

紙づまりがなくなると、メッセージランプが消灯します。

- エラーメッセージが残っているときは、再度点検してください。
- 給紙トレイ部や排紙トレイ部、サブ排紙トレイ部など、カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、いずれかのカバーを一度開閉してください。

4

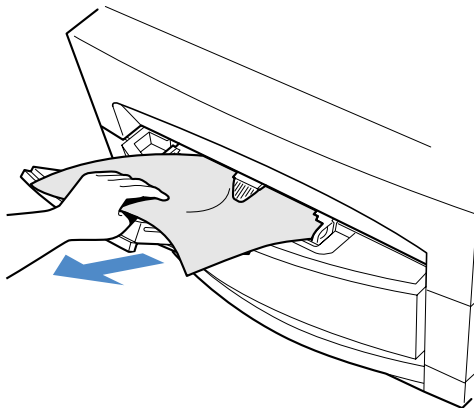
プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンラインランプが消灯しているときは、（オンライン）キーを押してオンラインランプを点灯します。中断したページからプリントが再開されます。

中間転写体ユニット部「ITB　ユニットカバー　B」

「ITB　ユニットカバー　B」のメッセージが表示されているときは、中間転写体ユニットカバー内部を確認してください。つまった用紙を取り除いた後、メッセージが消えないときは、給紙カセット部や後部カバー部、紙づまり処理トレイ部（両面ユニット装着時）も確認してください。

1

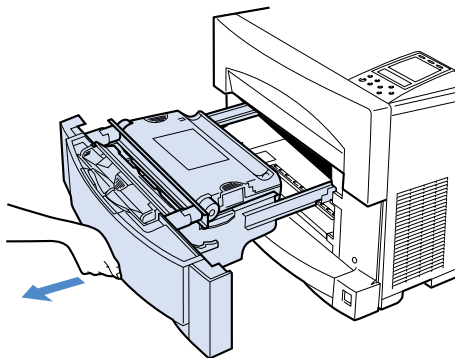
用紙が給紙トレイにつまっているときは、そのまま用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

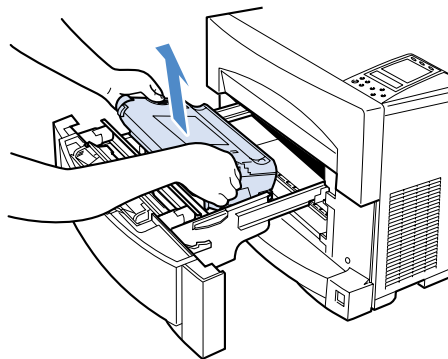
取り除けたときも、中間転写体ユニットカバーを一度開閉してください。

お願い

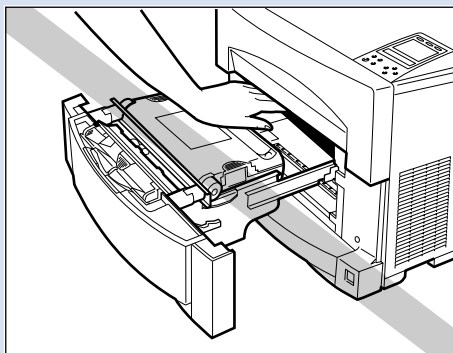
- **給紙トレイで紙づまりが起こりやすいときは、給紙トレイ用給紙ローラの清掃を行ってください。（→ P.198）**

2

中間転写体ユニットカバーの取っ手に手をかけ、内側のロック解除レバーを引いて引き出します。

中間転写体ユニットは、いっぱいまで引き出してください。

3

中間転写体ユニット左右の緑色の取っ手を両手で持ち、上に引き上げて取り外します。

注意

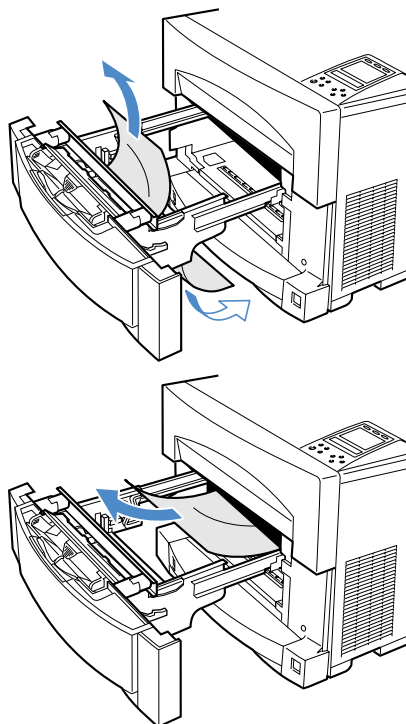
- プリンタを使用した直後は、奥にある定着器付近が非常に高温になっていますので、中間転写体ユニットカバー内部の奥に手を入れないでください。
- 中間転写体ユニットカバー内部の指定された以外の部分には触れないように注意してください。万一触れるとやけどをする恐れがあります。

- 中間転写体ユニットカバーの内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機械内部に触れないようにしてください。やけどや感電の原因になることがあります。

お願い

- 取り外した中間転写体ユニットは、必ず平らなテーブルなどの上に置くようにしてください。

4

つまった用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

定着していないトナーをこぼさないように注意して取り除いてください。
搬送ガイドを開いて、下に用紙がつまっていないか確認してください。

注意

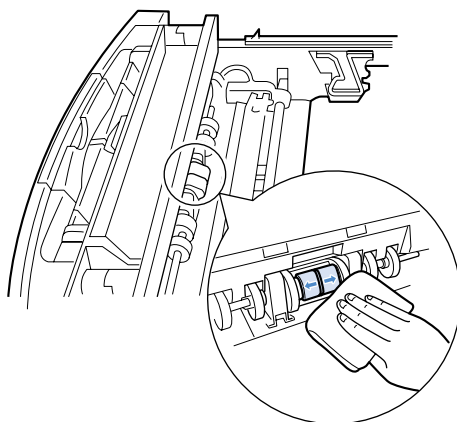
- **万一手や衣服がトナーで汚れたときは、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなることがあります。**

お願い

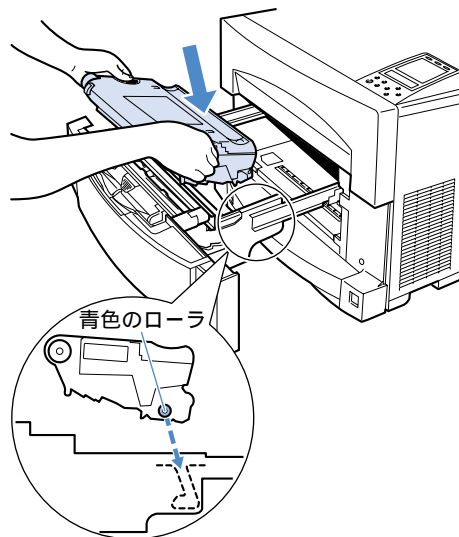
- **用紙の先端が定着器まで送られているときは、後部カバー側から用紙を取り除いてください。（→ P.206）中間転写体ユニットカバー側から取り除くと、内部が汚れて印字品質低下の原因になります。**

5

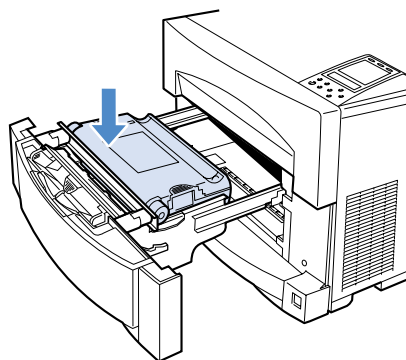
給紙トレイで紙づまりが起こりやすいときは、給紙トレイ用給紙ローラを乾いた柔らかい布で清掃します。

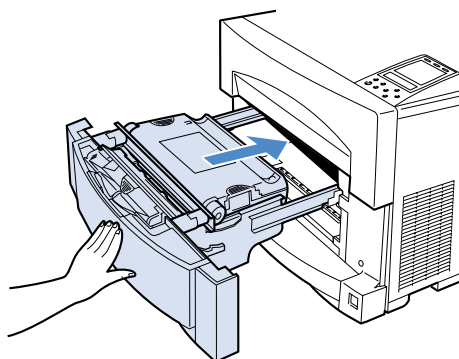
図の矢印の方向に拭いてください。

6

中間転写体ユニット左右の緑色の取っ手を両手で持ち、青色のローラを中間転写体ユニットガイドに合わせてゆっくりと差し込みます。

中間転写体ユニットは、奥に突き当たるまでしっかりと押し込んでください。

7

中間転写体ユニットを下に降ろしながら、奥まで押し込みます。

中間転写体ユニットの上面が水平になるまで押し込んでください。完全にセットされていないと、中間転写体ユニットカバーが閉じません。

8

中間転写体ユニットカバーを閉じます。

給紙カセット部「カセット１　C」

「カセット１ C」のメッセージが表示されているときは、給紙カセット部を確認してください。つまった用紙を取り除いた後､メッセージが消えないときは中間転写体ユニットカバー部も確認してください。

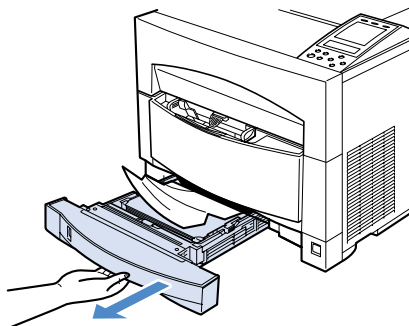
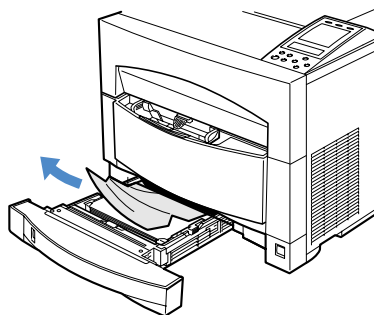
1

給紙カセットの取っ手に手をかけて途中まで引き出し、両手に持ち変えて給紙カセットを引き抜きます。

オプションのペーパーフィーダを装着しているときは、すべての給紙カセットを引き抜きます。オプションの両面ユニットを装着している場合は紙づまり処理トレイも引き抜きます。

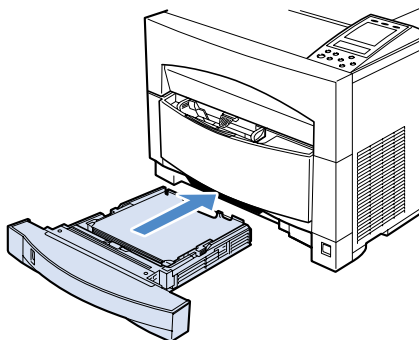
2

つまった用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

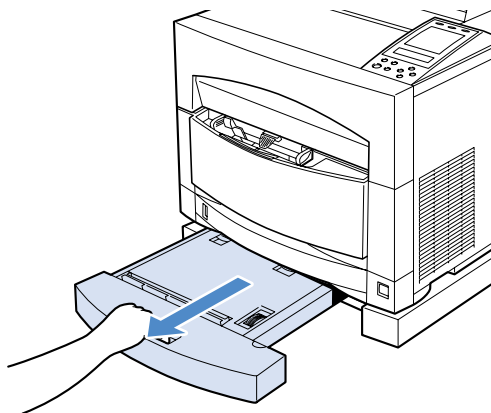
3

残った用紙をセットしなおします。

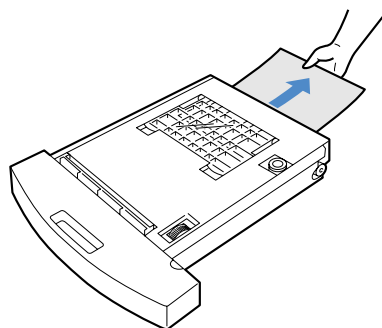
4

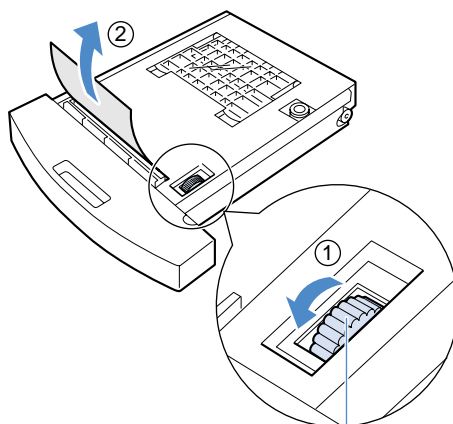
給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

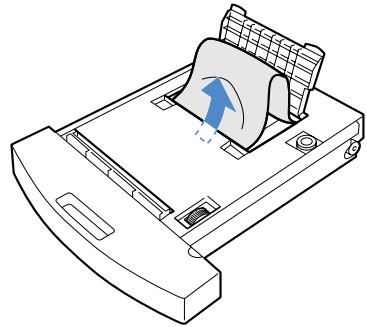
給紙カセットの前面が､プリンタの前面と揃うまで､ゆっくりと差し込みます。

紙づまり処理トレイ部「カミヅマリ　ショリ　トレイ　D」

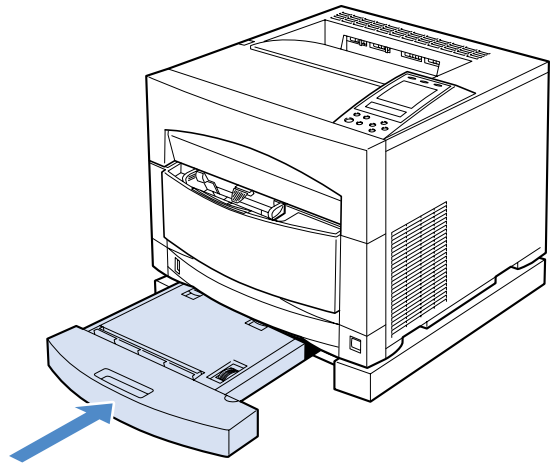
「カミヅマリ　ショリ　トレイ　D」のメッセージが表示されているときは、両面ユニット前側の紙づまり処理トレイ部を確認してください。つまった用紙を取り除いた後、メッセージが消えないときは中間転写体ユニットカバー部も確認してください。

紙づまり処理トレイを引き抜きます。

2

用紙が紙づまり処理トレイ後側につまっている場合は、図のようにつまった用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

3

用紙が紙づまり処理トレイ前側につまっている場合は、用紙送りダイヤルを回して①、内部につまった用紙をゆっくりと引いて取り除きます②。

4

用紙が紙づまり処理トレイ内部につまっている場合は、ふたを開いて、内部につまった用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

5

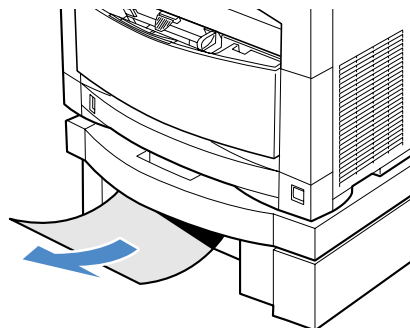
紙づまり処理トレイをセットします。

ペーパーフィーダユニット部「カセット２ E」

「カセット２ E」のメッセージが表示されているときは、ペーパーフィーダユニット部を確認してください。つまった用紙を取り除いた後、メッセージが消えないときは中間転写体ユニット部も確認してください。

給紙カセットの取っ手に手をかけて途中まで引き出し、両手に持ち変えて給紙カセットを引き抜きます。

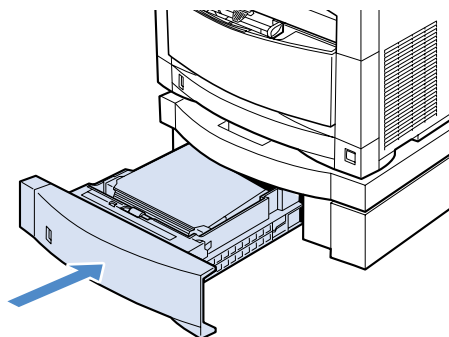
2

つまった用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

3

残った用紙をセットしなおします。

4

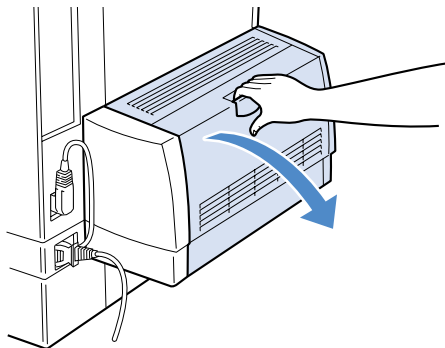
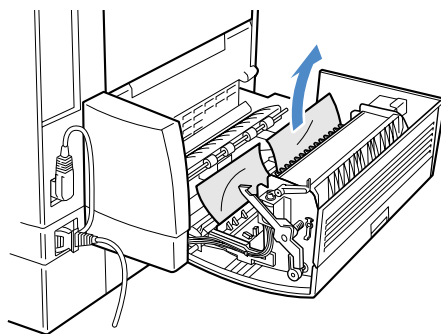
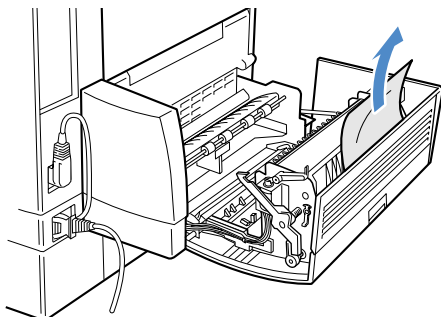
給紙カセットをセットします。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、ゆっくりと差し込みます。

両面ユニット部「リョウメン　ユニット　G」

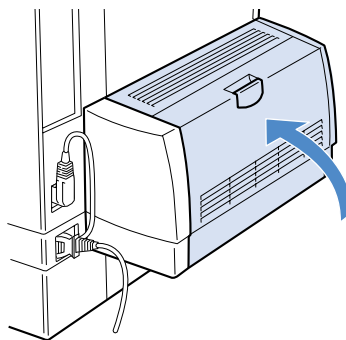
「リョウメン ユニット G」のメッセージが表示されているときは、両面ユニット上カバー内部を確認してください。つまった用紙を取り除いた後、メッセージが消えないときは紙づまり処理トレイ部、および後部カバー部も確認してください。

1

両面ユニット上カバーを開きます。

2

つまった用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

3

両面ユニット上カバーを閉じます。

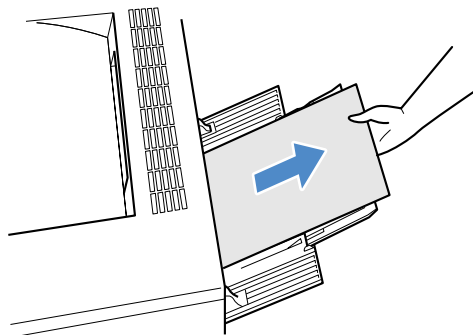
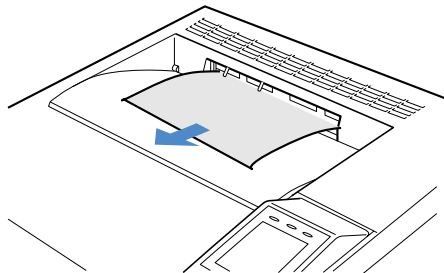
お願い

- 両面ユニット上カバーが閉じていることを確認してください。上カバーを確実に閉じていないと、紙づまりの原因となります。

後部カバー部「コウブ　カバー」

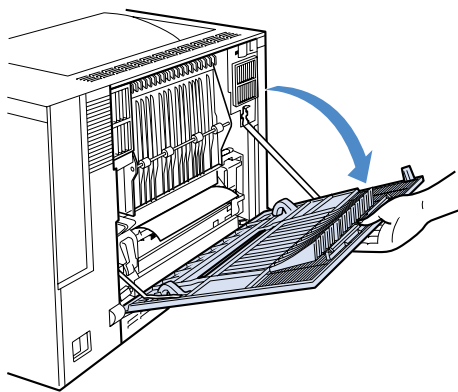
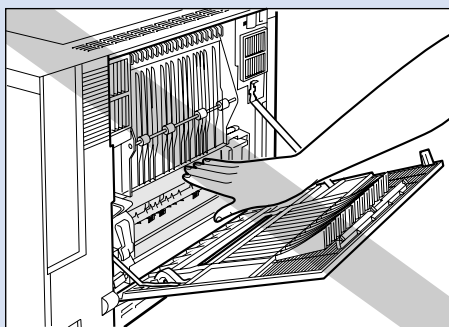
「コウブ　カバー」のメッセージが表示されているときは、後部カバー内部や排紙トレイ部を確認してください。つまった用紙を取り除いた後、メッセージが消えないときは中間転写体ユニットカバー部も確認してください。

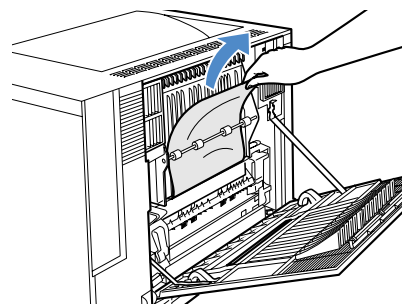
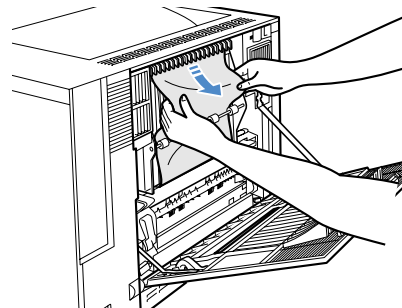
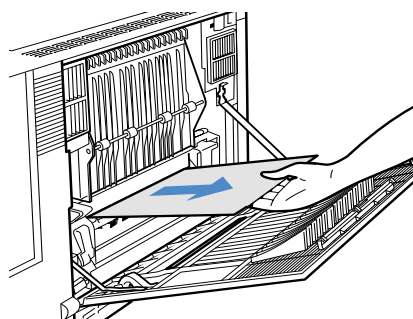
1

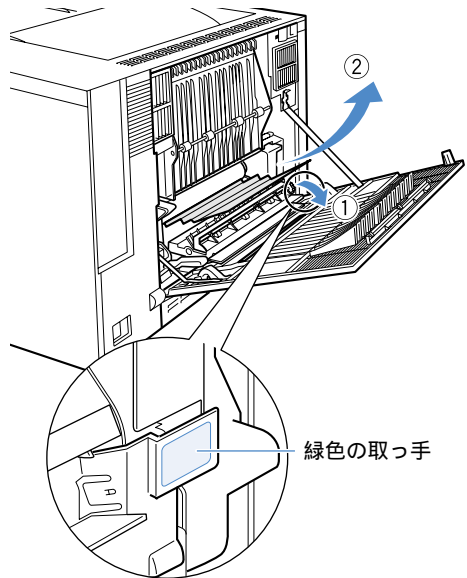
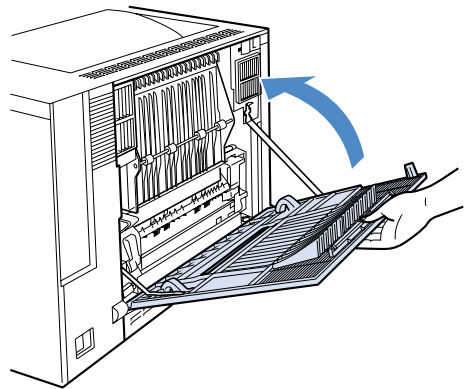
用紙が排紙トレイ、サブ排紙トレイでつまっているときは、そのまま用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

少し引いても用紙が取り除けないときは、無理に引っ張らずに手順***2***へ進み、後部カバーを開いて取り除いてください。
取り除けたときも、後部カバーを一度開閉してください。

2

後部カバーの取っ手に手をかけ、後部カバーを開きます。

注意

● 定着器付近には、手を触れないでください。プリンタを使用した直後は、定着器付近が非常に高温になっており、万一触れると、やけどの恐れがあります。

3

つまった用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

緑色の取っ手をつまんで排紙ガイドレバーを開き①、定着器につまった用紙を取り除きます②。

5

後部カバーを閉じます。

● 定着器で紙づまりが起こった場合は、用紙を取り除いた後の最初のプリントが汚れる場合があります。

カラーバランスを調節したいときは

プリント結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが合っていないときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1～15の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（8）に設定されています。

お願い

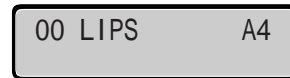
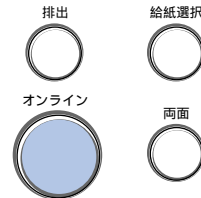
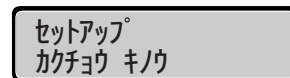
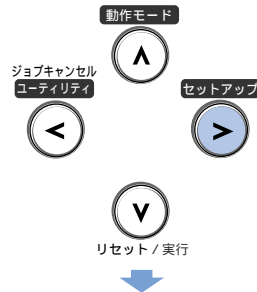
●トナー濃度を調節するときは、少しづつ調節し、テストプリントで結果を確認してください。どうしてもうまく調節できないときは、工場出荷時の値（8）に戻し、お買い求めの販売店へご相談ください。

操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。

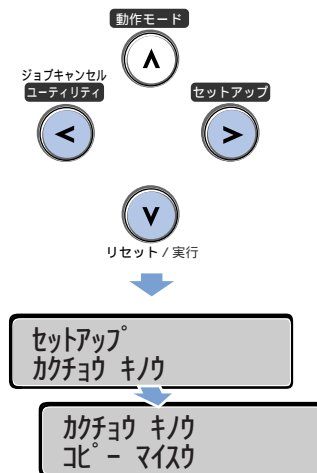
1

オンラインキーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで操作できる状態になります。

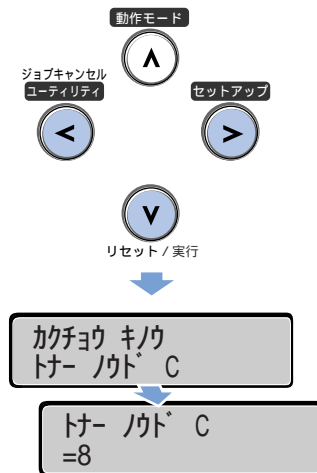
2

セットアップキーを押します。

3

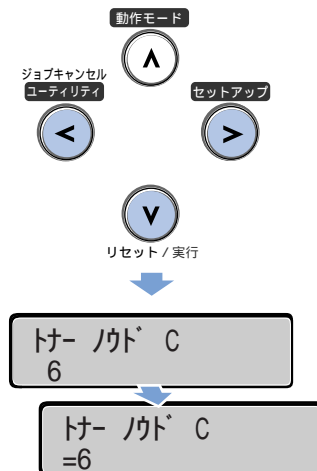
<、>キーで「カクチョウ　キノウ」を選択し、V キーを押します。

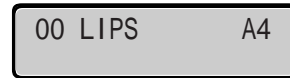
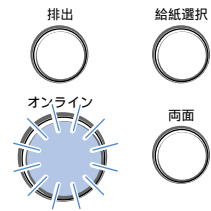
ディスプレイに拡張機能の項目が表示されます。

4

<、>キーで目的の色の「トナー　ノウド」を選択し、V キーを押します。

ディスプレイに現在の設定値が表示されます。

5

<、>キーで濃度を選択し、V キーを押します。

1にすると一番薄い濃度、15にすると一番濃い濃度になります。
設定値の左に「＝」が表示されると、濃度が設定されます。

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態に戻ります。

プリントを中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでにプリンタに一部データが送られてしまった場合、データを排出してプリンタ側の印刷処理を中止させたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての処理を中止することができます。

データを排出する（強制排出）

受信したデータが1ページ分に満たない場合やプリント中にオフラインにした場合、パソコン側でプリントを中止した場合など、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。プリンタのメモリにプリントデータが残ったり、ジョブが終了しないときは、次の操作で強制的に排出することができます。

お願い

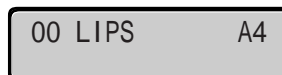
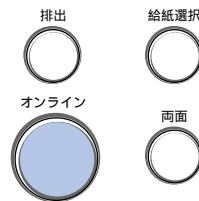
- **データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。**

メモ

- **プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプは点灯しています。**
- **ジョブタイムアウト時間が経過すると、1ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブタイムアウトは「15秒」に設定されています。ジョブタイムアウトの設定方法については、LIPS 機能ガイド　第4章「LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」をご覧ください。**
- **データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→ P. 216）**

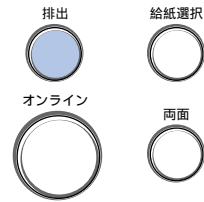
1

オンラインキーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで操作できる状態になります。

2

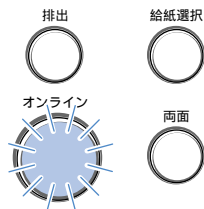
排出キーを押します。

ディスプレイに「05 ハイシチュウ」と表示され、メモリに残っているデータがプリントされます。

メモ

● 排出途中に再度排出キー、またはオンラインキーを押すと、強制排出を中止します。ただし、中止されたページのデータは消去されます。

3

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態に戻ります。

プリントをキャンセルする（ジョブキャンセル）

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、「ジョブキャンセル」を行います。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだ処理が始まっていないジョブには影響しません。

お願い

- **ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに（ジョブキャンセル）キーを押すと、（ユーティリティ）キーとして動作します。**
- **すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。**
- **本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。**

メモ

- **ジョブキャンセルを行ったときに、「03 ジョブ キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。**

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

メモ

- **上記のディスプレイ表示は、LIPSモードのジョブを処理している場合を例にしています。ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイ上段に動作モード、下段にユーザ名やプリンタの状態などの情報が表示されます。**

2

ジョブキャンセル キーを押します。

「03 ジョブ キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。

データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00 ジョブ スキップ」の表示に変わります。

「00 LIPS」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

- **「00 ジョブ スキップ」が表示されているときは、リセット キーを押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。**
- **「03 ジョブ キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00 ジョブ スキップ」が表示されるまでお待ちください。**

現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

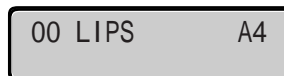
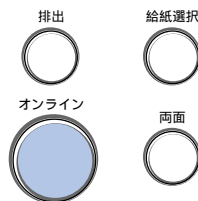
現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフトリセット」を実行します。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のプリントデータ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

お願い

- **必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからプリンタ側でプリント中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。**
- **ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。**
- **他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。**
- **排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。**

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

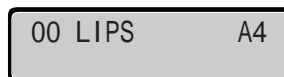
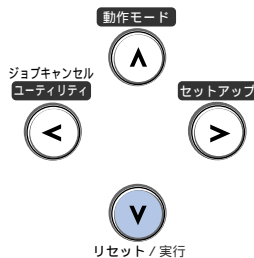
操作パネルで操作できる状態になります。

2

（リセット）キーを押し続け、「ソフトリセット」と表示されたら離します。

約1秒で表示されます。そのまま5秒以上押し続けると「03　ハードリセット」の操作になります。

「03　ソフトリセット」の表示が消えたらリセットが完了します。

第6章　困ったときには

3

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態に戻ります。

すべての処理を中止する（ハードリセット）

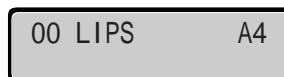
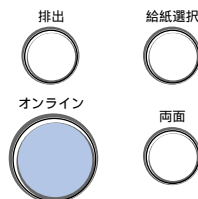
何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータをクリアしたいときは、次の操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

お願い

- **データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。**
- **他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。**

1

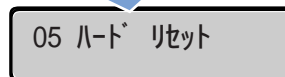
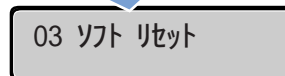
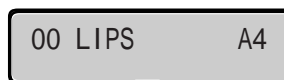
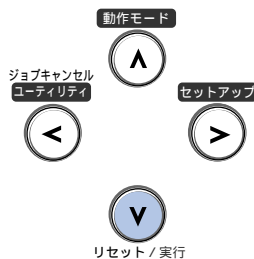
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

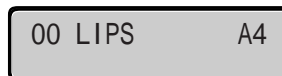
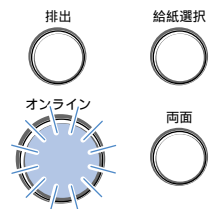
操作パネルで操作できる状態になります。

2

（リセット）キーを押し続け、「ハードリセット」と表示されたら離します。

「03　ハードリセット」が表示されるまで（約5秒）押し続けます。5秒未満の場合、「03　ソフトリセット」の操作になります。

操作パネルの表示やランプが点滅した後、「00 LIPS」が表示されると、リセットが完了します。

3

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態に戻ります。

プリンタの動作を確認したいときは

本プリンタは、最良の印字品質を維持するため、印字品質を確認できるテストプリントやメニューの設定などを確認できるステータスプリントなどの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終わった後やプリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

テストプリント

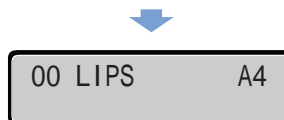
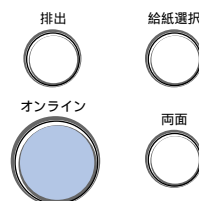
本プリンタには、プリンタの状態や印字品質などを確認するためのテストプリント機能が備わっています。プリンタの準備や接続が終わった後などにテストプリントを行い、プリンタの動作を確認してください。テストプリントを行うときは、次の手順で操作します。

- **テストプリントは、A4サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。**
- **プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、テストプリントにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、テストプリントも両面に2ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数とカラーモードの設定は無視され、常に1枚の用紙がカラーモードでプリントされます。**

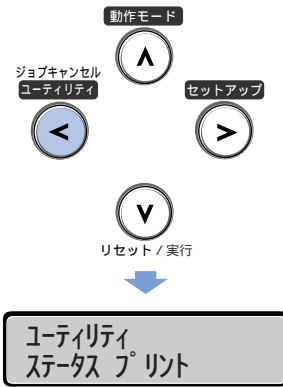
1

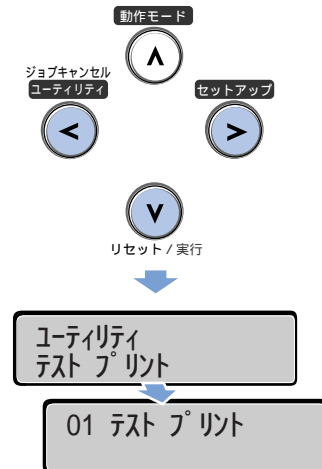
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで操作できる状態になります。

2

ユーティリティ キーを押します。

ディスプレイに「ステータスプリント」と表示されます。

3

＜、＞キーで「テストプリント」を選択し、∨キーを押します。

ディスプレイに「01 テストプリント」と表示され、テストプリントを開始します。

■テストプリントのプリント内容

テストプリントを行うと、下図のようにプリントされます。テストプリントでは、グラフィックの図形や線、グラデーションの階調表現、内蔵フォントのサンプル、プリントムラなどを確認できます。

ステータスプリント

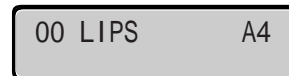
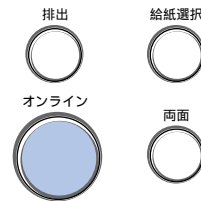
ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などがプリントされます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

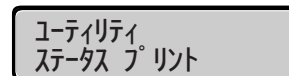
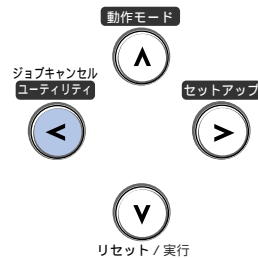
- **ステータスプリントは、A4サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。**
- **プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、ステータスプリントも両面に2ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数とカラーモードの設定は無視され、常に1枚の用紙がモノクロモードでプリントされます。**

1

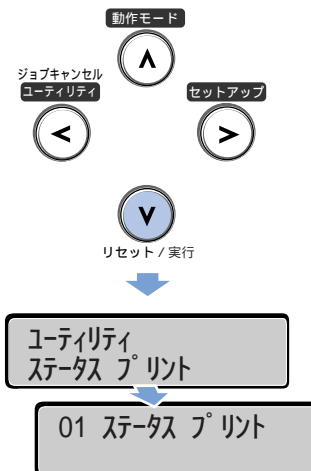
(オンライン)キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで操作できる状態になります。

2

(ユーティリティ)キーを押します。

ディスプレイに「ステータスプリント」と表示されます。

3

∨キーを押します。

ディスプレイに「01　ステータスプリント」と表示され、ステータスプリントを開始します。

■ステータスプリントのプリント内容

ステータスプリントを行うと、下図のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設置値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

Canon STATUS PRINT COLOR LASER SHOT LBP-2050

A4 ZOOM 給紙容量 850 MAX 32MB 両面
自動 自動 セントロニクス USB 拡張

バージョン : R1.03/AKA1B26E/20001211
サブバージョン : 15.00/2EI-4113-C410-100.0-0/34/00
エンジンバージョン : AKA/001f

給紙モード : 自動
両面モード : 片面印刷

全体メモリ搭載状況 : 32 (32 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 2697 Kbytes
動作モード : 自動
優先エミュレーション : ESC/P

拡張機能グループ

コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
スリープ動作 : する
スリープ モード : 30分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
ハイレジストモード : 使わない
トナー濃度C : 8
トナー濃度M : 8
トナー濃度Y : 8
トナー濃度K : 8
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
自動切替／LIPS : 使う
自動切替／ESC/P : 使う
特殊モードD : 使わない
特殊モードI : 使わない

給紙グループ

トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
トレイ優先 : しない
自動選択／トレイ : 使う
自動選択／カセット１ : 使う
自動選択／カセット２ : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
トレイ用紙タイプ : 普通紙
用紙名称／トレイ :
用紙名称／カセット１ :
用紙名称／カセット２ :

インタフェースグループ

インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP

印字調整グループ

スーパースムーズ : 使う
データ処理 : ファイン
階調処理 : 高階調 1
カラーモード : 自動
モノクロ中間調選択 : パターン 1
カラー中間調選択／テキスト : 解像度
カラー中間調選択／グラフィック : 解像度
カラー中間調選択／イメージ : 階調
特殊中間調選択 : 使わない
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動

レイアウトグループ

縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : COLOR LASER SHOT LBP-2050
Description : Canon COLOR LASER SHOT LBP-2050
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS　Ver.99.99　LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
ESC/P　Ver.01.61　ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

拡張ＲＯＭ情報
ブロック1 : RESIDENT　19990518　Copyright CANON INC. 1999 All Rights Reserved.

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x260c
シリアルナンバー : 00UG000108

Page Count : 0003008

フォントリスト

オプションのバージョンアップROMを取り付けている場合は、本プリンタで使用可能なフォントの名称とサンプルをプリントすることができます。フォントリストのプリントを行うときは、次の手順で操作します。

- **A4より小さいサイズで出力した場合には、縮小されずに画像がカットされてプリントされます。**
- **A4より大きいサイズで出力した場合には、余白が大きく空いてプリントされます。**
- **プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、フォントリストにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、フォントリストも両面に2ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数とカラーモードの設定は無視され、常に1枚の用紙がモノクロモードでプリントされます。**

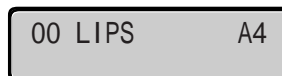
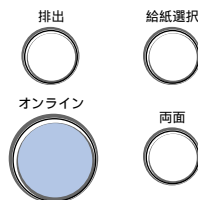
1

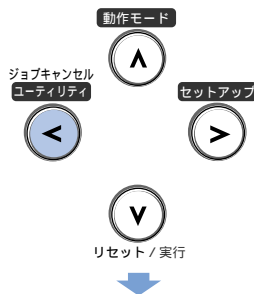
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで操作できる状態になります。

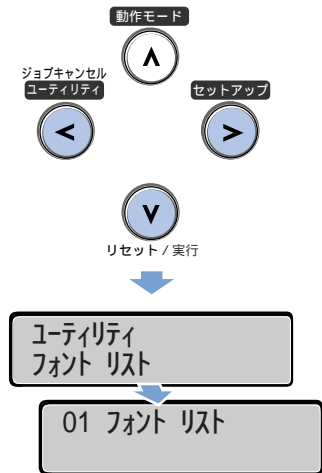
排出　給紙選択
オンライン　両面

00 LIPS　A4

2

（ユーティリティ）キーを押します。

ディスプレイに「ステータスプリント」と表示されます。

3

<、>キーで「フォントリスト」を選択し、∨キーを押します。

ディスプレイに「01　フォント　リスト」と表示され、フォントリストがプリントされます。

■フォントリストのプリント内容

フォントリストをプリントすると、下図のようにプリントされます。フォンとリストでは、プリントに内蔵されている日本語フォントと欧文フォントの名称、フォントID、フォントのサンプルが確認できます。

Canon　**FONT LISTS**　COLOR LASER SHOT LBP-2050

フォント名称	フォントＩＤ	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
RoundGothic-Light	006	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
ALP10		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
RoundGothic-Light-H	005	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Symbol		ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφ

Page Count : 0003010

メッセージが表示されたときは

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにエラーメッセージを表示します。また、プリントに支障はないが、何らかの処置が必要な状況が発生すると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。
これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

- 複数の警告が同時に発生しているときは、メッセージを交互に表示します。
- 他のトラブルを示すメッセージが同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- セットアップメニューの「ケイコクヒョウジ」を「シナイ」に設定すると、警告メッセージ の付いているメッセージは表示されません。
- エラースキップ可 のマークが付いているメッセージは、オンライン キーを押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、オンライン キーを押して再度プリントしなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、「自動エラースキップ」を「ツカウ」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

11　XXX ヨウシガ　アリマセン（XXX は用紙サイズ略号→ P.20）

原　因　給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「自動」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元）

対策1　用紙を補給またはセットします。

対策2　給紙選択 キーで同じ用紙サイズまたは大きい用紙サイズの給紙元を選択します。

参照先　第4章「給紙元を選択する」（→ P.99）

12　カバーガ　アイテイマス

原　因　いずれかのカバーが開いている

対　策　ディスプレイの下段に表示されたカバーをしっかりと閉じます。オンライン状態になっていないときは、オンライン キーを押します。

- 1つのカバーを閉じてもまだこのメッセージが表示される場合は、他のカバーが開いてます。他のカバーをチェックして、すべて閉じてください。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因　内部で紙づまりを起こしている

対　策　ディスプレイの下段に表示された場所の紙づまりを除去し、カセットやカバーを元に戻します。オンライン状態になっていないときは、オンラインキーを押します。

参照先　第6章「紙づまりが起こったときは」（→ P.192）

お願い

- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイ下段に紙づまりの位置を交互に表示します。
- どのカバーも開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ずいずれかのカバーを一度開閉してください。

14　カートリッジ　チェック

原　因　トナーカートリッジが正しくセットされていない

対　策　トナーカートリッジを正しくセットしなおします。

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.148）

14　X　トナーカートリッジ　ナシ（X は Y または M、C、K）

原因1　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない

対　策　表示された色のトナーカートリッジをセットします。オンライン状態になっていないときは、オンラインキーを押します。

参照先　第2章「カートリッジをセットする」（→ P.44）

原因2　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しくセットされていない

対　策　表示された色のトナーカートリッジを正しくセットします。

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.148）

メモ

- トナーカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

16　X　トナー　チェック（X は Y または M、C、K）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーの残量が少なくなってきている

対　策　少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備します。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換します。トナーカートリッジカバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、オンラインキーを押します。

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.148）

16　X　トナー　コウカン（X は Y または M、C、K）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジの残量が少なくなってきている

対　策　（オンライン）キーを押します。少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換します。トナーカートリッジカバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先　第 5 章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.148）

メモ

●トナーカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

17　カセット 1　ヨウシ　ナシ　警告メッセージ

原　因　カセット 1 の用紙が切れている

対　策　カセット 1 に用紙を補給します。カセット 1 を元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先　第 2 章「用紙をセットする」（→ P.56）

17　カセット 2　ヨウシ　ナシ　警告メッセージ

原　因　カセット 2 の用紙が切れている

対　策　カセット 2 に用紙を補給します。カセット 2 を元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先　第 4 章「給紙カセットからプリントする」（→ P.106）

18　カセット 1　ナシ

原　因　カセット 1 がセットされていない

対　策　カセット 1 を正しくセットします。オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先　第 2 章「用紙をセットする」（→ P.56）

18　カセット　キュウシ　フカ

原　因　給紙カセットから給紙できない用紙タイプが指定されている

対策 1　（給紙選択）キーで給紙トレイを選択し、指定した用紙タイプの用紙をセットします。

対策 2　給紙メニューでトレイ用紙タイプを「フツウシ」に設定します。

参照先　第 4 章「給紙トレイからプリントする」（→ P.111）

19　ヨウシガ　ノコッテイマス　警告メッセージ

原　因　本体内部に用紙が残っている

対　策　給紙カセットを引き出して用紙を取り除いてください。

参照先　第 6 章「紙づまりが起こったときは」（→ P.192）

1C　ソウシンチュウ：セントロ／USB／カクチョウ　警告メッセージ

原因1　**双方向通信に対応していないパソコンとセントロニクスで接続している場合で、メニューの双方向の設定が「ECP」または「ニブル」になっている**

対　策　**メニューの双方向の設定を「ツカワナイ」にします。**

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「5 インタフェースグループの設定項目」

原因2　**双方向通信機能を使ってプリンタからパソコンへデータを送信したときに、パソコン側がデータの処理中でデータを受信できる状態になっていなかった**

対　策　**一定時間後に自動的に送信データを消去し、メッセージが消えます。**

1F　ハイシトレイ　チェック　警告メッセージ

原　因　**排紙トレイが満載になってきている**

対　策　**排紙トレイの用紙を取り除きます。**

1F　ハイシトレイ　フル　エラースキップ可

原　因　**排紙トレイが満載になった**

対策1　**排紙トレイの用紙を取り除きます。**

対策2　**排紙先をサブ排紙トレイに切り替えます。**

参照先　第4章「排紙先を選択する」(→ P.102)

1G　X　トナー　コウカン（XはYまたはM、C、K）

原　因　**Y（イエロー）またはM（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーの寿命がきた**

対　策　**表示された色のトナーカートリッジを取り出して新しいトナーカートリッジと交換します。オンライン状態になっていないときは、オンラインキーを押します。**

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」(→ P.148)

メモ

- **トナーカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。**

21　プリント　オーバーラン　エラースキップ可

原　因　**データが複雑すぎて処理が間に合わなかった（オーバーランした）**

対策1　**セットアップメニューのデータ処理解像度の設定がファインのときは、クイックに変更し、プリントしなおします。**

対策2　**対策1の処置をしてもエラーが発生する場合は、セットアップメニューで、バンド制御を「ツカワナイ」に設定し、データを送りなおします。**

対策3　**オンラインキーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。**

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

23　ダウンロード　メモリフル　エラースキップ可

原　因　オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、次のような方法で空き RAM 容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす。（プリンタが受信したメモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）
- セットアップメニューで印字動作を「トウロク　ユウセン」に設定してからハードリセットする
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
第3章「電源のオン、オフ」（→ P.76）
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」
付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

26　システムメモリ　フル　エラースキップ可

原　因　システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

対策2　オプションの拡張 RAM を取り付けます。

参照先　付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

27　ジョブカイシ　フカノウ　エラースキップ可

原　因　指定したエミュレーションが存在しない

対策1　本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定して、プリントしなおします。

対策2　オプションのバージョンアップ ROM を取り付けます。

対策3　（オンライン）キーを押し、次のプリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータはプリントされません。

参照先　付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

28　ビョウガメモリ　フル

エラースキップ可

原　因　**描画メモリが不足して処理ができなかった**

対策1　**オンライン キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。**

対策2　**リセット キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。**

対策3　**対策2を行っても必要な描画メモリが確保できないときは、次のような方法で空きRAM容量を増加します。**

- **ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）**
- **セットアップメニューで、フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする**
- **オプションの拡張RAMを取り付ける**

参照先　第3章「電源のオン、オフ」（→ P.76）
第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」
付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

30　メモリ　フル

エラースキップ可

原因1　**システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した**

対　策　**オンライン キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。**

原因2　**（電源のオン時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（拡張RAMが取り外された）ために NVRAM に設定されているメモリ容量を確保できなかった**

対策1　**オンライン キーを押し、NVRAM のメモリの構成を確保可能な値に書き換えてプリントを継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しくプリントされないことがあります。**

お願い

- **「30　メモリ　フル」が発生した時点で、NVRAM のメモリの構成が確保可能な値*に書き換えられます。（*：印字動作、フォームキャッシュメモリは工場出荷値に戻ります。）**

対策2　**電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して（取り外した拡張RAMを取り付けて）プリントしなおします。**

対策3　**フォームキャッシュメモリを設定しなおしてからハードリセットし、プリントしなおします。**

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」
第3章「電源のオン、オフ」（→ P.76）
付録「オプションの取り付け」（→ P.263）
LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」
第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）

32　リョウメン　フカノウ

エラースキップ可

原因1　**両面プリントできない用紙を指定した**

対　策　**本プリンタの給紙元選択とパソコンのプリント用紙サイズの選択を定形サイズに設定してプリントしなおします。**

参照先　第4章「給紙元を選択する」（→ P.99）

原因2　**両面プリントするためのメモリが確保できない**

対策1　**（リセット）キーを押してソフトリセットした後、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。**

対策2　**次のような方法で空き RAM 容量を増加し、プリントしなおします。**

- **登録されているデータを削除する**
- **オプションの拡張 RAM を取り付ける**

参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」
付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

原因3　**自動両面プリントできない用紙サイズの両面データを受信した**

対策1　**（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ2ページに分けてプリントします。**

対策2　**（リセット）キーを押してソフトリセットした後、両面プリント可能な用紙サイズに変更して、プリントしなおします。**

33　ワークメモリ　フル

エラースキップ可

原　因　**各動作モード専用のワークメモリが確保できない**

対策1　**（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。**

お願い

- **（オンライン）キーを押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータは削除されることがありますので、ご注意ください。**

対策2　**（リセット）キーを押してソフトリセットした後、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。**

- **ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす。（プリンタが受信したメモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）**
- **セットアップメニューで、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットする**
- **オプションの拡張 RAM を取り付ける**

参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
第3章「電源のオン、オフ」（→ P.76）
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」
付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

34　NVRAM　フル

エラースキップ可

原　因　NVRAM の領域が不足した

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、NVRAM の設定値は工場出荷値でプリントします。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューでパネル設定初期化を実行して、セットアップメニューの設定を工場出荷時の状態に戻し、使用する動作モードを優先動作モードに設定してプリントしなおします。

参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
LIPS 機能ガイド　第2章「10 セットアップメニューの初期化」
LIPS 機能ガイド　第6章「2 優先エミュレーションメニューの設定項目」

35　トウロクテーブル　フル

エラースキップ可

原　因　トランスレータを搭載しすぎて、システムがオーバーフローした

対　策　パネル設定初期化を実行して、セットアップメニューの設定を工場出荷時の状態に戻し、（オンライン）キーを押してプリントを継続します。ただし、NVRAM の設定値は工場出荷値でプリントします。

参照先　LIPS 機能ガイド　第2章「10 セットアップメニューの初期化」

36　カイチョウ　テイカ

エラースキップ可

原　因　データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、カラー時、600dpi 多値 から 600dpi 2 値 に階調処理を低下してプリントします。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューの階調処理の設定を標準モードにして、プリントしなおします。

対策3　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。

対策4　次のような方法で空き RAM 容量を増加し、プリントしなおします。
- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」
第3章「電源のオン、オフ」（→ P.76）
第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

37　ヨウシタイプ　フカノウ

原　因　使用できない用紙タイプを指定した

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。普通紙としてプリントが継続されます。普通紙でない場合は、正しいプリント結果が得られません。

対策2　セットアップメニューで用紙タイプを適切な用紙タイプに設定し、プリントしなおします。

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「2　給紙グループの設定項目」

38　ガシツテイカ

エラースキップ可

原　因 データが複雑あるいは多量すぎて処理できなかった

対策1 （オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、解像度300dpiでプリントします。

対策2 （リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。

対策3 （リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューの階調処理を次のように設定して、プリントしなおします。
- 「コウカイチョウ2」に設定されているときは、「コウカイチョウ1」に設定する
- 「コウカイチョウ1」に設定されているときは、「ヒョウジュン」に設定する

対策4 次のような方法で空き RAM 容量を増加し、プリントしなおします。
- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」
第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

40　ツウシン　エラー

エラースキップ可

原　因 LANに接続しているときに、本プリンタとパソコンのデータのやりとりでエラーが発生した

対策1 （オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

対策2 （リセット）キーを押してソフトリセットした後、本プリンタとパソコン間のLANケーブルの接続を確認し、プリントしなおします。

対策3 （リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューのインターフェースグループの各設定値と、パソコンの設定値を合わせてプリントしなおします。

参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
第2章「パソコンと接続する」（→ P.60）
LIPS 機能ガイド　第3章「5　インタフェースグループの設定項目」

41　プリント　チェック

エラースキップ可

原　因 実際に給紙トレイにセットした用紙サイズと、パソコンまたは操作パネルから設定したトレイ用紙サイズの設定が違っている

対　策 トレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズを合わせ（オンライン）キーを押します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「2　給紙グループの設定項目」

42　インタフェース　エラー

原　因　オプションのプリントサーバに重度の障害が発生した

対　策　電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、オプションのプリントサーバの取り付けをチェックしてから、電源を入れなおします。

お願い

●上記の操作をしてもなおらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

参照先　拡張インタフェースボードの取扱説明書

43　インタフェース　エラー　エラースキップ可

原因1　オプションのプリントサーバに軽度の障害が発生した

対　策　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

原因2　リセット処理により、オプションのプリントサーバの通信が切断された

対　策　（オンライン）キーを押します。

44　トレイ　コショウ　エラースキップ可

原　因　給紙トレイに障害が発生した

対　策　（オンライン）キーを押すと、自動的に給紙カセットから給紙してプリントを継続します。

52　イメージモード　フカ

原　因　イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した

対策1　（オンライン）キーを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

対策2　イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントしなおします。

52　ヌリツブシメイレイ　フカ　エラースキップ可

原　因　モノクロモードの高階調1または高階調2でプリント中に、塗り潰し命令を受信した

対策1　（オンライン）キーを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューのデータ処理の設定を「ファイン」または「クイック」にして、プリントしなおします。

対策3　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューの階調処理のを「ヒョウジュン」に設定して、プリントしなおします。

参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

53　パケットエラー　エラースキップ可

原　因　プリントデータ受信中にデータを認識できなくなった
対策1　（オンライン）キーを押すと、そのプリントデータを無視して、次のプリントを開始します。
対策2　本プリンタをネットワークに接続しているときは、ネットワーク上のすべてのパソコンをチェックし、プリンタドライバを本プリンタ対応にアップデートします。
参照先　LIPS ソフトウェアガイド

5F-nn　サービス　コール（nn は2桁の英数字）

原因1　紙づまりが起こっている可能性がある
対　策　中間転写体ユニットカバー内の搬送ガイドの下に用紙がつまっていないか確認します。
参照先　第6章「紙づまりが起こったときは」（→ P.192）
原因2　プリンタの内部に結露が発生した可能性がある
対策1　本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、プリンタを設置してある環境に1時間以上放置してからプリントします。結露が発生したままの状態でプリントすると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、印字不良となることがあります。
対策2　対策1の処置をしてもエラーが表示されるときは、ディスプレイのメッセージを書きとめた後、電源をオフにして電源コードを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際にはメッセージの内容をお知らせください。
参照先　第1章「設置場所を決める」（→ P.30）

96　FU　トレイ　チェック

原　因　サブ排紙トレイが開いた状態で、両面プリントをしようとした
対　策　サブ排紙トレイを閉じます。
参照先　第2章「排紙先を選択する」（→ P.102）

98　ドラム　コウカン

原　因　ドラムカートリッジの寿命がきた
対　策　ドラムカートリッジを取り出して、新しいドラムカートリッジと交換します。
参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.158）

メモ

● ドラムカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

99　ITB ユニット　チェック

原　因　中間転写体ユニットがセットされていない、または正しくセットされていない
対策1　中間転写体ユニットをセット、または正しくセットしなおします。
対策2　対策1を2～3回繰り返してもなおらないときは、中間転写体ユニットを新しいものと交換します。
参照先　第5章「中間転写体ユニットを交換する」（→ P.167）

99　ITB　コウカン　ヨコク　警告メッセージ

原　因　中間転写体ユニットの寿命がきた

対　策　プリンタは停止せず、プリントを続行できます。プリントが終了したら中間転写体ユニットを新品と交換します。そのまま使い続けると、プリント面に黒い縦すじが現れ始めて印字品質が低下しますので、必ず新しい中間転写体ユニットと交換してください。

参照先　第5章「中間転写体ユニットを交換する」(→ P.167)

99　ITB　コウカン

原　因　中間転写体ユニットが使用不能な状態になっている

対策1　中間転写体ユニットをセットしなおします。

対策2　対策1を2～3回繰り返してもなおらないときは、中間転写体ユニットを新しいものと交換します。

参照先　第5章「中間転写体ユニットを交換する」(→ P.167)

9B　ヨウシタイプフセイ　エラースキップ可

原因1　トレイ用紙タイプが「アツガミ」または「光沢フィルム」に設定されているときに、OHPフィルムを給紙した

対　策　(オンライン)キーを押すと、プリントがキャンセルされます。トレイ用紙タイプを「OHP」に設定してから、プリントしなおします。

原因2　トレイ用紙サイズが「リーガル」「ユーザペーパー」「フリー」に設定されているときに、OHPフィルムを給紙した

対　策　(オンライン)キーを押すと、プリントがキャンセルされます。トレイ用紙サイズを使用する用紙に合わせて「A4」もしくは「レター」に設定してから、プリントしなおします。

原因3　本プリンタに適さないOHPフィルムを給紙した

対　策　(オンライン)キーを押すと、プリントがキャンセルされます。推奨のOHPフィルムをセットして、プリントしなおします。

参照先　第4章「OHPフィルム／光沢フィルムにプリントする」(→ P.130)

9C　トナー　コウカンチュウ

原　因　トナーカートリッジ交換モードになっている

対　策　(オンライン)キーを押すと、トナーカートリッジ交換モードが解除されます。

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」(→ P.148)

お願い

- ディスプレイの下段に「X　トナー　イドウチュウ」が表示されている間は、解除できません。少し待って「トナー　トリダシイチ　X」が表示されてから、(オンライン)キーを押します。

9D　ヨウシサイズ　フセイ

原因1　給紙カセットの用紙ガイドの位置や用紙サイズ登録ダイヤルの設定が違っている
対策1　給紙カセットの用紙ガイドや用紙サイズ登録ダイヤルを正しくセットしなおします。
参照先　第4章「給紙カセットからプリントする」（→ P.106）
対策2　給紙選択キーで、他の給紙元を選択します。
参照先　第4章「給紙元を選択する」（→ P.99）
原因2　カセット1にB5サイズの用紙をセットしている場合に、後側用紙ガイドの位置を「CUSTOM（B5ISO）」にセットしている
対　策　後側用紙ガイドを「B5」にセットしなおします。
参照先　第2章「用紙をセットする」（→ P.56）
原因3　カセット2にA4またはレターの用紙をセットしている場合に、用紙サイズ登録ダイヤルを「CUSTOM」にセットしている
対　策　用紙サイズ登録ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせて「A4」または「レター」にセットしなおします。
参照先　第4章「給紙カセットからプリントする」（→ P.106）

E0　ドラム　コウカン　ヨコク　警告メッセージ

原　因　ドラムカートリッジの寿命が近い
対策1　ディスプレイの上段に表示されている場合は、オンラインキーを押すとプリントは続行できます。新品のドラムカートリッジをご用意ください。印字品質が低下しているときは、ドラムカートリッジを新品と交換します。
対策2　ディスプレイの下段に表示されている場合は、プリンタは停止せず、プリントを続行できます。新品のドラムカートリッジをご用意ください。印字品質が低下しているときは、ドラムカートリッジを新品と交換します。
参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.158）

E2　ドラムユニット　チェック

原　因　ドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない
対　策　ドラムカートリッジをセット、または正しくセットしてください。
参照先　第2章「カートリッジをセットする」（→ P.44）
第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.158）

- ドラムカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

E5　テイチャクキ　ヨコク

原　因　定着器の寿命が近い
対　策　本プリンタをお買い求めの販売店へ、定着器の交換をご依頼ください。

- 定着器交換は、専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、必ず販売店へご連絡ください。
- 寿命が来た定着器を使い続けると、定着器内のローラが破損し、プリントできなくなります。

E8　テイチャクキ　ナシ

原　因　定着器が故障した、または正しくセットされていない

対　策　電源をオフにして冷却ファンの回転が止まるまで約10分間待ち、後部カバーを開けて定着器の取り付けを確認します。再度同じメッセージが表示される場合は、メッセージ内容をメモし、お買い求めの販売店へご連絡ください。

EE　ノウドセンサー　チェック　警告メッセージ

原　因　濃度センサーが汚れている

対策1　ドラムカートリッジを取り外し、濃度センサーおよびドラムカートリッジの廃トナー検知窓を清掃します。

対策2　中間転写体ユニットをセットしなおします。再度同じメッセージが表示される場合は、メッセージ内容を書きとめ、お買い求めの販売店へご連絡ください。

参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.158)

EF　ドラム　コウカン

原　因　ドラムカートリッジの寿命がきた

対策1　ディスプレイの上段に表示されている場合は、(オンライン)キーを押してプリントを続行し、プリントが終了したら直ちに新しいドラムカートリッジと交換します。そのまま使い続けると、プリント面に黒い縦すじが現れ始めて印字品質が低下しますので、必ず新しいドラムカートリッジと交換してください。

対策2　ディスプレイの下段に表示されている場合は、プリンタは停止せず、プリントを続行できます。プリントが終了したら新しいドラムカートリッジと交換します。

参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.158)

EG　ドラムデータ　エラー

原　因　ドラム内のデータが異常である

対　策　ドラムカートリッジを取り出し、新しいドラムカートリッジと交換します。

参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.158)

F2　フォント　ミジッソウ　エラースキップ可

原　因　オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた

対策1　(オンライン)キーを押すと、間引き描画でプリントを継続します。

対策2　メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントしなおします。

F9-nn　チェック　プリンタ

原　因　プリントデータ処理中にトラブルが発生した

対策1　約10分間放置します。

対策2　電源をいったんオフにし、5秒以上経ってから電源プラグを電源コンセントから外します。さらに10秒以上経ってから電源プラグを電源コンセントへ接続し、電源をオンにします。

参照先　第2章「電源コードを接続する」(→ P.41)

FF　フォント　フル

エラースキップ可

原　因　登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

対策2　LIPSのコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントしなおします。

参照先　プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」

OF　オプション　ゴソウサ

原因1　本プリンタの電源が入っているときに、両面ユニットまたはペーパーフィーダユニットが脱着された

対　策　電源をいったんオフにし、両面ユニットまたはペーパーフィーダユニットを脱着してから電源を入れなおします。

原因2　両面ユニットまたはペーパーフィーダユニットが正しく取り付けられていない

対　策　電源をいったんオフにし、両面ユニットまたはペーパーフィーダユニットを正しく取り付けてから電源を入れなおします。

参照先　第3章「電源のオン、オフ」（→ P.76）
付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

PC　XXX ヨウシ ニ コウカン（XXX は用紙サイズ略号→ P.20）

エラースキップ可

原　因　アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや給紙トレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている

対策1　選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットします。

参照先　第4章「給紙元を選択する」（→ P.99）

対策2　給紙トレイの場合はトレイ用紙サイズを確認し、アプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定します。

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「2　給紙グループの設定項目」

対策3　（給排紙選択）キーで、サイズの合った用紙がセットされている給紙カセットを選択します。

参照先　第4章「給紙元を選択する」（→ P.99）

対策4　（オンライン）キーを押し、セットされている用紙に強制的にプリントします。給紙トレイの場合、トレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

W0　マーク　タイム

警告メッセージ

原　因　描画データが複雑で、描画処理に10分以上時間がかかっている

対　策　そのまましばらくお待ちください。

nn-nn　サービス　コール（nn は２桁の英数字）

原　因　プリンタの内部機構にトラブルが発生した

対　策　電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源を入れなおします。メッセージが消えることがあります。

お願い

●上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイの上の行に表示されている４桁の英数字、および下の行のメッセージを書きとめた後、電源をオフにして電源プラグを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

正しいプリント結果が得られないときは

本プリンタを使用中に、トラブルかなと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。
本書に記載されていない症状が起きたとき、あるいは記載されている処置を行っても症状が回復しなかったとき、原因がどうしてもわからないときは、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因1	**電源コードのプラグが電源コンセントから抜けている**
対　策	**電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。**
原因2	**ブレーカーが落ちている**
対　策	**配電盤のブレーカーをオンにします。**
原因3	**電源コード内部で断線している**
対　策	**同じタイプの他の装置の電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上、交換します。**
参照先	第2章「電源コードを接続する」（→ P.41）

プリンタが動かない

原因1	**オフラインになっている**
対　策	**（オンライン）キーを押し、オンラインランプを点灯します。**
参照先	第3章「オンラインとオフライン」（→ P.79）
原因2	**メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）**
対　策	**（オンライン）キーを押してオフラインにし、（排出）キーを押してメモリ内に残っているデータを出力します。**
参照先	第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）
原因3	**インタフェースケーブルが外れている**
対　策	**インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタのインタフェース接続部にしっかりと接続します。**
参照先	第2章「パソコンと接続する」（→ P.60）
原因4	**本プリンタやオプション装置に故障がある**
対　策	**ディスプレイのメッセージを見て、処置します。**
参照先	第6章「メッセージが表示されたときは」（→ P.229）
原因5	**メインボード上のP-ROMが外れている**
対　策	**電源をオフにし、メインボードを取り外してP-ROMの装着状態を確認します。浮いていたり、外れている場合は、取り付けなおします。**
参照先	付録「オプションの取り付け」（→ P.263）

プリントが途中で止まってしまった

原　因　**メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）**
対　策　**（オンライン）キーを押してオフラインにし、（排出）キーを押してメモリ内に残っているデータを出力します。**
参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）

操作パネルのランプがつかない

原因1　**電源がオンになっていない**
対　策　**電源をオンにします。**
原因2　**スリープモードになっている**
対　策　**プリントデータを送るか、操作パネルのキーをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。**
参照先　第3章「電源のオン、オフ」（→ P.76）

操作パネルのスイッチが機能しない

原因1　**オンラインになっている**
対　策　**（オンライン）キーを押し、オフライン状態にします。**
参照先　第1章「オンラインとオフライン」（→ P.79）
原因2　**メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）**
対　策　**（オンライン）キーを押してオフラインにし、（排出）キーを押します。**
参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.212）

プリントするたびに紙づまりが起こる

原因1　**給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙が積載制限ガイドを超えている、または積載制限ガイドと用紙に十分な隙間が空いていない**
対　策　**用紙ガイドの積載制限ガイドより、約1mm以上低いところまで用紙を減らし、プリントしなおします。**
参照先　第4章「給紙カセットからプリントする」（→ P.106）
第4章「給紙トレイからプリントする」（→ P.111）
原因2　**給紙カセットや給紙トレイに用紙が正しくセットされていない**
対　策　**用紙を正しくセットしなおし、プリントしなおします。**
参照先　第4章「給紙カセットからプリントする」（→ P.106）
第4章「給紙トレイからプリントする」（→ P.111）
原因3　**給紙カセットや給紙トレイに使用できない用紙がセットされている**
対　策　**使用できる用紙に交換し、プリントしなおします。**
参照先　第4章「給紙カセットからプリントする」（→ P.106）
第4章「給紙トレイからプリントする」（→ P.111）
原因4　**紙づまり処理が不完全である**
対　策　**紙づまりを除去し、プリントしなおします。**
参照先　第6章「紙づまりが起こったときは」（→ P.192）

プリント結果のトラブル

意味不明の半角文字がプリントされる

原因1　LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている

対　策　LIPS専用セットアップメニューの漢字コードの設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせます。

参照先　LIPS 機能ガイド　第4章「漢字コード」

原因2　付属の Windows 用プリンタドライバを組み込まずに Windows からプリントした

対　策　付属の Windows 用プリンタドライバを組み込み、プリントしなおします。

参照先　第2章「ソフトウェアをインストールする」(→ P.71)
LIPS ソフトウェアガイド

原因3　DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない

対　策　DOSアプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに設定しなおします。

参照先　第2章「ソフトウェアをインストールする」(→ P.71)
LIPS ソフトウェアガイド

原因4　動作モードの自動切り替えができなかった

対　策　動作モードを固定し、インタフェースの設定をパソコンと接続しているインタフェースに固定してプリントしなおします。

参照先　LIPS 機能ガイド　第2章「4　動作モードメニューの機能と操作」
LIPS 機能ガイド　第3章「5 インタフェースグループの設定項目」

指定した書体と違う書体で印字される

原　因　Windows 用プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている

対　策　Windows 用プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、プリントしなおします。

参照先　プリンタドライバのヘルプ

白紙のページがプリントされない

原　因　LIPS モードでプリント中に、LIPS セットアップメニューの「ハクシセツヤク」が「ツカウ」になっている

対　策　白紙のページをプリントするときは、LIPS セットアップメニューの「ハクシセツヤク」を「ツカワナイ」に設定します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第4章「白紙節約」

最後のページがプリントできない

原　因　パソコンからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない(ジョブランプが点灯している)

対　策　(オンライン)キーを押してオフラインの状態にし、(排出)キーを押します。(印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが1ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます。)

参照先　参照先　　第6章「プリントを中止したいときは」(→ P.212)

データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

原因1　**データのサイズより小さな用紙をセットした**

対　策　**データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小プリントをします。**

参照先　LIPS機能ガイド　第4章「拡大／縮小」

原因2　**用紙をセットする位置が合っていない**

対　策　**用紙を正しくセットし、プリントしなおします。**

参照先　第4章「給紙カセットからプリントする」（→ P.106）
第4章「給紙トレイからプリントする」（→ P.111）

原因3　**余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした**

対　策　**データの周囲に5mm以上（封筒は10mm以上）の余白を取ってプリントしなおします。（用紙の周囲5mm（封筒は10mm）の範囲にはプリントできません。）**

参照先　アプリケーションソフトのマニュアル

印字位置がずれてしまう

原因1　**セットアップメニューのレイアウトの「とじ代」、「縦補正」、「横補正」が設定されている**

対　策　**セットアップメニューのレイアウトの「とじ代」、「縦補正」、「横補正」の設定を「0」に設定し、プリントしなおします。**

原因2　**アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない**

対　策　**アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおします。**

参照先　アプリケーションソフトのマニュアル

ページの途中から次ページにわかれてプリントされる

原因1　**アプリケーションソフトの「行間」や「1ページの行数」の設定が合っていない**

対　策　**1ページに収まるようにアプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1ページの行数」を変更してからプリントしなおします。**

参照先　アプリケーションソフトのマニュアル

原因2　**動作モードメニューが「ジドウ　センタク」に設定されているときに、セットアップメニューの拡張機能の「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる**

対　策　**動作モードメニューを「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。**

参照先　LIPS機能ガイド　第2章「4　動作モードメニューの機能と操作」
LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

縮小されてプリントされる

原　因　**縮小プリントの設定がされている**

対策1　**プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認します。**

参照先　LIPSソフトウェアガイド

対策2　**バージョンアップROMを装着しているときは、LIPSセットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にします。**

参照先　LIPS機能ガイド　第4章「拡大／縮小」

用紙にしわがよる

原因１　給紙カセットに用紙が正しくセットされていない
対　策　給紙カセットに用紙を正しくセットします。
参照先　第４章「給紙カセットからプリントする」(→ P.106)
原因２　給紙トレイに用紙を斜めにセットした
対　策　給紙トレイにまっすぐに用紙をセットします。
参照先　第４章「給紙トレイからプリントする」(→ P.111)
原因３　用紙が吸湿している
対　策　未開封の新しい用紙と交換します。
原因４　定着器の寿命が近づいてきている
対　策　新品の定着器と交換します。

- 定着器交換は、専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、必ず販売店へご連絡ください。
- 寿命が来た定着器を使い続けると、定着器内のローラが破損し、プリントできなくなります。

用紙が真っ白で何もプリントされない

原因１　シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした
対　策　トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおします。
参照先　第５章「トナーカートリッジを交換する」(→ P.148)
原因２　用紙が重なって送られた
対　策　給紙カセットや給紙トレイの用紙を、よくさばいてセットしなおします。
参照先　第４章「給紙カセットからプリントする」(→ P.106)
第４章「給紙トレイからプリントする」(→ P.111)
原因３　プリンタ内部でトラブルが発生している
対策１　ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源をオンにしなおします。メッセージが消えることがあります。
対策２　対策１の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼します。

用紙が真っ黒で何もプリントされない

原因１ ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している

対　策 ドラムカートリッジを新品に交換します。

参照先 第５章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.158）

原因２ プリンタ内部でトラブルが発生している

対策１ ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源をオンにしなおします。メッセージが消えることがあります。

対策２ 対策１の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼します。

メモ

- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、第６章「メッセージが表示されたときは」（→ P.229）をご覧ください。
- 紙づまりが起ったときは、第6章「 紙づまりが起こったときは」（→ P.192）をご覧ください。

印字品質のトラブル

白い縦すじまたは黒い縦すじが入る

原因1　**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化、あるいは損傷している**
対　策　**新しいドラムカートリッジに交換します。**
参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.158）
原因2　**中間転写ベルトが劣化、あるいは損傷している**
対　策　**新しい中間転写体ユニットに交換します。**
参照先　第5章「中間転写体ユニットを交換する」（→ P.167）
原因3　**トナーカートリッジが損傷している**
対　策　**新しいトナーカートリッジに交換します。**
参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.148）

部分的に白く抜ける

原因1　**用紙が適切でない**
対　策　**使用できる用紙に交換し、プリントしなおします。**
参照先　第4章「用紙について」（→ P.92）
原因2　**用紙の保管状態が悪く、吸湿している**
対　策　**新しい用紙に交換し、プリントしなおします。**
参照先　第4章「用紙について」（→ P.92）
原因3　**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している**
対　策　**ドラムカートリッジを新品に交換します。**
参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.158）
原因4　**中間転写ベルトが劣化している**
対　策　**新しい中間転写体ユニットに交換します。**
参照先　第5章「中間転写体ユニットを交換する」（→ P.167）
原因5　**トナーカートリッジのトナーが少ない**
対　策　**新しいトナーカートリッジに交換します。**
参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.148）

プリントしない部分に残像が現れる

原因1　**プリントする用紙が適当でない**
対　策　**用紙やOHPフィルムを取り替えてプリントします。**
参照先　第4章「用紙について」（→ P.92）
原因2　**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している**
対　策　**新しいドラムカートリッジに交換します。**
参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.158）
原因3　**中間転写ベルトが劣化損傷している**
対　策　**新しい中間転写体ユニットに交換します。**
参照先　第5章「中間転写体ユニットを交換する」（→ P.167）

印字が全体的にうすい、濃い

原因1　**使用環境によってプリント濃度に影響を受けることがある**
対　策　**全ての色（C.M.Y.K）についてトナー濃度を最高の「15」に設定してプリントしなおし、濃度が改善されるか確認します。**
参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

原因2　**セットアップメニューのトナー節約が「ツカウ」に設定されている**
対　策　**セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー節約を「ツカワナイ」に設定します。**
参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

原因3　**濃度センサーが汚れている**
対　策　**濃度センサーを付属の濃度センサー清掃ブラシで清掃します。**
参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→ **P.158**）

印字ムラが出る

原因1　**トナーカートリッジの寿命がきている**
対　策　**新しいトナーカートリッジに交換します。**
参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ **P.148**）

原因2　**ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している**
対　策　**新しいドラムカートリッジに交換します。**
参照先　第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→ **P.158**）

原因3　**中間転写ベルトが劣化している**
対　策　**新しい中間転写体ユニットに交換します。**
参照先　第5章「中間転写体ユニットを交換する」（→ **P.167**）

原因4　**用紙が湿っている、あるいは乾燥している**
対　策　**適切な用紙に交換します。**
参照先　第4章「用紙について」（→ **P.92**）

画像にトナーを散らしたような汚れが出る

原　因　**用紙が湿っている、あるいは乾燥している**
対　策　**適切な用紙に交換し、プリントしなおします。**
参照先　第4章「用紙について」（→ **P.92**）

定着性が悪い

原　因　**用紙の種類により、定着性が悪い場合がある**
対　策　**プリンタドライバの「印字品質」ページで「カラーの設定を行う」をチェックし、「カラー設定」ボタンを押して「マッチング」ページの「マッチング方法」を「色み優先」に設定します。**
参照先　LIPS ソフトウェアガイド

用紙の裏面に汚れが出る

原　因　**用紙サイズをはみ出すようなデータをプリントした**
対　策　**電源をいったんオフにし、電源を入れなおします。プリント内容が用紙サイズをはみ出していないかデータを確認します。**

色ズレにより正しい色（指定した色）でプリントされない、カラーの文字がぼけて見える

原因1 **プリント時の環境条件や使用状況により、色ズレが起こる場合がある**

対策1 **プリンタをお使いになる前に、設置してある部屋の温度に十分なじませてから、プリントしなおします。**

参照先 第1章「設置場所を決める」(→ P.30)

対策2 **操作パネルで拡張機能メニューの「ハイレジストモード」を「ツカウ」に設定します。**

参照先 LIPS機能ガイド 第3章「1 拡張機能グループの設定項目」

原因2 **4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはトナーカートリッジが劣化している**

対 策 **「トナーチェック」または「トナーコウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。**

参照先 第5章「トナーカートリッジを交換する」(→ P.148)

原因3 **用紙が適切でない**

対 策 **使用できる用紙に交換し、プリントしなおします。**

参照先 第4章「給紙元を選択する」(→ P.99)
第4章「用紙について」(→ P.92)

原因4 **電源投入時など、キャリブレーション終了前にデータを送った**

対 策 **ディスプレイに「00 LIPS」と表示されていることを確認して、プリントしなおします。**

細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色でプリントされない、または消えてしまう

原因1 **色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある**

対策1 **アプリケーションソフトで色を調整して、プリントしなおします。**

対策2 **アプリケーションソフトでパターンを変更して、プリントしなおします。**

原因2 **網点のパターンにより、色が違って見える**

対策1 **濃い色に変更して、プリントしなおします。**

対策2 **「ファイン」または「クイック」のプリント解像度設定を切り替えて、プリントしなおします。**

参照先 LIPS機能ガイド 第3章「4 印字調整グループの設定項目」

対策3 **用紙の送り方向を変えてセットしなおし、プリントしなおします。**

網かけパターンが正しい色（指定した色）でプリントされない

原 因 **プリントデータの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している**

対策1 **アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、プリントしなおします。**

対策2 **プリンタドライバで「カラー中間調」の設定を「階調」や「色調」に変更して、プリントしなおします。**

対策3 **操作パネルで印字調整メニューの「特殊中間調」を「ツカウ」に設定します。**

参照先 LIPS機能ガイド 第3章「4 印字調整グループの設定項目」

写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる

原 因 **画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある**

対策1 **プリンタドライバの「印字品質」ページで「印刷目的」を「グラフィックス」に変更して、プリントしなおします。**

対策2 **プリンタドライバの「印字品質」ページで「カラーの設定を行う」をチェックし、「カラー設定」ボタンを押して「マッチング」ページの「ガンマ補正」を調節します。**

グラデーションのかかった図形をプリントした場合に、グラデーションにすじが入る

原　因　図形の「すじ」のグレイの色の部分に、グレイ補償が効いている

対　策　プリンタドライバの「印字品質」ページで「詳細設定」ボタンを押し、「グラフィックス」ページの「グレイ補償」を「使わない」に設定して、プリントしなおします。

中間色にモアレ（模様）が出る

原　因　プリントデータの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

対　策　操作パネルで印字調整メニューの「特殊中間調」を「ツカウ」に設定します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第 3 章「4　印字調整グループの設定項目」

Windows からの出力で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形がプリントされる、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色でプリントされない

原　因　拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、あるいはアプリケーションで複雑な重ね合わせを指定した

対　策　プリンタドライバの「印字品質」ページで「お気に入り」から「ビットマップ展開」を選択し、「詳細設定」ボタンを押して「グラフィックス」ページの「モード詳細」を「高品質」に設定して、プリントしなおします。

カラープリントした OHP フィルムを投影すると黒っぽくみえる

原　因　光量の少ないオーバーヘッドプロジェクタ（反射型 OHP）の場合、カラートナーがきちんと定着されていないと、投影光量が足りなくなる場合がある

対　策　プリンタドライバで「お気に入り」の「明るさ強調」を選択して、プリントしなおします。また、光量の大きい透過型 OHP のご使用をおすすめします。

参照先　LIPS ソフトウェアガイド

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

対策 1　細めのフォントを使用して、プリントしなおします。

対策 2　プリンタドライバの「印字品質」ページで「カラーの設定を行う」をチェックし、「カラー設定」ボタンを押して「マッチング」ページの「マッチング方法」を「色み優先」に設定します。

参照先　LIPS ソフトウェアガイド

同時に使用している他の同機種プリンタと色が合わない

原　因　工場出荷時の Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナー濃度に若干のバラツキがある

対　策　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナー濃度を微調節します。

参照先　第 6 章「カラーバランスを調整したいときは」（→ P.209）

お願い

●トナー濃度を変更すると、すべてのカラープリントに影響を与えます。通常は、工場出荷時の設定（8）のままでご使用ください。

自動両面モード時、印字部のまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く

原　因　**用紙が乾燥している場合、転写特性に影響を与えることがある**

対策1　**開封直後の新しい用紙に交換し、プリントしなおします。**

対策2　**セットアップメニューの拡張機能グループで「トクシュモードＤ」を「モード１」に設定し、電源を入れなおしたあと、プリントしなおします。問題が解決した場合は、設定値を「ツカワナイ」に戻し、電源を入れなおします。**

参照先　LIPS 機能ガイド 第3章「1 拡張機能グループの設定項目」

対策3　**乾燥時に適した用紙（CLC1000 専用両面厚口 A4 など）に交換し、プリントしなおします。**

自動両面モード時、白い横すじが入る（特に青や緑色の部分）

原　因　**用紙が乾燥している場合、転写特性に影響を与えることがある**

対策1　**開封直後の新しい用紙に交換し、プリントしなおします。**

対策2　**セットアップメニューの拡張機能グループで「トクシュモードＤ」を「モード２」に設定し、電源を入れなおしたあと、プリントしなおします。問題が解決した場合は、設定値を「ツカワナイ」に戻し、電源を入れなおします。**

参照先　LIPS 機能ガイド 第3章「1 拡張機能グループの設定項目」

対策3　**乾燥時に適した用紙（CLC1000 専用両面厚口 A4 など）に交換し、プリントしなおします。**

一度印字した文字や画像が、網かけを使用した部分に残像として薄く印字される

原　因　**環境によりドラムの転写特性に影響を与える場合がある**

対　策　**セットアップメニューの拡張機能グループで「トクシュモードＩ」を「ツカウ」に設定し、電源を入れなおしたあと、プリントしなおします。問題が解決した場合は、設定値を「ツカワナイ」に戻し、電源を入れなおします。**

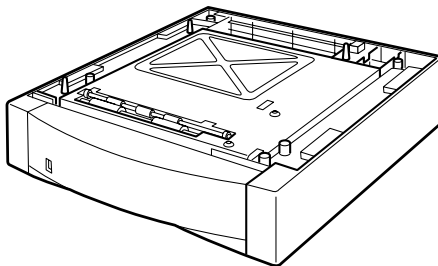
参照先　LIPS 機能ガイド 第3章「1 拡張機能グループの設定項目」

付録

オプションについて

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品が用意されています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

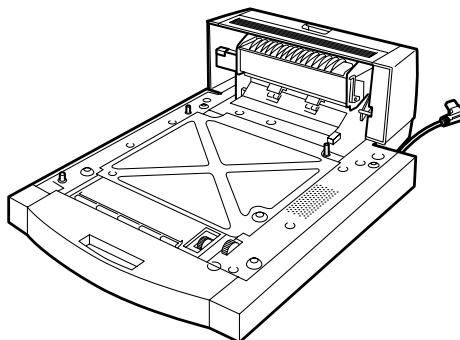
■ペーパーフィーダユニット PF-83

ペーパーフィーダユニットは、500枚ペーパーフィーダと500枚給紙カセットがセットになっています。プリンタ本体の底面に取り付けることにより、500枚給紙カセットを1つ増設することができます。500枚給紙カセットには、A5、B5、A4、レター、リーガル、エグゼクティブサイズの普通紙（64～105g/m²）を最大約500枚（64g/m²）まで（エグゼクティブサイズの用紙は約250枚まで）セットできます。

メモ

- ペーパーフィーダユニット PF-83 は LBP-2040/2050 専用です。他の機種用のペーパーフィーダユニットは使用できません。
- ペーパーフィーダユニット PF-83 は 1 台のみ取り付けることができます。
- ペーパーフィーダユニット PF-83 の取り付けかたについては、付録「オプションの取り付けかた」（→ P.279）をご覧ください。

■両面ユニット DU-83

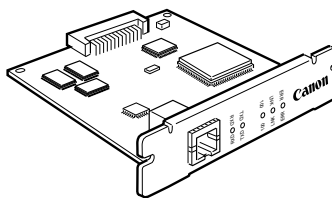
両面ユニットを取り付けると、用紙の両面に自動プリントすることができます。両面プリントできるのは、B5、A4、レター、リーガル、エグゼクティブサイズの普通紙（64～105g/m²）です。

メモ

- A5 サイズおよび OHP フィルム、光沢フィルム、ラベル紙、封筒、ハガキ、厚紙および不定形の普通紙には、両面プリントすることはできません。
- 両面ユニット DU-83の取り付けかたについては、付録「オプションの取り付け」(→P.284）をご覧ください。

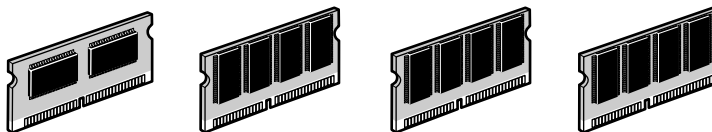
■プリントサーバ

プリントサーバは、本プリンタを LAN に接続するためのプリンタ内蔵型ボードです。IPX/SPX、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、AppleTalk のプロトコルに対応したものがありますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare、イントラネットなど幅広い LAN システムに対応可能です。専用のネットワーク管理ソフト「NetSpot」はプリンタに標準同梱されています。

例）キヤノンレーザショット内蔵型プリントサーバ NB-4F

メモ

- 装着できるプリントサーバについては、第2章「パソコンと接続する」(→P.60）をご覧ください。
- プリントサーバの取り付けかたについては、付録「オプションの取り付け」(→P.273）をご覧ください。

■拡張 RAM

メモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは32MBのメモリを標準装備しています。拡張RAMは1個増設可能で、本プリンタのメモリ総容量を最大256MBまで拡張することができます。

32MB（RD-32MS）　64MB（RD-64MS）　128MB（RD-128MS）　256MB（RD-256MS）

拡張RAMには、32MB（RD-32MS）、64MB（RD-64MS）、128MB（RD-128MS）、256MB（RD-256MS）の4種類があります。

拡張RAM	取り付け後の使用可能容量	印字保証サイズ
32MB	64MB	B4×2
64MB	96MB	リーガル×4
128MB	160MB	A3×4
256MB	256MB	B4×8

上記印字保証サイズは、「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」、「データ処理」を「ファイン」、「階調処理」を「ヒョウジュン」に設定した場合の値です。

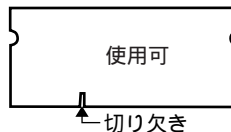
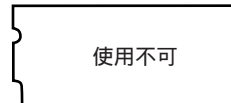
メモ

- **印字保証サイズについては、LIPS機能ガイド　第3章「4. 印字調整グループの設定項目」をご覧ください。**
- **オーバレイなどの大量の登録データを処理する場合にも拡張RAMの増設が必要です。**
- **拡張RAMは、必ず本プリンタに対応した3.3V用SDRAM DIMMをご使用ください。キヤノン製拡張RAM（RD-32MS、RD-64MS、RD-128MS、RD-256MS）のご使用をおすすめします。**

本プリンタ用SDRAM DIMM（3.3V）

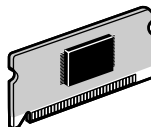
- **従来の5V、3.3V用RAM DIMM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-16ML、RD-32ML、RD-64ML）は、図のように形状が異なるため、スロットには取り付けることはできません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**

従来のRAM DIMM（3.3V、5V）

- **本プリンタに256MB（RD-256MS）を取り付けた場合、総容量は288MBになりますが、使用可能な容量は256MBまでです。**

■バージョンアップ ROM

フォントを搭載するための本プリンタ専用 ROM です。1枚の ROM に平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5、丸ゴシック体、LinePrinter、Garland、Courier の書体が収録されています。このバージョンアップROM を取り付けることにより、LIPS IV、LIPS III、LIPS II+に対応可能となり、ESC/P エミュレーションモードも使用可能になります。本プリンタには、このバージョンアップ ROM を1個のみ増設可能です。

製品名
LBP-2050 専用バージョンアップ ROM VR-L4

メモ

● バージョンアップROMは、必ず本プリンタ専用のバージョンアップROM（VR-L4）をご使用ください。他機種用の ROM を使用することはできません。

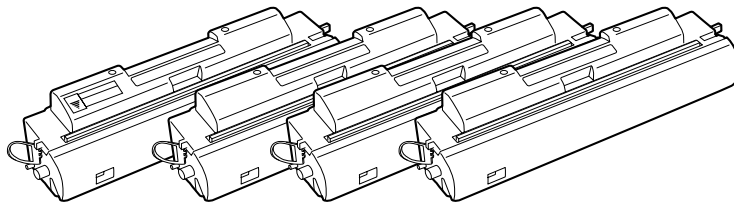
■プログラマーズマニュアル

本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。次の 3 種類が用意されています。

製品名
プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書4.2」
（LIPSコマンドの概要を知るためのマニュアル）
プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」
（LIPSコマンドの手引き）
プログラマーズマニュアル「クックブック4.2」
（プログラムサンプル集）

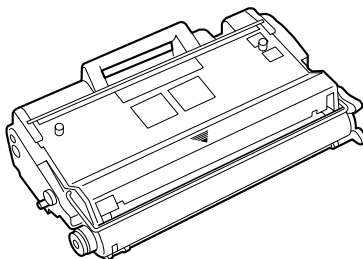
■トナーカートリッジ EP-83

本プリンタ専用のトナーカートリッジです。K（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）の4種類があります。K（ブラック）トナーカートリッジEP-83はA4/レター原稿で約9,000ページ、カラートナーカートリッジEP-83（C,M,Y）はA4/レター原稿で約6,000ページ、プリント可能です。（印字比率：約5%、印字濃度：工場出荷初期設定値の一般的なプリントの場合）

メモ

- **トナーカートリッジの消費量は、プリントの内容によっては寿命が短くなります。また、各色のトナー消費量はプリントする画像によって異なりますので、色によっては寿命が短くなります。**
- **トナーカートリッジの交換については、第5章「トナーカートリッジを交換する」（→P.148）をご覧ください。**

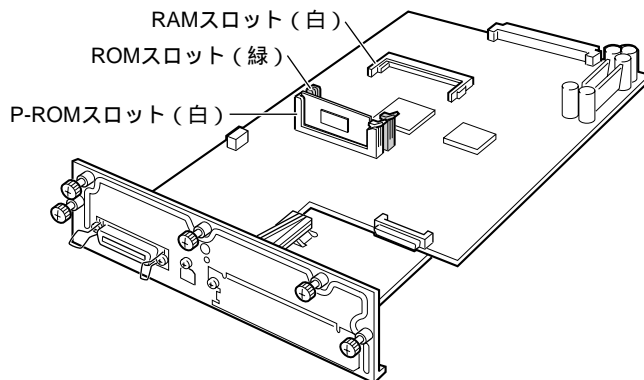
■ドラムカートリッジ EP-83

本プリンタ専用のドラムカートリッジです。A4/レターサイズの普通紙（64g/m^2～105g/m^2）をフルカラーで片面プリントした場合のプリント可能枚数は、約7,000ページ（28,000イメージ）です。ただし、他の設定や条件によってはプリント可能枚数は少なくなります。ドラムの寿命は用紙サイズ、用紙タイプ、片面プリントか両面プリントかなど、プリントする際の設定や条件によって異なります。

メモ

- **ドラムカートリッジの交換については、第5章「ドラムカートリッジを交換する」（→P.158）をご覧ください。**

オプションの取り付け

RAM/ROM

拡張RAMやバージョンアップROMは、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。

お願い

- P-ROM スロット(白）に取り付けられている ROM は絶対に取り外さないでください。プリンタが使用できなくなります。
- RAM と ROM は、形状や取り付ける位置、取り付け方法が違います。取り付け位置を間違えないように注意してください。
- RAM や ROM を取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにしてインタフェースケーブルや電源コードを取り外し、作業しやすい場所へ移動して作業を行ってください。

■ RAM の取り付けかた

RAM は、次の手順で取り付けます。

お願い

- ● RAM には、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による RAM の破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中に、パソコンのディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、RAMは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。
  - ・取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

1

プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から外します。

メモ

- ● 電源のオフについては、第 3 章「電源のオン、オフ」（→ P.78）をご覧ください。

2

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを取り外します。

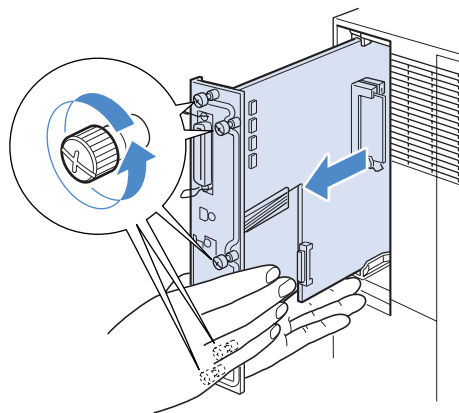
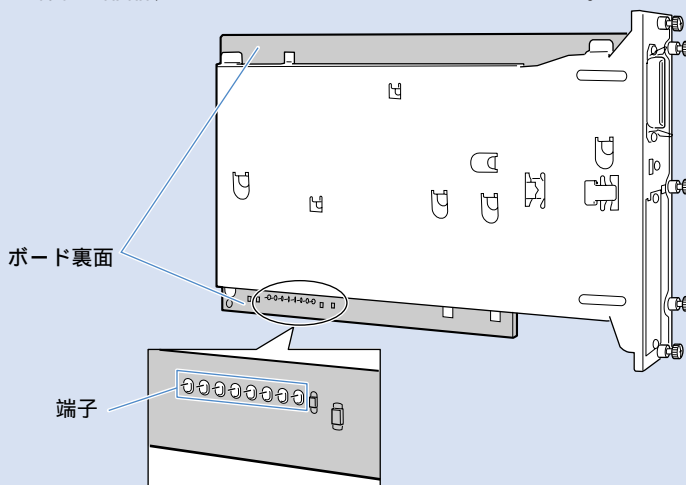
3

メインボードの5つのネジをゆるめて途中まで引き出し、両手で持って取り外します。

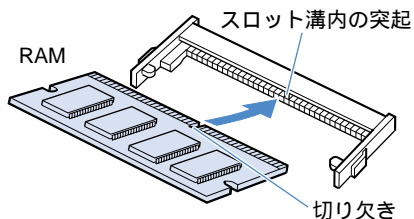
ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

注意

- **メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。**
- **メインボードを持つときは、絶対にボード表面や裏面に触れないでください。ボード上の端子や部品、ネジなどでけがをする恐れがあります。**

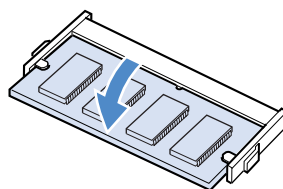
お願い

- **メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。プリンタ破損の原因になることがあります。**

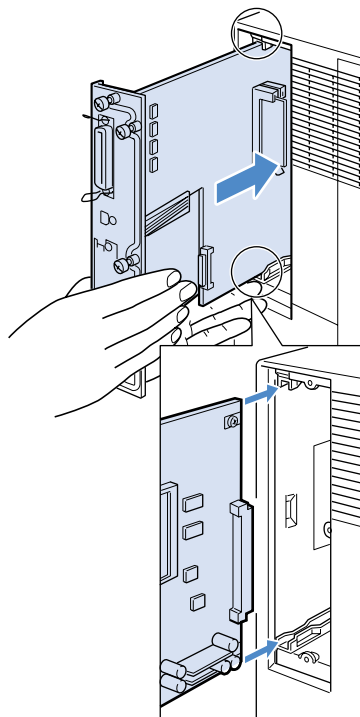
4

RAMの切り欠きをスロット溝内の突起に合わせて斜め上から差し込み、RAMの端子が見えなくなるくらいまでしっかりと押し込みます。

注意

● メインボードの部品やRAMの角でけがをしないよう、注意してください。

5

RAMを下にカチッと音がするまで押し、両側ともロックします。

6

メインボードを図のように持ってメインボード差し込み部のレールへ差し込みます。

● メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

7

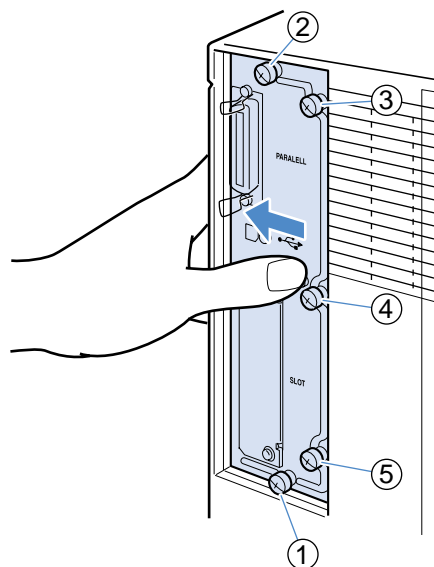
メインボードを矢印の方向に寄せながら、図に示す番号順でネジを締めて固定します。

お願い

- メインボードが正しく取り付けられていないと、ノイズが発生する原因になることがあります。メインボードは必ず手順にしたがって、正しく取り付けてください。
- ネジを締めるときは、必ず図に示す番号順で締めてください。また、メインボードを確実に固定するには、ドライバーをお使いになることをおすすめします。

8

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを接続します。

9

アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

■ ROM の取り付けかた

ROM は、次の手順で取り付けます。

お願い

- **ROM には、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による ROM の破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。**
  - **一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
  - **作業中に、パソコンのディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。**
  - **メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
  - **静電気の影響を避けるために、ROMは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。**
  - **取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。**

1

プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から外します。

メモ

- **電源のオフについては、第 3 章「電源のオン、オフ」（→ P.78）をご覧ください。**

2

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを取り外します。

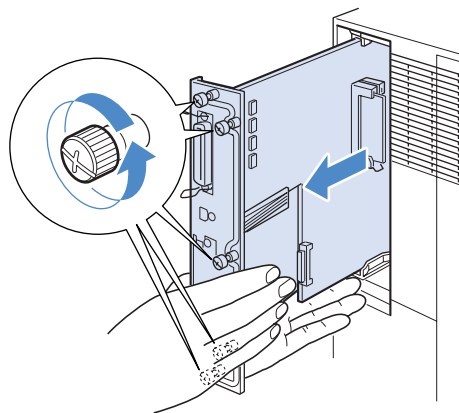
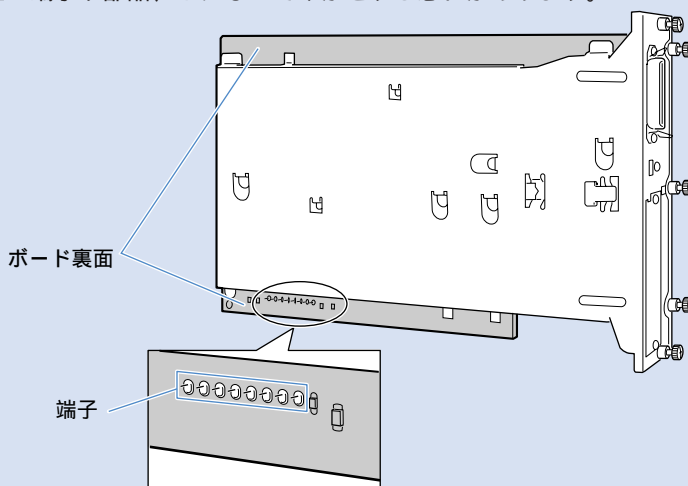
3

メインボードの5つのネジをゆるめて途中まで引き出し、両手で持って取り外します。

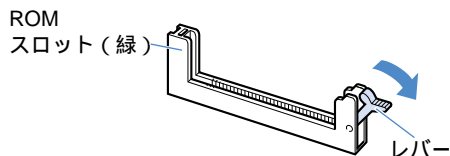
ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

注意

- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。
- メインボードを持つときは、絶対にボード表面や裏面に触れないでください。ボード上の端子や部品、ネジなどでけがをする恐れがあります。

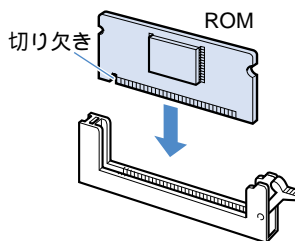
お願い

- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。プリンタ破損の原因になることがあります。

4

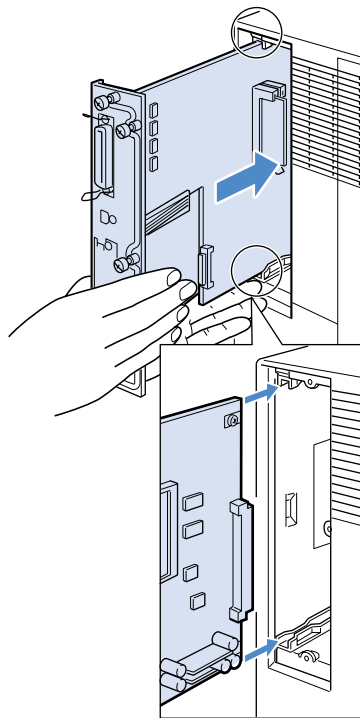
緑の ROM スロットのレバーを押し下げます。

注意

● メインボードの部品や ROM の角でけがをしないよう、注意してください。

5

切り欠きをレバーの反対側にしてROMをスロットガイドに合わせて差し込み、レバーが垂直になるまでしっかりと押し込みます。

ROM が完全に入ると、レバーが垂直になってレバーの突起が ROM の溝に掛かります。

6

メインボードを図のように持ってメインボード差し込み部のレールへ差し込みます。

● メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

7

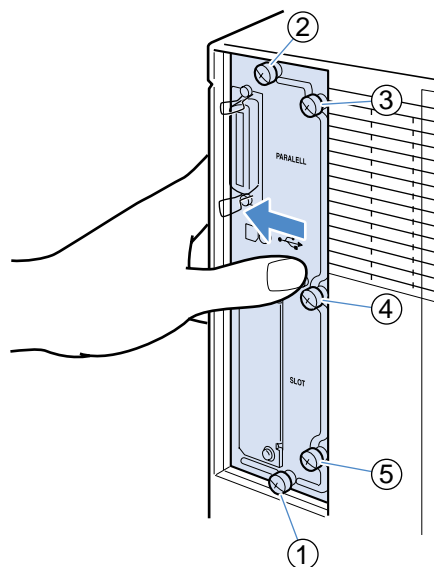
メインボードを矢印の方向に寄せながら、図に示す番号順でネジを締めて固定します。

お願い

- メインボードが正しく取り付けられていないと、ノイズが発生する原因になることがあります。メインボードは必ず手順にしたがって、正しく取り付けてください。
- ネジを締めるときは、必ず図に示す番号順で締めてください。また、メインボードを確実に固定するには、ドライバーをお使いになることをおすすめします。

8

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを接続します。

9

アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

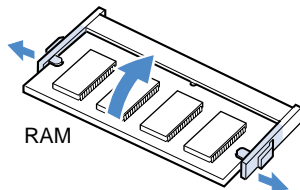
■ RAM または ROM の取り外しかた

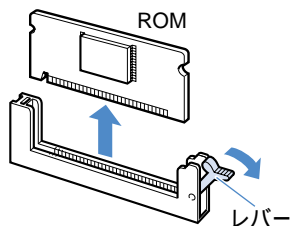
RAM または ROM を取り外すときは、次の手順で行います。

メモ

● メインボードの脱着方法については、RAMまたはROMの取り付けをご覧ください。

● RAM の場合

RAM スロット左右のレバーを同時に引いて、RAM を取り外します。

● ROM の場合

緑の ROM スロットのレバーを押し下げて、ROM を取り外します。

■ RAM、ROM の設定

RAM や ROM を取り付けた後は、次の設定を行ってください。

拡張 RAM → 必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

バージョンアップ ROM → メニュー機能でパネル設定初期化を行います。

メモ

● バージョンアップ ROM を取り付けたり取り外したときは、パネル設定の初期化が必要です。操作パネルのメニュー機能のパネル設定初期化については、LIPS 機能ガイド　第 2 章「10　セットアップメニューの初期化」をご覧ください。

プリントサーバ

プリントサーバを装着する場合は、メインボードの拡張ボードスロットへ取り付けます。プリントサーバの詳細については、プリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。

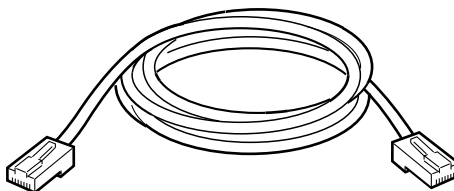
お願い

● プリントサーバには、静電気に敏感な部品が使用されています。このため、プリントサーバを不用意に取り扱うと、静電気によって部品を破損し、動作不良などのトラブルの原因となることがあります。取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
- **一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
- **作業中にパソコンのディスプレイなど静電気を発生しやすいものに触れないでください。**
- **プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **静電気の影響を避けるために、プリントサーバは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。なお、保護袋はプリントサーバを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。**

■ケーブルやコネクタの準備

本プリントサーバをプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、ネットワークの種類に応じて次のようなケーブルやコネクタが必要です。あらかじめこれらのケーブルやコネクタを準備してから作業を行ってください。

●ツイストペア LAN ケーブル

接続するネットワークに合わせて、10BASE-T または 100BASE-TX 対応のネットワークケーブル（両端に RJ-45 コネクタが付いたより対線）をご用意ください。

●ハブ

プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合、ハブの増設が必要になります。

■プリントサーバの取り付けかた

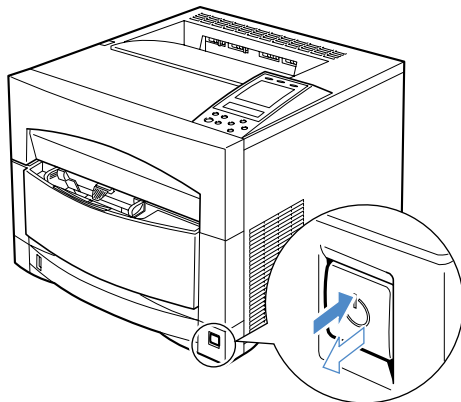
プリントサーバは、次の手順で取り付けます。ここでは、プリントサーバNB-4Fを例に説明しています。プリントサーバの取り付け作業には、⊕ドライバーが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1

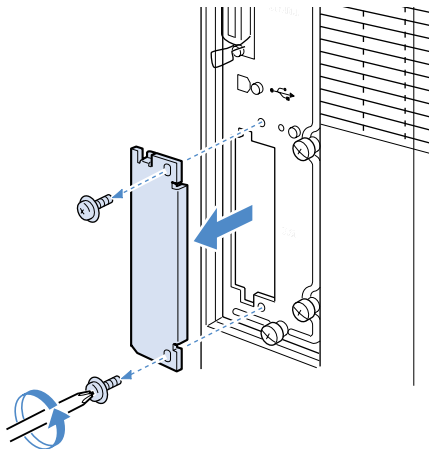
プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。

メモ

● 電源のオフについては、第3章「電源のオン、オフ」（→ P.78）をご覧ください。

2

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを取り外します。

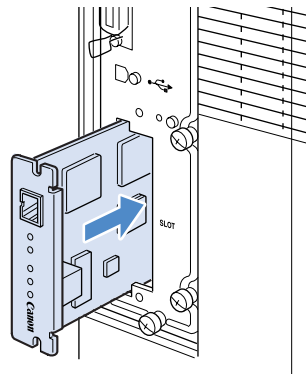
3

拡張ボードスロットの上下のネジを取り外し、保護板を取り外します。

メモ

● 取り外した保護板とネジは、プリントサーバを外したときに必要になります。無くさないように保管しておいてください。

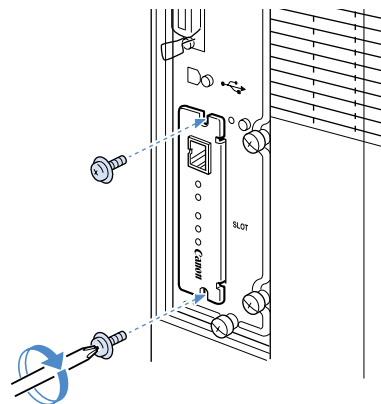
4

プリントサーバを拡張ボードスロットに差し込みます。

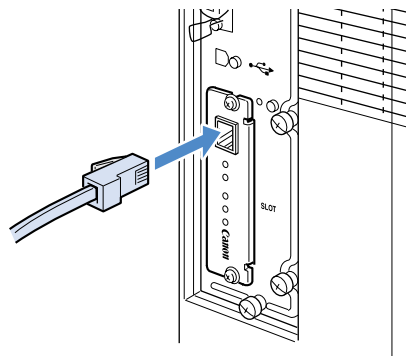
プリントサーバは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

お願い

- **プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。プリントサーバ破損の原因になることがあります。**
- **プリントサーバのパネルがメインボードのパネルより浮いているときは、取り付けが不完全です。プリントサーバのプリンタ接続コネクタが拡張ボードスロット奥のコネクタと接続されるまで、しっかりと確実に押し込んでください。**

5

付属の 2 本のネジでプリントサーバを取り付けます。

6

ネットワークケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせ、プリントサーバのLAN コネクタに対応したネットワークケーブルを接続します。

メモ

- **ネットワークとの接続については、プリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。**

7

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを接続します。

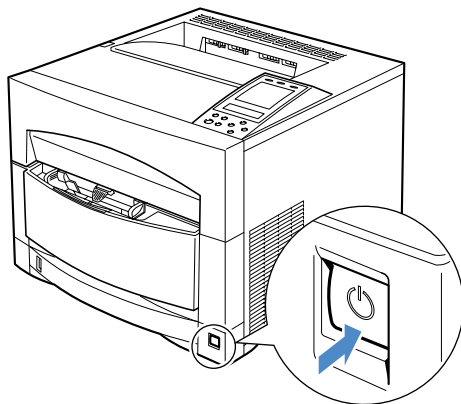
8

アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

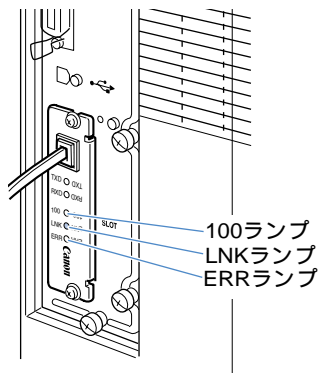
- **プリントサーバNB-4Fを取り付けたプリンタがAppleTalkネットワーク上に2台以上接続されている場合、それぞれのプリンタの電源は10秒以上間隔をおいてオンにしてください。**

9

プリンタの電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

10

プリントサーバのLNKランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば、正常です。100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば、正常です。
正常に動作していない場合は、LANケーブルの接続やハブの動作状態、プリントサーバの取り付け状態を確認してください。（→プリントサーバの取扱説明書）

11

確認が終わったら、プリンタの電源をオフにします。

■プリントサーバの取り外しかた

一度取り付けたプリントサーバを取り外すときは、次の手順で作業をします。

1

プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から外します。

2

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを取り外します。

3

プリントサーバの固定ネジ（2 本）を取り外します。

4

プリントサーバを引き抜きます。

5

拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジ止めします。

お願い

- 異物やほこりが入るのを避けるため、保護板は必ず取り付けてください。
- 取り外したプリントサーバは、必ず保管しておいた保護袋に入れてください。

6

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを接続します。

7

アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ペーパーフィーダユニット PF-83

ペーパーフィーダユニットは、プリンタ本体の下に取り付けます。また、両面ユニットを装着しているときは、ペーパーフィーダユニットを一番下に取り付けてください。

お願い

- **ペーパーフィーダユニットを取り付ける際は、必ず電源をオフにして「パワーオフチュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源コードとインタフェースケーブルを取り外してから作業してください。取り外さないまま作業すると、装置が故障する恐れがあります。**

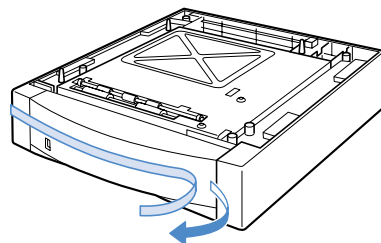
メモ

- **装着可能なペーパーフィーダユニットは1台です。**

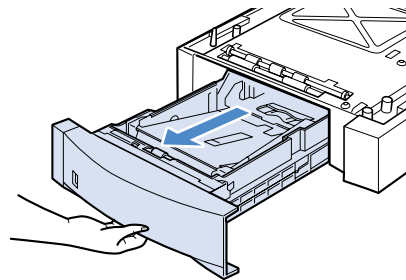
■ペーパーフィーダユニットの取り付けかた

ペーパーフィーダユニットは、次の手順で取り付けます。

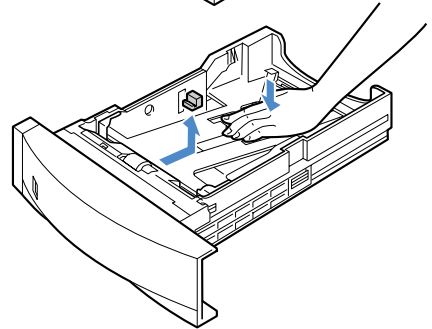
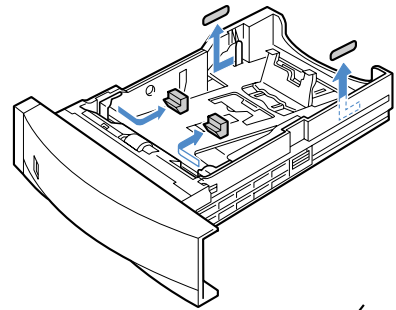
1

ペーパーフィーダユニットを止めているテープを取り外します。

2

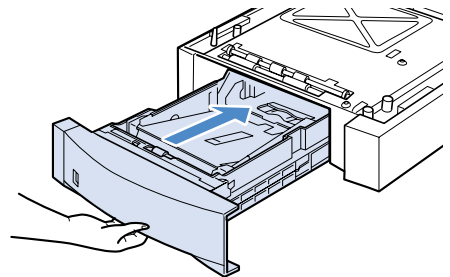
給紙カセットの取っ手に手をかけて途中まで引き出し、両手に持ち変えて引き抜きます。

注意

- **給紙カセットは途中まで引き出したら、給紙カセットを両手に持ち変えて引き抜いてください。給紙カセットを落とすと、けがやプリンタ破損の恐れがあります。**

3

給紙カセットを止めている梱包材を取り外します。

4

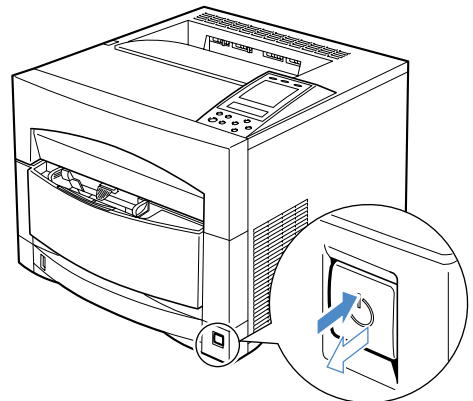
給紙カセットをペーパーフィーダユニットにセットします。

給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダユニットの前面と揃うまで、ゆっくりと差し込みます。

5

プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。

メモ

● 電源のオフについては、第３章「電源のオン、オフ」（→ P.78）をご覧ください。

6

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを取り外します。

7

プリンタ本体を設置場所から移動します。

両面ユニットを装着しているときは、両面ユニットを取り外します。

注意

- **本プリンタは、本体のみで約48kg（全カートリッジ装着状態では約53kg）あります。必ず2人以上で、腰などを痛めないよう十分に注意して持ち運んでください。（トナーカートリッジ（K）は約0.92kg、トナーカートリッジ（YMC）は約0.77kg、ドラムカートリッジは約1.4kg、オプションの両面ユニットは約13kg、ペーパーフィーダユニットは約10kgです。）**
- **絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。指示以外の部分を持つと、落下してけがの原因になることがあります。**

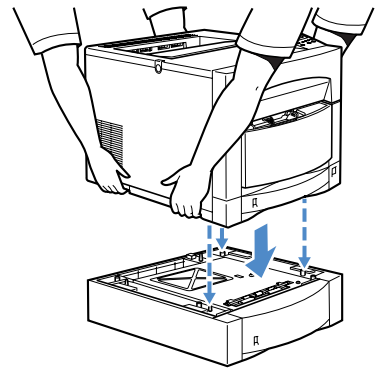
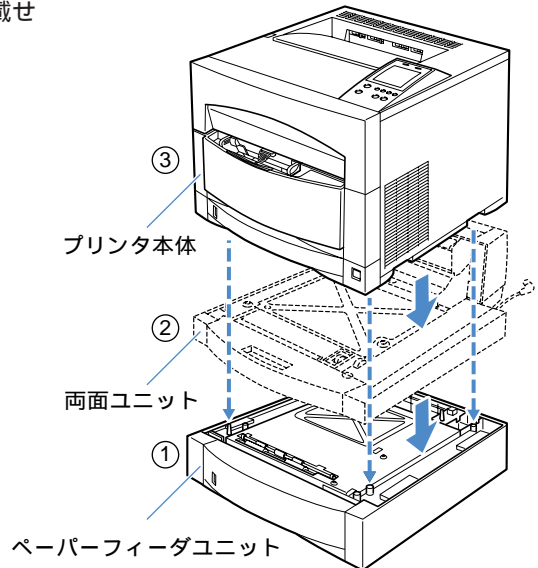
- **給紙トレイやサブ排紙トレイを閉じてから持ち運んでください。開いたまま運ぶと破損の原因になります。**

- **両面ユニットの取り外しかたについては、P.288をご覧ください。**
- **プリンタの持ち運びかたについては、P.35をご覧ください。**

8

ペーパーフィーダユニットを設置場所へ置きます。

9

プリンタ本体をペーパーフィーダユニットの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。

両面ユニットも取り付けるときは、図の位置に載せてください。

● 両面ユニットの取り付けかたについては、P.284 をご覧ください。

10

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを接続します。

11

アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

■ペーパーフィーダユニットの取り外しかた

プリンタを移動や修理する際は、ペーパーフィーダユニットを取り外してください。ペーパーフィーダユニットは、次の手順で取り外します。

1

プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。

2

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを取り外します。

3

プリンタを上に持ち上げて、ペーパーフィーダユニットから取り外します。

両面ユニットを装着しているときは、両面ユニットを取り外します。

メモ

● 両面ユニットの取り外しかたについては、P.288 をご覧ください。

4

ペーパーフィーダユニットを持ち上げて取り外します。

5

プリンタ本体を設置場所へ戻します。

両面ユニットを装着しているときは、両面ユニットを先に置きます。

メモ

● 両面ユニットの取り付けかたについては、P.284 をご覧ください。

6

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを接続します。

7

アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

両面ユニット DU-83

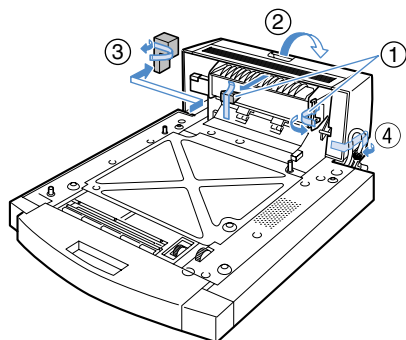
両面ユニットは、プリンタ本体の下に取り付けます。また、ペーパーフィーダユニットを装着しているときは、プリンタ本体とペーパーフィーダユニットの間に取り付けてください。

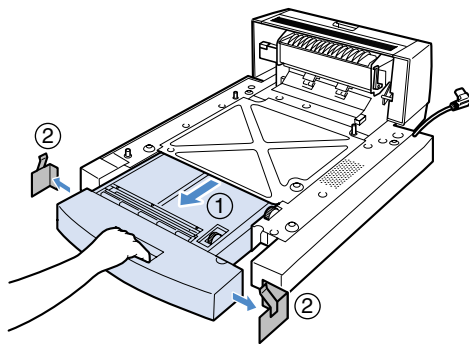
- **両面ユニットを取り付ける際は、必ず電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源コードとインタフェースケーブルを取り外してから作業してください。取り外さないまま作業すると、装置が故障する恐れがあります。**

■両面ユニットの取り付けかた

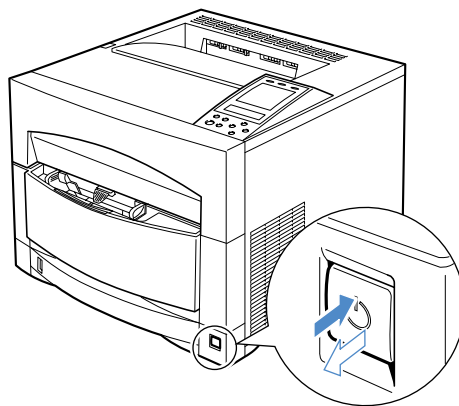
両面ユニットは、次の手順で取り付けてください。

1

両面ユニットを止めているテープや梱包材①を取り外して、上カバー②を開いてから梱包材③を取り外し、電源コードを止めているテープ④も取り外します。

2

紙づまり処理トレイを引き出し①、梱包材を取り外したあと②、紙づまり処理トレイを両面ユニットにセットします。

3

プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。

メモ

● 電源のオフについては、第3章「電源のオン、オフ」（→ P.78）をご覧ください。

4

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを取り外します。

5

プリンタ本体を設置場所から移動します。

注意

● 本プリンタは、本体のみで約48kg（全カートリッジ装着状態では約53kg）あります。必ず2人以上で、腰などを痛めないよう十分に注意して持ち運んでください。（トナーカートリッジ（K）は約0.92kg、トナーカートリッジ（YMC）は約0.77kg、ドラムカートリッジは約1.4kg、オプションの両面ユニットは約13kg、ペーパーフィーダユニットは約10kgです。）
● 絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。指示以外の部分を持つと、落下してけがの原因になることがあります。

お願い

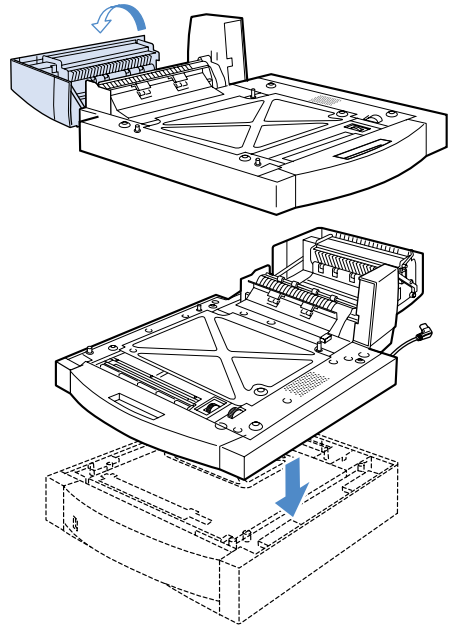
● 給紙トレイやサブ排紙トレイを閉じてから持ち運んでください。開いたまま運ぶと破損の原因になります。

メモ

● プリンタの持ち運びかたについては、P.35をご覧ください。

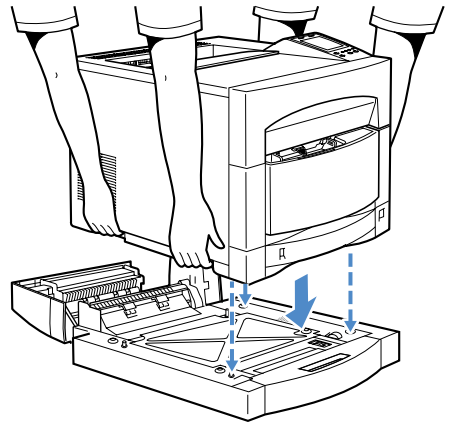
6

両面ユニットを設置場所へ置き、上カバーを開きます。

オプションのペーパーフィーダユニットも取り付けるときは、両面ユニットをペーパーフィーダユニットの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。

メモ

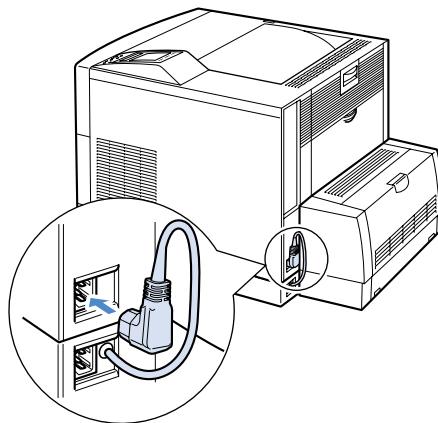
● ペーパーフィーダユニットの取り付けかたについては、P.279をご覧ください。

7

プリンタ本体を両面ユニットの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。

8

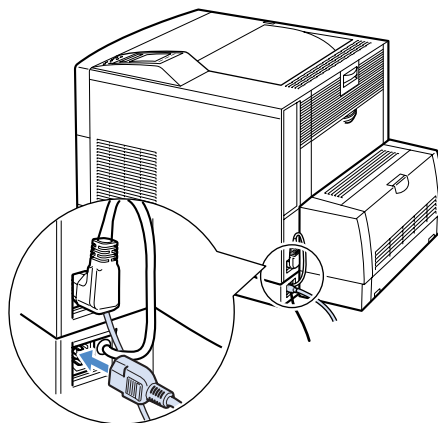
両面ユニットの上カバーを閉じます。

9

両面ユニットルートケーブルをプリンタ本体の電源コード差し込み口へ接続します。

10

プリンタ本体用のアース線をプリンタ本体のアース線端子へ、インタフェースケーブルをプリンタ本体へ接続します。

11

電源コードを両面ユニット電源コード差し込み口へ、両面ユニット用のアース線を両面ユニットのアース線端子へ接続します。

12

プリンタ本体用および両面ユニット用のアース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

■両面ユニットの取り外しかた

プリンタを移動や修理する際は、両面ユニットを取り外してください。両面ユニットは、次の手順で取り外します。

1

プリンタの電源をオフにして「パワーオフ　チュウ」のメッセージが消えるまで待ち、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。

2

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを取り外します。

3

両面ユニットの上カバーを開きます。

4

プリンタを上に持ち上げて、両面ユニットから取り外します。

5

両面ユニットを持ち上げて取り外します。

6

プリンタ本体を設置場所へ置きます。

7

電源コードやアース線、インタフェースケーブルを接続します。

8

アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

主な仕様

ハードウェアの仕様

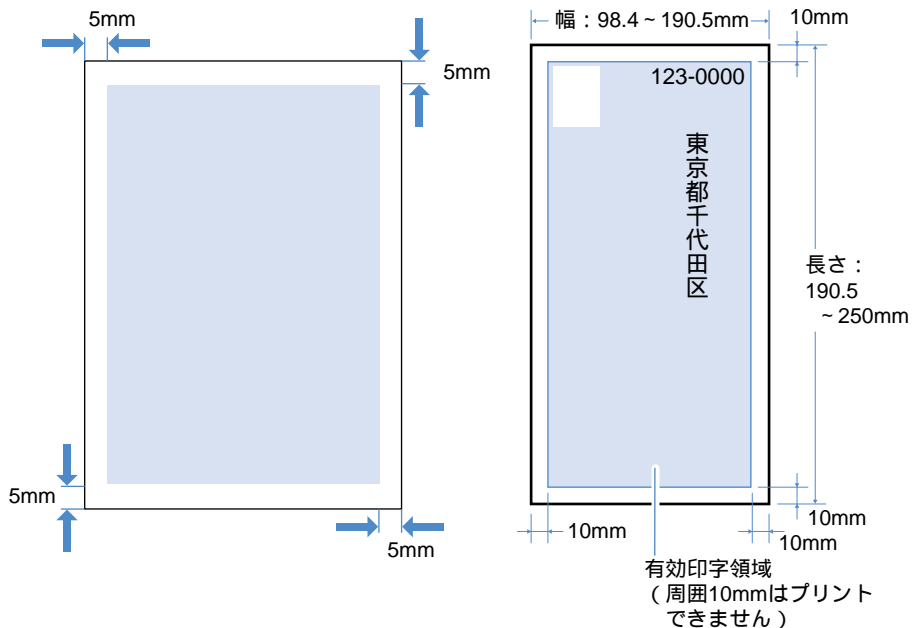
項目		内容	
形式		デスクトップ型ページプリンタ	
プリント方式		電子写真方式	
解像度		モノクロ　600dpi(ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ)／300dpi(ｸｲｯｸﾓｰﾄﾞ) カラー　600dpi/多値／600dpi/2値	
プリント速度	普通紙(64～105g/m²)	A4プリント時	モノクロ　16ページ／分 フルカラー　4ページ／分
ウォーミングアップ時間		250秒以下（20℃, 拡張RAM未装着時）	
ファーストプリント時間		モノクロ　25秒以下（A4／フェースダウン時） カラー　36秒以下（A4／フェースダウン時）	
用紙サイズ	給紙カセット	A5、B5、A4､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ､ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ 最大積載枚数	 約250枚（64g/m²）
	500枚給紙ｶｾｯﾄ*2	A5、B5、A4､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ､ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ 最大積載枚数	 約500枚（64g/m²）*1
	トレイ	幅 長さ 最大積載枚数	76.2～216mm 127～356mm 約100枚（64g/m²）
	両面プリント	B5、A4､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ､ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ	
排紙方式		フェースダウン／フェースアップ	
排紙積載枚数		排紙トレイ サブ排紙トレイ	約250枚（64g/m²） 約50枚（64g/m²）
稼働音音圧レベル（バイスタンダ位置）（ISO9296に基づく公表騒音放出値）		スタンバイ時 動作時	最大　43dB[A] 最大　53dB[A]
使用環境 （プリンタ本体のみ）		動作環境温度　10～30℃ 湿度　20～80%RH（結露しないこと）	
保管環境 （プリンタ本体のみ）		保管環境温度　0～35℃ 湿度　35～85%RH（結露しないこと）	
電源		100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）	
消費電力 （20℃時）		動作時 スタンバイ時 スリープモード時 最大	平均　約440W*3 平均　約137W*3 平均　約30W*3 902W以下*3,4
質量		プリンタ本体（カートリッジは除く） ドラムカートリッジ トナーカートリッジ（K） トナーカートリッジ（YMC） 両面ユニット*2 ペーパーフィーダユニット*2	約48 kg 約1.4 kg 約0.92 kg 約0.77 kg 約13 kg 約10kg

*1 エグゼクティブサイズの最大積載枚数は、約250枚です。
*2 印の製品は、別売のオプションです。
*3 本体標準状態での値です。
*4 フルオプション装着時は930W以下です。ただし、この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

コントローラの仕様

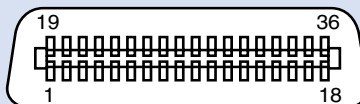
CPU	PowerPC603ei（200MHz）	
メモリ（RAM）容量	標準 32 MB オプションの拡張 RAM により、最大 256MB まで拡張可能	
ホストインタフェース	パラレルコネクタ	1（ｾﾝﾄﾛﾆｸｽ準拠／双方向）
	USB コネクタ	1（V1.0 スレーブのみ）
	拡張インタフェース	1
ユーザインタフェース	ディスプレイ	16 桁 LCD × 2 段
	ランプ	8 個
	操作キー	8 個
RAM スロット	1	
拡張ボードスロット	1	

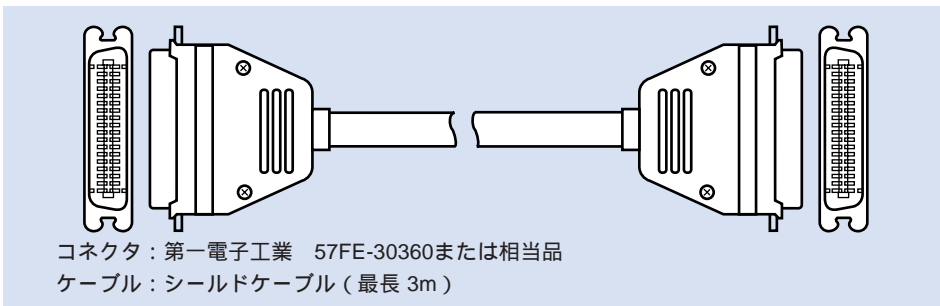
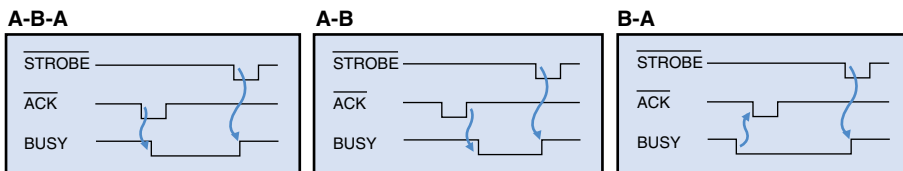
ソフトウェアの仕様

内蔵コントロールコマンド	LIPS II+ ／ LIPS III ／ LIPS IVs 標準 ESC/P
有効印字領域	上下左右とも周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印字できません。

インタフェース仕様

パラレルインタフェース（セントロニクス準拠）

●信号線とピン配置

ピン番号	信　号	ピン番号	信　号
1	STROBE	19	GND (STROBE)
2	DATA0	20	GND (DATA0)
3	DATA1	21	GND (DATA1)
4	DATA2	22	GND (DATA2)
5	DATA3	23	GND (DATA3)
6	DATA4	24	GND (DATA4)
7	DATA5	25	GND (DATA5)
8	DATA6	26	GND (DATA6)
9	DATA7	27	GND (DATA7)
10	ACK	28	GND (PERROR, SELECT, ACK)
11	BUSY	29	GND (BUSY, FAULT)
12	PERROR	30	GND (AUTOFD, SELECT IN, INIT)
13	SELECT	31	INIT
14	AUTOFD	32	FAULT
15	AUXOUT1	33	AUXOUT2
16	Logic GND	34	AUXOUT3
17	Chassis GND	35	AUXOUT4
18	Peripheral Logic High	36	SELECT IN

●「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

●コネクタおよびケーブル

●タイミングチャート

● タイミングはメニュー機能の「インタフェースグループの設定項目」で変更します。
（→ LIPS 機能ガイド）

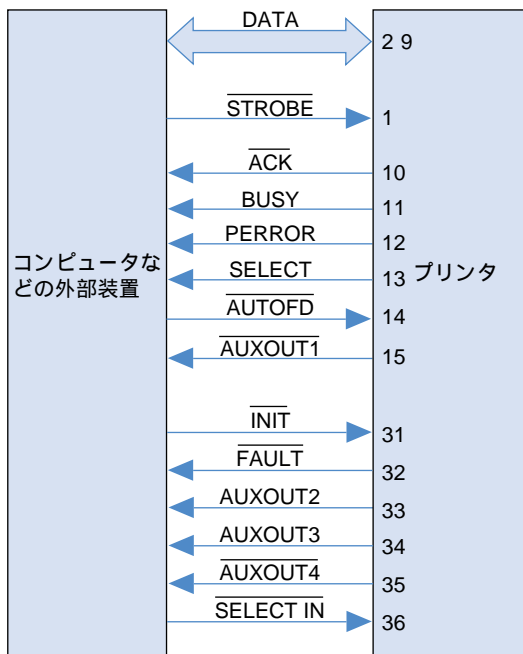
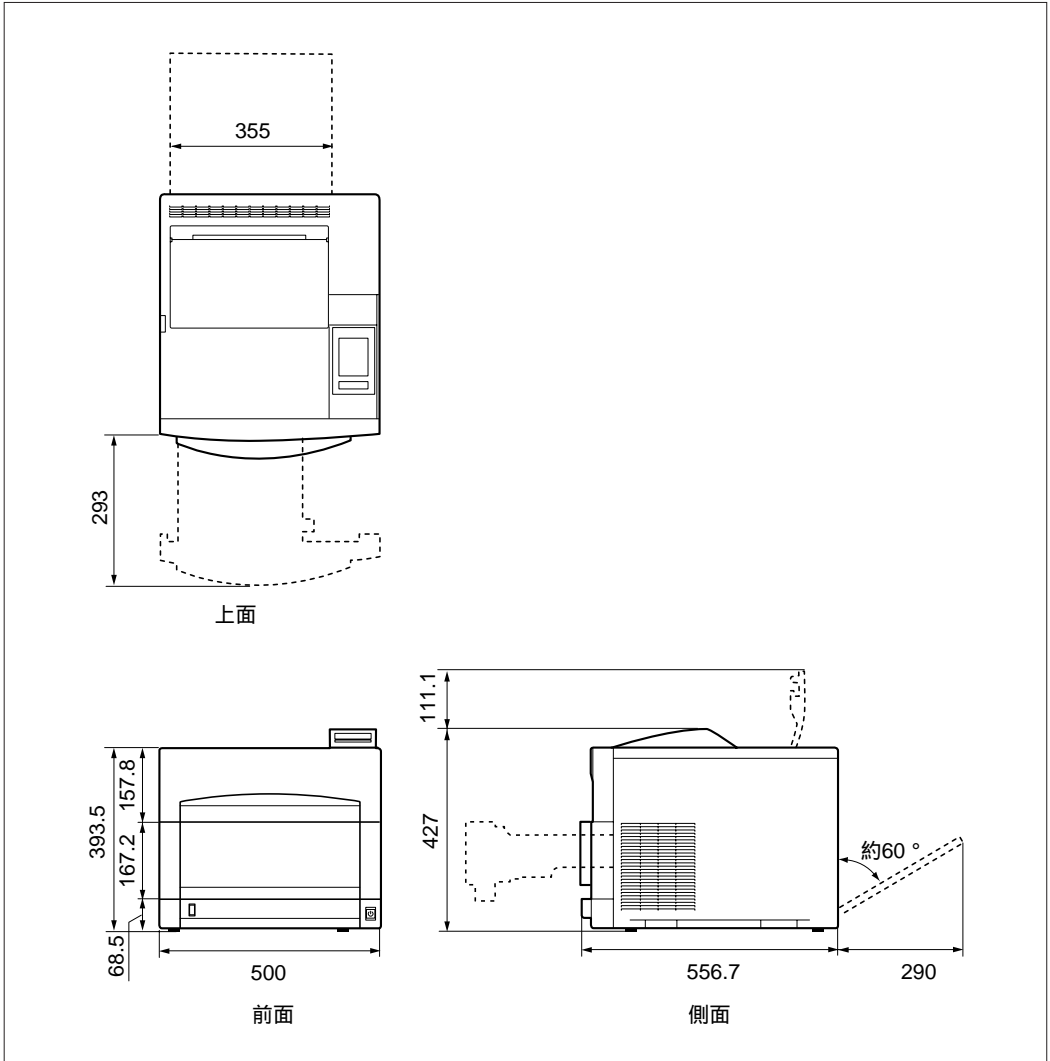
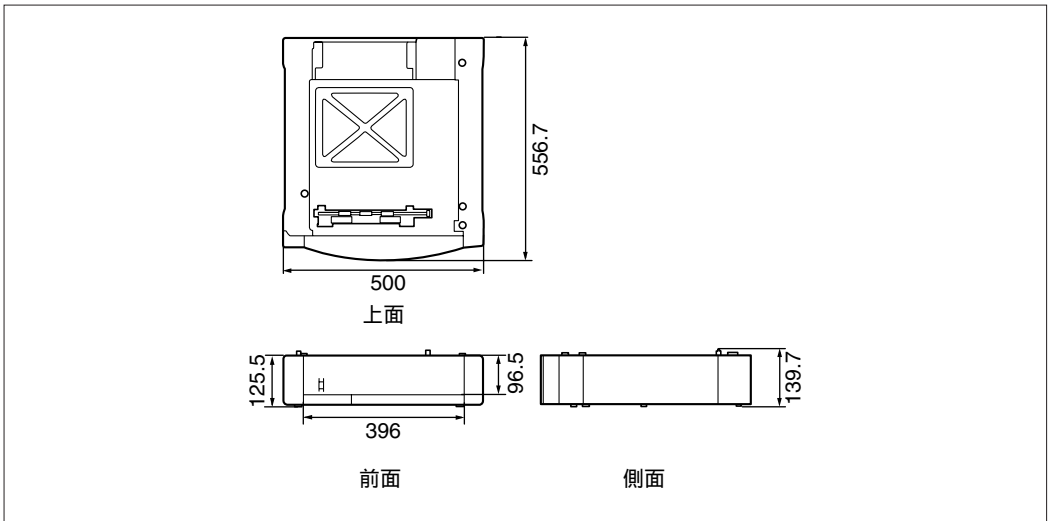
結線図

各部の寸法

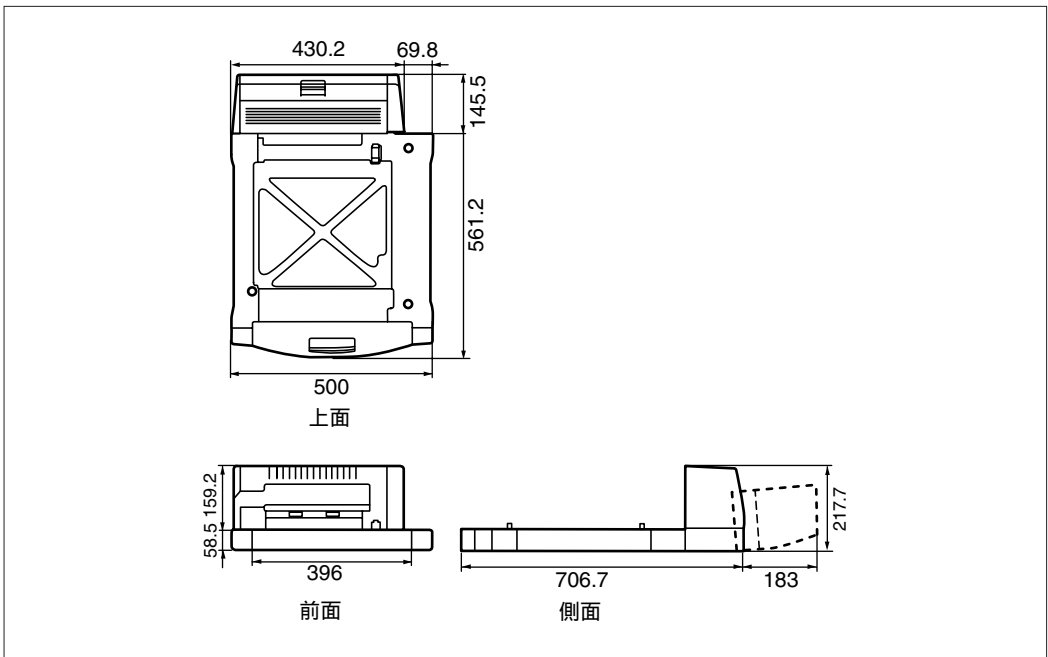
■本体

355
293
上面

393.5
157.8
167.2
68.5
500
前面

111.1
427
約60 °
556.7
290
側面

■ペーパーフィーダユニット

（単位は mm）

■両面ユニット

（単位は mm）

用語集

LIPS
LIPSとは、キヤノンの日本語プリンタ用に開発されたコントロールコマンドです。LIPS II、LIPS II+、LIPS III、LIPS IV、LIPS IVc、LIPS IVsの6種類があり、LIPS IV、LIPS IVcはLIPS IIIの機能を拡張したもので、フルカラープリントにも対応しています。本プリンタは標準でLIPS IVsに対応しています。LIPS IVsはWindowsおよびMacintosh専用のコントロールコマンドです。
また、オプションのバージョンアップROMを取り付けると、LIPS IV、LIPS III、LIPS II+に対応可能になります。

MaxiMem（マキシメム）
高精細プリントを最大限に引き出す、キヤノン独自のメモリ効率化機能です。

NetSpot
NetSpotは、ネットワーク上のプリンタやパソコンに接続されたプリンタをパソコンからプリンタの設定や管理を行うためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてパソコンにインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド）

NetSpot Job Monitor
NetSpot Job Monitorは、プリンタの状態をリアルタイムでパソコン画面に表示するためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてパソコンにインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド）

NVRAM
NVRAMとは、Non-Volatile Random Access Memoryの略で、電源を切っても内容が保存される、読み書き可能なメモリのことです。本プリンタではメニュー機能の設定内容を保存するために用いられており、常に最新の設定内容が保存できるようになっています。

RAM
RAMとは「Random Access Memory」の略で、読み書き可能なメモリですが、電源を切ると登録した内容が消えてしまいます。本プリンタでは、システムワークメモリや受信バッファに使っています。また、本プリンタのメモリ容量を増加するために、オプションの拡張RAMが用意されています。

ROM
ROMとは「Read Only Memory」の略で、読み出し専用メモリです。電源を切っても内容が消えません。本プリンタでは、システムのプログラムを書き込んでいます。また、オプションのバージョンアップROMに使用されています。

USB コネクタ

USB とは「Universal Serial Bus」の略で、パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。Windows98パソコンやMacintoshパソコンのプリンタ接続やキーボード接続、マウス接続などに利用されています。

エミュレーションモード

各メーカーのパソコン専用のシリアルプリンタをエミュレーション（模倣）して動作するモードです。本プリンタは、ESC/Pエミュレーションモードを内蔵しており、オプションのバージョンアップ ROM を取り付けると、ESC/P エミュレーションモードが使用可能になります。
（→第 3 章「動作モードについて」P.86）

オフライン

パソコンとプリンタ間の回線が切断され、パソコンからのプリントデータを受信できない状態をいいます。用紙の選択やメニュー機能を使うときは必ずオフラインの状態にします。オフライン状態では、操作パネルのオンラインランプは消灯しています。
（→第 3 章「オンラインとオフライン」P.79）

オンライン

パソコンとプリンタ間の回線がつながって、パソコンからのプリントデータを受信できる状態をいいます。プリントは必ずオンラインの状態で行います。用紙の選択やメニュー機能は設定できません。オンライン状態では、操作パネルのオンラインランプが点灯しています。
（→第 3 章「オンラインとオフライン」P.79）

オーバレイ

２ページ分のデータを重ね合わせて1ページの書類としてプリントすることをいいます。本プリンタには、オーバレイ用のメモリ領域が用意されています。このメモリにあらかじめ重ね合わせてプリントしたいデータを登録しておくことで、プリント時に重ね合わせることができます。各種の帳票を多量にプリントするときなど、まず帳票のフォーマットデータを登録しておけば、後から数値などのデータを送るだけでスピーディーにプリントすることができます。
（ → LIPS ソフトウェアガイド、LIPS 機能ガイド）

拡張 RAM

プリンタのメモリを増設するためのオプションです。32MB、64MB、128MB、256MB のうちいずれか 1 個を増設でき、標準で 32MB のメモリを最大 256MB まで拡張できます。拡張 RAM を装着すると、システムワークメモリや受信バッファ、描画メモリ容量を増し、ファインモードでプリント可能な用紙サイズを拡大します。また、オーバレイなどの多量の登録データの処理にも拡張 RAM の増設が必要な場合があります。
（→付録「オプションについて」P.260）
（→受信バッファ、システムワークメモリ、描画メモリ）

クイックモード

画像データや写真イメージデータをデータ処理解像度300dpi（カラー時600dpi）で出力するモードです。

コントロールコマンド

ページにプリントする文字や罫線、網かけ、図形、イメージなどのデータ、および印字位置や印字方法など、どこに何をどのようにプリントするかをプリンタに指示するための命令です。本プリンタは、キヤノン独自の LIPS IVs を内蔵しています。
(→エミュレーションモード)
(→第 3 章「 動作モードについて」P.86)

システムワークメモリ

主に多角形描画などの図形処理のときにシステムが使用するメモリです。搭載されているメモリ容量に応じて自動的に確保されます。ただし、取り付けられている拡張 RAM、フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。
(→拡張 RAM、描画メモリ、受信バッファ)

受信バッファ

パソコンから送られたプリントデータを一時的に保存しておくためのメモリです。搭載されているメモリ容量に応じて自動的に確保されます。ただし、取り付けられている拡張 RAM、フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。
(→拡張 RAM、描画メモリ、システムワークメモリ)

ジョブ

パソコンから送られるひとまとまりのプリントデータのことをいいます。通常、パソコンから送られるプリントデータには、開始と終了を表す命令（コマンド）がついており、この命令で他のジョブと区別します。

スケーラブルフォント

文字を外郭の曲線や直線を数式で記録し、数値を変えることで文字を拡大・縮小したり変形できるタイプのフォントです。輪郭線で文字を表すため、拡大しても曲線部分がギザギザになりません。本プリンタではオプションのバージョンアップ ROM を取り付けることにより、明朝体と角ゴシック体、丸ゴシック体、ラインプリンタボールド、および Courier などの欧文書体のスケーラブルフォントが使えます。

セントロニクス

パソコンと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。パソコンで扱っている 16 ビットや 32 ビットのデータを、8 本の線を使い、8 ビットずつ同時に伝送します。高速なデータ伝送が可能ですが、ケーブル長の限界が 3m 程度に制限されます。現在では、ほとんどのパソコンでプリンタケーブルの規格として採用されています。
本プリンタでは、接続しているパソコンからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284 対応の双方向通信が可能な方式を採用しています。
(→パラレルインタフェース)

動作モード

本プリンタ が動作している状態をいいます。本書では、どのコントロールコマンドに対応できる状態になっているかで、LIPS モードや ESC/P エミュレーションモードなどと呼びます。
(→第 3 章「動作モードについて」P.86)
(→エミュレーションモード)

トナーカートリッジ
キヤノン独自のカラープリンタ専用トナーカートリッジです。Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）の4種類があります。交換作業も非常に簡単で、トナーが無くなったカートリッジだけを交換できます。
（→第5章「トナーカートリッジを交換する」P.148）

パラレルインタフェース
パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。
パソコンで扱っている16ビットや32ビットのデータを、複数の線を使って数ビットずつまとめて（パラレルで）伝送します。データをまとめて送るため高速伝送が可能ですが、ケーブルの線数を多く必要とし、線間の干渉などによる信号ロスも多いため、ケーブルの長さに制限があります。パラレルインタフェースの代表的なもののひとつが「セントロニクス」です。
（→セントロニクス）

ビットマップフォント
１つの文字を点の集合で表したフォントのことです。ビットマップフォントは拡大率（文字サイズ）に応じてパターンが必要で、拡大率に制限があります。グラフィックセット、文字ピッチ、文字サイズ、文字スタイル、文字太さ、書体（これらを属性と呼ぶ）の組み合わせ方によっていろいろなフォントになります。

描画メモリ
ファインモード（600dpi）のプリント時に必要な描画用のメモリの容量です。印字動作を「画質優先」に設定すると、システムワークメモリや受信バッファ用のメモリを自動調整し、入力データに依存せずに600dpiの処理が可能になります。ただし、確保できる描画メモリ（印字保証サイズ）の容量は、取り付けられている拡張RAMの容量で変わります。
（→LIPS機能ガイド）

ファインモード
画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度600dpiで出力するモードです。

フォームキャッシュメモリ
オーバレイに使用するフォーム画像を保持するためのメモリ領域です。
（→オーバレイ、拡張RAM、描画メモリ、受信バッファ、システムワークメモリ）

フォント
印字する文字や数字やシンボルの集合のことをフォントと呼びます。１つのフォントでは文字やシンボルは同じデザインとなっていますが、フォントごとに文字のデザインが異なり、このデザインのことを書体と呼びます。和文フォントには明朝体やゴシック体、欧文フォントにはCourierなどの種類があります。また、文字を表すデータの違いでビットマップフォントとスケーラブルフォントがあります。
本プリンタはオプションのバージョンアップROMを取り付けることにより、明朝体と角ゴシック体、丸ゴシック体、ラインプリンタボールド、Courierのスケーラブルフォントを搭載することができます。
（→ビットマップフォント、スケーラブルフォント）

プリンタドライバ

アプリケーションソフトで作成したデータをプリンタが受け付けるデータに変換するためのソフトウェアです。通常、接続したプリンタ用のプリンタドライバをOSに組み込んで使用します。お使いのプリンタに対応したプリンタドライバがないと、アプリケーションソフトから正しくプリントできません。本プリンタには、Windows用およびMacintosh用プリンタドライバ（LIPS IV）が付属しており、単にデータの変換だけでなく、プリンタの各種機能の設定ができます。
（→ LIPS ソフトウェアガイド）

メニュー機能

本プリンタ の動作モードや各種機能を設定するための機能です。操作パネルのキーやユーティリティソフト「NetSpot」から設定できます。
（→ LIPS ソフトウェアガイド）
（→ LIPS 機能ガイド）

優先動作モード

動作モードの自動切り替え時に、受信したデータの解析ができなかった場合、優先的に選択される動作モードです。本プリンタの工場出荷時の設定は「LIPS」で動作しています。オプションのバージョンアップROMを取り付けると、「ESC/P」エミュレーションモードを選択することが可能になります。
（ →動作モード）

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

付録

ナ行

ハ行

付録

マ行

ヤ行

ラ行

付録

付録

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、ユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。

無償保証について

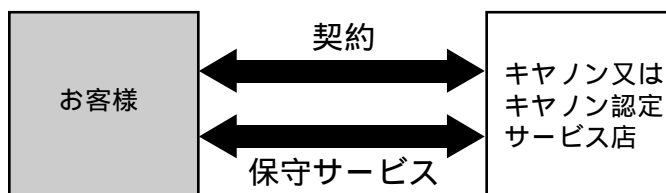
・本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より６ヶ月です。
・定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、「定期交換部品のご案内」（→ P.307）をご覧ください。
・無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態で
ご使用いただくために

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。

＊保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。
＊トナーカートリッジ、などの消耗品は保守契約の対象外です。

本製品には、無償保証期間後の保守契約制度として、A方式（定期交換部品代金を含まない方式）とB方式（定期交換部品代金を含む方式）を用意しています。本保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

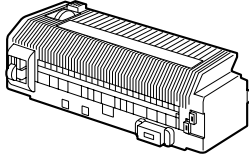
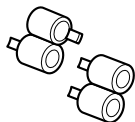
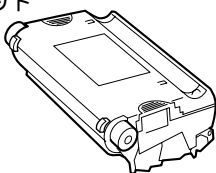
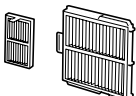
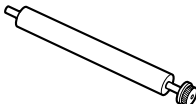
内　容	メリット
●定期点検の実施 キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。	トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。
●優先サービス 万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。	トラブル時の業務停止時間を最小限に押さえます。
●保守契約料金は一定 保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。	サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が計れます。
●修理料金は無料 保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料等いっさいを含んでおります。（B方式）	契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。（B方式） （但し天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）
●スポット料金より割安 トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。	スポット料金より年間維持経費は大巾に割安になります。
●定期交換部品の交換料金は無料 （A方式は部品代のみ有償） 本プリンタでは、定着ユニット、中間転写体ユニット、オゾンフィルタなどの定期交換を行います。	契約期間中に定期交換が発生した場合は、その内容や回数にかかわらず無料です。 （但し、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

定期交換部品のご案内

本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。
定着器と給紙ローラの交換は専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。中間転写体ユニット、エアフィルタ、転写ローラにつきましては、お客様での交換が可能です。
サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。（定期交換部品交換作業も含んだ保守契約制度も用意していますので、お買い求めの販売店にご相談ください。）
トナーカートリッジなどの消耗品は、保守契約の対象外です。

メモ

- **定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境やプリントする用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります.**
- **転写ユニット交換キット UM-83 同梱品（中間転写体ユニット、エアフィルタ、転写ローラ）につきましては、お客様での交換が可能です。**

定期交換部品	交換の目安	用途
定着器	100,000ページ（A4片面／白黒） または 50,000ページ（A4片面／カラー）	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命を過ぎると、画像不良や用紙のしわの原因となります。
給紙ローラ	100,000ページ	用紙を給紙するためのローラです。（プリンタ本体用1個、給紙カセット用1個、ペーパーフィーダユニット用2個）
中間転写体ユニット	約25,000ページ（A4片面／カラー） または 約100,000ページ（A4片面／白黒）	トナーを感光ドラムから中間転写体に転写（一次転写）するユニットです。寿命を過ぎると、画像不良の原因となります。
エアフィルタ	中間転写体ユニットと同時交換	プリンタ内部の残留トナーなどが外に吹き出されるのを防ぐフィルタです。
転写ローラ	中間転写体ユニットと同時交換	トナーを用紙に転写させるためのローラです。

商標について

Canon、Canon ロゴ、ColorGear、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。
LASER SHOT、MaxiMem、TypeWing は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。
Apple、AppleTalk、EtherTalk、Macintosh、Mac OS、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。
ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。
IBM、AT、PowerPC は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。
PC-9800 シリーズは、日本電気株式会社の商標です。
NetHawk は新潟キヤノテック株式会社の商標です。
NetWare、Novell は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
Unix は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Canon

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容についてご了解いただいたものとさせていただきます。

■ 情報の入手方法

インターネット、FAX情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

❑ キヤノンFAX情報サービス

札幌（011）728-0485　秋田（018）826-0441　仙台（022）211-5730　東京（03）3455-5962
名古屋（052）936-0758　大阪（06）4795-9011　広島（082）240-6729　高松（087）826-1621
福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。
情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASER SHOT】インフォメーション」内に掲載されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ インターネット：キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

キヤノン販売ホームページよりダウンロードできます。
キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。@niftyの通信料金のみでダウンロードすることができます。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

❑ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMもしくはFDを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はFAX情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。
口座番号：00160-1-51418
口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDのメディアが異なります。

パターンチャート A の保管について

パターンチャート A が汚れたり、色褪せてきた場合は正確なキャリブレーションを行うことができません。パターンチャート A をお使いになった後は、二つ折りにして下のポケットに入れて保管してください。
使用上の注意については、CD-ROM の［CALIB］フォルダに格納されている PDF マニュアルをご覧ください。
パターンチャート A の使用方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

**修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。**

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

**お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット** **0570-01-9000**

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。LASER SHOTの該当番号は 42 *1です。

**全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、(043) 211-9627 をご利用ください。**

**上記窓口の受付時間*2 は以下のとおりです。
月曜～金曜（祝日を除く）：9:00～12:00、13:00～ 18:00、19:00～ 21:00
土、日、祝日（1/1～1/3は休み）：10:00～ 12:00、13:00～ 17:00**

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

PUB. R-IJ-924AA XX2001SZXX PRINTED IN JAPAN